平成10年度 経営基盤確立農業構造改善事業

産地形成促進施設新築工事

竣　工　図

発注者　油　木　町

設計監理　株式会社 鈴木工務店

施　工　村上建設株式会社

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業

産地形成促進施設　新築工事設計図

株式会社　鈴木工務店　一級建築士事務所

竣工図

極組通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）

1

SUZUKI

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所

一級建築士（第334748）

市川 昭二

工事設計図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築　工事特記仕様書

工事概要

項目	内容
① 工事場所	神石郡油木町大字油木乙1983-2
② 用途地域	・第 種低層住居専用　・第 種中高層住居専用　・第 種住居　・準住居　・近隣商業　・商業　・準工業　・工業　・工業専用　⊙指定なし
特別用途地区	・中高層階住居専用地区　・商業専用地区　・特別工業地区　・文教地区　・指定なし
その他	・風致地区　・駐車場整備地区　・臨港地区（商港区）　・臨港地区（工業港区）
③ 防火の指定	・防火　・準防火　⊙指定なし
④ 工事種別	⊙新築　・増築　・改築　・移転　・その他（　）
⑤ 敷地面積	699.69 ㎡
⑥ 建築面積	356.45 ㎡
⑦ 床面積	1階 319.46 ㎡　2階 68.05 ㎡
⑧ 延面積	387.51 ㎡
⑨ 構造	・鉄筋コンクリート造　⊙鉄骨造　・補強コンクリートブロック造　・鉄骨鉄筋コンクリート造　・木造　・その他（　）
10 附属建物	・車庫　・自転車置場
11 工作物等	・囲障　・門扉　・舗装
⑫ 別途工事	⊙ 備品（机、イス、金庫、書庫ロッカ、食堂机、イス、会議机等） ⊙ 造成工事（建物周囲）
13 支給品等	・
⑭ 仕様	※図面及び特記仕様書に記載されてない事項は下記による。 ※建設大臣官房官庁営繕部「建築工事共通仕様書」平成5年版 ※建設大臣官房官庁営繕部「建築工事標準詳細図」平成5年版 ※項目及び特記事項は○印をつけたものを適用する。○印がない場合は※印を適用する。 ※材料及び製造所の記載順序不同

1章　一般共通事項

項目	内容
① 疑義に対する協議	※設計図書に明示のない場合又は疑いを生じた場合は、監督員と協議する ※現場の収まり・取合いなどの関係で、設計図書によることが困難又は不都合な場合は、監督員と協議する。
② 官公署等への手続き	工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、請負業者の責任において遅滞なく行う。
③ 別契約の関連工事	※当該工事関係者と協力し工事全体の円滑な進ちょくを図る。 ※当該工事関係者に足場・桟橋その他の仮設設備を無償で使用させる。
④ 現場代理人及び主任技術者	⊙一級建築士 1名以上　・二級建築士　名以上 ⊙指定建設業監理技術者資格者証を有する者 1名以上 ・不要 ※現場代理人並びに工事現場における工事施工の技術上の管理をつかさどる技術者を定め監督員の承諾を受ける。
⑤ 実施工程表	工事に先立ち、実施工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。 ※工事期間全体　⊙月間　・週間　・工種別
⑥ 施工計画書	※着工に先立ち、工事の総合仮設をまとめた施工計画書を作成し、監督員に提出する。 ※工種別に、材料・工法などを具体的に定めた施工計画書を作成し、監督員の承諾を受ける。
⑦ 施工図・現寸図見本その他	施工図・現寸図・見本などは、遅滞なく監督員に提出して、承諾を受ける。

項目	内容
⑧ 色・柄などの指示	色・柄などは見本・カタログなどを提出して、監督員の指示を受ける。
⑨ 建築材料製造所	建築材料の製造所・商品施工者などは、特記されたもの又は同等以上とする。
⑩ 特別な材料の工法	前項（9項）に含まれない特別な材料の工法は、当該材料又は製品の指定工法による。
⑪ 材料	⊙新品とし、監督員の検査に合格したもの又は使用承認を受けたもの ⊙材料の品質が明記されていない場合は、均衡を得た品質のもの ⊙JIS規格指定材料は、JISマークの表示のあるもの又はJISの規格証明書が添付されているもの ⊙JAS規格指定材料は、JASマークの表示のあるもの又はJASの規格証明書が添付されているもの ⊙調合を要する材料は、調合表を提出して監督員の承諾を受ける
⑫ 記録・報告	※下記の場合は、記録書又は報告書を監督員に提出する。 ⊙疑義に対する協議事項 ⊙材料が現場に搬入された時 ⊙施工の一工程が完了した時 ⊙工事の全般的な経過を記載した文書（必要に応じて記録写真・見本品・試験成績書等を添付する）
⑬ 工事写真	（下表）

分類	規格	撮影枚数	提出部数	提出原版の寸法
着手前	サービス版カラー	必要に応じた数	3部	35㎜版以上
工事中	サービス版カラー	必要に応じた数	3部	〃
完成時	LL 版カラー	外観 4面	3部	645以上
	LL 版カラー	各室 2~4面		

※完成写真の撮影は建築写真専門家の手によること
※完成写真はアルバム（四つ切サイズ程度）に貼り、部位を記入すること
※施工状況報告用の写真を監督員に提出する（1部）

項目	内容
⑭ 竣工図の作成	※設計図書の原図を訂正し、層面製本を 3 部提出する。 ※施工図の原図を訂正し、層面製本を 3 部提出する。 ※建物及び各設備の取扱説明書・下請負業者リストを 3 部提出する。
⑮ 工事下請負人名簿	工事請負業者は下請負人名簿を提出して、監督員の承諾を受ける。
⑯ 工事現場周辺の安全対策	工事期間中は近隣住民・通行人などの安全保障に努める
⑰ 近隣の建物などに対する処置	請負人は工事に先立ち、近隣の建物又は工作物の所有者及び居住者に対し、監督員などの立会の下に工事概要を説明する
⑱ 証拠写真の提出	近隣の建物などに本工事で被害を及ぼすおそれがある時は、監督員の立会の下にクラックなどの状況を事前に写真撮影して監督員に提出する

2章　仮設工事

項目	内容
① 建築現場仮囲	⊙柵　・木製仮囲 H=　・鋼製仮囲 H=　・しない ・外構図参照（図版　）
② 監督員事務所	・1号（10㎡程度）　・2号（20㎡程度）　・3号（35㎡程度） ・4号（65㎡程度）　・5号（100㎡程度）　⊙設けない(2.3.1図)
③ 請負業者事務所	⊙敷地内に建てる事が出来る　・敷地内に建てる事が出来ない
④ 工事用水	敷地内既存の施設　・無償で利用できる　⊙利用できない　・有償で利用できる（使用料金を支払う）
⑤ 工事用電力	敷地内既存の施設　・無償で利用できる　⊙利用できない　・有償で利用できる（使用料金を支払う）

3章　土工事

項目	内容
① 埋戻し及び盛土	⊙A種（山砂の類で水締め、機器による締め固め） ※B種（根伐土の中の良質土で機器による締め固め） ・C種（他現場の建設発生土の中の良質土で機器による締め固め） ・D種（再生コンクリート砂で水締め、機器による締め固め）(3.2.1図)
② 残土処分	※構外に搬出し、適切に処理する ⊙構内処分　・構内指示の場所に堆積

4章　地業工事

1 既製コンクリート杭地業

・PC 杭（JISA5335）※A種　・B種　・C種
・PHC杭（JISA5337）※A種　・B種　・C種
・SC 杭（外殻鋼管付コンクリート杭）建基法に基づき認定されたもの

杭の種類	杭径（㎜）	長さ（m）	設計支持力（t／本）

杭の継手　※設けない　・溶接継手　・ボルト継手
　継手の箇所は杭1本当たり　箇所とする
杭打ち工法　・打撃工法（・直接　・アースオーガー併用）
　・セメントミルク工法
　・25NAp認定工法（アトラス、KMN、RODEX NEWニーディング　その他同等以上）
　・25NAp認定工法（TAIP、TSロータリー　その他同等以上）
　・30NAp認定工法（ネオパイル工法）
杭打ち計画書　※着手前に提出して監督員の承諾を受ける。
杭打ち成績報告書　※要（　部提出）　・不要

2 鋼杭地業

・鋼管杭（JIS A5525）　・H形鋼杭（JIS A5526）

形状・寸法（㎜）	長さ（m）	設計支持力（t／本）

杭の継手　※設けない　・溶接継手（半自動又は自動アーク溶接）
　継手の箇所は杭1本当たり　箇所とする
杭打ち工法　・打撃工法（・直接　・アースオーガー併用）
杭打ち計画書　※着手前に提出して監督員の承諾を受ける。
杭打ち成績報告書　※要（　部提出）　・不要
杭の先端形状　※解放　・閉塞平たん
杭の先端補強　・4.3.1図及び4.3.1表による　・図面による

3 場所打ちコンクリート地業　鉄筋コンクリート配筋仕様書参照の事（図面番号　）

4 杭打ち試験（試験杭）　既製コンクリート杭地業の打撃工法を適用する
杭の寸法（形状・直径）　長さ　m、　箇所
支持力の算定は建設省告示第1623号（昭和53年10月20日）による
報告書　※要（　部提出）　・不要

5 割り石地業　隙間のない様に一層に敷き並べ、目潰し砂利（切込み砂利又は切込み砕石）を充填し機器により締め固める。

⑥ 砂利地業　切込み砂利又は切込み砕石（最大粒径45㎜程度）

⑦ 捨コンクリート地業　⊙ Fc=18N/㎟

5章　鉄筋工事

① 配筋仕様　※鉄筋の加工、組立てなどの配筋仕様は別図を参照の事

② 材料

種類	種別	呼び径又は使用場所	規格
異径鉄筋	⊙SD295 A		JISG3112
	※SD345		
丸鋼	・SR235		JISG3112のSR235

③ 溶接金網

線径（㎜）	網目（㎜）	規格
・5φ	・100　・150	JISG3551
⊙6φ	・100　⊙150　・200	

④ 鉄筋のガス圧接　・する　⊙しない　・必要に応じてする
作業者の技量資格　※1種　・2種　・3種（JISZ3881）
※SD295は、ガス圧接しない

6章　コンクリート工事

項目	内容
① レディミクストコンクリートの製造種別	※Ⅰ類　・Ⅱ類　(6.1.1図)
② セメント	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・ポルトランドセメント(JIS R5210)　・高炉セメント(JIS R5211) ・シリカセメント(JIS R5212)・フライアッシュセメント(JIS R5213)
③ 混和剤（無塩化合物）	・AE剤(JIS A6204) 使用箇所： ※AE減水剤（Ⅰ種）(JIS A6204) 使用箇所： ・減水剤 使用箇所： ・膨張性セメント混和材 使用箇所： ・その他の混和剤（材） 使用箇所：

④ コンクリートの種別

種別		強度 N/㎟	使用箇所
普通コンクリート	⊙18	18	デッキ上
	⊙21	21	基礎、スラブ、間壁、土間コン
軽量コンクリート	・1種 ・2種		(6.7.1図)
無筋コンクリート		18	
工事現場練りコンクリート	・		

⑤ コンクリートのスランプ　基礎、地中梁（15、18㎝）
柱、梁、床版、壁（18㎝）但し、防水下床版は15㎝以下

⑥ コンクリート中の塩化物　コンクリート中の塩化物（塩素イオン換算）の含有量は0.3㎏/㎥以下とする

⑦ 床コンクリート仕上の種別（直押えの場合）　※A種　・B種（屋根防水層の下地）(6.13.1図)

⑧ 打放し仕上の種別 (6.14.1図)

種別	使用箇所
・A種	
・B種	
⊙C種	基礎、地中梁

⑨ 型枠の取外し　せき板及び支柱の取外しは6.14.2表及び6.14.3表による

⑩ コンクリートの温度補正　※する（6.3.3 表による）　・しない

コンクリート打設時期		・広島	※福山	・岡山
10月	上旬	1.5	1.5	1.5
	中旬	3.0	3.0	3.0
	下旬	3.0	3.0	3.0
11月	上旬	3.0	3.0	3.0
	中旬	3.0	3.0	4.5
	下旬	4.5	4.5	4.5
12月	上旬	4.5	4.5	4.5
	中旬	4.5	4.5	6.0
	下旬	6.0	6.0	6.0
1月	上旬	6.0	6.0	6.0
	中旬	6.0	6.0	6.0
	下旬	6.0	6.0	6.0
2月	上旬	6.0	6.0	6.0
	中旬	4.5	6.0	6.0
	下旬	4.5	4.5	4.5
3月	上旬	4.5	4.5	4.5
	中旬	3.0	4.5	4.5
	下旬	3.0	3.0	3.0
4月	上旬	3.0	3.0	3.0
	中旬	3.0	3.0	3.0
	下旬	1.5	1.5	1.5

（打設場所及び補正強度（N/㎟））

⊙地元の生コンクリート製造業者の平均温度記録による。

訂正　確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築　工事設計図　1
特記仕様書 1
SUZUKI　株式会社 鈴木工務店　一級建築士事務所　一級建築士（第33474号） 市川昭二
1
福山市丸之内1丁目4番1号　TEL (0849) 代22-1011　事務所登録 93(1)第1105号　図書作成 '98.11.12

7章 鉄骨工事

①	加工・組立	※鉄骨工事の加工・組立などは別図「鉄骨工事特記仕様書」を参照の事
②	鉄骨加工工場	⊙鉄骨加工工場は全構連認定工場のRグレード工場以上とする

8章 ブロック及びALCパネル工事

① コンクリートブロック JIS A5406

適用箇所	種別	ブロック厚さ、施工場所
間仕切壁、外壁、塀 / 地下二重壁、耐力壁	C種 / 普通	120、間仕切壁
外壁（化粧積み）	C種 / 防水	

(8.2.1表)

2 特殊なコンクリートブロック — 製造所又は製品名及び形状・寸法

3 レンガ・抗火石
- ・普通レンガ（JIS R1250） ※1種 ・2種 ・3種　寸法 210X100X60
- ・耐火レンガ（JIS R2304） ※8種 又は 9種
- ・抗火石　※比重　以上、寸法 230X115X65

耐火レンガ・抗火石積みモルタルは JIS R2501 の耐火モルタルとする
製品名・製造所等：

4 プレキャストコンクリート — コンクリートカーテンウォール工業会（P.C.C.A）1種会員の製作施工とする。

5 ALCパネル JIS A5416 — 商品名：シポレックス、ヘーベル、デュロックス、イトン
パネル厚（mm）

屋根		外壁	
床		間仕切壁	

外壁パネルの取付け種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種
間仕切パネルの取付け種別 ※A種 ・B種 ・C種 ・D種
(8.5.2表) (8.5.3表)

9章 防水工事

1 防水の種類

	施工箇所	防水種別	保障年限
歩行屋根			※10 ・15 ・
非歩行屋根			※10 ・15 ・
屋内			※10 ・15 ・

2 防水材料及び施工業者

製造所又は材料名	施工業者

※防水工事は請負業者、防水施工業者、製造所の連帯責任施工とする。
※防水工事のシーリング材は防水材料製造所の指定材料を使用する。

③ シーリング

種別		指定色
・A種 (8020)		※有 ・無
・B種 (9020)		※有 ・無
⊙C種 (8020)	建具廻り、タイル目地、入隅コーナー	※有 ・無
・D種 (7020)		※有 ・無
・E種 (7010)		※有 ・無
・F種		

(9.4.1表)

10章 石工事

① 石の種類 JIS A5003 — ※1等品 ・2等品 ・3等品

種類・寸法	施工箇所
御影石の古(黒、厚70ミリ)	定礎板
〃　(白)	面台

② 花こう岩類の仕上の種類
- ・たたき仕上げ (10.2.1表)　・のみ切り（・大のみ ・中のみ ・小のみ）　・びしゃん（・荒びしゃん ・細びしゃん）　・小たたき　・ジェットバーナー仕上げ
- ⊙磨き仕上げ　・粗磨き ・水磨き ⊙本磨き (10.2.2表)

3 大理石の仕上の種類 — ・粗磨き ・水磨き ・本磨き (10.3.1表)

4 テラゾーブロック JIS A5411 — 仕上げの種類 ※本磨き　種石 ※大理石の類（12mm以下） ・花こう岩（6mm以下）

⑤ 金物 — ・黄銅製 ※ステンレス製

6 敷石及び階段石 JIS A5003 — ※1等品 ・2等品 ・3等品　仕上げ ・粗磨き ・水磨き ・本磨き ・ジェットバーナー仕上げ

7 テラゾータイル JIS A5414 — 種石 ※大理石の類 ・花こう岩　形状・寸法（　　）

⑧ 製作所 — 監督員の承認する製作所

11章 タイル工事

① タイルの種類

種類・名称	形状・寸法	施工箇所
磁器質 砂岩	150□	腰壁
磁器質 フレイン50	50□	床(WC)
陶器質 リベイナ	100□	内壁(WC厨房)

陶器質タイル JIS A5209

② タイル張り工法
- ⊙陶器質タイル ※密着張り ・改良積上げ張り
- ・陶器質タイル以外のタイル（小口タイル以上） ※密着張り ・改良積上げ張り
- ⊙ユニットタイル（25mmを超え小口タイル未満） ※ユニットタイル改良積上げ張り
- ・ユニットタイル（25mm以下） ※ユニットタイル圧着張り (11.1.4表)

③ 外壁の伸縮目地 — ⊙設ける（シーリング用材料は9.4.1表のC種とし、指定色着色とする） ・設けない

④ タイルの役物

内装	出隅面取り
外装	

5 型枠先付け工法 — ・タイルシート法 ・目地ます法 ・桟木法　型枠 ・A種 ※B種（6.13.2表） ・金属製タイル先付けパネル

⑥ タイルの製造所 — INAX、淡陶、ABC商会、名古屋モザイク工業等

12章 木工事

- ① 木材の含水率 — ※A種 ・B種（但し、工事現場搬入時） (12.1.1表)
- ② 造作材の等級 — ※A種 ・B種
- ③ 樹種 — ・構造材（・松 ・杉 ・ひのき ・代用樹種（　））／⊙造作材（⊙松 ⊙杉 ・ひのき ・代用樹種（米栂））／⊙下地材（⊙松、杉 ⊙松、杉の代用樹種（米栂）） (12.1.3表)
- ④ 木材の表面仕上げ — ・A種 ※B種 ・C種 (12.1.4表)
- 5 化粧ばり造作用集成材 — 等級 ※1等 ・2等 樹種（　）　仕上げ ※A種 ・B種 ・C種
- 6 造作用集成材 — 等級 ※1等 ・2等 樹種（　）
- 7 防腐処理 — JIS K2439（クレオソート油・タールピッチ・加工タール）により2回塗りとする　施工箇所（　）
- 8 防蟻処理 — ※しない ・する（　）
- 9 防虫処理 — ラワン材を使用する場合は、防虫1種処理材の規格品を使用する
- ⑩ 木材の断面寸法 — ※引出し線で部材断面が記入されている場合は、ひき立て寸法とする／※寸法線で部材寸法が記入されている場合は、仕上り寸法とする

13章 屋根及びとい工事

① 長尺亜鉛鉄板葺き
- 名称・形式（ 瓦平葺 ）
- 屋根葺き材料及び板厚（ ガルバリウム鋼板 0.4mm ）
- 特記事項（　）
- ※特記なき事項は屋根葺き工法に応じた専門業者の仕様による

2 折版葺き JIS A6541
- 名称・形式（　）
- 屋根葺き材料及び板厚（　）
- 裏打ち材料（　）
- 特記事項（　）
- ※特記なき事項は屋根葺き工法に応じた専門業者の仕様による

3 波形石綿スレート葺き
- 屋根 ・大波 ・小波 ・その他（　）
- 屋根葺き工法 ・普通 ・水密
- 壁 ・大波 ・小波 ・その他（　）

④ 特殊な屋根葺き材料 — ⊙ゆう薬洋瓦葺

5 ルーフドレン — ※鋳鉄製コンクリート打込型 ・鋳鉄製あと付け型 ・ステンレス　製造所：伊東鉄工、小島製作所、小林鋳造、第一機材、長谷川鋳工所等

⑥ 軒樋 — ・塩化ビニール ⊙プラスチック（⊙鉄芯入り ・鉄芯なし）　・亜鉛鉄板厚　mm（・着色有り ・着色なし）

7 谷樋 — ・亜鉛鉄板厚　mm（・着色有り ・着色なし）　・オリエンタルメタル芯材厚　mm ・ナショナル谷コイルS芯材厚　mm

⑧ 竪樋 — ⊙硬質塩化ビニール（※VP ・VU） ・プラスチック ・SGP ・SP ・ステンレス（SUS304）

⑨ とい受け金物 — ※ステンレス ・亜鉛めっき

10 竪樋養生管 — ・硬質塩化ビニール（VP） ・SGP ・SP ・ステンレス　地盤面からの高さ（　）

⑪ 竪樋の取合い部分 — 竪樋の床及び天井との取合い部分にはシーリングプレート（ステンレス）を取り付ける

12 屋内竪樋の結露防止 — ※する（13.4.4表）による ・しない

14章 金属工事

- ① ステンレス鋼の種類 JIS A4305 — ※オーステナイト系 ※SUS304 ・SUS316　・フェライト系 ・SUS430
- ② ステンレス鋼の仕上げの種類 — ・No.2B ・No.2D ・No.3 ・No.4 ・BA ⊙HL ・エッチング ・エンボシング ⊙鏡面（巾木） ・着色
- ③ アルミニウム及びアルミニウム合金の仕上げの種類 — ・無着色 ・A-1種 ・B-1種 ・C-1種　⊙着色 ・A-2種 ⊙B-2種 ・C-2種 ・D種 (14.2.1表)
- 4 鉄の亜鉛めっき — 種類 ・A種 ・B種 ・C種 (14.2.2表)　・溶融亜鉛めっきの種類 ・A種 ・B種 ・C種 (14.2.3表)　・電気亜鉛めっきの種類 ・A種 ・B種 ・C種 (14.2.4表)
- ⑤ 軽量鉄骨天井下地 JIS A6517 — 屋内 ※19形 ・25形 (14.4.1表)　屋外 ・19形 ※25形 (14.4.1表)
- ⑥ 軽量鉄骨壁下地 JIS A6517 — ※65形 ・90形 ⊙100形 (14.5.1表)　H≦3.7　3.7<H≦4.5　4.5≦H<5　スタッドの間隔 ⊙300（仕上げ材料の直張り又はクロス、ペンキ下地の直張り） ⊙450（下地張りの有る場合）
- 7 金属成形板張り — 材質（　） 表面仕上げ（　） 形状・寸法等（　）

15章 左官工事

- ① モルタルの調合 — ※15.3.2表による
- ② 防水モルタルの防水剤 — 商品名 ウォータイト、小野田NN、ゲルカ、シフカ、タケイ、ベストン、ロータス
- ③ 接地床の張物下モルタル — 防水モルタル塗りとする
- 4 プラスターの種類 — ・ドロマイトプラスター ・混合石膏プラスター ・ボード用石膏プラスター
- 5 ALCパネル用特殊プラスターの種類 — ・A種 ※B種 (15.5.1表)
- 6 人造石塗り — 種石の種類（　） 顔料の有無、セメントの種類（　） ・研ぎ出し ・洗い出し
- ⑦ 床の異質剤の取合い箇所 — ・ステンレス目地棒 6X12
- ⑧ モルタル表面硬化剤 — ・商品名：スクリーデックス（岡本商会）、ハードナモリタ（ABC商会）　⊙商品名：リトリン（岡本商会）

16章 建具工事

① 特記仕様 — ※別図の「16章 建具工事」（図版24）を参照の事

訂正

△0	確認通知書平成　年　月　日第　号による変更(すべての工事に優先する)
△1	
△2	
△3	
△4	
△5	

竣工図

SUZUKI　株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士（第33474号）市川昭二

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

工事設計図　意 2

特記仕様書 2

2

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代22-1011 事務所登録 88(1)第1105号 図書作成 '98.11.12

17章 塗装工事

項目	内容
① 塗料の指定	塗料は別冊建築用塗料一覧表（営繕協会編）記載の業者製品とする
② 塗料の規格	※規格品　・規格準用品
③ 木部の素地ごしらえ	17.2.1表による
④ 鉄面の素地ごしらえの種別	・A種　・B種　※C種　(17.2.2項)
5 亜鉛めっき面の素地ごしらえ	17.2.3表による
⑥ モルタル及びプラスター面の素地ごしらえの種別	・A種　※B種　(17.2.4項) 塩化ビニール樹脂エナメル塗り及びアクリル樹脂エナメル塗りの場合は適用しない
7 コンクリート、ALCパネル及び石綿セメント板面の素地ごしらえの種別	・A種　※B種　(17.2.5項)
⑧ 石こうボード及びその他のボード面の素地ごしらえの種別	・A種　※B種　(17.2.6項)
9 鉄面のさび止め塗料の種別	・A種　屋外 ・B種　屋内
⑩ 鉄面のさび止め塗料塗り	(17.3.1項) ⊙A種（見え掛り部分） ⊙B種（見え隠れ部分）　(17.3.3項)
11 亜鉛めっき面のさび止め塗料の種別	・鉛酸カルシウムさび止めペイント　(JIS K5629)　屋外、屋内 (17.3.2項)
12 亜鉛めっき面のさび止め塗料塗り	・A種（鋼製の建具） ・B種（その他）　(17.3.4項)
⑬ 調合ペイント塗り塗料種別	屋外－合成樹脂調合ペイントの2種 屋内－合成樹脂調合ペイントの1種
⑭ 調合ペイント塗り	（下表）
⑮ 合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種別	・A種　※B種　(17.5.1項)
16 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗りの種別	・A種　※B種　(17.6.1項) 下地が鉄面及び亜鉛めっき面の場合は下記による ・A種　※B種　(17.6.2項)
17 多彩模様塗料塗り	17.7.1表による（但し、木部の場合は除く） 下地が鉄面及び亜鉛めっき面の場合は下記による ※A種　・B種　(17.7.2項)
⑱ 塩化ビニール樹脂エナメル塗料塗りの種別	・A種　※B種　(17.8.1項)
19 アクリル樹脂エナメル塗料塗りの種別	・A種　※B種　(17.9.1項)
20 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種別	・A種　※B種　(17.10.1項)
21 フタル酸樹脂エナメル塗料塗りの種別	・木部　・A種　※B種　(17.11.1項) ・鉄面及び亜鉛めっき面　・A種　※B種　(17.11.2項)
22 塩化ゴム系エナメル塗料塗りの種別	・鉄面　17.12.1表による ・亜鉛めっき面　17.12.2表による
23 木部クリヤラッカー塗りの種別	・A種　※B種　(17.13.1項)
㉔ 木部ウレタン樹脂ワニス塗りの種別	・A種　※B種　(17.14.1項)
㉕ 油性ステイン塗り	17.15.1表による
26 マスチック塗装塗りの種別	・A種　・B種　※C種　(17.16.1項) 凸面処理仕上げ（A種又はC種の場合）：(　　) 仕上材塗り　・アクリル樹脂エナメル　・有光沢樹脂エマルジョンペイント
27 仕上げ塗り材の種別（吹付け仕上げ材）(15.6.1項)	・A種　(JIS A6909) ・外装薄塗材C　商品名： ・内装薄塗材C　商品名： ・外装薄塗材E　商品名： ・内装薄塗材E　商品名： ・B種　(JIS A6915) ・外装厚塗材C　商品名： ・内装厚塗材C　商品名： ・外装厚塗材E　商品名： ・内装厚塗材E　商品名： ・C種　(JIS A6910) ・複層塗材C　商品名： ・複層塗材CE　商品名： ・複層塗材E　商品名： ・複層塗材RE　商品名： ・複層塗材RS　商品名： ⊙その他　マジックコート塗（フッコー）
28 塗装下地素冷紗の種類	・合成繊維（クレモナ#100）：コンクリートブロック積みモルタル塗りペンキ下地 ・木綿（耳打のあるもの）　：合板、ボード張り内装薄塗材仕上げ下地 ・下地処理　※目止めしごきをする　・目止めしごきをしない
㉙ 塗装業者の指定	社団法人日本塗装工業会々員又は、これと同等以上の能力を有すると認められる業者とする

⑭ 調合ペイント塗り

部位＼種別	合成樹脂調合ペイント塗り	
⊙木部	17.4.1項	
⊙鉄部	17.4.2項	
・亜鉛めっき面	17.4.3項	

18章 内装工事

① 床シート・床タイル

材料名	無地・柄物	厚さ (mm)	
⊙ビニール床シート	・　・	⊙2　※2.5	JIS A570
・ゴムシート	・　・	・　・	
・クッションフロアー	・　・	・1.8　※2.3	
⊙ビニール床タイル	・　⊙	※2　⊙3	JIS A570
⊙ゴムタイル	・　・	2.5	

※接着剤は18.1.1表により床材製造所の指定するものを使用する
※接着剤は18.2.1表により床材製造所の指定するものを使用する

項目	内容
② ビニール巾木	厚さ2mm　高さ ⊙60　・75　・100
③ 合成樹脂塗り床	・弾性ウレタン系　商品名：アートフロアーNS、ベルフロアー、ダイフレックスフロアー等 ・硬質ウレタン系　商品名： ⊙エポキシ系　商品名：アートフロアーEP、カラートップエポキシ等 ・その他　商品名：
④ 岩綿吸音板	（下表） 製造所　日東紡績（・ミネラートン　・ソーラトン）、大建工業（ダイロートン）松下電工（ロッキー）等
5 繊維吸音板	・寸法　※面取り　・面無し 製造所　東洋テックス、大建工業、日本ハードボード等
⑥ 石こうボード	⊙天井　⊙石こうボード厚 9.5 ⊙化粧石こうボード厚 9.5 ・吸音石こうボード厚　穴6φ－22○　裏打材 ⊙化粧吸音石こうボード厚 9.5　穴6φ－22○　裏打材 ⊙化粧石こう天井板厚 9.5　・柾目　⊙板目　・その他 ・化粧石こう積層板厚 ⊙壁　・石こうボード厚 ・石こうジョイントボード厚 ⊙石こうVボード（クロスボード）厚 12.5 ・シージング石こうボード厚 ・無機繊維強化石こうボード厚 製造所　吉野石膏、三井東圧化学、日東石膏ボード、日本石膏ボード千代田建材工業、新東洋膏板、太平化学工業等
⑦ 合板類の張り付け工法の種別	・A種　※B種　(18.4.2項)
8 フローリング張り	樹種：　寸法：厚 下張り：
9 天然木化粧複合フローリング張りの種別	・A種　・B種　※C種　(18.5.3項) 表面材樹種：　下張り：
10 フローリングブロック張り	樹種：　寸法： 下地：
11 モザイクパーケット張り	樹種：　寸法： 裏打緩衝材：
⑫ 壁紙貼り	寒冷紗貼り総パテしごき下地　・する（　　）　⊙しない
⑬ 畳の種別	・A種　※B種　・C種　(18.7.1項)
14 じゅうたん敷き	・ウィルトンカーペット ・A種　・B種　※C種　(18.8.2項) ・タフテッドカーペット ・A種　・B種　(18.8.3項) ・ニードルパンチカーペット　厚5mm　ラバー（・有　・無） 商品名：O.I.C、タフロック、パイザル、ナイロック、シンエツカーペット等 ・下敷き　・黄麻フェルト厚8mm2回刺し　・無し ・(

④ 岩綿吸音板

寸法 (mm)	面無し・面取り	捨て張り材	特記
#9 トラバーチン	※　・	石膏ボード厚9mm	
	※　・		
	※　・		

19章 舗装工事

項目	内容
1 路床土の支持力比試験	・する　※しない　※路床厚　mm
2 路盤材料の種別	※砕石　・鉄鋼スラグ　・切込み砂利　※厚　mm　(19.3.1項)
3 路盤の支持力係数試験	・コンクリート舗装の場合　$K_{30} \geq 8$kg/cm³ ・アスファルト舗装の場合　$K_{30} \geq 16$kg/cm³ ※試験をしない
4-1 コンクリート舗装	・コンクート曲げ強度　35kg/cm²　・スランプ　8cm以下 ・水セメント比　60°/wt 施工場所：
4-2 路盤紙	※ポリエチレンフィルム厚0.15mm　・ターポリン紙 ・クラフト紙 (MS-81、84)
4-3 目地	※アスファルト目地板（エラスタイト）厚10mm　・木製板（杉）厚10mm ・設けない（但し、建築物の周囲は目地板で絶縁する） 目地間隔：
5 アスファルト舗装	仕上げ厚さ　・表層　mm　・基層　mm 施工場所：
6 特殊舗装	・カラーアスファルト舗装　※赤茶色　・黄土色 ・コンクリート平板舗装　※300X300X60　・330X330X60 目地（　　） ・インターロッキングブロック舗装 ・舗石　石の種類・寸法（　　） ・透水性舗装
7 街きょ、縁石及び側溝	・U形側溝　JIS A5305 ・U形側溝ふた　JIS A5334 ・縁石　JIS A5307 ・L形側溝　JIS A5306

20章 排水工事

項目	内容
1 会所桝	・市販品会所桝 ・現場打ちコンクリート桝（詳細図参照）
2 桝ふた	・コンクリート　・マンホール　・鉄板　・グレーチング
3 排水溝	・U形側溝　・コンクリートフリューム（・U形　・半丸形） ・L形側溝　・現場打ちコンクリート側溝
4 溝ふた	・コンクリート　・鉄板　・グレーチング
5 排水管	・遠心力鉄筋コンクリート管　・鉄筋コンクリート管　・鋼管 ・硬質塩化ビニール管（VP）　・陶管（並管）

21章 植栽工事

項目	内容
1 植栽	
2 芝張り・吹付けは種その他	・芝（・こうらいしば　・野芝の類）　工法： ・りゅうのひげ ・ささ類 ・吹付けは種用種子（※洋芝

22章 雑工事

項目	内容
① 天井見切縁	・プラスチック　・ビニール　・アルミ合金　・ステンレス　・スチール　・木
② コーナービード	・プラスチック　・ビニール　・アルミ合金　・ステンレス　・スチール　・木
③ 階段ノンスリップ	⊙ステンレス製　・黄銅製　・アルミ合金　・ビニール製　・磁器タイル製 ・ビニールタイヤ（　）本　・ビニールタイヤなし　・その他 ⊙エンドマッチ加工（・有　⊙無） ⊙取付方法（⊙アンカー式　・接着式） 参考品名：ナカ工業　ハイステップアート
④ 改め口	天井　※アルミ合金製（寸法・箇所数：450□ 天井 ・その他（ 床　・アルミ合金製　・ステンレス枠アルミ合金製　⊙ステンレス製 ・黄銅製　・鋼製　・その他（ 寸法・箇所数：600□×2ケ 製作所　ナカ工業、ダイケン工業、岩崎電工、日本ピット工業等
⑤ 室名札	ピクトサイン 250□ ~~※寸法 100×240~~　⊙正面型　1 箇所　⊙側面型　2 箇所 ・寸法：200□　⊙正面型　4 箇所　・側面型　箇所 ⊙切り文字貼り付け　1文字寸法：40　(40) 文字 材料：カッティングシート ・ペンキで書入れ　1文字寸法：　(　) 文字
6 案内板	材質： 寸法：
⑦ 鍵札	各個の鍵札　※プラスチック　・木板　・金属板（　） 集合鍵札　・プラスチック　・木板　・金属板（　） ・板状　※箱状（キーボックス）　20　個用
8 カーテンのひだ	・A種　・B種　・C種　(22.3.1項)
⑨ カーテンの防炎処理	防炎処理品を（⊙使用する　・使用しなくてもよい）
10 カーテンレール	※ステンレス　・アルミ合金 ※ダブルレール　・シングルレール

訂正

△0	確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）
△1	
△2	
△3	
△4	

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築
工事設計図　(標) 3
特記仕様書 3

SUZUKI
株式会社 鈴木工務店　一級建築士事務所　一級建築士(第334749)　市川昭二

3

11 よこ型ブラインド
操作形式 ・ギヤー式 ■コード式
スラットの材質 ■アルミ合金 ・鋼
スラットの形状 ■C 形 ・S 形
スラットの幅 ・50 ■35 ・25
製作所 立川ブラインド、ニチベイ、佐々木ブラインド等

12 たて型ブラインド
操作形式 ■手動 ・電動
ルーバーの材質 ■アルミルーバー ・クロスルーバー（
ルーバーの幅 ■100 ・75（80）
防炎処理品を（・使用する ・使用しなくてもよい）
製作所 立川ブラインド、ニチベイ等

13 スライディングウォール
表面仕上 ：
下地パネル：
製作所 立川ブラインド、ニチベイ、佐々木ブラインド等

⑭ アコーディオンドア
表面仕上 ： ヤマナミマーⅢ ベーシック同等 カーブレール ロック機能
製作所 立川ブラインド、ニチベイ、佐々木ブラインド等

15 可動間仕切
形式 ・柱 式 ・パネル式 ・ついたて式
柱 ・スチール ・アルミ ・木
パネル ・スチール ・アルミ ・木 ・その他（
参考品名：
製作所 イトーキ、コマニー、ニチベイ、日本ファイリング、パンポー、三菱樹脂等

⑯ 流し台 ⊙市販品 ・BL部品 ・造り付け

⑰ 調理台 ⊙市販品 ・BL部品 ・造り付け

⑱ コンロ台 ⊙市販品 ・BL部品 ・造り付け

⑲ ガスレンジ ⊙市販品（・都市ガス ⊙LPG） ・BL部品

⑳ ガステーブル ⊙市販品（・都市ガス ⊙LPG） ・BL部品

㉑ 吊り戸棚 ⊙市販品 ・BL部品 ・造り付け
製作所 サンウェーブ、タカラ、ナス、トーヨー、ナショナル、クリナップ等

㉒ フード ・市販品 ⊙ステンレス製 ・鋼製

23 タオル掛け ・ステンレス製 ・プラスチック製 ・その他（ ）
箇所数：

㉔ 鏡
JIS R3202 の規格品 厚 ■5㎜ ・ ㎜
着色 ⊙無 ・有（ ）
枠 ・無 ⊙有（ ）

25 黒板
材質 ・木 ・スチール ・スチールホーロー
色 ■緑 ・黒 ・白
枠 ・木 ■アルミ合金
チョークボックス ■アルミ合金 ・スチール ・プラスチック
形状（寸法・個数等）
・平面 （ ）
・曲面 （ ）
・上げ下げ （ ）
・引き分け （ ）
・スライダー（ ）
・行事 （ ）
・移動式 （ ）
製作所 金剛黒板、アオイ黒板、アサヒ等

㉖ 掲示板 ・ナイロンスポンジシート ⊙掲示板用発泡ビニールシート

㉗ 造り付け家具等
⊙ 靴台
⊙ レジ台
⊙ カウンター
~~⊙ ゴミ置場~~

28 既製品家具等

29 郵便受 ・市販品 ・集合郵便受（ 戸用 個） ・造り付け

30 靴拭きマット
枠 ■ステンレス ・黄銅 ・アルミ合金
マット ■塩化ビニール ・ゴム ・アルミ合金 ・ステンレス
排水 ■設ける（目皿及びVP50φ） ・設けない
参考品名：

31 屋上点検ハッチ ■市販品点検ハッチ（鋼製亜鉛めっき） ・マンホール
寸法： 設置場所：

㉜ 固定式タラップ ■ステンレス ・鋼（亜鉛めっき） ・アルミ合金
設置場所： ピット内

33 鋳鉄製マンホール ・並型 ・防臭型 ・防水型 ・水槽用（鍵付き）
・軽荷重用 ・中荷重用 ・重荷重用
製作所 第一機材、長谷川鋳工所、伊藤鉄工所、小島製作所、小林鋳造所等

34 ベンチレーター

㉟ 天井裏換気口 ・プラスチック ・ステンレス ・鋼 ⊙アルミ合金 ・陶器
■延焼のおそれの有る部分は陶器製とする
防虫網（ SUS ） 寸法： φ800

36 床下換気口 ・鋳鉄製 ・鋼製 ・プラスチック製
防虫網（ ） 寸法：

㊲ 換気扇取付枠

	寸法（換気扇呼称寸法）、箇所数等
・ステンレス製	
・鋼製	
・サッシ組込み	建具表参照
・木製	
⊙市販製	

38 旗さお金物 ■ステンレス ・黄銅（ホワイトブロンズ） 箇所
39 旗さお ■アルミ合金製 ・鋼製 ・ステンレス製
長さ及び本数：
商品名 サンポール、昭和フラッグポール、スミポール、コニポール等

40 丸環 ■ステンレス製 ・鋼製

41 脚立 アルミ合金製 高さ：

42 鋼製棚

43 焼却炉 製作所：インシナー、大東三進、ムギタ、矢崎総業等
参考品名・台数：

44 屋外掲示板（ポスターケース） ■ステンレス製 ・アルミ合金製 ・鋼製
参考品名・台数：

45 ポリエチレンフィルムシート 1階土間又は床板下に ■施工する ・施工しない
製作所 田島応用加工（土間シート厚0.15㎜）

㊻ 屋根下断熱材 ・フォームポリスチレン板厚 ・木毛セメント板厚
⊙その他（ 発泡ウレタン⑦50

47 上記以外の断熱材

48 階数表示

㊾ 銘板 ・黄銅 ・ブロンズ ・ステンレス ・アルミ ・鉄
⊙切文字 ・貼文字 ・鋳物
1文字の寸法： 200φ×20t カッティングシート貼 文字数： 16文字程度

㊿ 定礎板 ⊙花こう岩 ・大理石
寸法： 400×300 程度

51 砂利敷きの種別 ・A 種 ・B 種 (22.5.1①)

52 敷地境界石標 ・A 種 ・B 種 (22.7.1①)

53 消火器 ■ABC粉末 ・ABC強化液 ・その他（
容量・本数： ABC10型×3本 スタンド付 ABC20型 1本 ボックス付
取付箇所 ：

54 避難器具等 名称・設置階・個数：

55 建物賃金表示板 材質・寸法・文字数等：

工事区分

	項目	建築	電気	給排水衛生	空調	備考
⊙	点検口、点検用ハッチ（天井・壁・床）の納入取付け及び開口補強	■	・	・	・	
⊙	天井埋込み照明器具・スピーカー・換気扇等の取付け切込み及び開口補強	■	・	・	・	
⊙	機械器具取付け用穴明け（壁・床）及び開口補強	■	・	・	・	
⊙	換気扇の納入取付け	・	・	・	■	
	換気扇取付け枠の納入取付け	■	・	・	・	天井換気扇を除く
⊙	梁貫通スリーブ	■	・	・	・	100φ未満各設備工事
	梁・壁・床等の貫通箇所の補強	■	・	・	・	
⊙	ルーフドレン・たて樋及び第一会所桝までの雨水排水	■	・	・	・	以降は給排水衛生設備工事
・	防火戸・シャッター用の煙感知器の納入取付け	・	■	・	・	
	上記の為の配管配線及び連動制御盤	・	■	・	・	
⊙	空調設備の機械基礎	・	・	・	■	
・	受水槽・高架水槽の基礎	・	・	■	・	
・	キュービクルの機械基礎	・	■	・	・	
⊙	建築設備に直接関係のない機械基礎	■	・	・	・	・別途工事
⊙	流し台の納入取付け	■	・	・	・	
	上記への配管接続	・	・	■	・	
⊙	衛生器具等の納入取付け	・	・	■	・	
	上記の取付け穴明け及び開口補強	■	・	・	・	
⊙	空調機の操作盤（室内～室外及び室内～室内）の配管配線	・	・	・	■	
・	し尿浄化槽の躯体工事及び防水工事	■	・	・	・	
	〃 の内部工事及びマンホール	・	・	■	・	
	〃 の動力用電気工事	・	・	・	・	操作盤は 工事
⊙	便所等の配管用ピット	■	・	・	・	
・	エレベーター・リフト等の受電以降の電気の配管配線工事	■	・	・	・	
・	揚水ポンプ・消火用ポンプ等の動力操作盤	・	・	■	・	
・	水槽類の電極スイッチの納入取付け及び配管配線工事	・	■	・	・	
	水槽類の警報設備及び配管配線工事	・	■	・	・	
・	消火栓ボックスの納入取付け	・	・	■	・	
	〃 への給水管接続	・	・	■	・	
	〃 への電気配管配線工事	・	■	・	・	

訂正		
0	確認通知書平成 年 月 日第 号による変更（すべての工事に優先する）	
1		
2		
3		
4		
5		

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築
工事設計図 ㊞ 4
特記仕様書 4
SUZUKI 株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士 市川昭二
4

H. 7. 3. 3,000

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代22−1011 事務所登録 93(1)第1105号 図書作成 '98.11.1

建物概要

	用途	店舗、飲食店	地域／地区	都市計画区域外 (400/70)
○	構造		鉄骨造 2階建	
○	居室の採光	(令第19条)	居室の床面積の1/20以上採光上有効な開口部を設ける	
○	居室の換気	(令第20条の2)	居室の床面積の1/20以上換気上有効な開口部を設ける	
○	長屋又は共同住宅の界壁の遮音構造 建築物の界壁、間仕切壁、及び隔壁	(令第22条の2) (令第114条)	該当しない。	
○	便所	(令第28条~35条)	水洗 下水道放流	
○	廊下の幅	(令第119条)	売場の主要避難通路の巾を1600以上、補助避難通路の巾を1200以上確保する。	
○	階段	(令第23条~27条)	階段幅 1240>750、けあげ 188.2<220、踏面 270>210	
	2以上の直通階段	(令第121条 項)	該当しない。	
	防火区画	(令第112条 項)	該当しない。	
○	排煙設備	(令第126条の2)	該当しない。 居室の床面積の1/50以上排煙上有効な開口部を設ける。	
○	非常用の照明装置	(令第126条の4)	居室、通路に設置	
	非常用の進入口	(令第126条の6)	該当しない。	
○	内装制限	(令第128条の4) (令第114条)	≧200㎡より、難燃以上(居室)、準不燃以上(廊下、通路) 火気使用室(厨房)は準不燃材料以上で仕上げる。	
○	防火対象の用途 収容人員		3項ロ 4項 飲食店、店舗 144.87㎡/4=37人、53.52㎡/3=18人、従業者3人、合計58人	
○	消防法無窓階	(消規第5条の2)	床面積の1/30以上消防活動上有効な開口部を設けて、無窓階としない。	
○	カーテン敷物防炎処理	(消規第4条の4)	防炎処理品を使用する	
○	消火器具	(消令第10条)	必要 1F 304.74㎡/100㎡=4.0単位 かつ歩行距離20m以内に設置 ABC10型を2ヶ所設置 2F 1ヶ所設置(別にプロパン庫はABC10型を1ヶ所設置する)	
	屋内消火栓	(消令第11条)	不要	
	スプリンクラー設備	(消令第12条)	不要	
○	自動火災報知設備	(消令第21条)	設置	
	漏電火災警報器	(消令第22条)	不要	
	非常警報設備	(消令第24条)	自火報設置につき不要	
	避難器具	(消令第25条)	不要	
○	誘導灯及び誘導標識	(消令第26条)	設置	
	連結送水管	(消令第29条)	設置しない。	
	ボイラー	(消令第10条)	設置しない。	
	地下オイルタンク		設置しない。	
	煙突		設置しない。	
	変電設備／電気室		設置しない。	
○	火気上の吊戸棚		火気より上方100cm、側方15cmは不燃材料で仕上げ、 吊戸棚は、上方80cm以上保つ。ガスコックはコンロ天端より下方に設ける。	
	パイプダクト		設置しない。	
○	屋外への出口の幅の合計		1F床面積304.74㎡ 60cm*3.048=182.88cm以上とする。	

外部仕上表

屋根	(2階屋根) 構造用合板⑦15(1類)+ゴムアスシート⑦1.2+ ゆう薬洋瓦(石州防災S型洋瓦同等品)葺 一部雪止め瓦 発泡ウレタン⑦50 (難燃2級) (1階屋根) 構造用合板⑦15(1類)+ゴムアスシート⑦1.2+ カラーGL(ガルバリウム)鋼板⑦0.4立平葺 SUS雪止 発泡ウレタン⑦50 (難燃2級)
外壁	構造用合板⑦12(1類)+アスファルトフェルト20kg+ラスモルタル金こて押え(目地切) 計⑦35+ マジックコート塗(フッコー:れんくずし) 発泡ウレタン⑦50 (難燃2級) 腰 RC下地+磁器質150角タイル貼(INAX:砂岩タイル)
巾木	腰と同じ
開口部	アルミサッシ
軒天井	ケイカル板⑦6底目地貼VP 鼻板:カラーGL鋼板⑦1.2 2階部分は外壁仕上
樋	軒樋:ルーフィット15X(三菱樹脂) SUS吊金具@450、自在ドレン 軒先水切 竪樋:VP100(ホワイト),SUSつかみ金物@1000
犬走り	CON直押 ~~こて目地切~~
庇	
外構	

内部仕上表

階	室名	床高	床	巾木	腰／壁	見切縁	天井	備考
1	店舗	±0	CON直押 カラートップDL⑦1.5TF工法 (ABC商会)	ビニール60	Mバー下地 PB⑦12.5 AEP 不燃第1003号 腰 PB⑦12.5GL AEP 基材同等第0001号	塩ビ 底目	PB⑦9.5 AEP 不燃第1003号 基材同等第0001号	表台、ミニキッチン アコーディオンドア
	食堂	±0	CON直押 フロアータイル⑦3貼 (サンゲツ:タバック・ナチュール)	杉 OS ⑦24*100	Mバー下地 PB⑦12.5 無機質壁紙貼(AA)不燃第1003号 腰 杉板⑦12相欠ぎ目透かし貼り OS 壁装材料第0005号	同上	PB⑦9.5+RW吸音板⑦9 不燃第1021号 一部 PB⑦9.5 AEP 不燃第1003号	カーテンボックス、カウンター、レジ台 ロールカーテン(ニチベイ:Bシリーズナチュラル)
	風除	±0	同上	SUS縁面 H=60	Mバー下地 PB⑦12.5 ~~AEP~~ VP 不燃第1003号 基材同等第0001号	同上	PB⑦9.5+RW吸音板⑦9 不燃第1021号 CH=2200 不燃第1003号	
	事務室	±0	CON直押 長尺塩ビシート⑦2.5貼 (東リ:フロアリューム プレーン)	ビニール60	Mバー下地 PB⑦12.5 AEP 不燃第1003号 腰 PB⑦12.5GL AEP 基材同等第0001号	塩ビ	化粧吸音PB⑦9.5(不燃裏打) 準不燃第2014号 CH=2400	カーテンボックス ロールカーテン(ニチベイ:Bシリーズプレーン)
	バックルーム	±0	CON直押 リトリン処理	同上	同上	同上	化粧PB⑦9 不燃 第1007号 CH=2400	■
	通路	±0	CON直押 カラートップDL⑦1.5TF工法	同上	M金コテ 無機質壁紙貼(AA) 壁装材料第0005号	同上	同上 CH=2400	
	WC(男)	-10~-30	M下地 磁器質50角タイル貼 (INAX:プレイン50)耐摩耗	→	M塗り100角タイル貼 (INAX:リベイナ100角 耐摩耗) Mバー 耐水PB⑦12.5下地 100角タイル貼 (外回り)	同上	ケイカル板⑦6底目地貼 VP 不燃第1001号 基材同等第0001号 CH=2400	トイレブース、マーブライトカウンター
	WC(女)	-10~-30	同上	→	同上	同上	同上 CH=2400	トイレブース、マーブライトカウンター
	WC(身障者)	±0	同上	→	同上	同上	同上 CH=2400	
	厨房	-70~-100	CON直押 防滑性ビニル床シート⑦2.0 (東リ:NS400)	← H=100	同上	同上	同上 CH=2600	厨房機器、吊戸棚
	階段		M金コテ ゴムタイル⑦2.5 けこみSOP (ニチマン:ハイステップタイルPタイプ)	SOP	Mバー下地 PB⑦12.5 AEP 不燃第1003号 基材同等第0001号	塩ビ 底目	PB⑦9.5 AEP 不燃第1003号 基材同等第0001号	手摺SUSノンスリップ
2	会議室	+200	木造転ばし床組 ~~タイルカーペット~~⑦55	畳寄	Mバー下地 PB⑦12.5 無機質壁紙貼(AA)不燃第1003号 壁装材料第0005号	杉 H=40	和風化粧PB⑦9.5 不燃 第1007号 CH=2600	カーテン当り ロールカーテン(ニチベイ:Bシリーズ ジャパネスク)
	休憩室	+200	同上	同上	同上	同上	同上 CH=2400	カーテン当り ロールカーテン(ニチベイ:Bシリーズ ジャパネスク)
	廊下	±0	CON直押 長尺塩ビシート⑦2.5貼 (東リ:フロアリューム プレーン)	ビニール60	Mバー下地 PB⑦12.5 AEP 不燃第1003号 基材同等第0001号	塩ビ 底目	PB⑦9.5 AEP 不燃第1003号 基材同等第0001号 CH=2400	
	押入	+200	木造転ばし床組 シナ合板(1類)⑦4 +ラワン合板(1類)⑦5.5	雑巾摺	ラワン合板(1類)⑦5.5	杉	ラワン合板(1類)⑦5.5	
	便所	±0	CON直押 長尺塩ビシート⑦2.5貼 (東リ:フロアリューム プレーン)	ビニール60	Mバー下地 PB⑦12.5 無機質壁紙貼(AA)不燃第1003号 壁装材料第0005号	塩ビ	化粧PB⑦9 不燃 第1007号 CH=2200	

訂正 確認通知書平成 年 月 日第 号による変更(すべての工事に優先する)

注)
・RC腰壁の内側は、発泡ウレタン⑦20吹付とし、各仕上。(タイル貼部分は除く)
・Mバーは、外壁胴ぶち上とする。
・天井下地は、軽天下地。間仕切下地は、CBを除きLGSとする。
・メーカー参考品番は、同等品以上とする。
・サッシ廻り、幕板取合部、水切廻りは、シーリング。
・壁の柱型見切部はジョイナーとする。

竣工図

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業 産地形成促進施設 新築

工事設計図 意 5

建物概要・仕上表

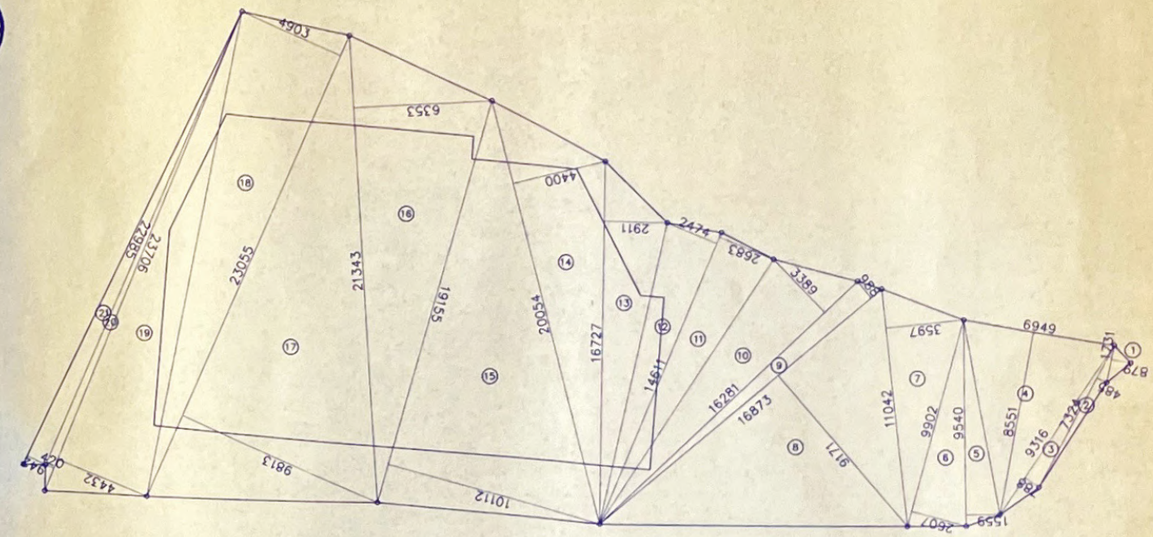
株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 市川昭二

5

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代 22-1011 事務所登録 93(1)第1105号 図面作成 98.11.11

申請地：神石郡油木町大字油木乙1983−2

付近見取図



番号	横	縦	倍面積	面積
①	1.731	0.879	1.521	
②	7.324	0.485	3.552	
③	9.316	0.788	7.341	
④	6.949	8.551	59.42	
⑤	9.540	1.559	14.872	
⑥	9.902	2.607	25.814	
⑦	11.042	3.597	39.718	
⑧	16.873	9.171	154.742	
⑨	16.873	0.988	16.67	
⑩	16.281	3.389	55.176	
⑪	14.611	2.683	39.201	
⑫	14.611	2.683	39.201	
⑬	16.727	2.911	48.692	
⑭	20.054	4.400	88.237	
⑮	19.155	10.112	193.695	
⑯	21.343	6.353	135.592	
⑰	23.055	9.813	226.238	
⑱	23.055	4.903	113.038	
⑲	23.706	4.432	105.064	
⑳	23.706	0.420	9.956	
㉑	22.985	0.942	21.651	
計			1399.391	699.69

敷地求積図 1/200

訂正 概算通知書平成 年 月 日第 号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

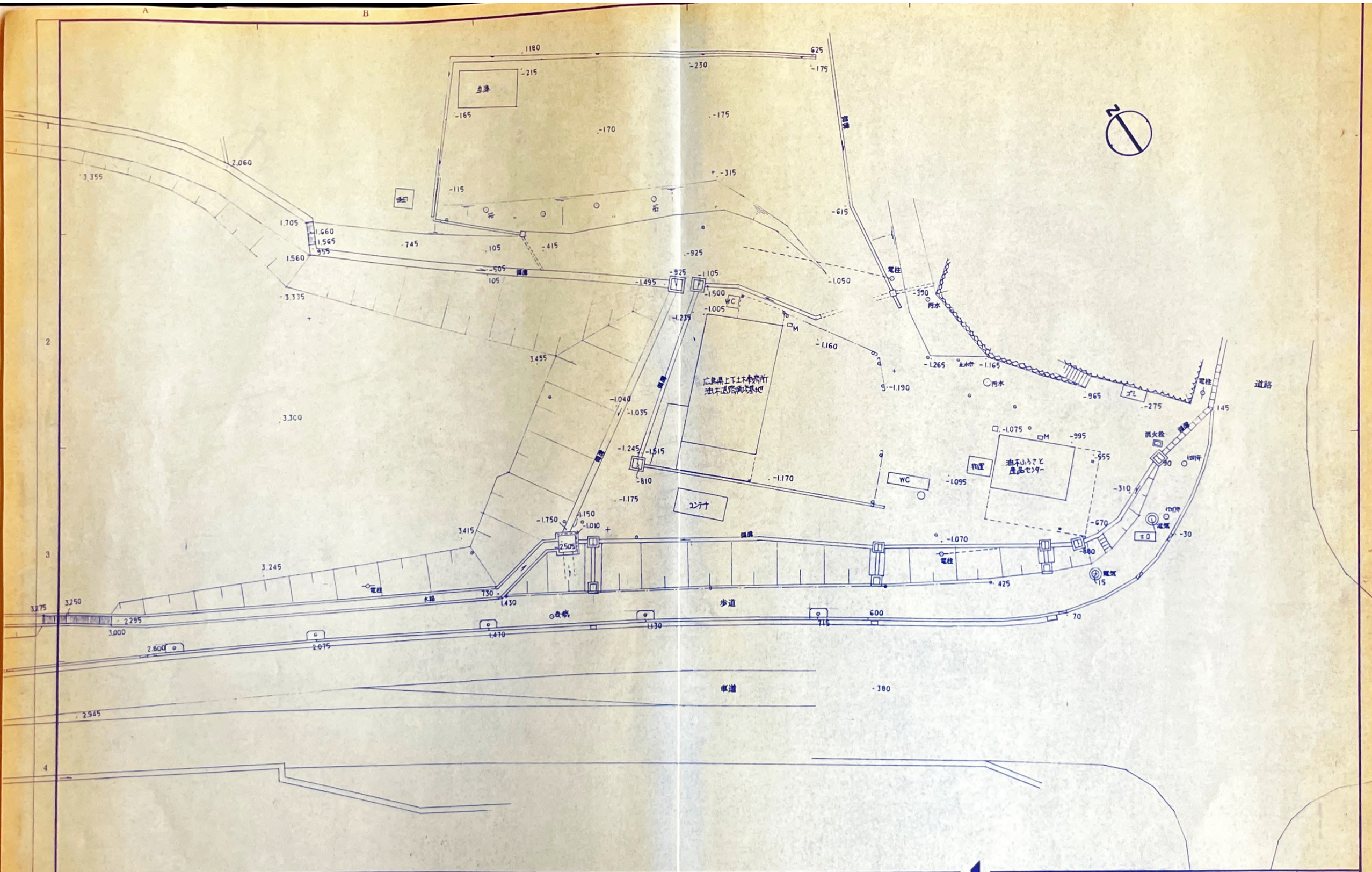
工事設計図 意 6

付近見取図・敷地求積図

6

SUZUKI 株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士（第334744） 市川昭二

98.10.20



訂正	0 確認通知書平成 年 月 日第 号による変更(すべての工事に優先する)	
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	

竣工図

'98.7.10
7.14 実測

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

工事設計図 意 7

敷地測量図

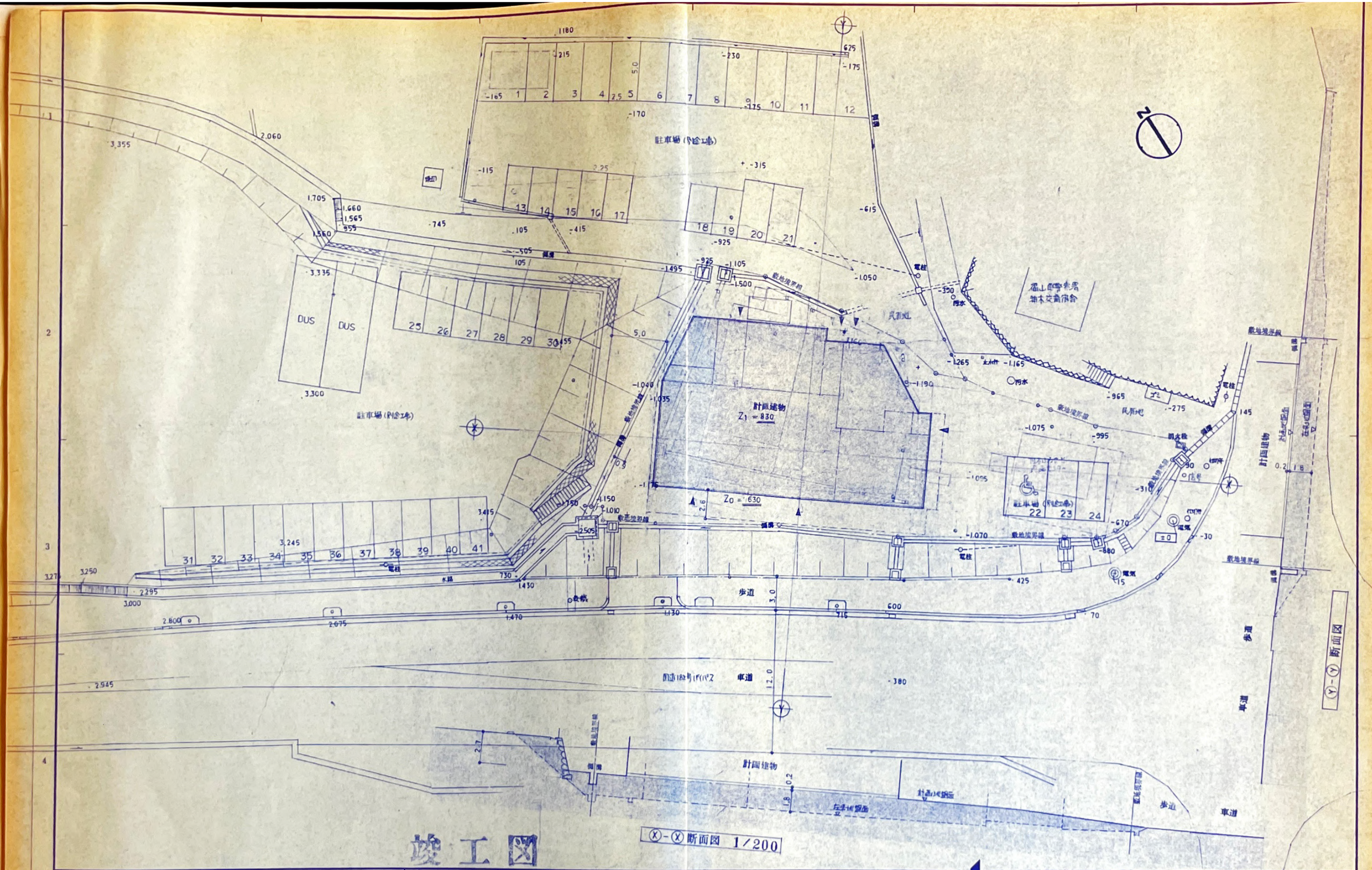
1/200

7

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士(第33474号) 市川 昭二

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) (代)22-1011 事務所登録 93(1)第1105号 図書作成 '98.11.12

H. 9. 7. 3.000



訂正	確認通知書平成　年　月　日第　号による変更(すべての工事に優先する)
0	
1	
2	
3	
4	
5	

註) ・基準点 ±0より +150までは盛土(仕上面)とし 建物外廊側より両側に盛土する建築工事(本工事)外側は土木工事(別途工事にする)
・1F床は +850とし 200上り
・~~建築物周囲の建物散水は別途工事とし その コンクリート浸透桝(約5ヵ所)は本工事~~ } 計画に変更する
・~~テラコッタアスファルト舗装の表層形成(約1710㎡)は本工事~~

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

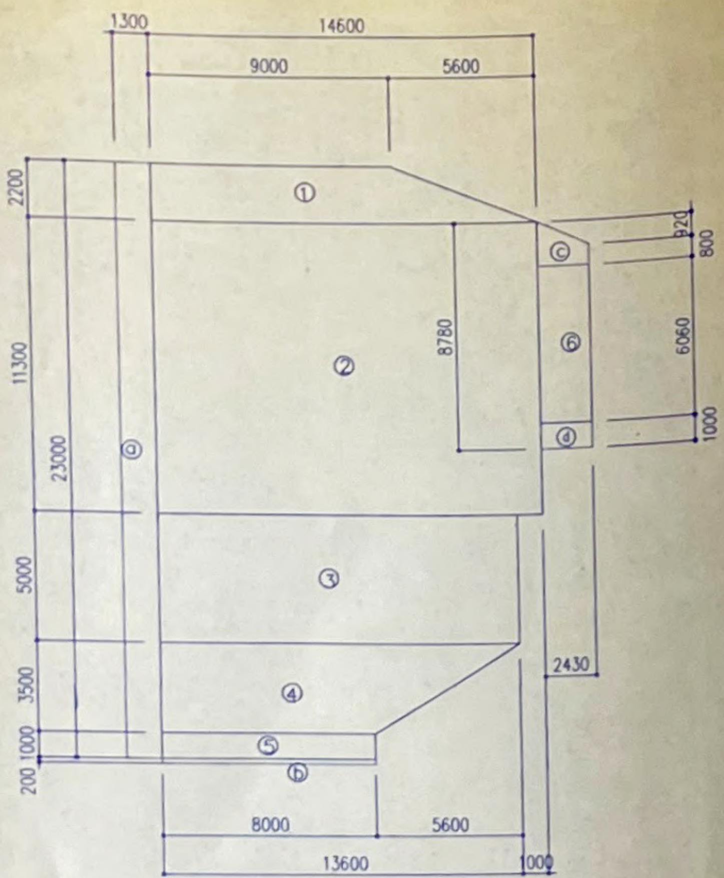
工事設計図	第 8
配置図	1/200

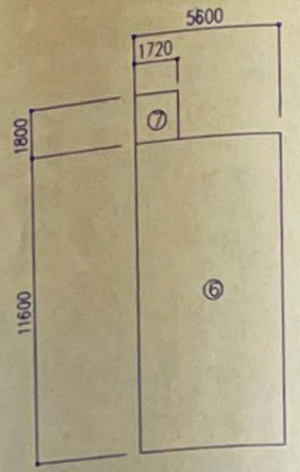
8

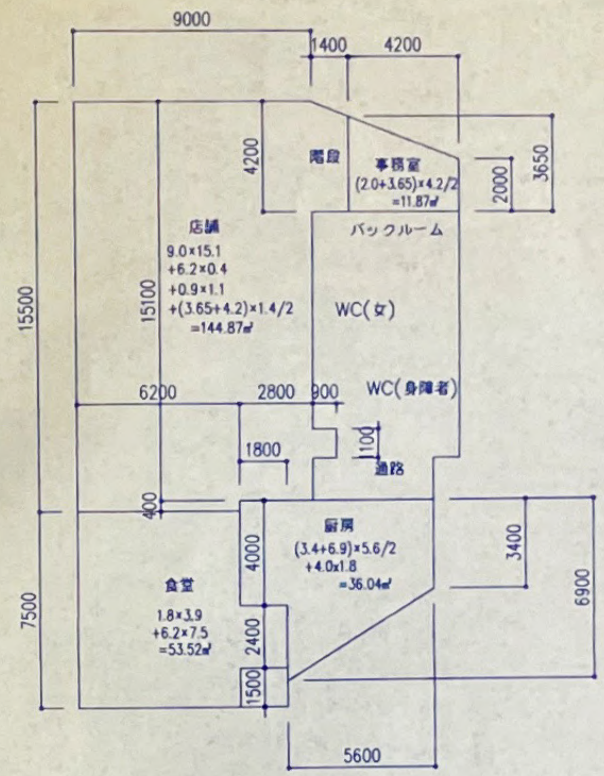
株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士(第33474号) 市川昭二

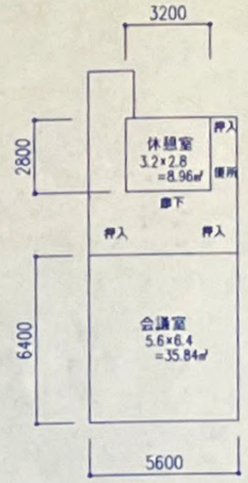
福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代22-1011 事務所登録 93(1)第1105号 図書作成 H.7.25

B. 9. 7. 2,000









面積表

		横		縦		面積	
1階	①	9.00	+ 14.60	2.20	÷2	25.96	
	②	14.60		11.30		164.98	
	③	13.60		5.00		68.00	
	④	13.60	+ 8.00	3.50	÷2	37.80	
	⑤	8.00		1.00		8.00	
	⑥	2.43		6.06		14.72	
						319.46	…A
2階	⑥	5.60		11.60		64.96	
	⑦	1.72		1.80		3.09	
						68.05	…B
床面積						387.51	…C
	a	1.30		23.00		29.90	
	b	8.00		0.20		1.60	
	c	0.80	+ 1.72	2.43	÷2	3.06	
	d	1.00		2.43		2.43	
				小計		36.99	…D
容積対象床面積					C=	387.51	
建築面積					A+D=	356.45	

換気 排煙チェック表

室名	居室面積	換気必要 1/20	有効建具	換気有効 横	縦	面積	判定	排煙必要 1/50	有効建具	排煙有効 横	縦	面積		
店舗	144.87	7.24	AS-1	6.565	2.585	16.97		2.90	AS-1	6.565	0.485	3.18		CH2.100以上有効
			AS-2	6.565	2.585	16.97			AS-2	6.565	0.485	3.18		
					計	33.94	OK					6.36	OK	
事務室	11.87	0.59	AW-3	0.850	1.150	0.97	OK	0.24	AW-3	0.850	0.600	0.51	OK	
食堂	53.52	2.67	AW-1	0.850	1.600	1.36	OK	1.07	AW-12	0.850	0.600	0.51	OK	天井から800有効
					×7	9.52					×7	3.57		
厨房	36.04	1.80	AD-2	1.100	2.200	2.42		0.72	AD-2	1.100	~~0.400~~ 0.3	~~0.44~~	0.33	
			AW-13	0.800	1.200	0.96			AW-13	0.800	~~0.700~~ 0.6	~~0.56~~	0.48	
					計	3.38	OK				0.81	~~1.00~~	OK	⚠
休憩室	8.96	0.44	AW-5	0.850	1.200	1.02	OK	0.17	AW-5	0.850	0.600	0.51	OK	
会議室	35.84	1.79	AW-7	1.700	1.400	2.38		0.71	AW-7	1.700	0.400	0.68		
			AW-8	0.800	1.100				AW-8	0.8	0.5			
					×3	2.64					×3	1.2		
					計	5.02	OK					1.88	OK	

消防法上無窓階

階	床面積	必要開口面積	有効建具	W	H	S		判定
1階	304.740	10.158	AS-1	6.565	2.585	16.971		
			AS-2	6.565	2.585	16.971		
			AW-2	1.700	1.600			
					×7	19.040		
				1.340	1.600	2.144		
				1.635	2.400	3.924		
					計	25.108		
						合計	59.049	OK
2階	68.050	2.268	AW-7	1.700	1.400			
					×2	4.760		
				0.850	1.400	1.190		
						合計	5.950	OK

訂正 △ 確認通知書平成10年12月4日第000006号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

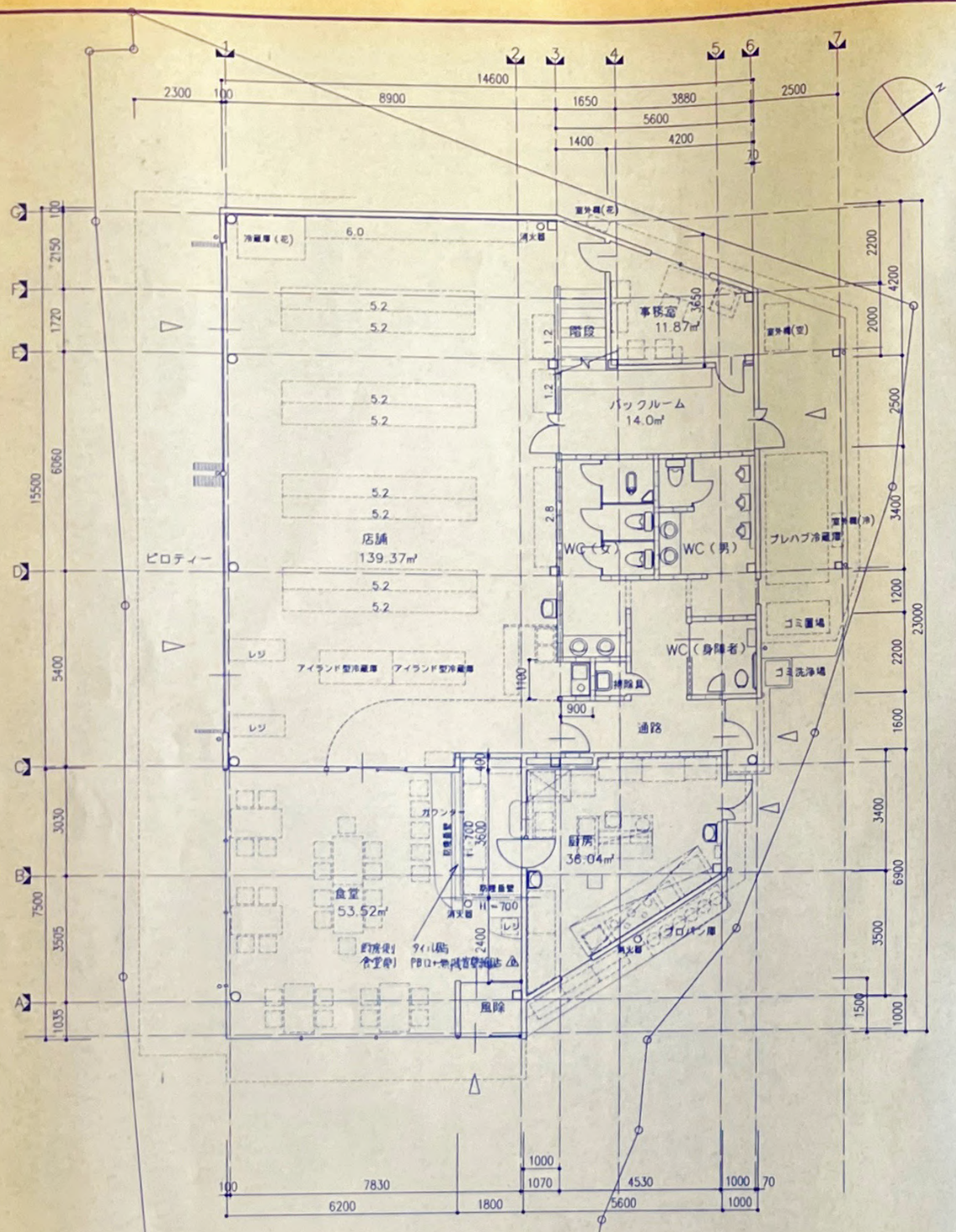
工事設計図 ㊞ 9

面積表・法規チェック表

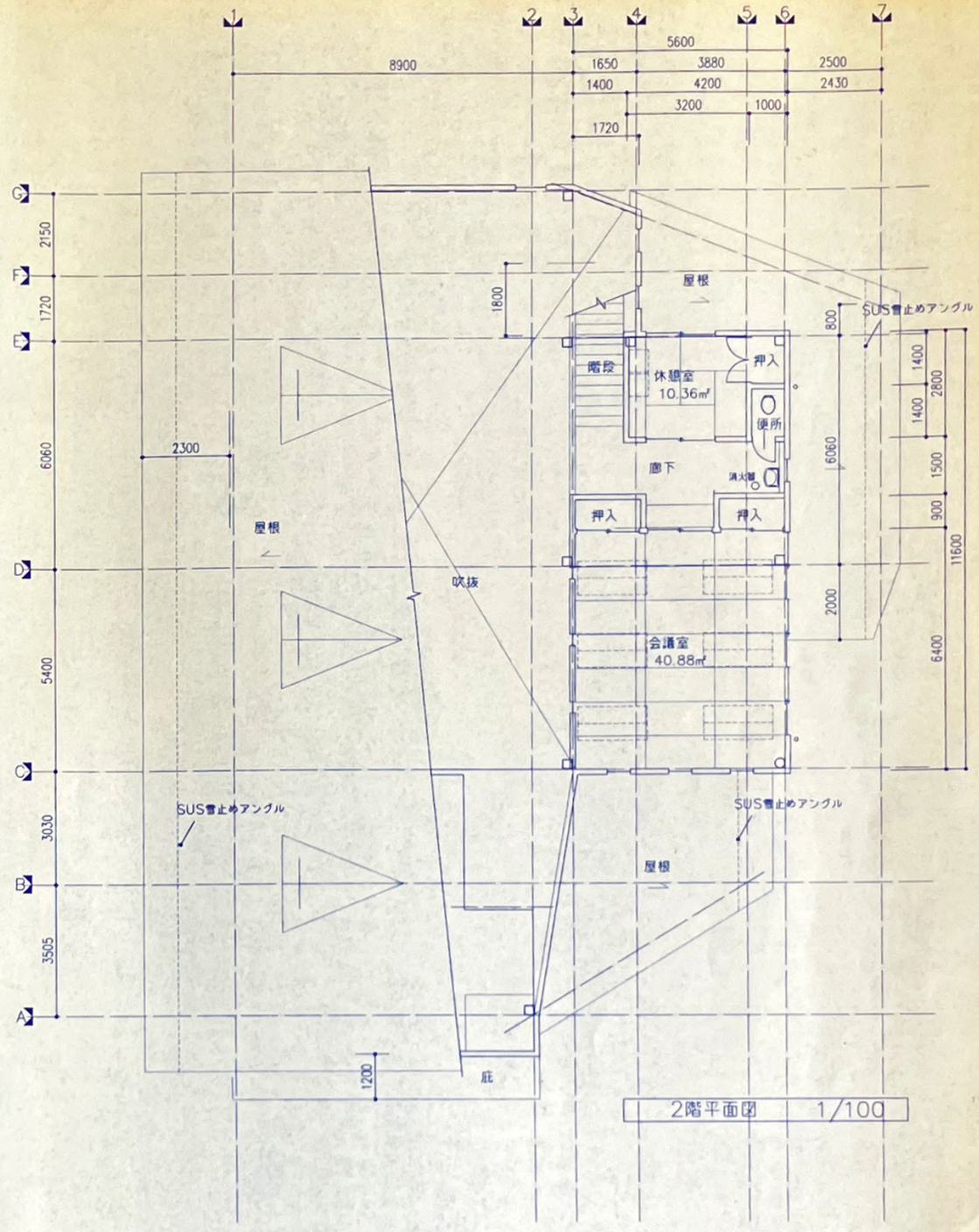
SUZUKI 株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 市川昭二 池田

9

981003



1階平面図　1/100



2階平面図　1/100

1階床面積
23.0*14.6=335.8
−2.2*5.6*1/2=−6.16
−1.0*6.6=−6.6
−8.5*1.0=−8.5
−3.5*5.6*1/2=−9.8
304.74㎡

2階床面積
11.6*5.6=64.96
1.8*1.72=3.096
10
68.06㎡

延床面積
372.80㎡

訂正
確認通知書平成10年12月14日第[illegible]号による変更（すべての工事に優先する）
000686

竣工図

変更後図面

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

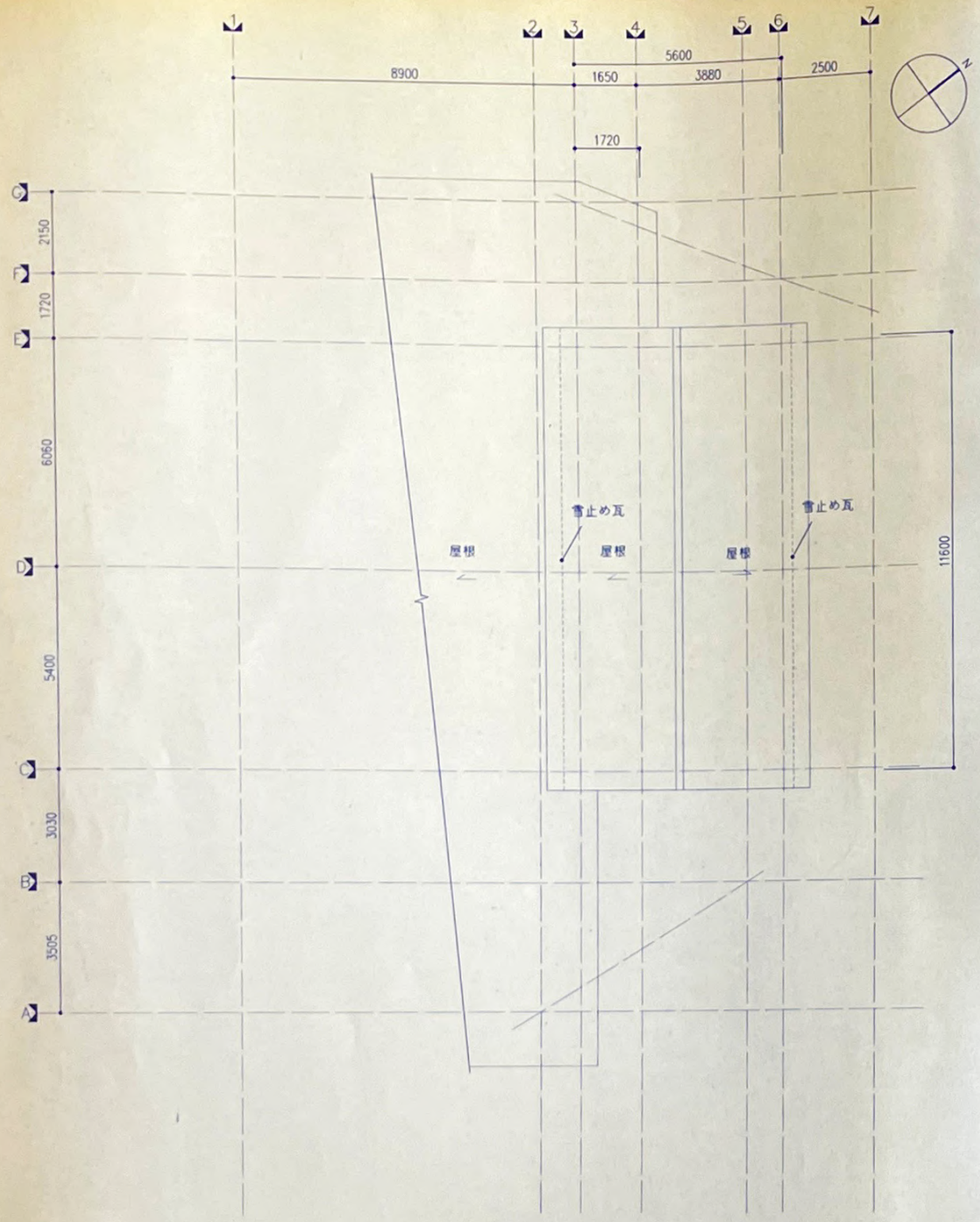
工事設計図　意 10

平面図　1/100

10

株式会社鈴木工務店　一級建築士事務所　一級建築士（第334744）市川昭三

福山市丸之内1丁目6番1号　TEL（0849）代22-1011　事務所登録 93（1）第1105号　図面作成 99.5.15



屋根伏図　1/100

訂正

△	確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）
△	
△	
△	
△	
△	

竣工図

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

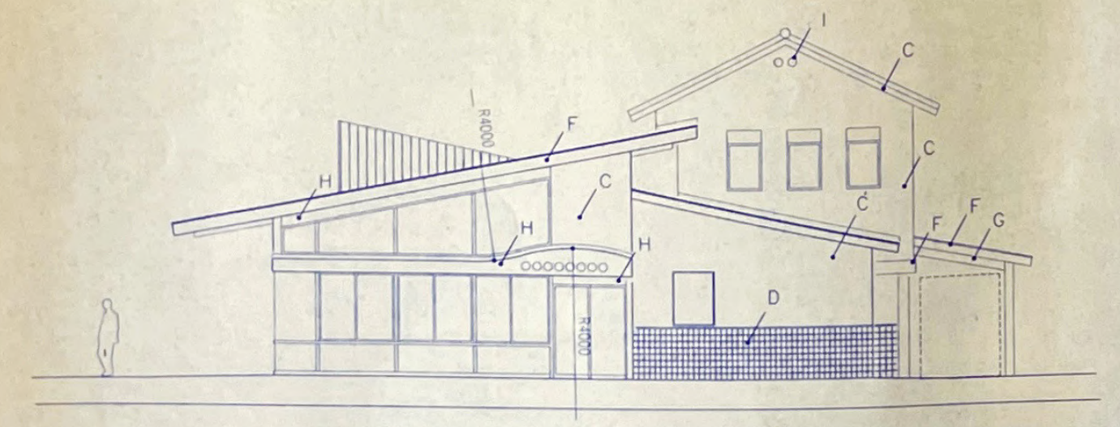
工事設計図　意 11

屋根伏図　1/100

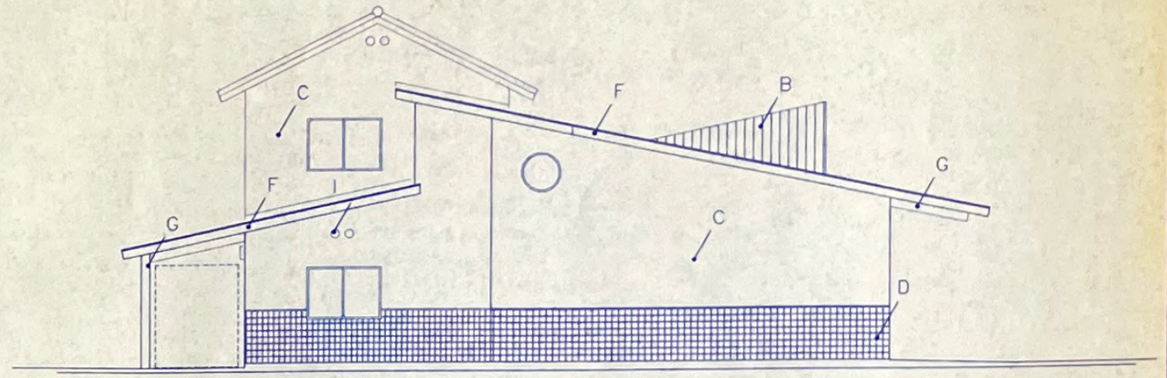
11

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 市川昭二

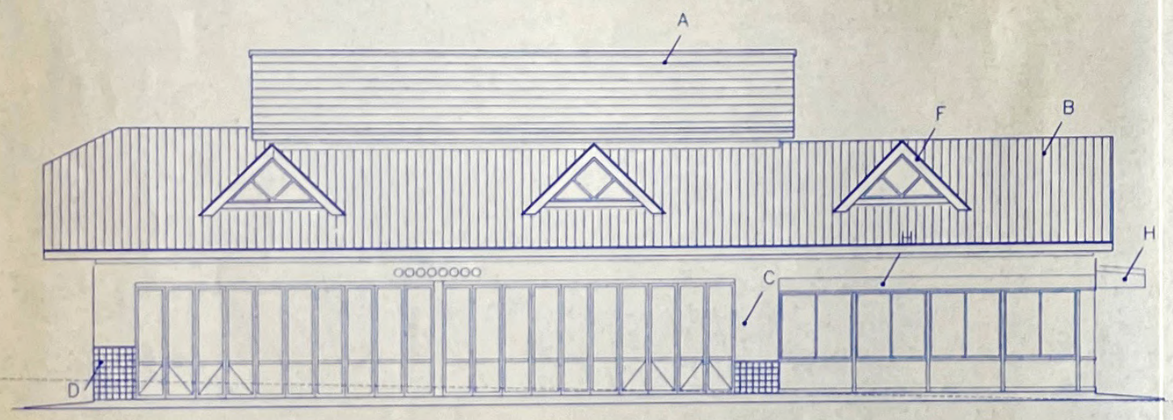
福山市丸之内1丁目14番1号 TEL (0849) 代 22-1011 事務所登録 93 (1) 第1105号 図面作成 98.10.21



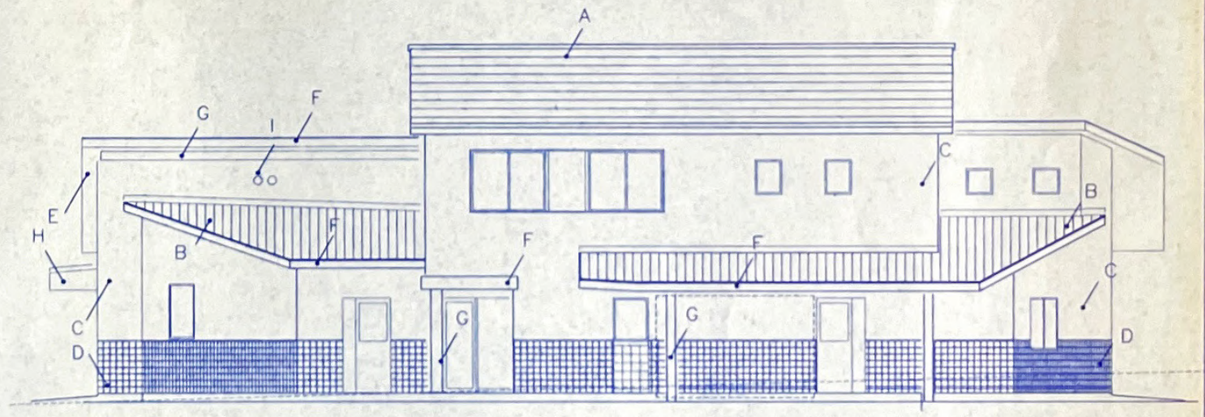
東面立面図　1/100



西面立面図



南面立面図



北面立面図

竣工図

訂正					
	確認通知書平成　年　月　日第　　号による変更（すべての工事に優先する）	A	ゆう瀬洋瓦葺	G	鉄骨SOP
		B	カラーGL（ガリバリウム）鋼板@0.4立平葺	H	カラーアルミパネル
		C	ラスモルタル金こて押え（目地切）計@35+マジックコート塗り	I	天井裏換気口 アルミφ200 フード,防虫網付
		D	磁器質150角タイル貼		
		E	ケイカル板@6底目地貼VP	○○○	箱文字 200ᵐ×25 カッティングシート貼
		F	カラーGL鋼板@1.2		~~SUS下地~~ 8文字程度(打合せによる)×2ヶ所

本工事 ~~(別途工事)~~

SUZUKI 鈴木工務店グループ

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

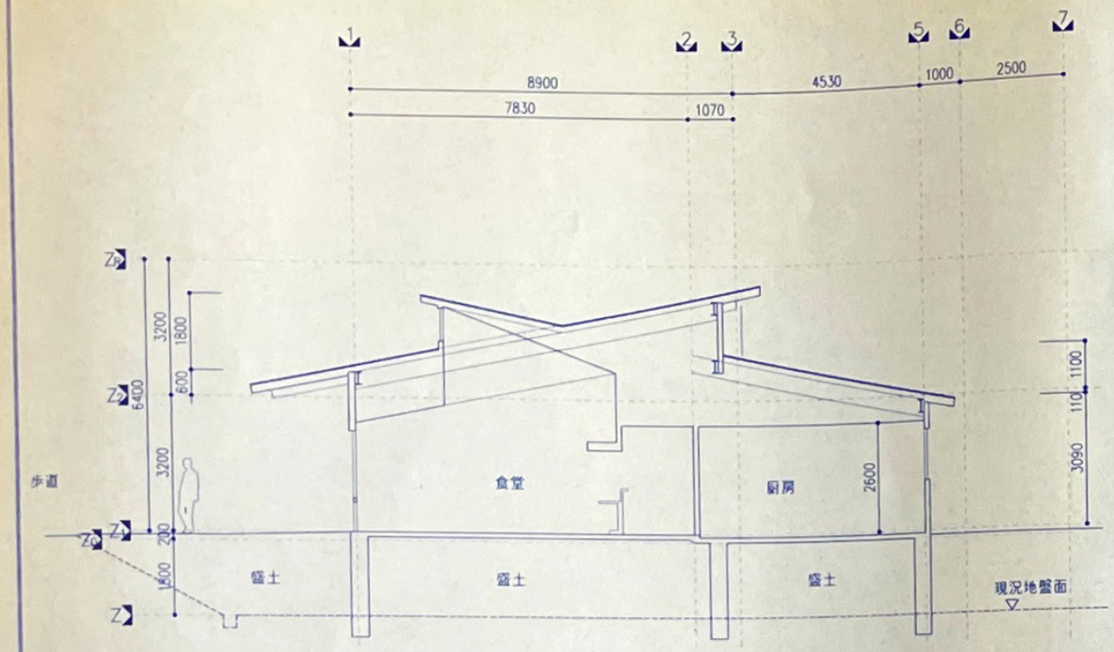
工事設計図　意 12

立面図　1/100

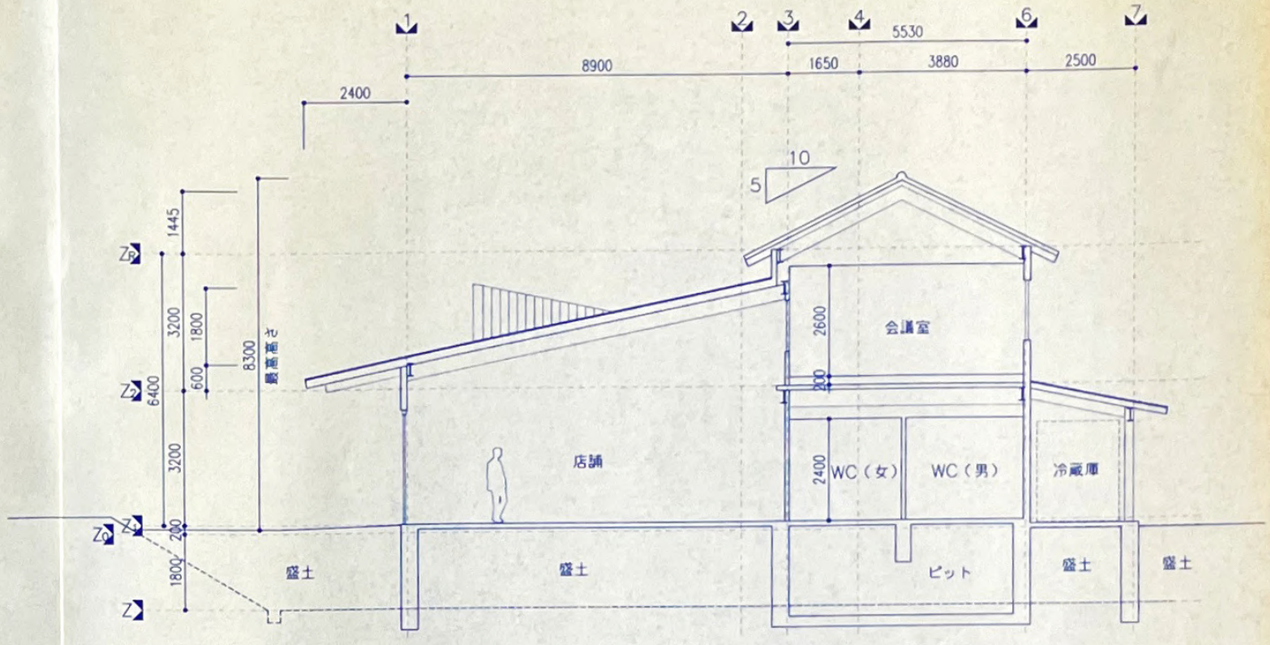
株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士（第334746号） 市川昭

12

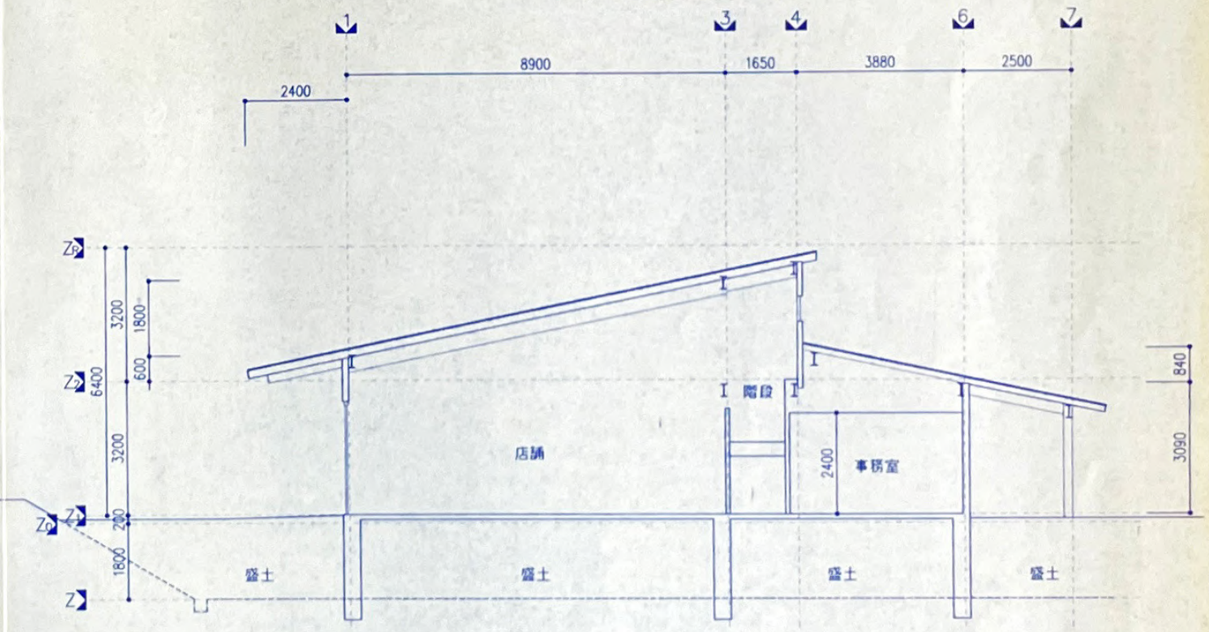
福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) (代 22-101) 事務所登録 93 (1) 第1105号 図面作成 98.11.11



断面図 1/100



断面図



断面図

訂正 識別通知書平成 年 月 日第 号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

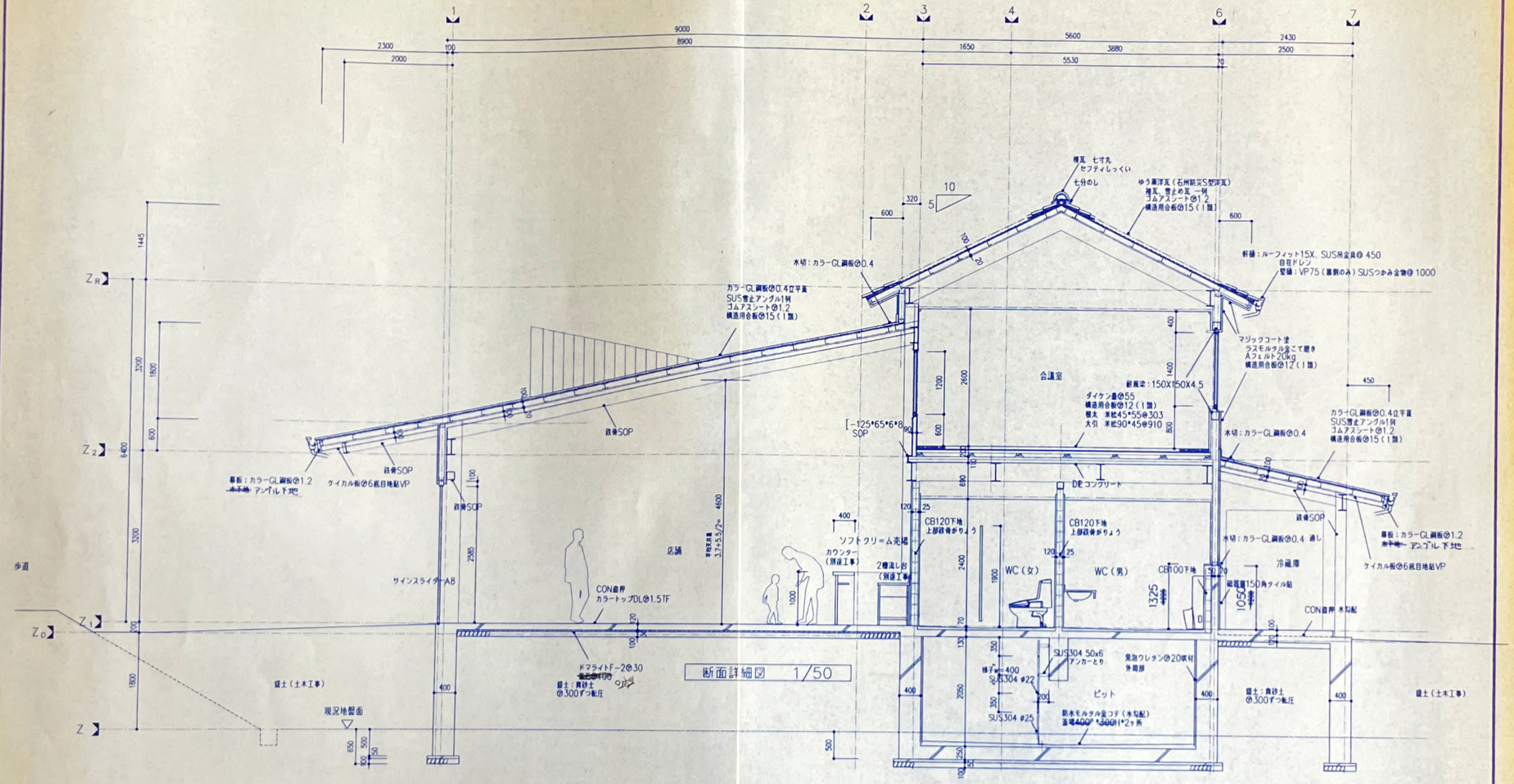
工事設計図 意 13

断面図 1/100

13

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士（第234744） 市川昭二

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (084) (代) 22-1011 事務所登録 第 (1) 第1106号 図書作成 98.10.21



断面詳細図 1/50

断面詳細図

註） ・基礎配筋にかかる、既存側溝、側溝は、部分撤去すること。

訂正	繼起通知書平成 年 月 日第 号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

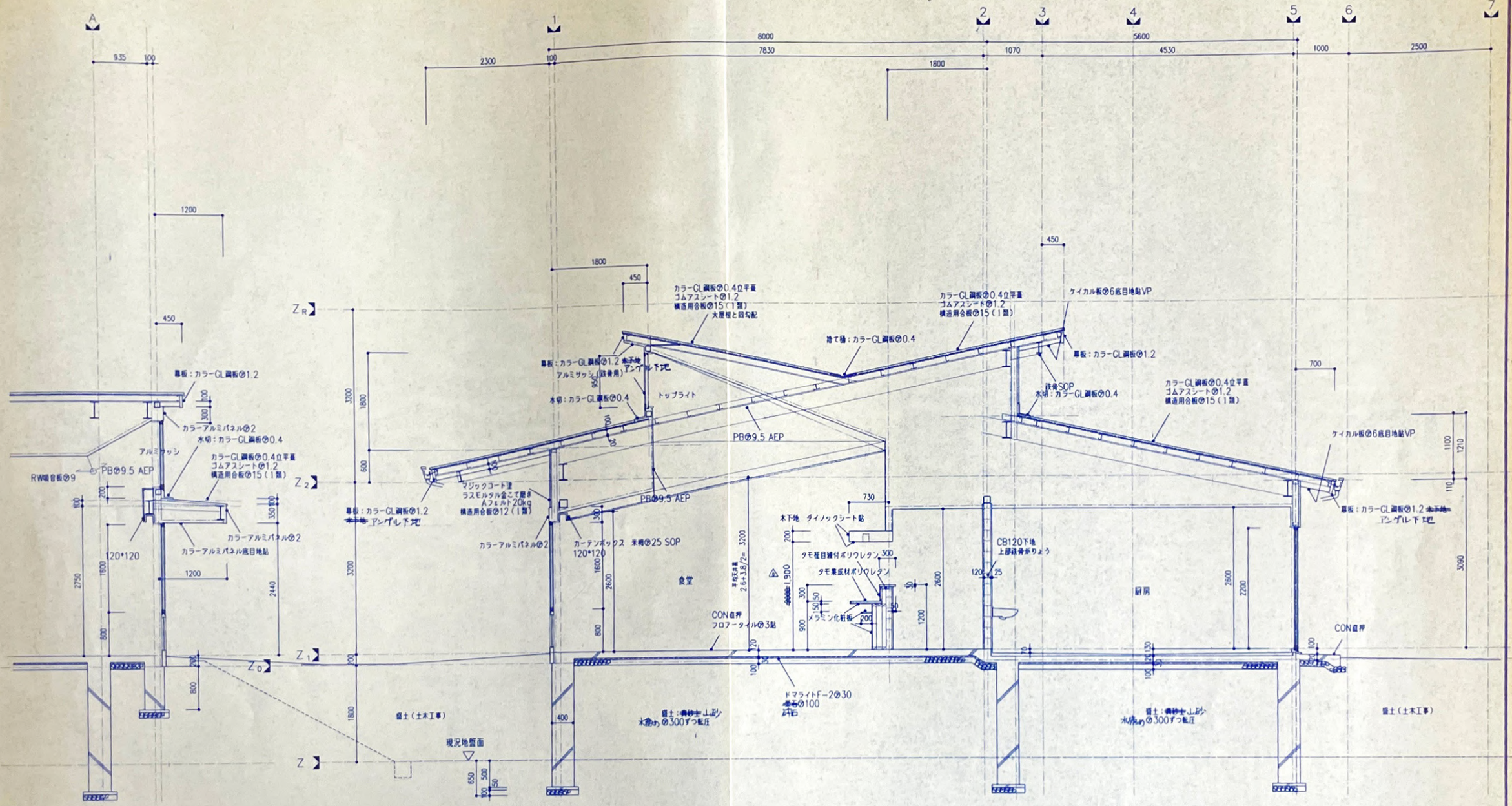
変更後図面

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業 産地形成促進施設 新築	工事設計図	意	14
断面詳細図1	1/50		14

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士（第334746号） 市川昭一

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代 22-1011 事務所登録 第 (1) 第1105号 図書作成 99.5.15



断面詳細図

訂正

確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

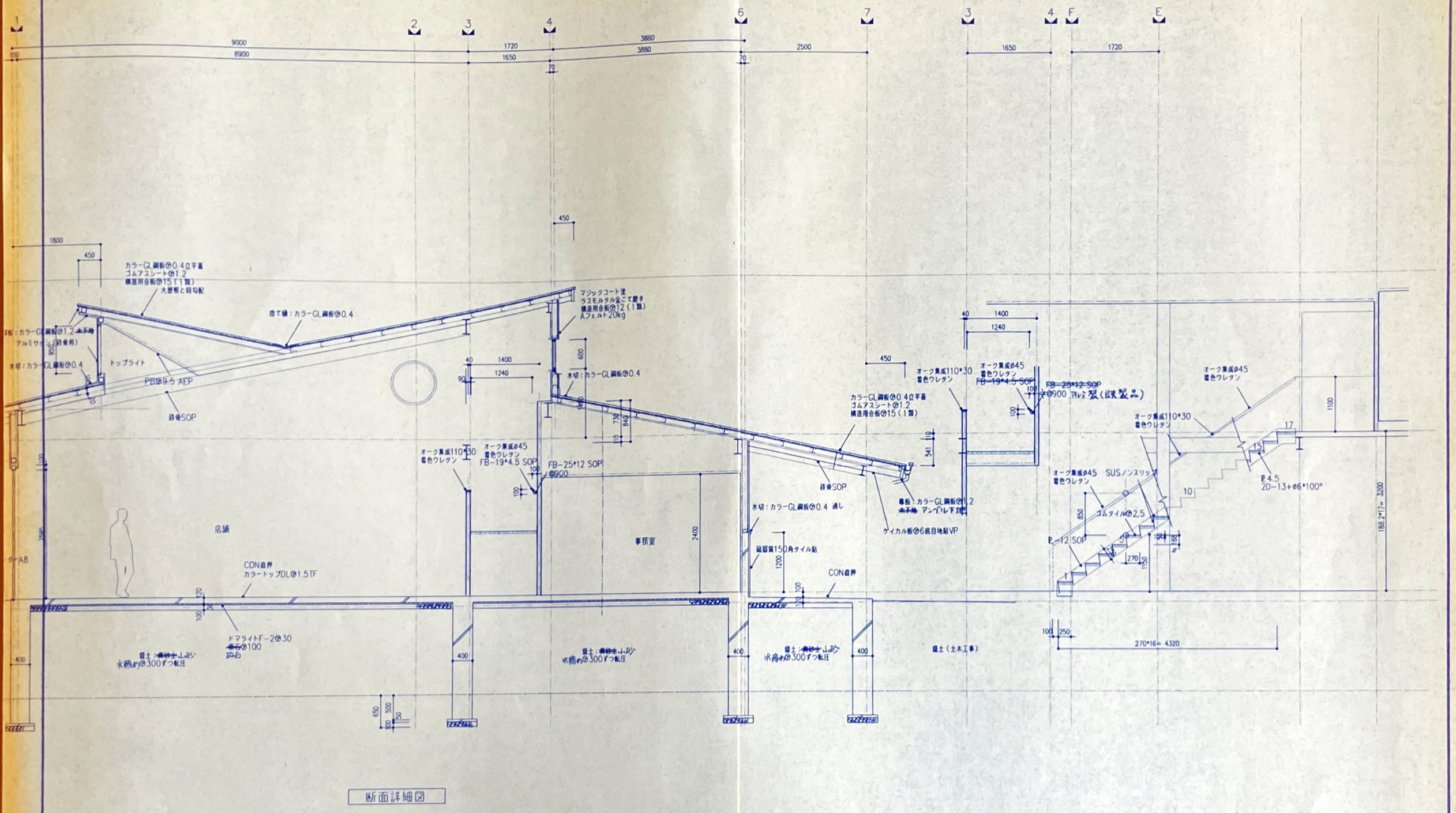
工事設計図　意 15

断面詳細図2　1/50

15

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士（第33474号） 市川昭二

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代 22-1011 事務所登録 第(1)第1105号 図書作成 98.11.11



断面詳細図

確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）

訂

正

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

工事設計図　㊞ 16

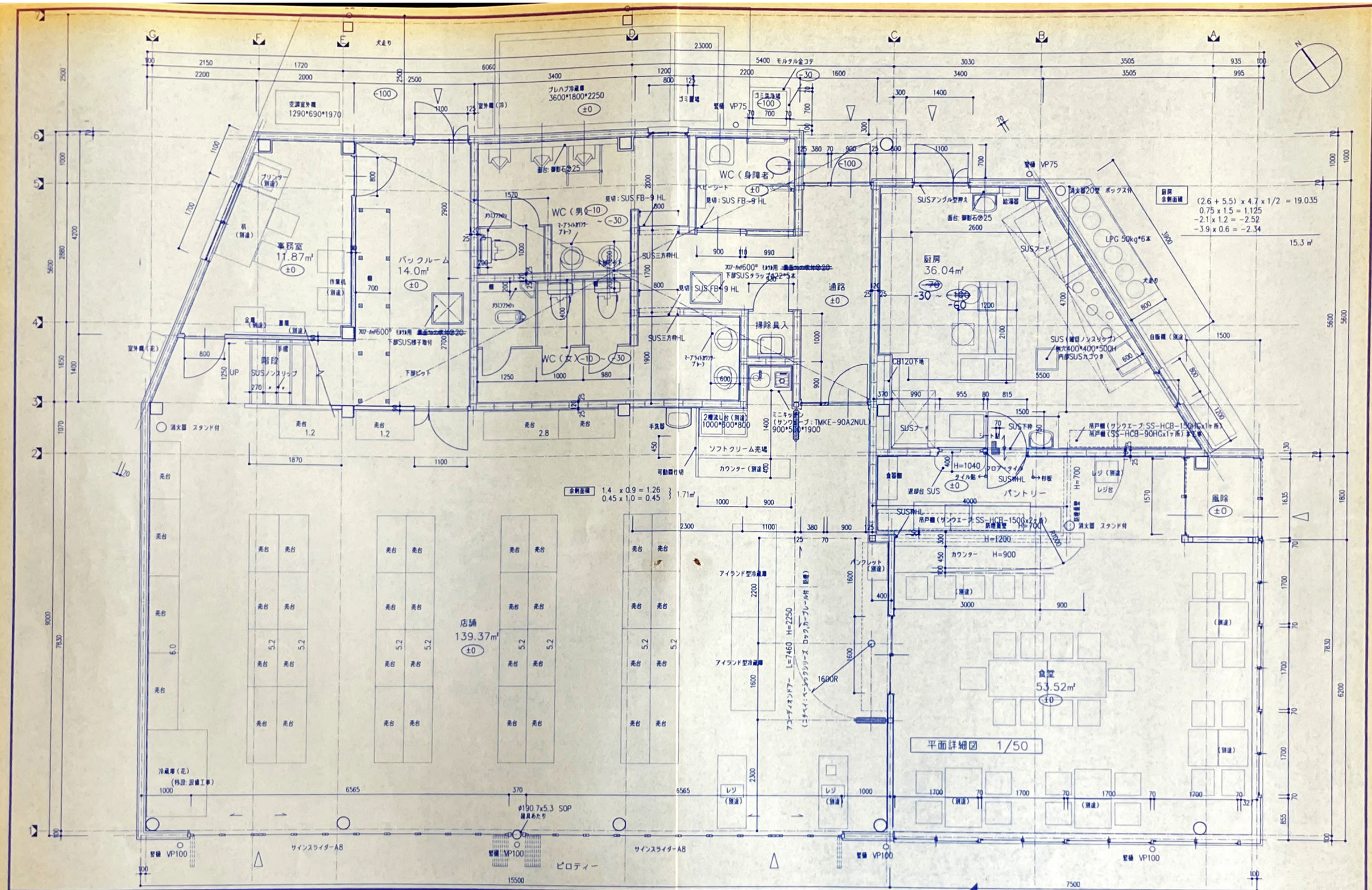
断面詳細図3　1/50

SUZUKI

鈴木工務店 一級建築士事務所　市川昭三

16

福山市丸之内1丁目4番1号　TEL (0849) 代22-1011　事務所登録 '93 (1) 第1105号　図書作成 98.11.11



訂正 確認通知書平成 年 月 日第 号による変更（すべての工事に優先する）

註）・ゴミ置場、消火器は本工事とする。

竣工図

変更後図面

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

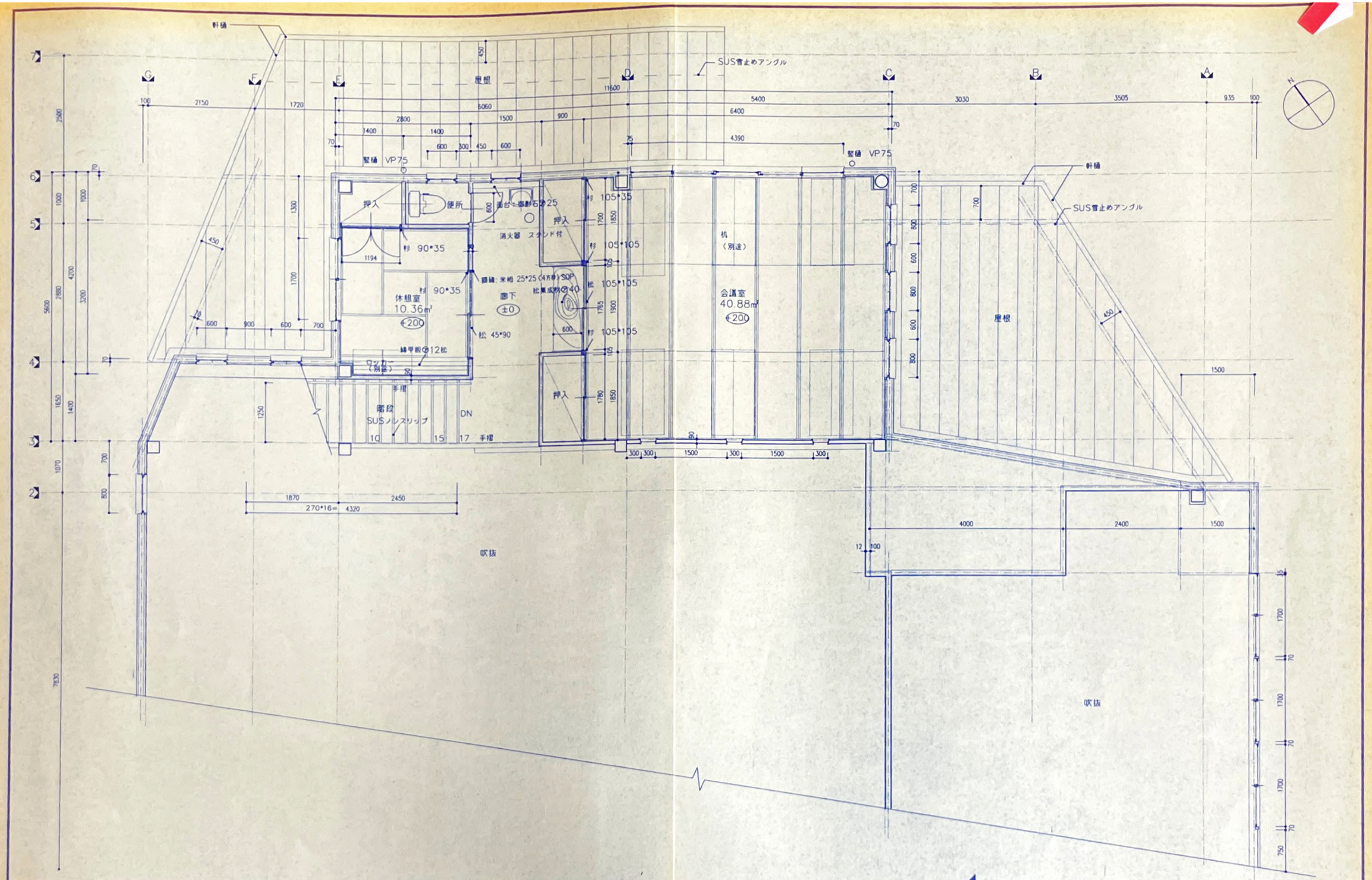
工事設計図 意 17

平面詳細図 1 1/50

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 市川昭二

17

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代 22-1011 事務所登録 93 (1) 第1108号 図書作成 99.5.15



確認通知書平成 年 月 日第 号による変更（すべての工事に優先する）

訂正

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

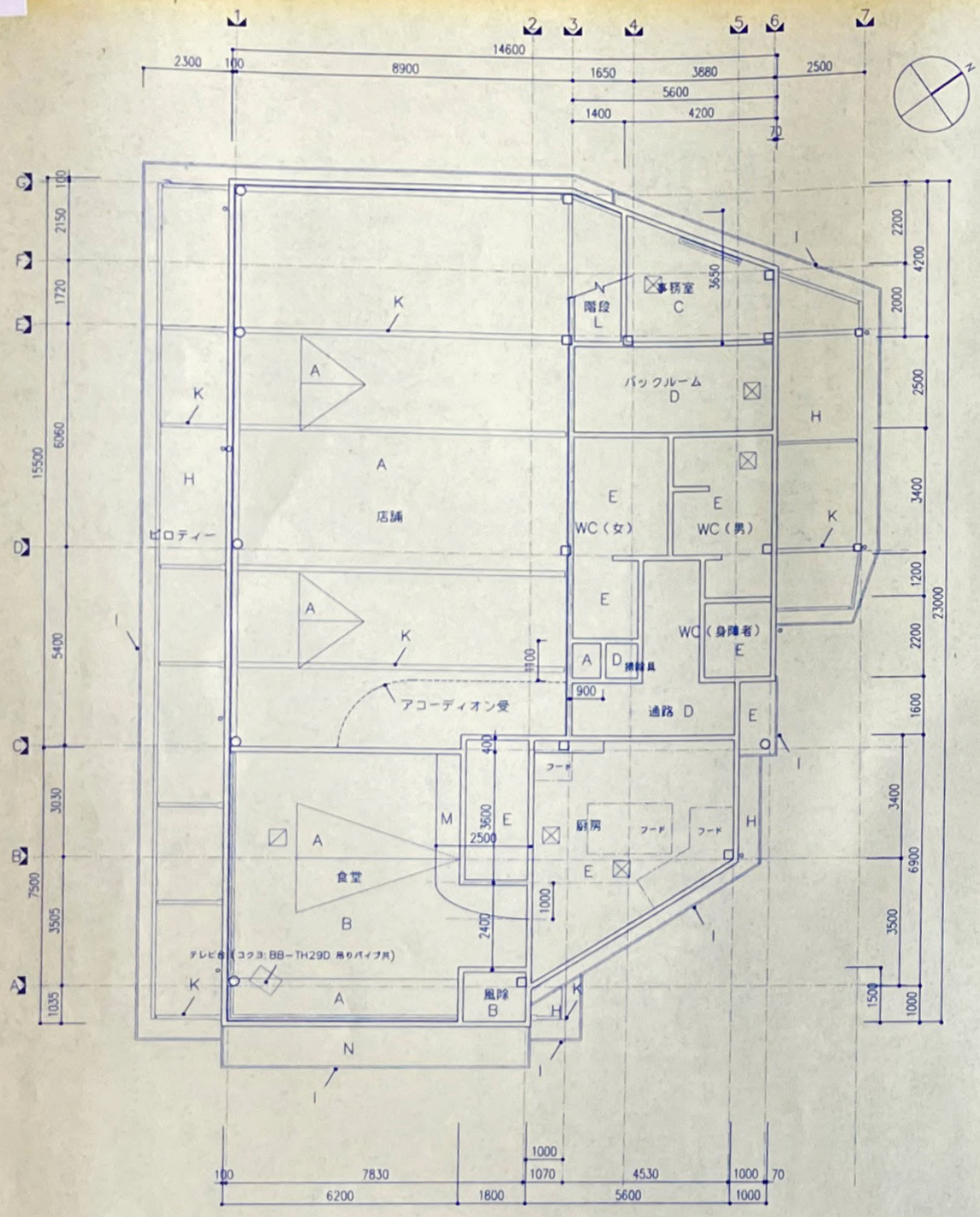
工事設計図 (意) 18

平面詳細図 2 1/50

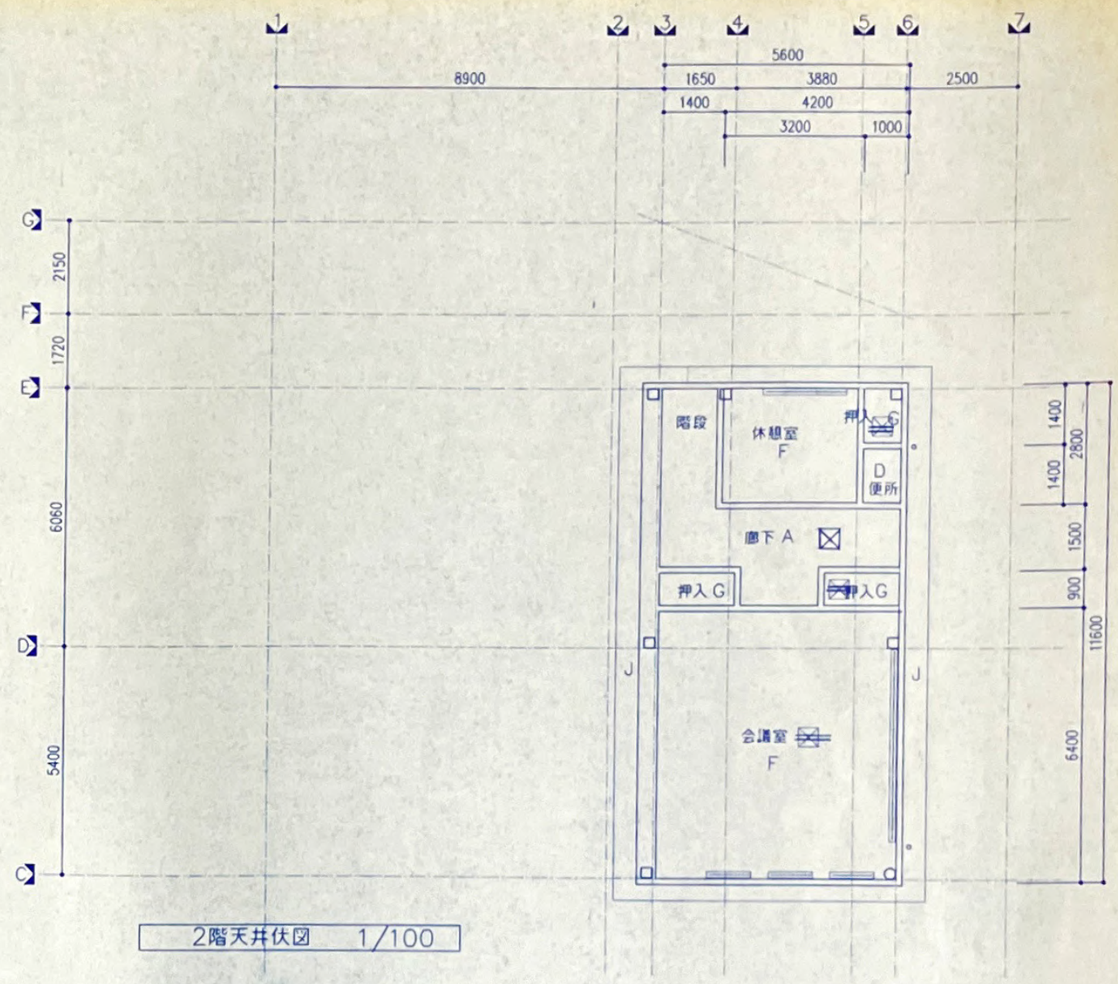
18

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士 市川昭二

98.11.11



1階天井伏図　1/100



2階天井伏図　1/100

符号	仕上
A	PB㋐9.5 AEP
B	PB㋐9.5+RW吸音板㋐9
C	化粧吸音PB㋐9.5
D	化粧PB㋐9.5
E	ケイカル板㋐6 底目地貼 VP
F	和風化粧PB㋐12.5
G	ラワン合板（1類）㋐5.5
H	ケイカル板㋐6 底目地貼 VP 一部穴明 （換気用、打合せに依る）
I	カラーGL鋼板㋐1.2
J	M金コテ マジックコート塗
K	鉄骨SOP
L	PB㋐9.5
M	ダイノックシート貼
N	カラーアルミパネル底目地貼
⊠	天井点検口 450□
▭	カーテンボックスor当り（木製）OP+ロールカーテン

訂正
確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

SUZUKI 株式会社鈴木工務店 一級建築士事務所 市川昭二

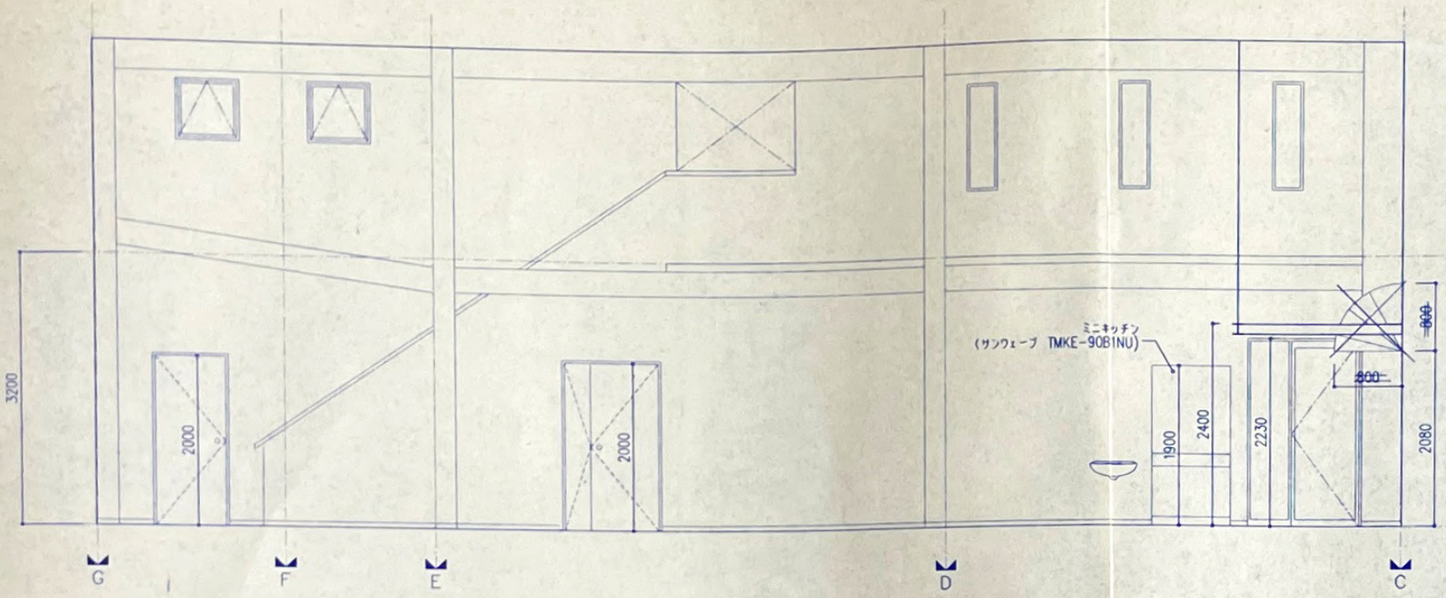
平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

工事設計図　㊞ 19

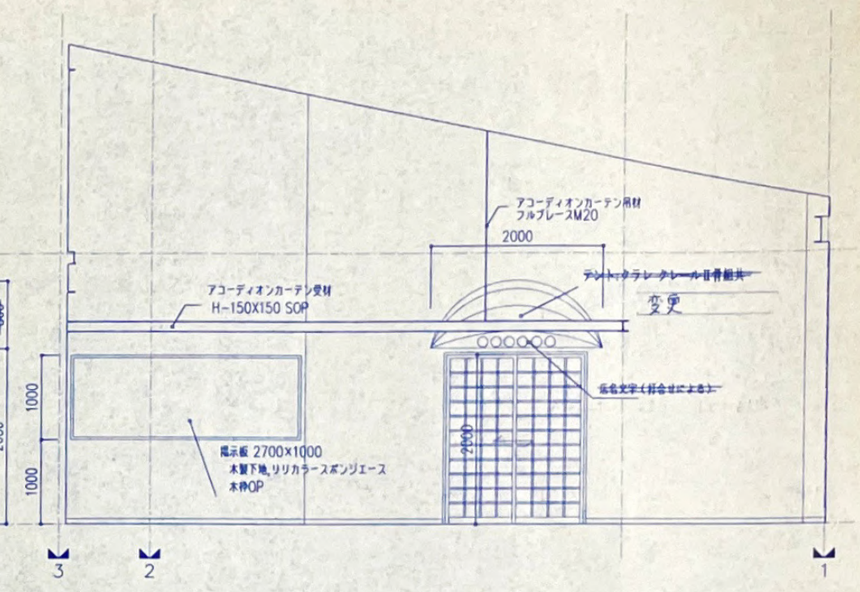
天井伏図　1/100

19

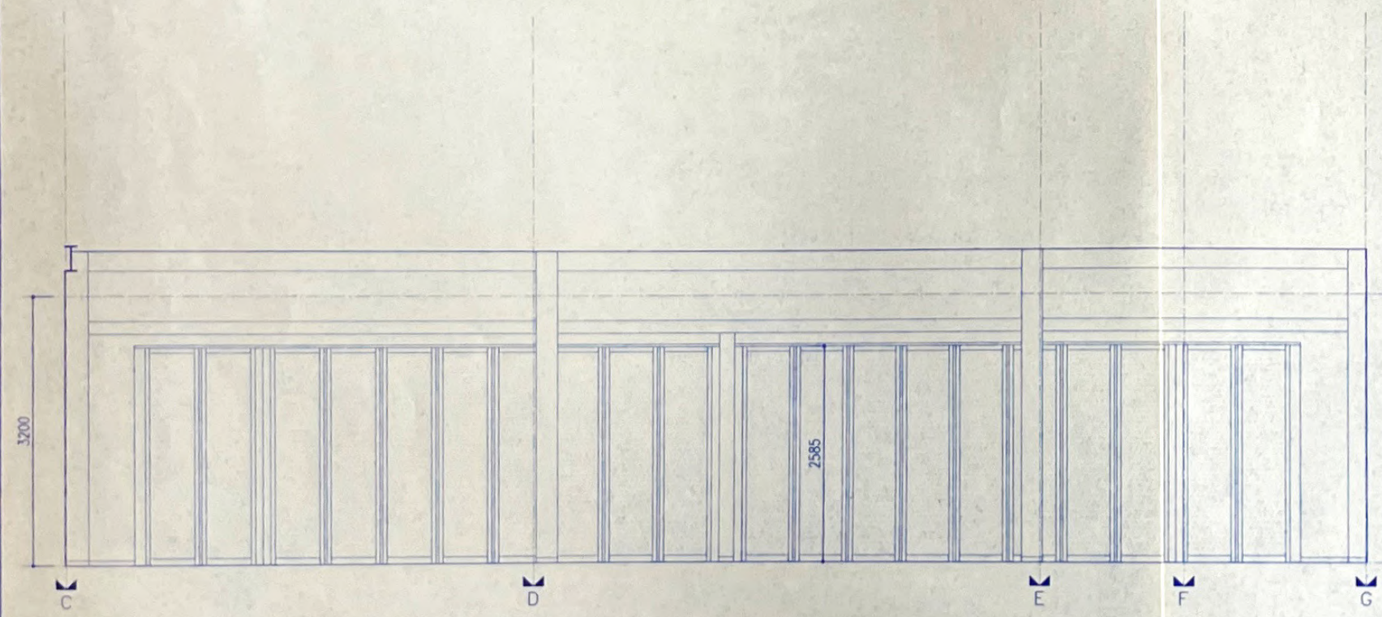
福山市光2丁目14番1号 TEL (0849) 代 22-1011 事務所登録 第(1)第1105号 図面作成 98.11.11



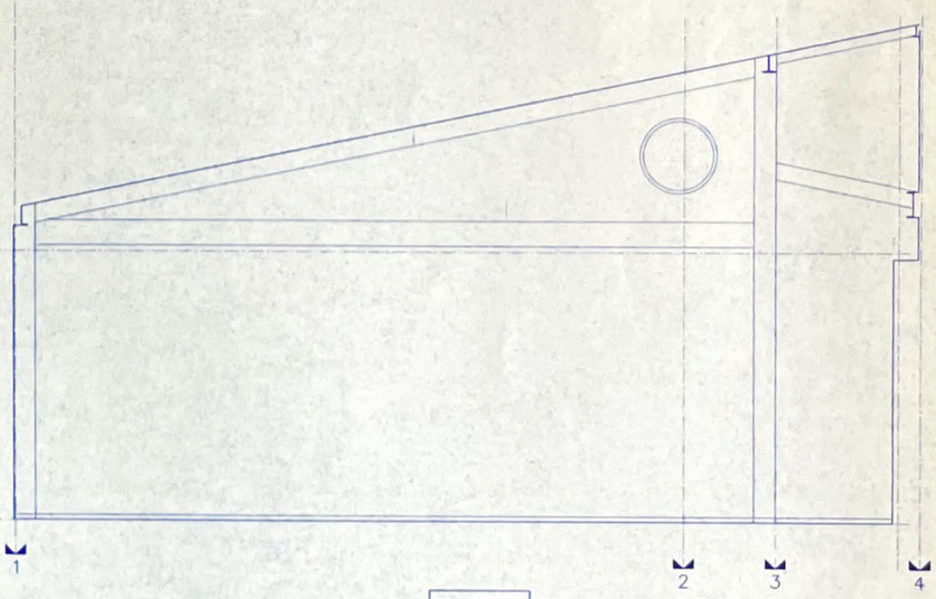
店舗 北面



店舗 東面



店舗 南面



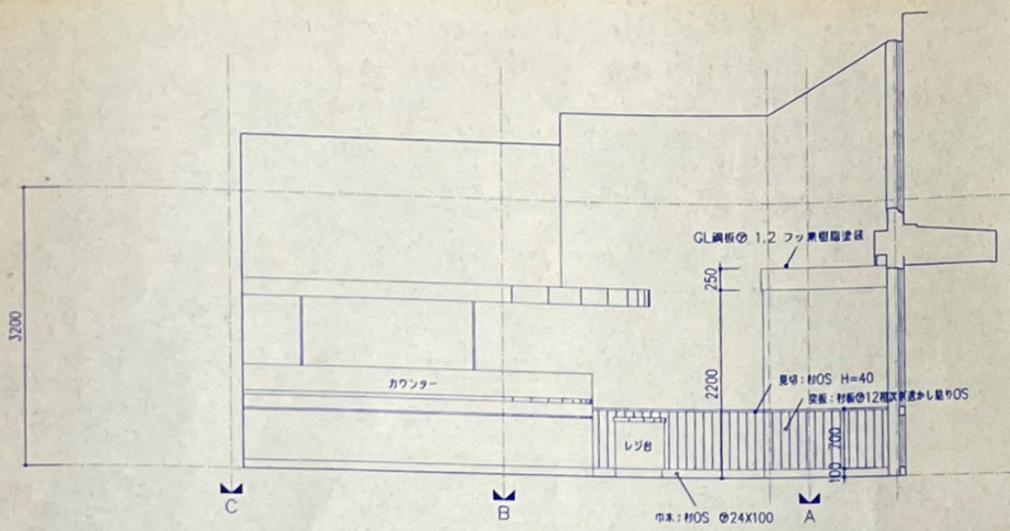
店舗 西面

訂正	確認通知書平成 年 月 日第 号による変更(すべての工事に優先する)	竣工図

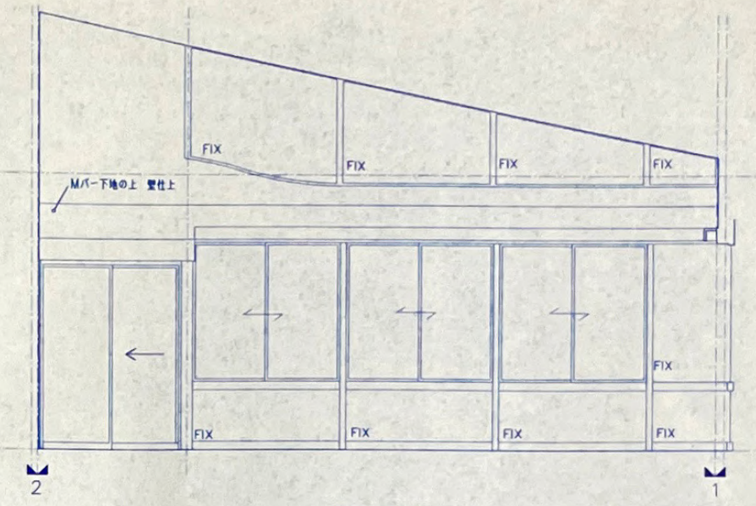
SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業 産地形成促進施設 新築	工事設計図	意 20
展開図1	1/50	20
株式会社鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士(第334744) 市川昭二		

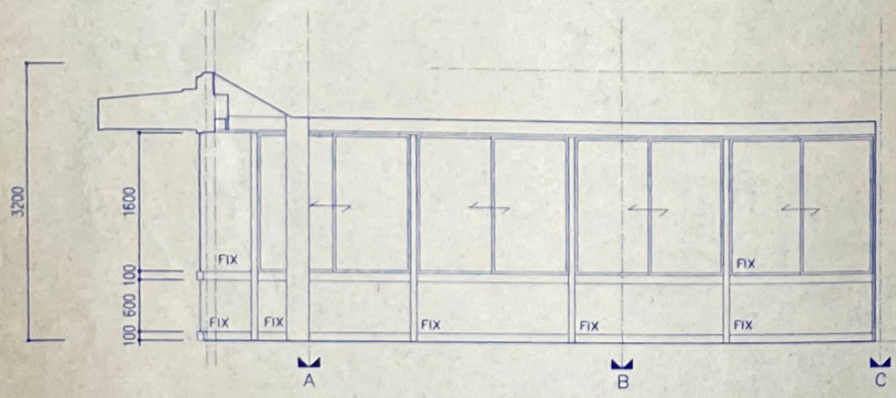
福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 22-1011 事務所登録 福山(1)第1105号 図面作成 98.11.11



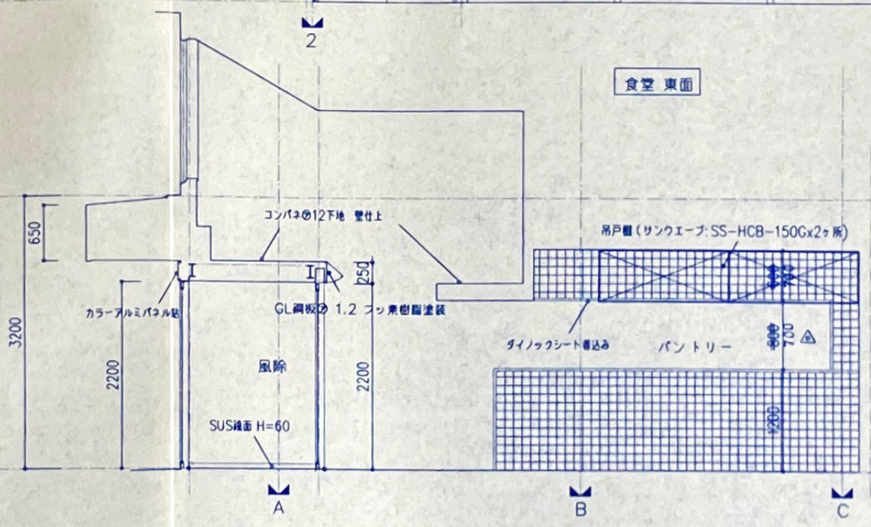
食堂 北面



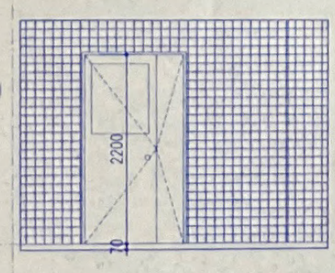
食堂 東面



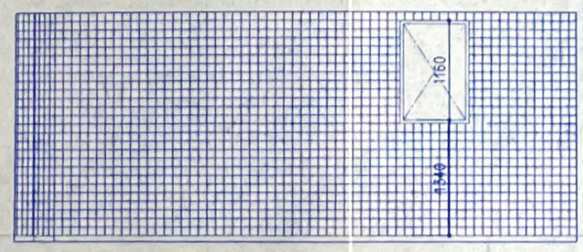
食堂 南面



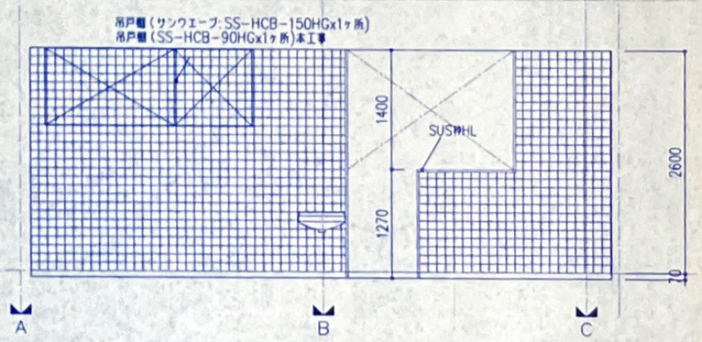
パントリー 南面



厨房 北面



厨房 東面



厨房 南面

訂正

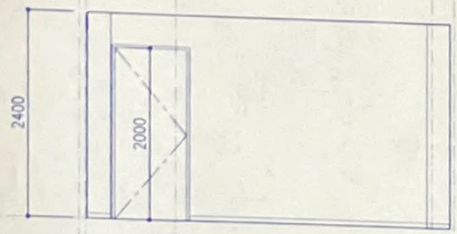
連絡通知書平成 年 月 日第 号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

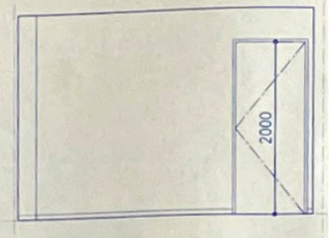
平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業 産地形成促進施設 新築	工事設計図	竜 21
展開図2	1/50	21

SUZUKI 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士(第334744) 市川昭二

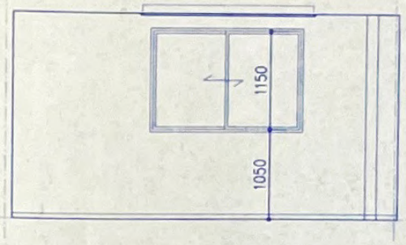
姫山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0869) 代 22-1011 事務所登録 93 (1) 第1105号 図面作成 98.11.11



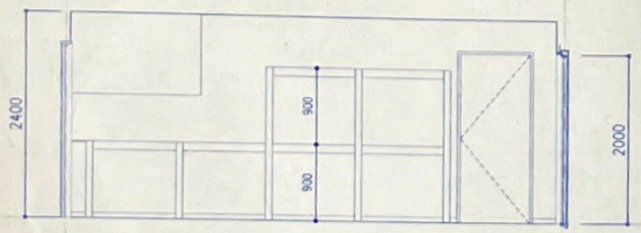
事務室 東面



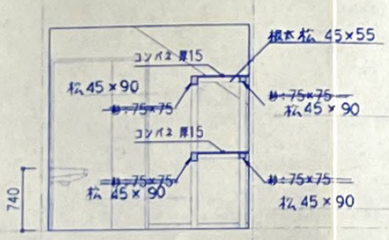
事務室 南面



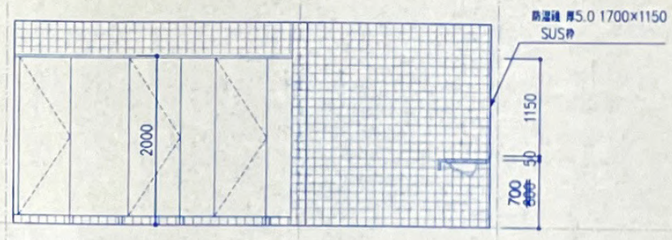
事務室 西面



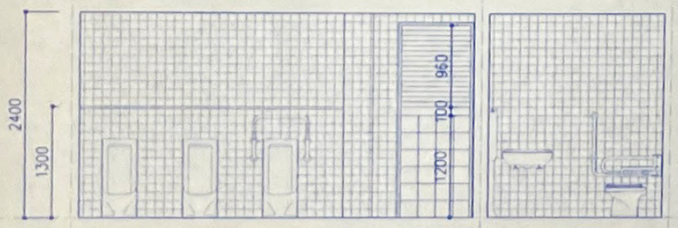
バックルーム 西面



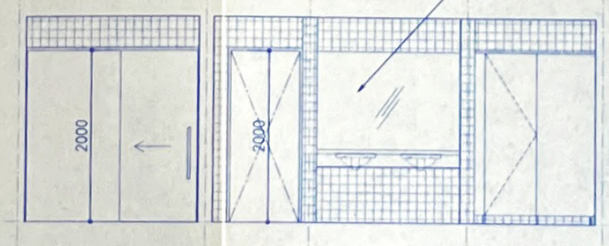
バックルーム 南面



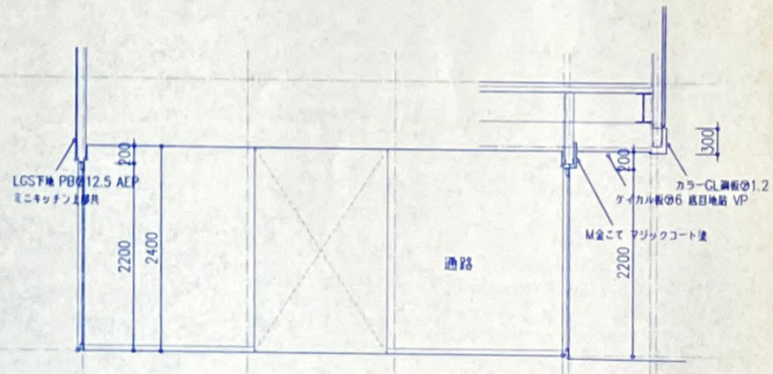
WC(女) 北面



WC(男)・WC(身障者) 北面



WC(男)・WC(身障者) 南面



通路 西面

訂正 建設通知書平成 年 月 日第 号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

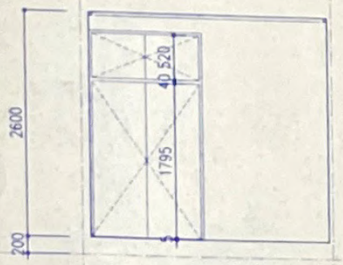
工事設計図 意 22

展開図3 1/50

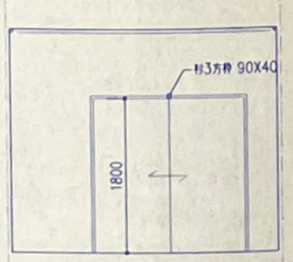
22

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士（第33474号） 市川昭二

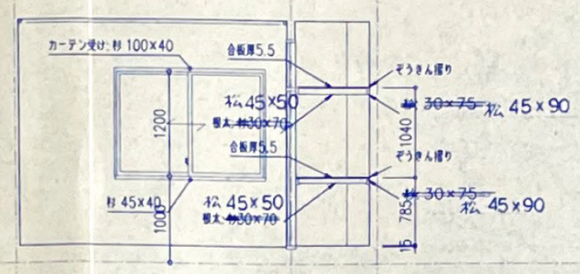
福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代 22-1011 事務所登録 93 (1) 第1105号 図番作成 98.10.23



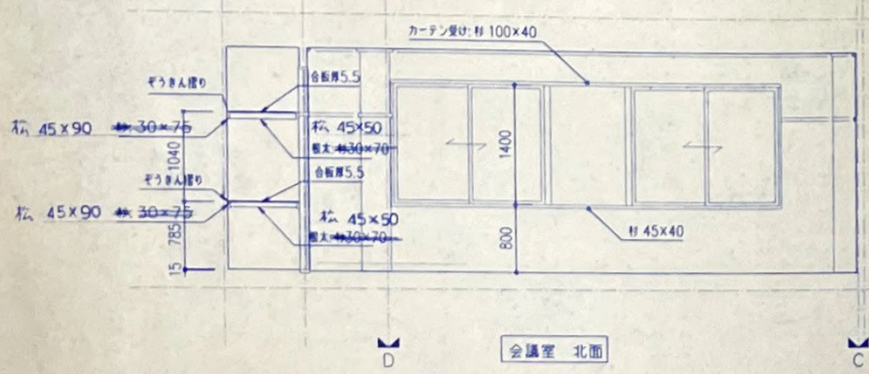
休憩室　北面



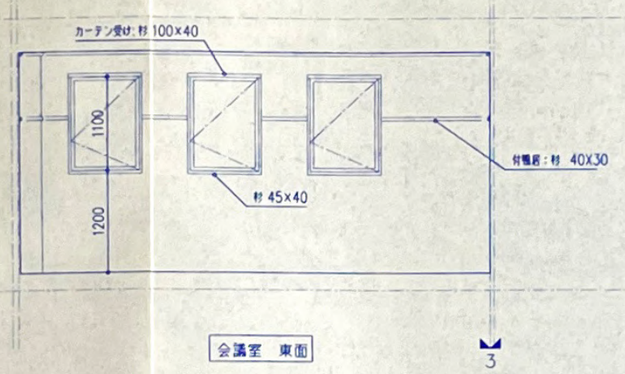
休憩室　東面



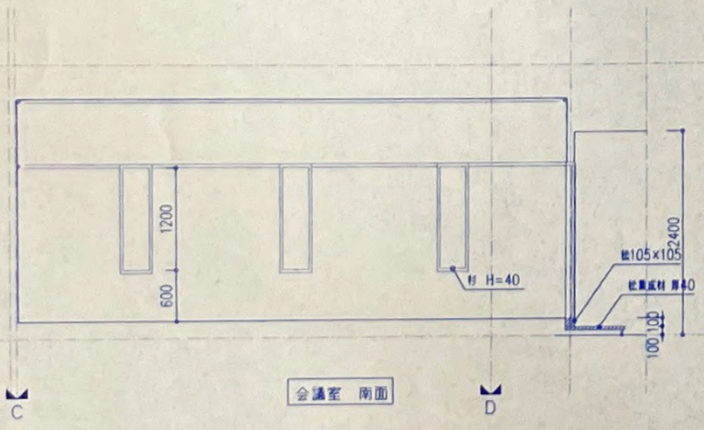
休憩室　西面



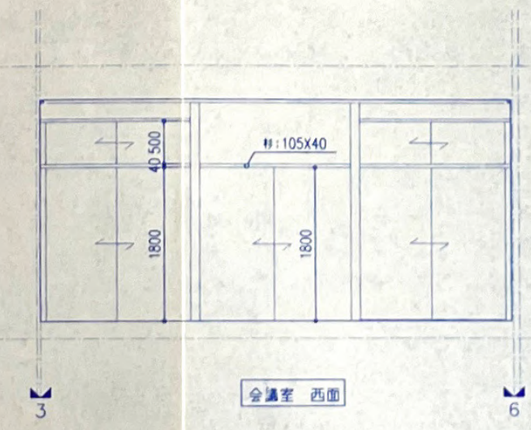
会議室　北面



会議室　東面



会議室　南面



会議室　西面

訂正	確認通知書平成　年　月　日第　　号による変更（すべての工事に優先する）

註）造作材等は1等上り面とする

竣工図

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

工事設計図　意 23

展開図4　1/50

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所　一級建築士 (第33474号) 市川昭二

23

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代 22-1011 事務所登録 85 (1) 第1105号

図面作成 98.11.11

16章　建具工事

共通事項

①	工事場所	[illegible] 1983-2
②	用途地域	・第　種低層住居専用　・第　種中高層住居専用　・第　種住居 ・準住居　・近隣商業　・商業　・準工業　・工業 ・工業専用　⊙指定なし
③	防火の指定	・防火　・準防火　⊙指定なし
④	工事種別	⊙新築　・増築　・改築　・移転　・その他（　）
⑤	構造	・鉄筋コンクリート造　⊙鉄骨造　・補強コンクリートブロック造 ・鉄骨鉄筋コンクリート造　・木造　・その他（　）
6	別途工事	
7	支給品等	
⑧	仕様	※図面及び特記仕様書に記載されていない事項は下記による。 ※建設大臣官房官庁営繕部「建築工事共通仕様書」平成5年版 ※建設大臣官房官庁営繕部「建築工事標準詳細図」平成5年版 ※項目及び特記事項は○印をつけたものを適用する。○印がない場合は※印を適用する ※材料及び製造所の記載順序不同

1節　一般事項

①	外部に面する建具の強度	※建設省告示第109号（昭和46年1月29日）に定められた風圧力に対して安全な強度とする ※強度計算書を作成し監督員に提出する
2	防火戸	※アルミニウム製建具は建築基準法に基づき認定を受けたものとする
③	施工図	※工程表に基づき遅滞のないように施工図を作成し承認をうける。又、必要に応じて形状見本、色見本を提出する
④	検査	※製作所による社内検査成績書を提出する ・製作所で監督員立会の下に検査をする

2節　アルミニウム製建具

①	建具の種別	・A類　※B類　(16.2.1表)
②	建具の性能等	200 kg/㎡
③	気密性	※8　・2　(16.2.3表)
④	水密性	・25　※35　・50　(16.2.4表)
⑤	アルミニウム板	※JIS H4000によるものとし、枠・かまちなどに用いる場合の板厚は1.5㎜以上とする
⑥	表面処理の種別	・A-1種　・B-1種　・C-1種 ・A-2種　⊙B-2種　・C-2種　・D種　(14.2.1表)
⑦	取付けにおける注意	※アルミニウム材がアルカリ性材料に接する箇所には、耐アルカリ性の塗料を塗布する（但し、6項でB-1種・B-2種は除く） ※沓摺り、下枠などモルタル充填の困難な場所は、取付け前にモルタルを先詰めしておく ※周囲充填用モルタルは調合（容積）セメント1：砂3とし、雨掛り部分は防水剤又は凍結防止剤入りモルタルとする ※周囲充填用モルタルに用いる砂の塩分含有量は0.04％以下とする
⑧	製作所	三協アルミ、日軽アルミ、日鉄カーテンウォール、YKK、不二サッシ等

3節　鋼製建具

1	鋼板の厚さ	※鋼板の厚さは特記なき限り16.3.1表による ※鋼板は表面処理亜鉛めっき鉄板とし亜鉛の最少付着量は両面で120g/㎡以上とする
2	出入口の沓摺	※ステンレス(SUS304)厚2㎜ №2B仕上　・鋼板厚2.3㎜ ※取付け前にモルタル先詰めとする
3	取付けにおける注意	※周囲充填用モルタルはアルミニウム製建具の7項「取付けにおける注意」に準ずる
4	製作所	※監督員の承認する製作所

4節　鋼製軽量建具

①	使用場所	※屋内に限る
②	鋼板の厚さ	※鋼板の厚さは特記なき限り16.4.1表による ※鋼板は表面処理亜鉛めっき鉄板とし亜鉛の最少付着量は両面で60kg/㎡以上とする
③	出入口の沓摺	※ステンレス(SUS304)厚2㎜ №2B仕上　・鋼板厚2.3㎜
④	召合せ・縦小口包み板	・鋼板　⊙ステンレス鋼板　・アルミニウム合金
⑤	製作所	三和シャッター、文化シャッター、三井軽金属加工　等

5節　ステンレス製建具

1	ステンレス鋼板	※JIS G4305のSUS304とする
2	表面仕上げ	・沓摺りを除く本体　※HL ・沓摺り　・HL　※№4
3	鋼板の曲げ加工	※普通曲げ加工　・角出し曲げ加工
4	製作所	田島メタルワーク、ナカ工業、三愛工業　等

6節　自動扉

①	開閉力及び開閉速度	⊙引戸の場合は16.6.1表による ・片開き戸の場合は16.6.2表による
②	安全装置	⊙安全用光電スイッチを設ける　・設けない
③	電源スイッチ	⊙自動扉専用の電源スイッチを設ける　・設けない
④	製作所	※監督員の承認する製作所

7節　重量シャッター

1	開閉機能による種別	※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　・下部手動式 (16.7.1表)
2	防煙シャッター	※煙感知器連動　※オーバーラッピング形スラット厚1.6㎜以上 ※シャッターケース表面処理亜鉛めっき鉄板厚1.6㎜以上
3	防火シャッター	※ヒューズ装置連動　・熱感知器連動　・煙感知器連動 ※インターロッキング形スラット厚1.6㎜以上 ※シャッターケース表面処理亜鉛めっき鉄板厚1.6㎜以上
4	スラットの厚さ	※表面処理亜鉛めっき鉄板　※厚1.6㎜　・厚1.2㎜
5	シャッターケース	※表面亜鉛めっき鉄板厚1.6㎜（※丸　・三方）　・設けない
6	ガイドレール	※ステンレス（・埋め込み型厚1.5㎜　・露出型厚2.0㎜） ※表面処理亜鉛めっき鉄板（・埋め込み型厚1.6㎜　・露出型厚2.3㎜）
7	座板の包板・まぐさ	※ステンレス厚1.5㎜　・表面亜鉛めっき鉄板厚1.6㎜
8	安全装置	電動式の場合　※リミットスイッチ　※エマージェンシースイッチ ワイヤー巻取りの場合　※ワイヤー切断による落下防止装置
9	製作所	三和シャッター、日本シャッター、文化シャッター、東洋シャッター 鈴木シャッター、神村シャッター、大野製作所　等

8節　軽量シャッター

1	開閉機能による種別	・上部電動式（手動併用）　※手動式（スプリング式）(16.8.1表)
2	スラットの厚さ	※表面処理亜鉛めっき鉄板（※厚0.8㎜　・厚0.5㎜） ※スラットの塗装は特記なき限り合成樹脂塗料の焼付塗装とする
3	シャッターケース	※表面処理亜鉛めっき鉄板（※厚0.8㎜　・厚0.5㎜）
4	ガイドレール・中柱	※表面処理亜鉛めっき鉄板（・1.2㎜（W<1.8M）　※厚1.6㎜ ・ステンレス（・厚1.5㎜）
5	座板の包板	・設ける（ステンレス厚1.0㎜）　※設けない
6	まぐさ	・設ける（ステンレス厚1.0㎜）　※設けない
7	スラット以外の塗装	※特記なき限り合成樹脂塗料の焼付塗装又は常温塗装とする
8	安全装置	電動式の場合　※リミットスイッチ　※エマージェンシースイッチ
9	製作所	重量シャッターの製作所と同じ

9節　木製建具

①	建具材の種別	・A種　※B種　・C種　(16.9.1表)
②	建具材の樹種	※特記なき限り16.9.2表による
③	合板	※特記なき限り水掛りはⅠ類、その他の部分はⅡ類とする ※生地のまま又は透明塗料塗りの場合はラワンとし、不透明塗料塗りの場合はしなとする
④	フラッシュ戸の表面板の厚さ	・A種　※B種　(16.9.3表)
⑤	フラッシュ戸の小口処理	※特記なき限り合板の小口を出さない様に化粧縁を張り付ける
⑥	フラッシュ戸及びその他の建具の工法	※特記なき限り16.9.4表による
⑦	ふすまの工法	※特記なき限り16.9.5表による

10節　建具用金物

①	丁番	※金属製建具16.10.1表による（材質は軸を含めステンレスとする） ※木製建具　16.10.4表による（材質は軸を含めステンレスとする）
	製作所	石倉商店(STD)、永和(ART)、満天製作所(MANTEN) 近松金物(KINMATU)、中西産業、渋谷金属産業(SYS) 堀商店(HORI)、森岡商店(HMC)　等
②	戸車	⊙アルミニウム製建具16.10.2表による　(JISA5545) ・鋼製建具　16.10.2表による　※鉄　・合成樹脂 ⊙木製建具　16.10.5表による　・鉄　⊙合成樹脂 ⊙レール　※ステンレス（・下枠一体形　・単体）　⊙黄銅
3	ピボットヒンジ	※16.10.6参照 ※枠付き型　・アンカー型
	製作所	日本ドアーチェック(NEWSTAR)、ニッカナ(NHN) 大島機工(ダイヤモンド)、リョービ(RYOBI)　等
4	オートヒンジ	※16.10.3参照 ※丁番型　・軸吊り型
	製作所	日本電気精機(デンセイオートヒンジ)、日本エアブレーキ(ナブコ) リョービ(RYOBI)　等
5	フロアヒンジ	※中心吊り　・持ち出し吊り
	製作所	日本ドアーチェック(NEWSTAR)、ニッカナ(NHN) 大島機工(ダイヤモンド)、リョービ(RYOBI)　等
⑥	ラバトリーヒンジ	※丁番型　⊙軸吊り型
	製作所	石倉商店、桂商店、森岡商店、渋谷金属　等
⑦	ドアークローザー	※面付型　・埋め込み型
	製作所	リョービ、日本ドアチェック、大島機工、ニッカナ、美和ロック
⑧	モノロック	製作所　ゴール、　美和ロック
⑨	マスターキー	⊙製作する（1組各3個）　・製作しない
10	グランドマスターキー	・製作する（　組各　個）　・製作しない
11	電気錠	品名・型番： 附属品　※操作盤　・テンキー（制御盤共）　・インターホン ・通電丁番　・カールコード　・スイッチ付きストライク ・自動本締り錠　・連動制御盤　・開閉用手元スイッチ
	製作所	美和ロック、ゴール、昭和ロック　等 ※モノロックと同一製作所とする

11節　その他

①	網戸	~~※サラン（色：　）~~　・ステンレス　(JIS A4709) ⊙ レックスネット
②	建具周囲のシーリング材料	・A種　・B種　※C種　・D種　・E種　・F種　(9.4.1表) ※特記なき限り目地幅x深さは10X7以上とする
③	オペレーター（手動開閉装置）	⊙露出取付け　※埋め込み取付け ※排煙窓に取付ける場合はワンタッチ開放型とする
	製作所	キャプレックス、豊和、近松　等

12節　ガラス

① ガラス留め材

種類	使用場所
⊙9.4.1表のA種	ガラスとガラスの留め付け
・9.4.1表のC種	
・パテ	防火戸
⊙グレイジングガスケット	アルミニウム建具
・ガスケット	

※防火戸の網入りガラスの留め付け材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けたものを使用する

② 特殊ガラス

製作所　旭ガラス、日本板ガラス、セントラルガラス、日本電気硝子、ハードグラス工業　等

訂正	
0	確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）
1	
2	
3	
4	

竣工図

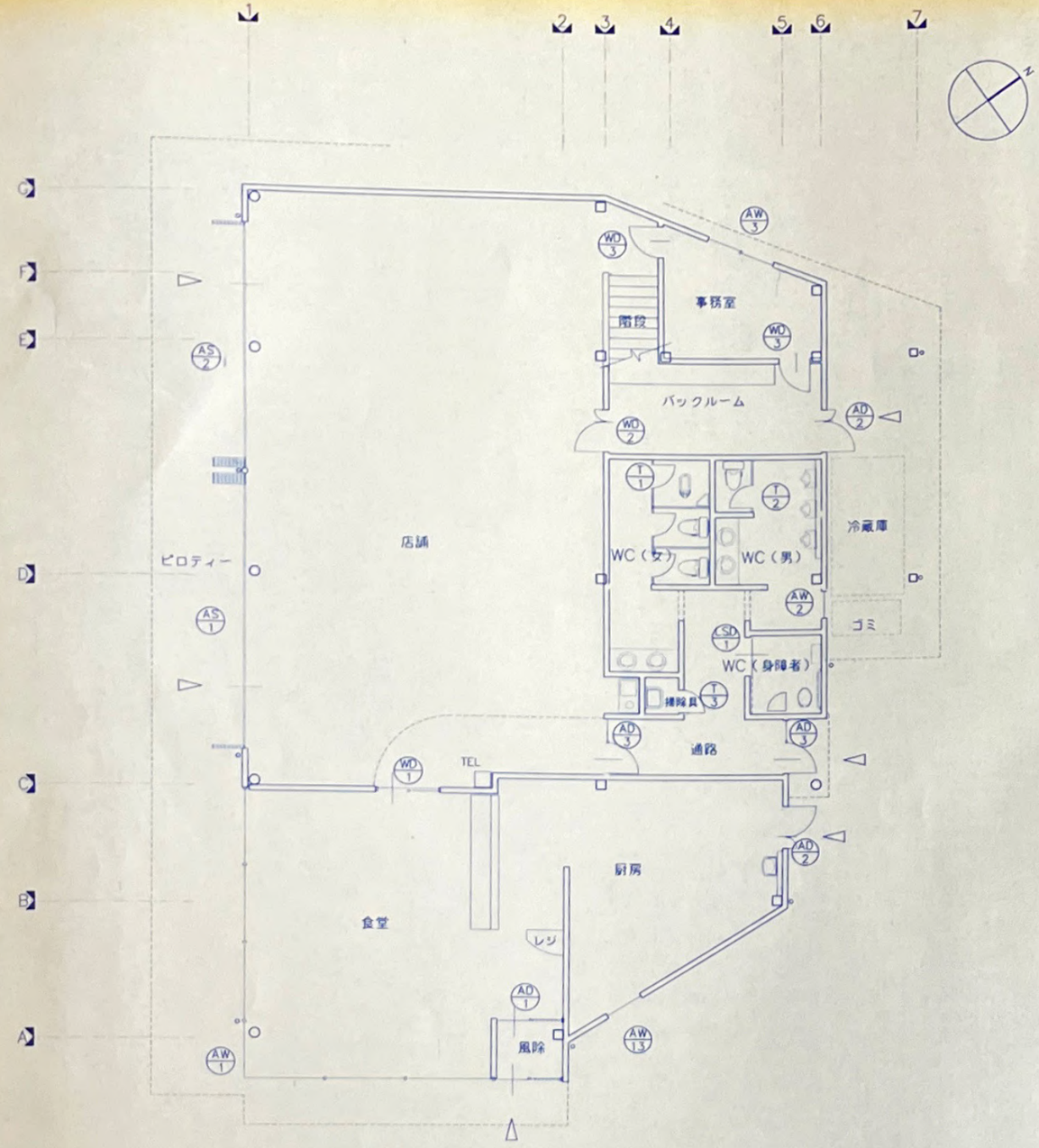
H.4.3.3,000

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

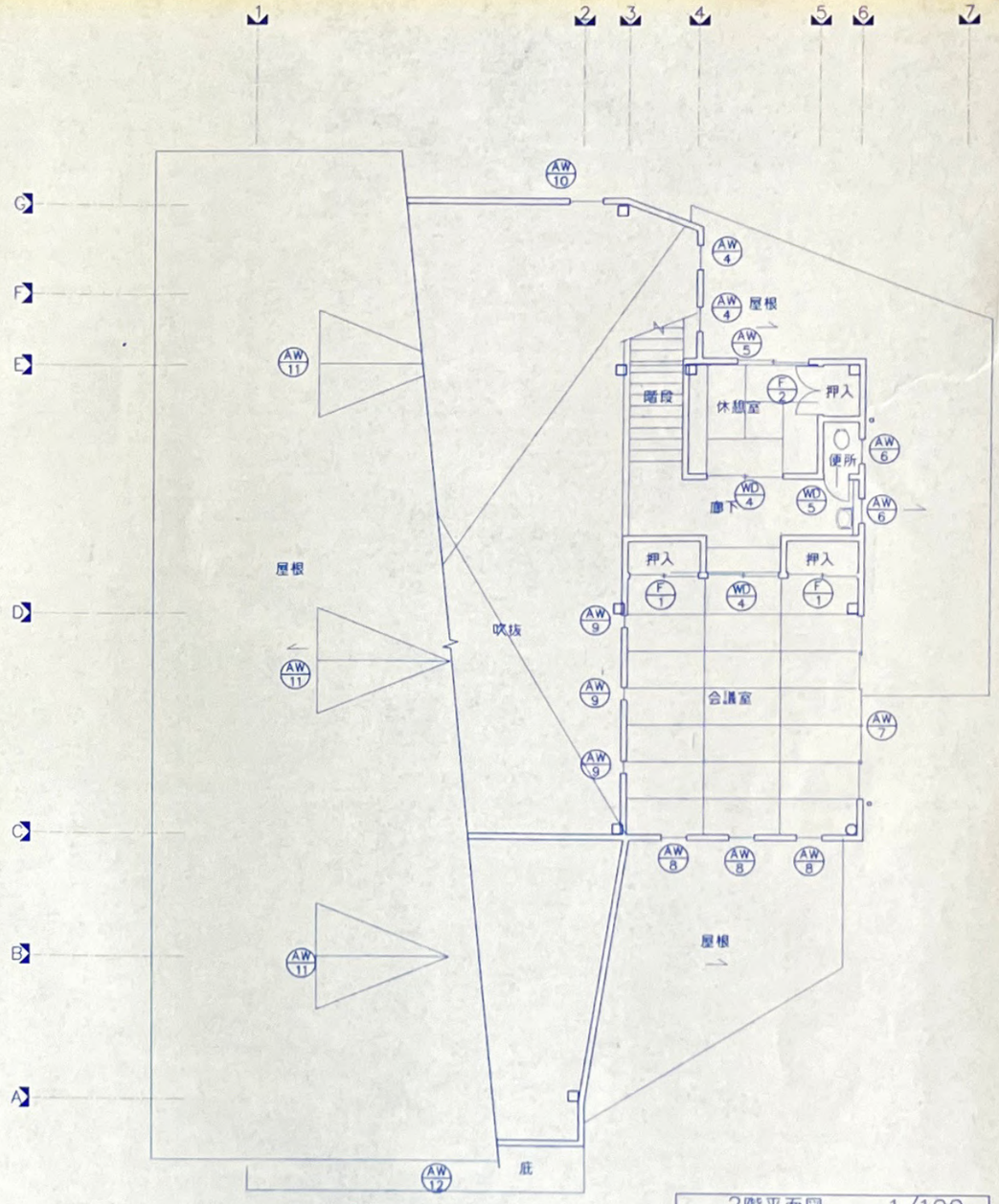
工事設計図　㊙ 24

建具特記仕様書

SUZUKI
株式会社 鈴木工務店　一級建築士事務所　一級建築士（第33474号）市川昭二
福山市丸之内1丁目4番1号　TEL (0849) 代22-1011　事務所登録　88(1)第1105号　図書作成 '98.11.12



1階平面図　1/100



2階平面図　1/100

訂正	建築確認書平成　年　月　日第　　号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

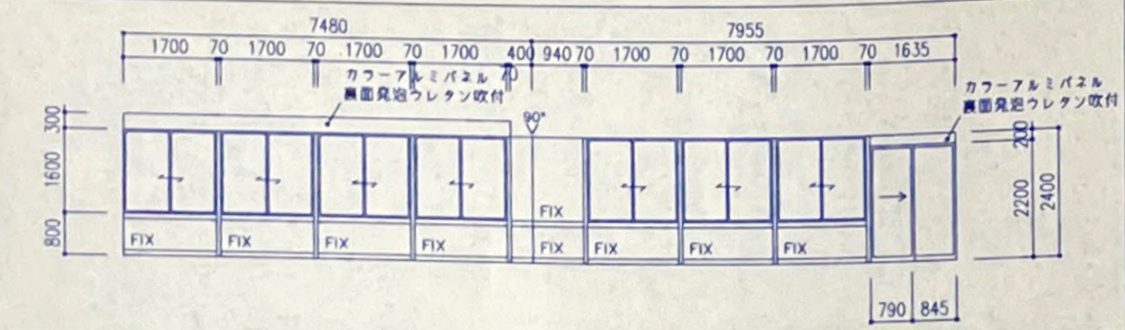
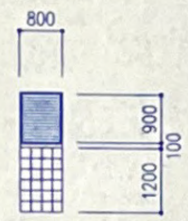
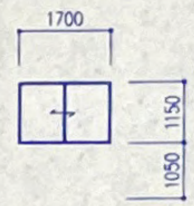
工事設計図　意 25

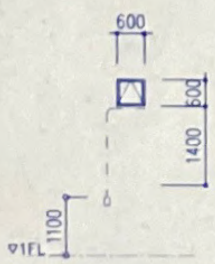
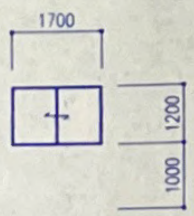
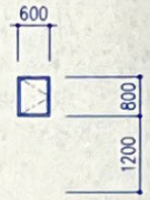
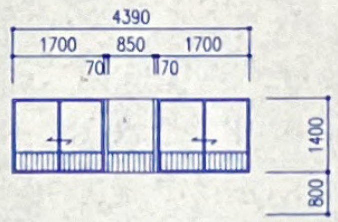
建具配置図　1/100

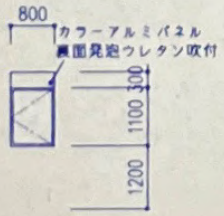
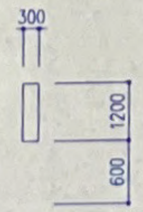
25

鈴木工務店 一級建築士事務所　市川昭二

福山市丸之内1丁目16番1号　TEL (0849) (22-1011)　事務所登録 92 (1) 第1105号　図面作成 981001

符号	AW1	AW2	AW3
個所	1	1	1
姿図			
名称	アルミ嵌め殺しサッシ＋引違いサッシ＋片引きドア	アルミルーバーサッシ＋ガラスブロック	アルミ引違いサッシ
室名	食堂	1階男子便所	1階事務室
見込寸法	70	100	70
金物	水切・アルミ額縁，シリンダー錠1，引き手，SUS下枠レール　ドアサイン（ユニオン DS−12　8ヶ）附属金物一式	水切・アルミ額縁，レバーハンドル 附属金物一式	水切・アルミ額縁・網戸 附属金物一式
硝子	FL5　，ドア～TP6　，欄　PW6.8	網入型6.8　オバリーン　ブレーン	FW6.8
塗装	ブラック	ブラック	ブラック
備考	RC用　三協アルミ　サンミッテ70　Mタイプ	RC用	RC用

符号	AW4	AW5	AW6	AW7
個所	2	1	2	1
姿図				
名称	アルミ外倒しサッシ	アルミ引違いサッシ	アルミ片開きサッシ	アルミ引違い＋FIXサッシ
室名	階段室	2階休憩室	2階便所・廊下	2階会議室
見込寸法	70	70	70	70
金物	水切・アルミ額縁，オペレーター開閉器（ワンタッチ錠） 附属金物一式	水切・アングルピース 附属金物一式・網戸	水切・アルミ額縁 附属金物一式	水切・アングルピース・網戸・アルミ手摺（外付）H＝400 附属金物一式
硝子	F4	F4	F4	FL5
塗装	ブラック	ブラック	ブラック	ブラック
備考	RC用	RC用	RC用	RC用

符号	AW8	AW9	AW10	AW11
個所	3	3	1	3
姿図				
名称	アルミ片開きサッシ	アルミ嵌め殺しサッシ	アルミ嵌め殺しサッシ	アルミ嵌め殺しサッシ
室名	2階会議室	2階会議室	店舗吹き抜け	店舗吹き抜け
見込寸法	70	70	70	70
金物	水切・アングルピース・網戸 附属金物一式	水切・アルミ額縁(2面) 附属金物一式	水切・アルミ額縁 附属金物一式	水切・アルミ額縁 附属金物一式
硝子	FL5	TP5	F4	FL5(食堂)　F4
塗装	ブラック	ブラック	ブラック	ブラック
備考	RC用	RC用	RC用	RC用

凡例

建具

AD － アルミ製　ドア
AW － 〃　窓
AG － 〃　ガラリ
AL － 〃　リンググリルシャッター
SD － 鋼製　ドア
SW － 〃　窓
SG － 〃　ガラリ
SS － 〃　シャッター
SL － 〃　リンググリルシャッター
STD － ステンレス製　ドア
STW － 〃　窓
STG － 〃　ガラリ
STS － 〃　シャッター
STL － 〃　リンググリルシャッター
WD － 木製　ドア
WW － 〃　窓
WG － 〃　ガラリ
WF － 戸ふすま
F － ふすま
TD － 強化ガラス製　ドア
TW － 〃　窓

ガラス

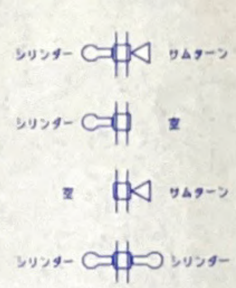
F － 型
F/L － フロート
W － 網入
W/L － 〃
H － 熱線吸収　硝子
L － 〃
T － 合せ
PW － 網入り磨き　硝子
FW － 〃　型
HS － 熱線吸収透明　硝子
HP － 〃　磨き
HF － 〃　型
HPW－ 〃　網入り磨き硝子
HFW－ 〃　型
TS － 透明強化　硝子
TP － 〃　磨き
TF － 〃　型

注）網入り硝子で記号W(L)をつけたものは網入り硝子とする。
例　PW(L)－網入り磨き硝子

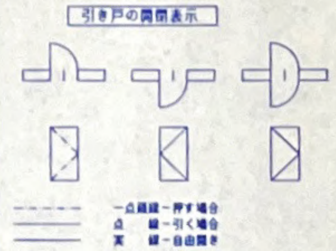
金物

PH － ピボットヒンジ
FH － フロアー　〃
AH － オート　〃
DC － ドアクローザー（ストップ無）
DC-S － ドアクローザー（ストップ付）

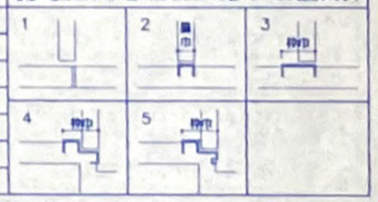
錠前の種類



引き戸の開閉表示



各種の種類（アルミ・鋼・ステンレス・木製・すべてに使用する。）



訂正	確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

建具表1

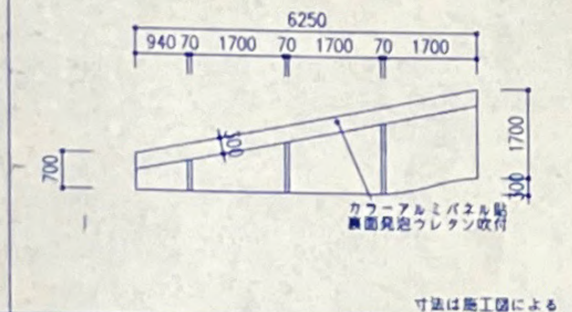
工事設計図　26

SUZUKI
株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所
市川昭二
池田

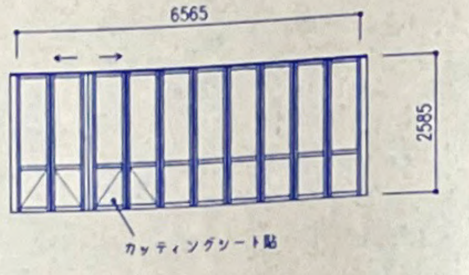
26

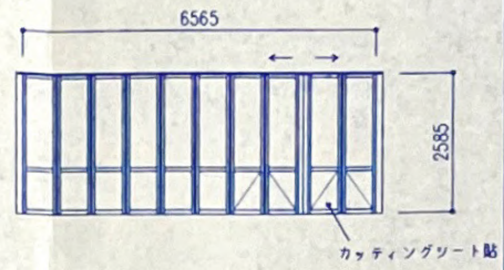
符号	個所	AW 12	1	AS 1	1	AS 2	1	AS 3	1

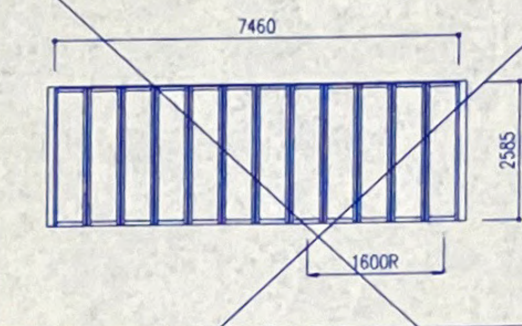
姿図



寸法は施工図による



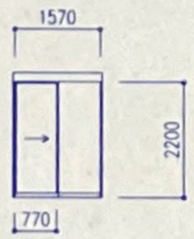


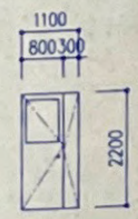


	AW 12	AS 1	AS 2	AS 3
名称	嵌め殺しアルミサッシ	折畳式スライドシャッター（直線仕様、手動式）	←	折畳式スライドシャッター（曲線仕様、手動式、ノンレールタイプ）
室名	食堂上部	店舗	←	店舗
見込寸法	70	80	←	80
金物	水切、アルミ額縁	上下レール（下レール：SUS直線用）	←	上レール
	附属金物一式	取手、引手 ~~シリンダー錠~~ 空錠 サムターン	←	取手、引手 シリンダー錠
硝子	熱線反射ガラス6 サンルックスSタイプ	ポリカーボ3 型シート 出入り口廻り4枚のみ一般シート	←	
塗装	ブラック	ブラック	←	
備考	RC用 三協アルミ サンミッテ70 Mタイプ	東洋シャッター サインスライダーA8 同等	←	東洋シャッター サインスライダーA8 同等

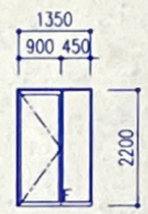
符号	個所	AD 1	1	AD 2	2	AD 3	2	AW 13	1

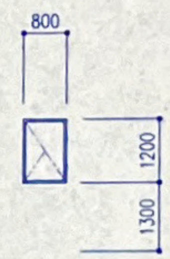
姿図





逆勝手有

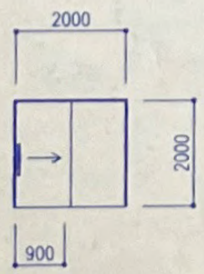




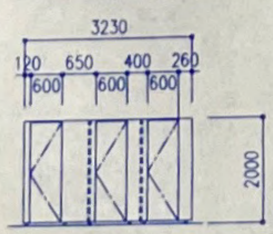
	AD 1	AD 2	AD 3	AW 13
名称	アルミ片引自動ドア	アルミフラッシュ親子扉	嵌め殺し袖付きアルミ片開きドア	アルミ縦滑りだしサッシ
室名	食堂入口	厨房、バックルーム	1階通路	厨房
見込寸法	100	70	70	70
金物	アルミ額縁（2面）、タッチスイッチ、安全用光電スイッチ、エンジン	アルミ額縁 SUS下枠4、シリンダーレバーハンドル錠1	アルミ額縁（2面）SUS下枠4、シリンダーレバーハンドル錠1、戸あたり	水切、アルミ額縁、レバーハンドル、網戸
	SUS下枠レール、シリンダー錠1、附属金物一式	T■(SUS)、DC-S フランス落し・附属金物一式	T■(SUS)、DC-S、SUS下枠2（内ドアのみ）、附属金物一式	附属金物一式
硝子	TP5 ドアサイン（ユニオン DS-12 4ヶ）	FW6.8	TP5 ドアサイン（ユニオン DS-12 4ヶ）	F4
塗装	ブラック	ブラック	ブラック	ブラック
備考	RC用	RC用	RC用	RC用

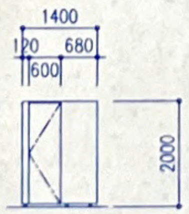
符号	個所	LSD 1	1	T 1	1	T 2	1	T 3	1

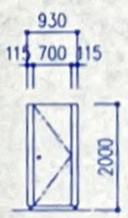
姿図



戸袋タイプ







	LSD 1	T 1	T 2	T 3
名称	トイレ用ハンガー引戸	トイレブース	トイレブース	トイレブース
室名	1階身障者用便所	1階WC(女)	1階WC(男)	1階掃除具入れ
見込寸法	扉：40	40	40	40
金物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
	大型サムターン・表示錠	表示付スライドボルト 戸当り帽子掛 脚金具	表示付スライドボルト 戸当り帽子掛 脚金具	表示付スライドボルト 物置用つまみ 脚金具
硝子				
塗装				
備考	コマニー 身障者用トイレブース カスタムシリーズ	コマニー トイレブース ~~CB-V同等~~ CB-C 同等	コマニー トイレブース ~~CB-V同等~~ ←	コマニー トイレブース ~~CB-V同等~~ ←

凡例

建具

AD － アルミ製 ドア
AW － 〃 窓
AG － 〃 ガラリ
AL － 〃 リンググリルシャッター
SD － 鋼製 ドア
SW － 〃 窓
SG － 〃 ガラリ
SS － 〃 シャッター
SL － 〃 リンググリルシャッター
STD － ステンレス製 ドア
STW － 〃 窓
STG － 〃 ガラリ
STS － 〃 シャッター
STL － 〃 リンググリルシャッター
WD － 木製 ドア
WW － 〃 窓
WG － 〃 ガラリ
WF － 戸ふすま
F － ふすま
TD － 強化ガラス製 ドア
TW － 〃 窓

ガラス

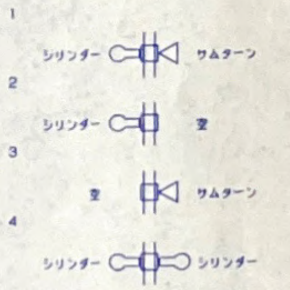
F － 型 硝子
FL － フロート 〃
W － 網入 〃
WL － 線入 〃
H － 熱線吸収 硝子
L － 複層 〃
T － 合せ 〃
PW － 網入り磨き 硝子
FW － 〃 型 〃
HS － 熱線吸収透明 硝子
HP － 〃 磨き 〃
HF － 〃 型 〃
HPW － 〃 網入り磨き硝子
HFW － 〃 型 〃 〃
TS － 透明強化 硝子
TP － 〃 磨き 〃
TF － 〃 型 〃

注）網入り硝子で記号Wに（L）をつけたものは線入り硝子とする。
例 PW(L)－線入り磨き硝子

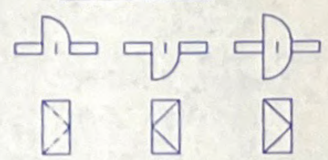
金物

PH － ピボットヒンジ
FH － フロアー 〃
AH － オート 〃
DC － ドアクローザー（ストップ無）
DC-S － ドアクローザー（ストップ有）

錠前の種類

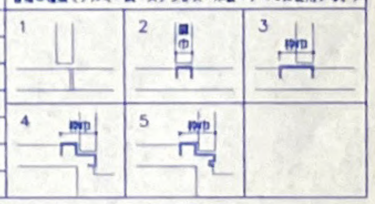


引き戸の開閉表示



一点鎖線－押す場合
点 線－引く場合
実 線－自由開き

召合せの種類（アルミ・鋼・ステンレス・木製・すべてに使用する。）



	確認通知書平成 年 月 日第 号による変更（すべての工事に優先する）
訂正	

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

工事設計図 ㊟ 27

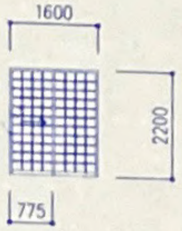
建具表2

SUZUKI 建築クリエーション。
株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所
一級建築士（第334744号） 市川昭二
池田

27

符号 WD1 ／ 個所 1

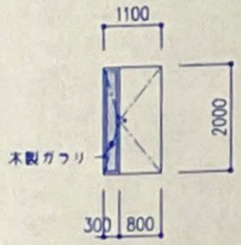
姿図



名称	嵌め殺し袖付き木製引戸
室名	食堂
見込寸法	木枠（3方枠）：150、扉：40
金物	大形引手、M型真鍮フラッターレール　シリンダー錠1 防寒じゃくり
硝子	FL5
塗装	オーク　着色ウレタン　枠共
備考	

符号 WD2 ／ 個所 1

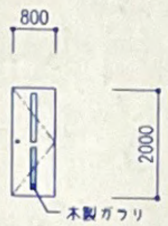
姿図



名称	ポリ合板フラッシュ親子扉
室名	店舗
見込寸法	スチール枠（3方枠）：110、扉：36
金物	SUST番、フランス落し　シリンダーレバーハンドル錠1 DC−S、SUS下枠2
硝子	
塗装	小口堅木付けぶちOP
備考	

符号 WD3 ／ 個所 2

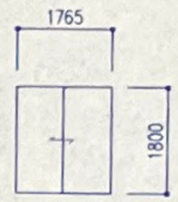
姿図



名称	ポリ合板フラッシュ片開き戸
室名	事務室
見込寸法	スチール枠（3方枠）：110、扉：36
金物	SUST番、戸あたり　シリンダーレバーハンドル錠1 DC−S、SUS下枠2
硝子	F2
塗装	小口堅木付けぶちOP
備考	

符号 WD4 ／ 個所 2

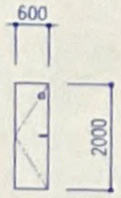
姿図



名称	引違い戸ふすま
室名	会議室・休憩室
見込寸法	扉：30
金物	引き手、フラッターレール、戸車
硝子	
塗装	着色ウレタン（銘木）
備考	新鳥の子、カシュー

符号 WD5 ／ 個所 1

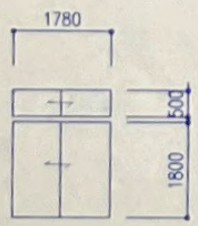
姿図



名称	ポリ合板フラッシュ片開き戸
室名	2階便所
見込寸法	スチール枠（3方枠）：110、扉：36
金物	SUST番、戸あたり、　表示錠（非常時開） DC−S、SUS下枠2
硝子	F2
塗装	小口堅木付けぶちOP　　F（アンダーカット20mm）
備考	

符号 F1 ／ 個所 2

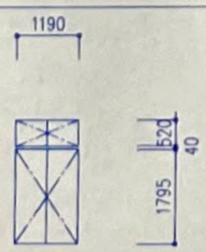
姿図



名称	引違い襖
室名	会議室
見込寸法	扉：21
金物	ふすま引き手
硝子	
塗装	新鳥の子、カシュー
備考	

符号 F2 ／ 個所 1

姿図



名称	両開き襖
室名	休憩室
見込寸法	扉：21
金物	取手、丁番、キャッチ
硝子	
塗装	新鳥の子、カシュー
備考	

凡例

建具

AD − アルミ製　ドア
AW − 〃　窓
AG − 〃　ガラリ
AL − 〃　リンググリルシャッター
SD − 鋼製　ドア
SW − 〃　窓
SG − 〃　ガラリ
SS − 〃　シャッター
SL − 〃　リンググリルシャッター
STD − ステンレス製　ドア
STW − 〃　窓
STG − 〃　ガラリ
STS − 〃　シャッター
STL − 〃　リンググリルシャッター
WD − 木製　ドア
WW − 〃　窓
WG − 〃　ガラリ
WF − 戸ふすま
F − ふすま
TD − 強化ガラス製　ドア
TW − 〃　窓

ガラス

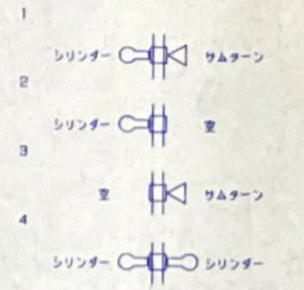
F − 型　硝子
FL − フロート　〃
W − 網入　〃
WL − 線形　〃
H − 熱線吸収　硝子
L − 複層　〃
T − 合せ　〃
PW − 網入り磨き　硝子
FW − 〃 型　〃
HS − 熱線吸収透明　硝子
HP − 〃 磨き　〃
HF − 〃 型　〃
HPW − 〃 網入り磨き硝子
HFW − 〃 型 〃　〃
TS − 透明強化　硝子
TP − 〃 磨き　〃
TF − 〃 型　〃

注）網入り硝子で記号Wに（L）をつけたものは線入り硝子とする。
例　PW(L)−線入り磨き硝子

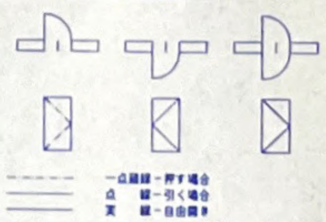
金物

PH − ピボットヒンジ
FH − フロアー 〃
AH − オート 〃
DC − ドアクローザー（ストップ無）
DC−S − ドアクローザー（ストップ有）

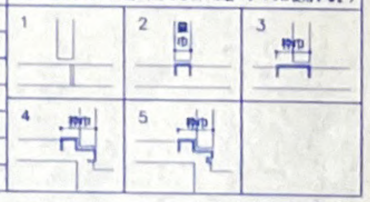
錠前の種類



引き戸の開閉表示



各様の種類（アルミ・鋼・ステンレス・木製・すべてに使用する。）



訂正	確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

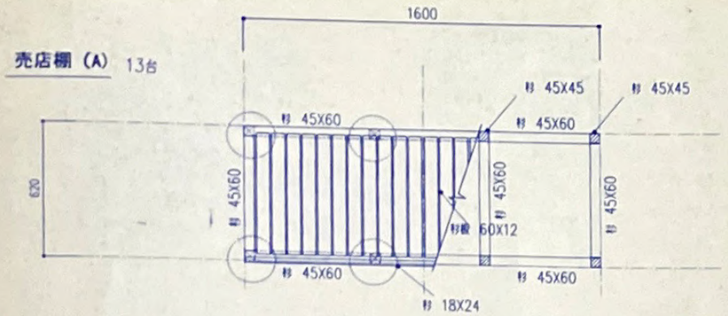
平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

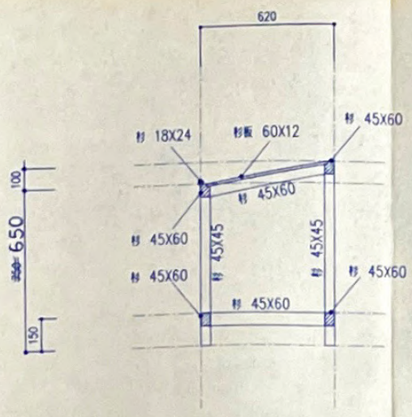
建具表3

工事設計図　意 28

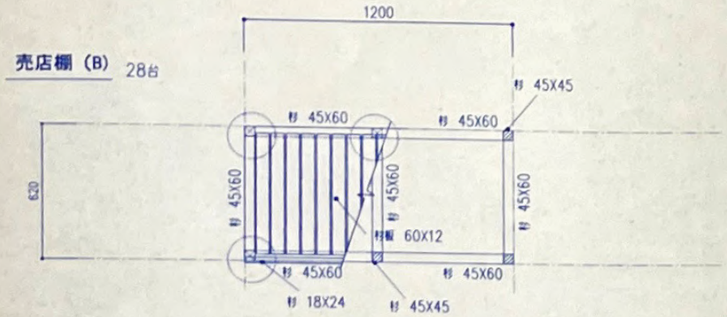
株式会社 鈴木工務店　一級建築士事務所　一級建築士（第334744）市川昭二　池田

売店棚（A） 13台



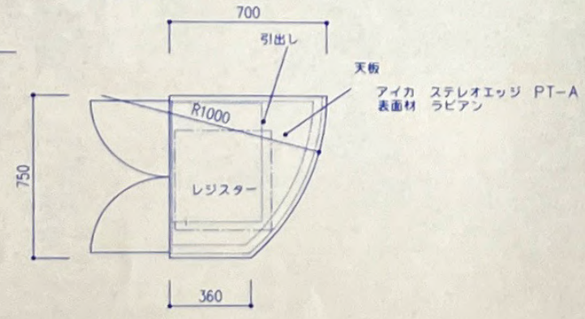


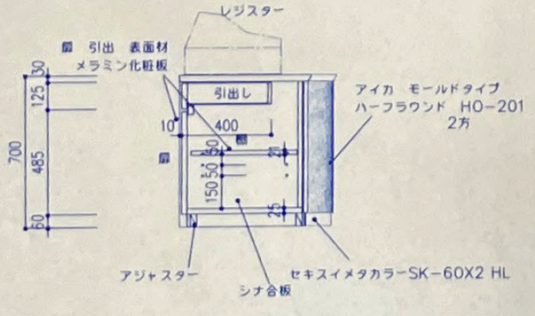
売店棚（B） 28台



注）・木材は、1等上小節とする。
・~~ミンテコールクリヤー塗~~。
クリヤー塗

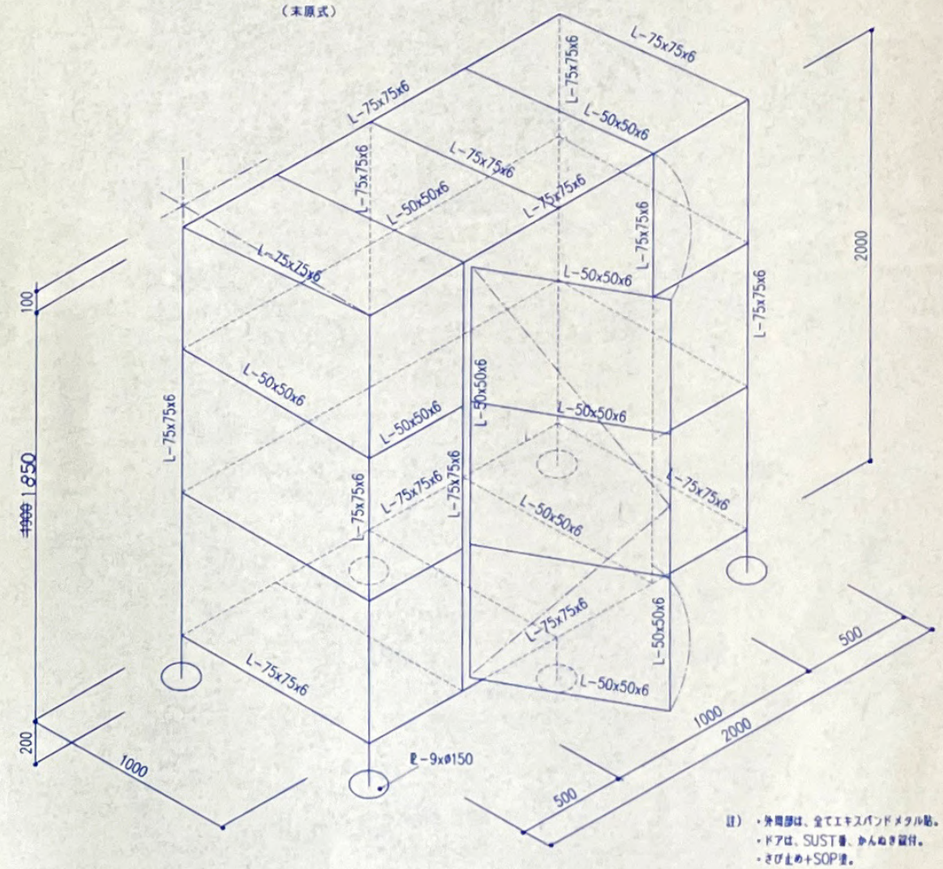
レジ台





ごみ置場

（末原式）



注）・外周部は、全てエキスパンドメタル貼。
・ドアは、SUST製、かんぬき設付。
・さび止め+SOP塗。

確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）

訂

正

竣工図

変更後図面

SUZUKI 鈴木グリミーション

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

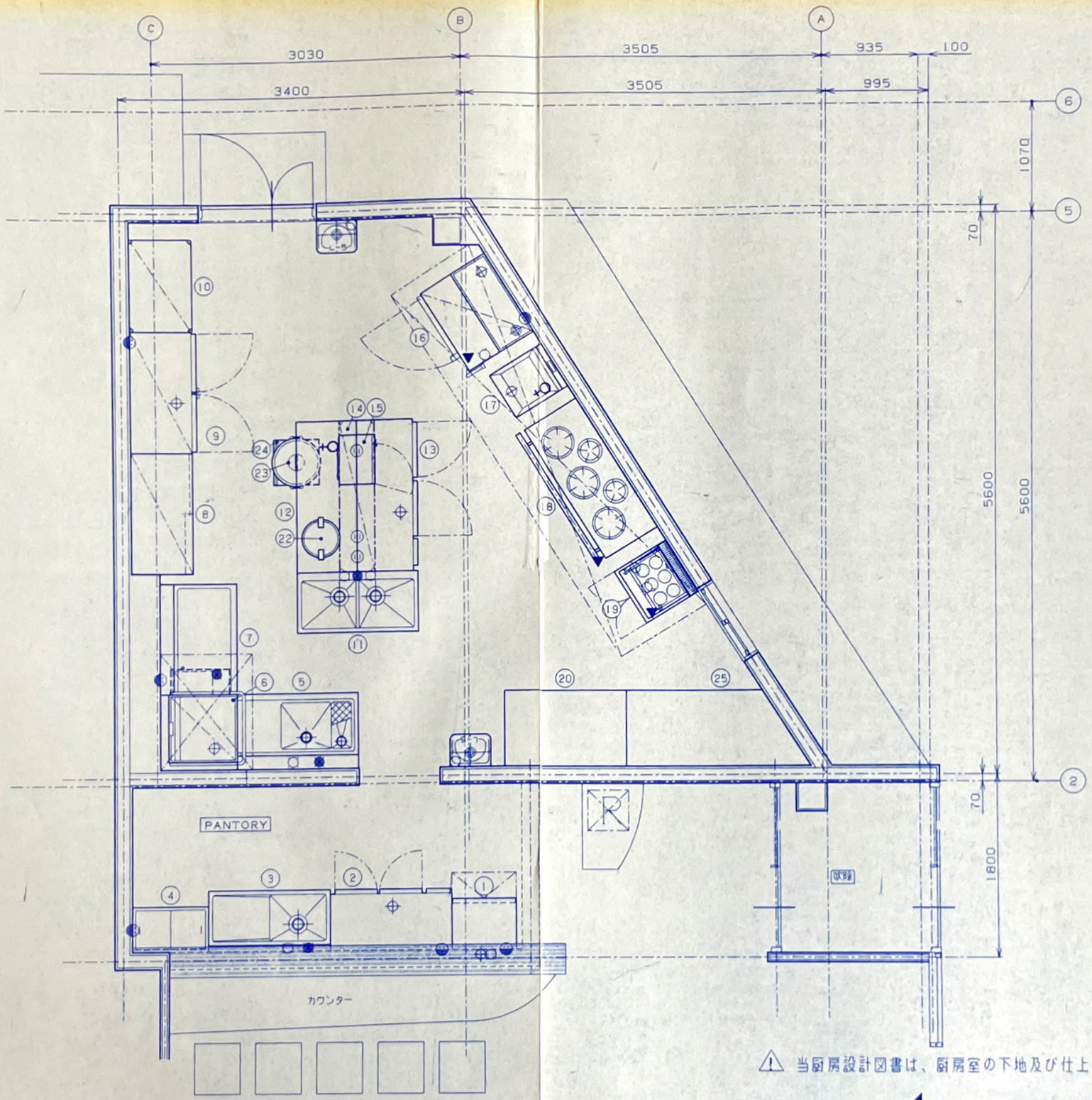
工事設計図　意 29

家具詳細図　1/20

29

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士（第334744） 市川昭二

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) (代 22-1011) 事務所登録 93 (1) 第1105号 図書作成 98.11.11



⚠ 当厨房設計図書は、厨房室の下地及び仕上材は、不燃材料と見なしてあります。

訂正	確認通知書平成　年　月　日第　号による変更(すべての工事に優先する)
0	
1	
2	
3	
4	
5	

竣工図

変更後

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

工事設計図	蘭 30	
厨房平面図	1/30	30.1

株式会社 鈴木工務店　一級建築士事務所　一級建築士(第33474号) 市川昭三

福山市丸之内1丁目4番1号　TEL (0849) (代22-1011)　事務所登録 93(1)第1105号　図書作成 '93. 5. 1.

H. 9. 7. 3.000

厨房器具表

No.	品名	MODEL	台数	寸法(規格)m/m 間口	奥行	高さ	配管接続口径(A) 給水	給湯	排水	ガス(kg/H) 口径(A)	消費量 kg/H	電気(kw/h) 1φ100V	1φ200V	3φ200V	フード	備考
1	製氷機	SIM-S57	1	630	500	850	15 G.V		40			0.40				
2	コールドテーブル冷蔵庫	RXC-40RM1	1	1200	600	800			40			0.28				有効内容積246リッター
3	水切付一槽シンク		1	1200	600	800	15	15	50							下部戸棚付
4	小型冷凍ストッカー	SCR-82G	1	741	446	950						0.11				
5	ダスト付1槽ソイルドテーブル		1	1200	750	820	15	15	50x2							
6	ドア型自動食器洗浄機	TDWD-60SBER	1	674	680	1430		15 G.V	40					11.7	○	60ラック/h
7	クリーンテーブル		1	1100	750	820										
8	戸棚	TS-CB-120	1	1200	600	1800										
9	冷凍冷蔵庫	EXN-41PM2	1	1200	645	1920			40			0.82				
10	エレファントシェルフ	N-TES-19-6191S	1	910	610	1900										棚4段
11	二槽シンク	TS-2S-120NB	1	1200	600	800	15x2	15	50x2							
12	作業台		1	1500	600	800										下部三方枠
13	コールドテーブル冷蔵庫	RXC-50RM1	1	1500	600	800			40			0.28				有効内容積323リッター
14	二段棚	TS-WP-150	1	1500	350	800										
15	電子レンジ	EM-650T	1	490	376	300						1.20				
16	スチームコンベクションオーブン	GSC-15B	1	900	790	1400	15 G.V		20 25	20	1.5	0.50			GF	
17	ガスフライヤー	RK-40	1	490	600	800			40	ホース13φ	0.71				GF	油量18リッター サーモスタット180℃~220℃
18	ガステーブル	NT1532	1	1500	600	800				25	4.2				GF	
19	角型ゆで麺器	N-TU-60	1	600	600	800	15 G.V		25	20	1.75				○	
20	作業台	TS-WT-120ANB	1	1200	750	800										
21																
22	電子保温ジャー	THA-C80	1	460	380	390						0.08				4升4合
23	ガス炊飯器	RR-50S1	1	525	481	434				ホース10φ	0.74					4~10リッター
24	炊飯台	TS-R-45	1	450	450	95										
25	盛付台		1	1800	750	800										三方枠
	プレハブ冷蔵庫		1	1800	3600	2144			40			0.40		1.50		
	冷蔵ショーケース	MIN-64RGTOR	2	1829	920	850								~~0.82 ×2~~		

⚠ 当厨房設計図書は、厨房室の下地及び仕上材は、不燃材料と見なしてあります。

厨房器具表

No.	品名	MODEL	台数	寸法(規格)m/m 間口	奥行	高さ	配管接続口径(A) 給水	給湯	排水	ガス(kg/H) 口径(A)	消費量 kg/H	電気(kw/h) 1φ100V	1φ200V	3φ200V	フード	備考
																NQ02-903D

訂正	確認通知書平成　年　月　日第　号による変更(すべての工事に優先する)
0	
1	
2	
3	
4	
5	

竣工図

変更後

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業 産地形成促進施設 新築 工事設計図 衛 31

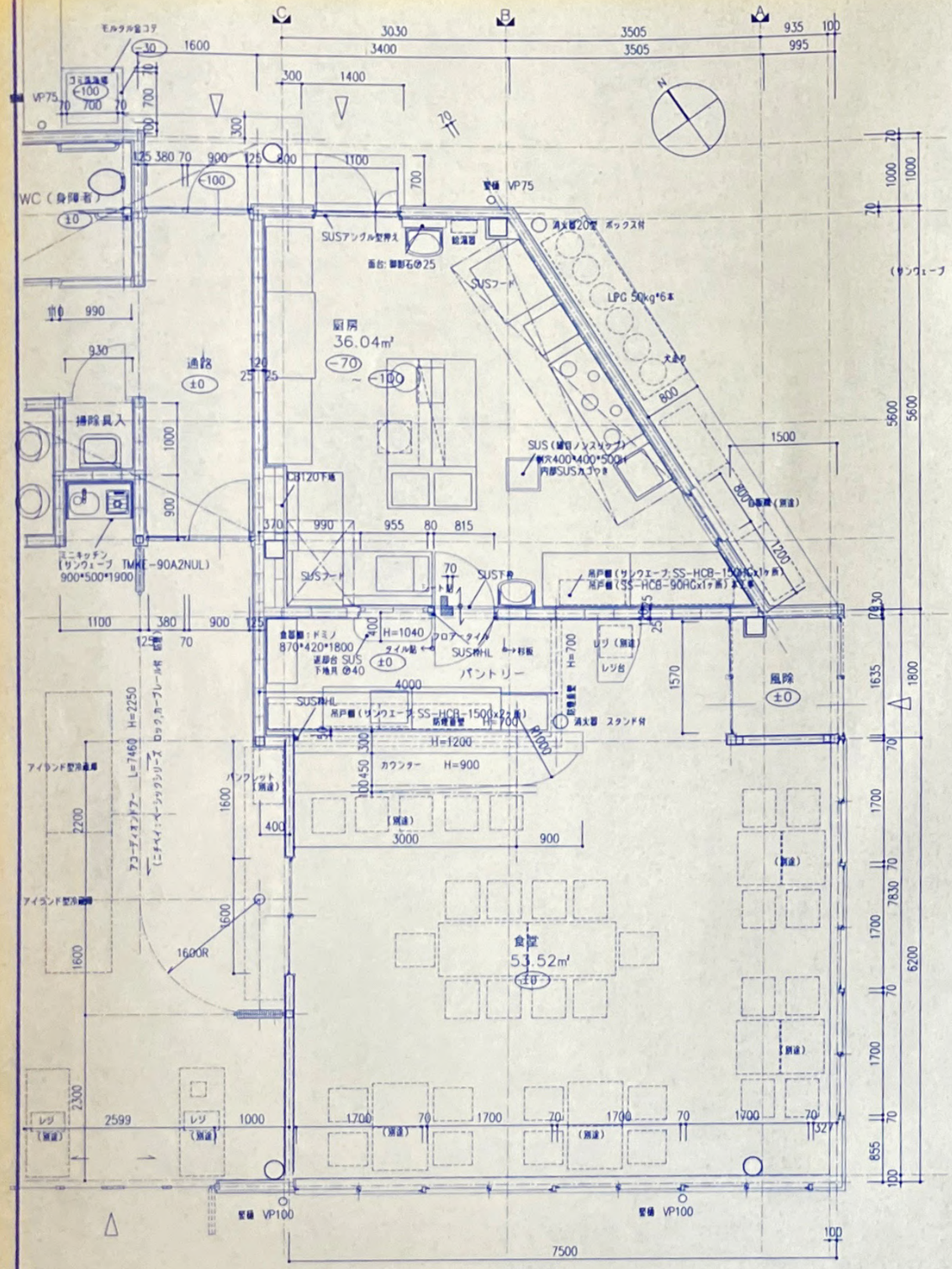
厨房器具表

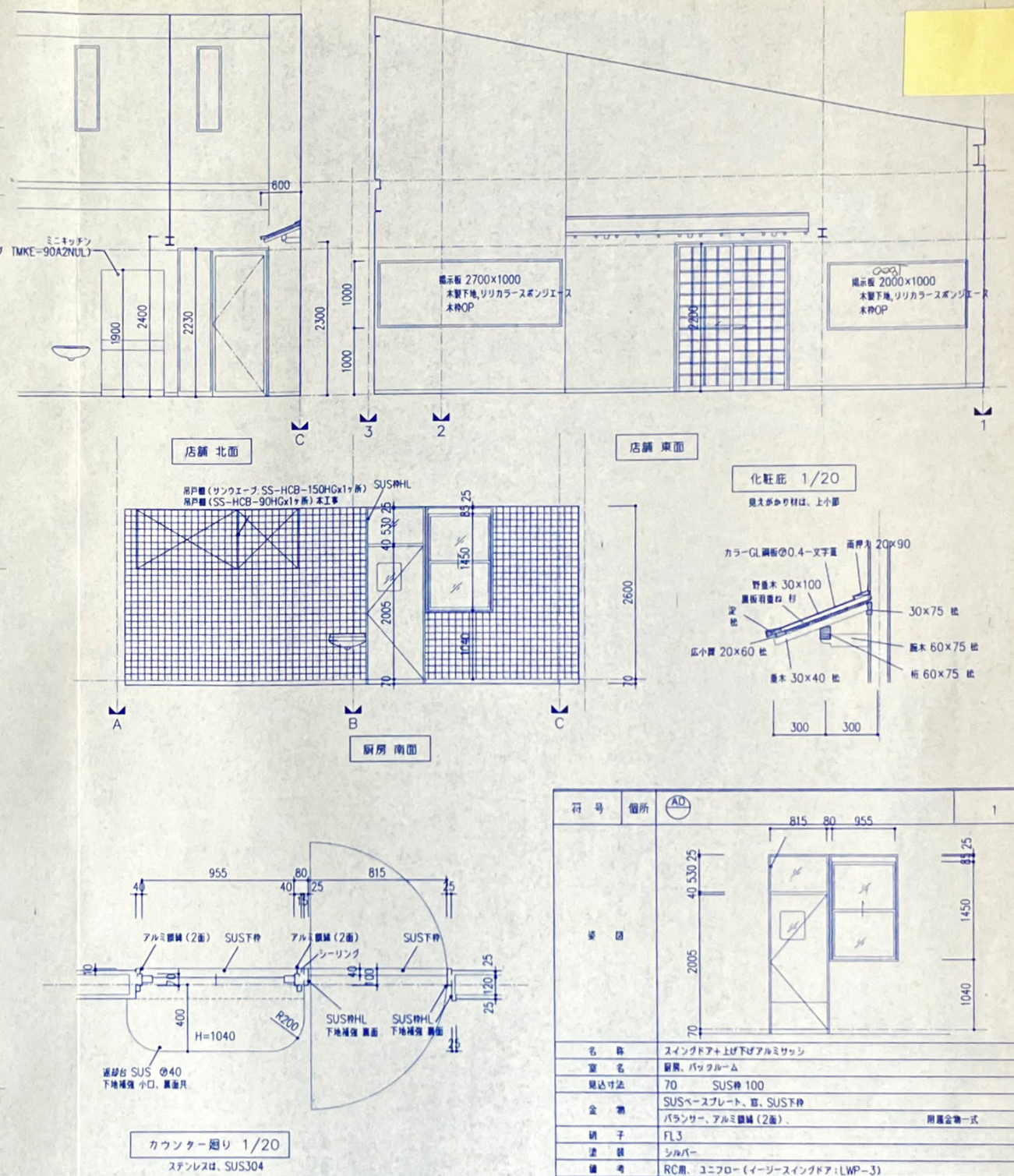
株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士(第33474号) 市川昭二

30.2

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代22-1011 事務所登録 93(1)第1105号 図書作成 '98 5.18

H. 9. 7. 3.000





符号	個所	AD	1
姿図			
名称	スイングドア＋上げ下げアルミサッシ		
室名	厨房、バックルーム		
見込寸法	70　SUS枠 100		
金物	SUSベースプレート、蝶、SUS下枠		
	バランサー、アルミ網縞（2面）、	附属金物一式	
硝子	FL3		
塗装	シルバー		
備考	RC用、ユニフロー（イージースイングドア：LWP-3）		

訂正 △1 確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

変更後図面

SUZUKI 鈴建グループ

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

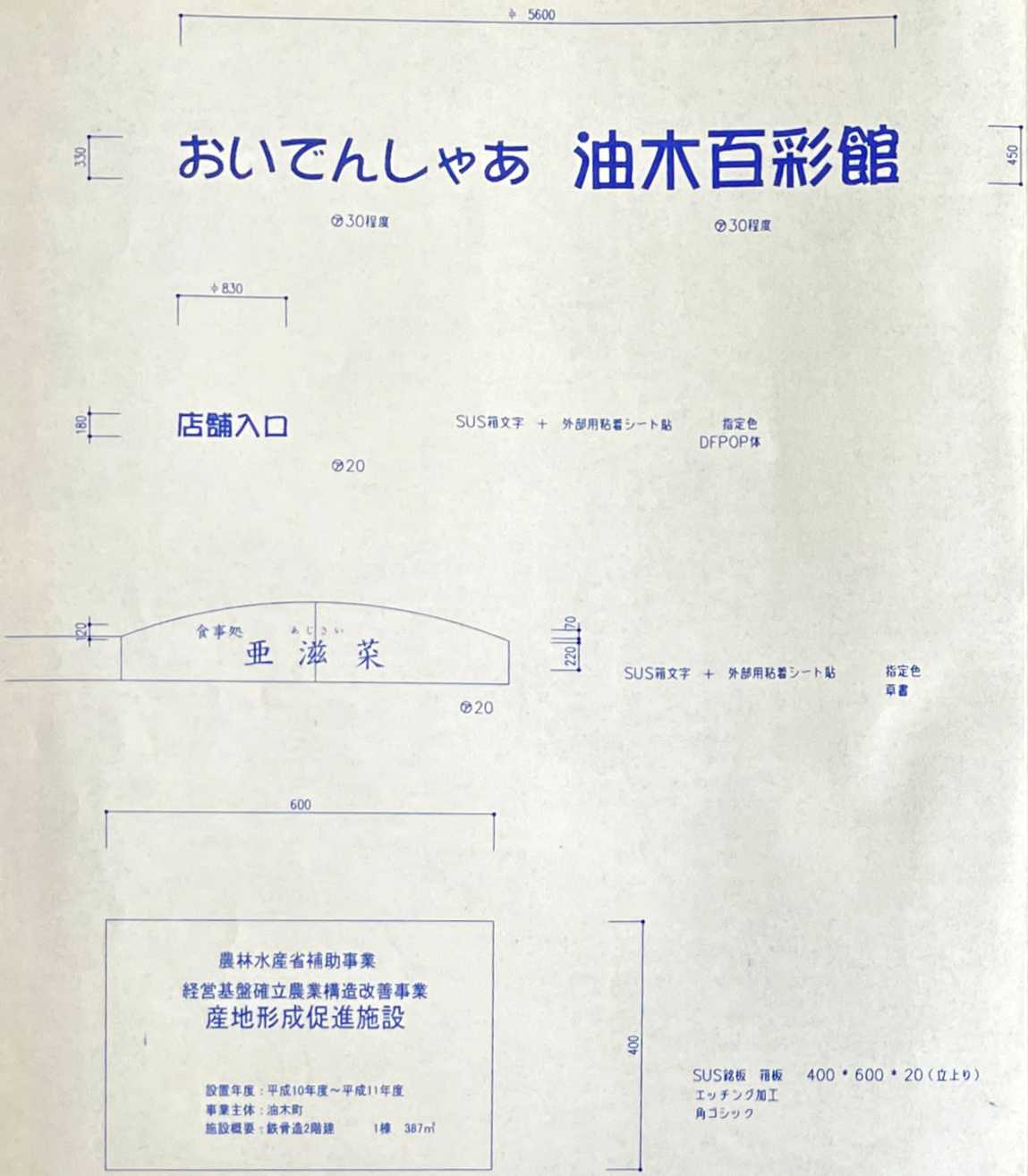
工事設計図　意 32

厨房変更図　1/50

株式会社鈴木工務店 一級建築士事務所　一級建築士（第3347号）市川昭二

30.3

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代 22-1011 事務所登録 93 (1) 第1165号 図書作成 99.5.15



訂正	識認通知書平成 年 月 日第 号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

追加工事

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

工事設計図 意 33

サイン 銘板

1/30 1/60

30.4

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士（第3547号） 市川 昭二

福山市丸之内1丁目16番1号 TEL (0849) 代 22-1011 事務所登録 98 (1) 第1105号 図書作成 1999.5.15

鉄筋コンクリート配筋仕様書　（ラーメン構造）

図面及び特記仕様書に記載されてない事項は建設大臣官房官庁営繕部「建築工事共通仕様書」平成5年版による
項目及び特記事項は○印をつけたものを適用する　○印がない場合は＊印を適用する
鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説（日本建築学会）を参照の事

使用材料

＊ 異形鉄筋　＊Ａ　種　・Ｂ　種　（5.1.1表）　・SD390　＊SD345　⊙SD295A, SD295B

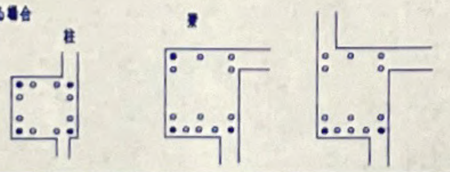
⊙ 溶接金網（JIS G3551の規格品）　網目の形状・寸法及び線径　（ φ6×150 ）

鉄筋の折曲げ

部位	曲げ角度	折曲げ図		すべてのコンクリート	SD345 SD295A, 295B D16以下	SD345 SD295A, 295B D19〜D38	SD390 D10〜D38	使用箇所
末端部	180°		D		3d以上	4d以上	5d以上	柱、梁の主筋及び杭基礎のベース筋並びに径16mm〜38mmの鉄筋
	135°		D		3d以上	4d以上	5d以上	径13mm以下の鉄筋並びに助筋、帯筋、スパイラル筋及び床版筋
	90°		D		3d以上	4d以上	5d以上	T形及びL形梁の助筋
	135° 90°		D		3d以上	4d以上	5d以上	幅止め筋
中間部	90°以下		D	3d以上（16mm以下） 4d以上（19mm以上）				助筋、帯筋、スパイラル筋
			D	4d以上				径16mm以下の床版筋、壁筋
			D	6d以上				上記以外の鉄筋で径19mm〜25mm
			D	8d以上				上記以外の鉄筋で径28mm〜38mm

注）　d＝鉄筋の公称直径（鉄筋の呼び径）　D＝曲げ内法直径

＊ 次の場合は鉄筋の末端部にフックをつける
1. 柱の出隅にある主筋（右図の●印）で重ね継手及び最上階の柱頭にある場合
2. 梁主筋の重ね継手が梁の出隅及び下端の両端（右図●印）にある場合
   但し、基礎梁を除く
3. 杭基礎のベース筋
4. 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）
5. 帯筋、助筋及び幅止め筋

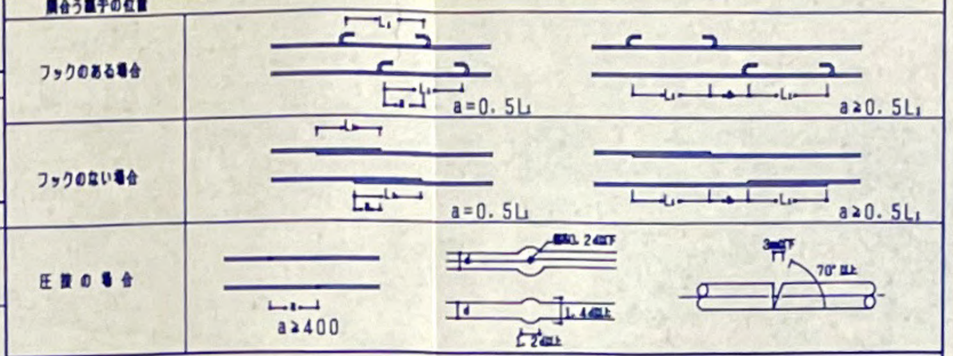


鉄筋の継手及び定着の長さ　（コンクリートの設計基準強度は　21N/㎟以上　27N/㎟未満とする。他は特記による）

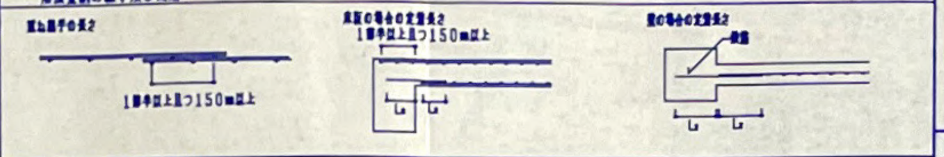
	鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fo（N/㎟）	フックなし L_1	フックなし L_2	フックなし L_3 小梁	フックなし L_3 床版	フックあり L_1	フックあり L_2	フックあり L_3 小梁	フックあり L_3 床版
⊙	SD295A, 295B	21　以上	40d	35d	25d	10d且つ150mm以上	30d	25d	15d	—
＊	SD 345									
・	SD 390	以上	45d	40d	25d	10d且つ150mm以上	35d	30d	15d	—
・		以上								

注）1）L_1 ：継手並びに下記2. 及び3. 以外の定着長さ
2）L_2 ：割裂破壊の恐れのない箇所の定着長さ
3）L_3 ：小梁及び床版の下端筋の定着長さ，但し基礎耐圧版
これを受ける小梁などは除く
4）フックのある場合のL_1，L_2 及びL_3 には右図に示すフック部分 l の長さを含まない
5）径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による
6）コンクリートの設計基準強度が　18N/㎟の場合はL_1 及びL_2 は表の値に5dを加えたもの、L_3 は表の値とする

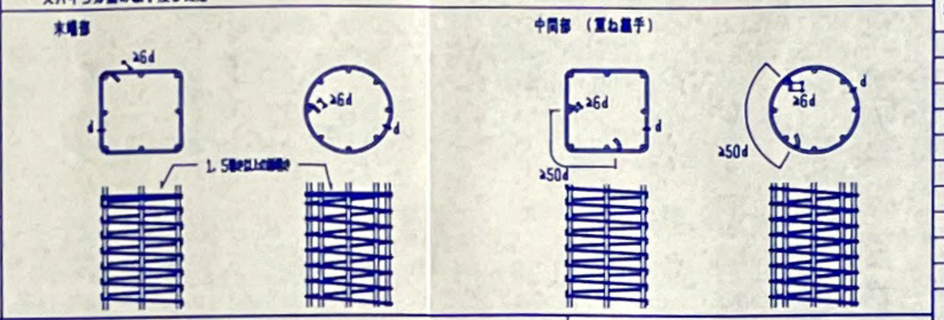
継手の位置



溶接金網の継手及び定着



スパイラル筋の継手及び定着



鉄筋（溶接金網）の最小かぶり厚さ（㎜）

構造部分の種別				最小かぶり厚さ（㎜）
土に接しない部分	床版　耐力壁以外の壁		仕上げあり	20
			仕上げなし	30
	柱、梁　耐力壁	屋内	仕上げあり　仕上げなし	30
		屋外	仕上げあり	30
			仕上げなし	40
	擁壁・耐圧床版			40
土に接する部分	柱、梁、床版、壁			＊40
	基礎、擁壁、耐圧床版			＊60
煙突など高熱を受ける部分				60

鉄筋相互のあき

鉄筋と鉄筋のあき（a）は下記の値の最大のものとする

1. 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上
2. 25㎜以上
3. 鉄筋最大外径の1.5倍以上

・主筋と軸方向鉄骨とのあきは，上記による。

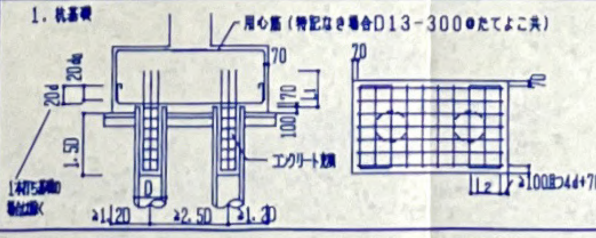
注）1）＊印のかぶり厚さは普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は特記による
2）仕上げありとはモルタル塗りなどの仕上げのあるものとし、吹きつけ塗装などの鉄筋の耐久上有効でない仕上げのものを除く
3）床版、梁、基礎及び擁壁で直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない
4）杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭天端からとする
5）柱及び梁の主筋に異径鉄筋（D29以上）を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを，径の1.5倍以上として最小かぶり厚さを定める。
6）塩害を受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の最小かぶり厚さは、特記による。
7）柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを、径の1.5倍以上として最小かぶり厚さを定める。
8）柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10㎜を加えた数値を標準とする。

鉄筋の断面記号

丸鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	28φ	32φ
異径鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
断面記号	•	×	ø	●	○	◍	⊠	◎

基礎の配筋要領

1. 杭基礎

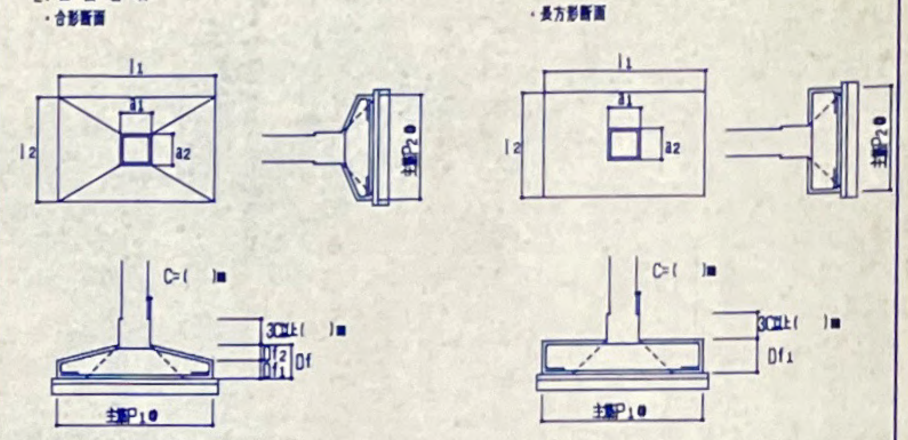


D：杭径
d：ベース筋の径
do ：ベースと用心筋の細い方の径

特記なき寸法は下記による
1. 捨コンクリート厚さ50㎜
2. 栗石地業厚さ100㎜
3. 杭頭部コンクリート詰めは場所打ちの場合はとする

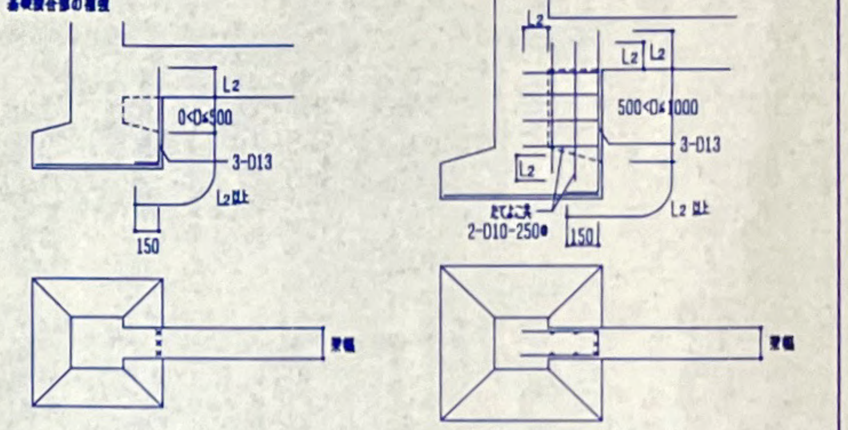
注）1）パイルを所定の位置に打ち損じた場合は，監督員又は設計者の指示により適切な処置を行う。（補強等）
2）杭頭の切りそろえは，杭に有害な衝撃を与えない様に慎重に行う

2. 直接基礎
・合形断面　　・長方形断面

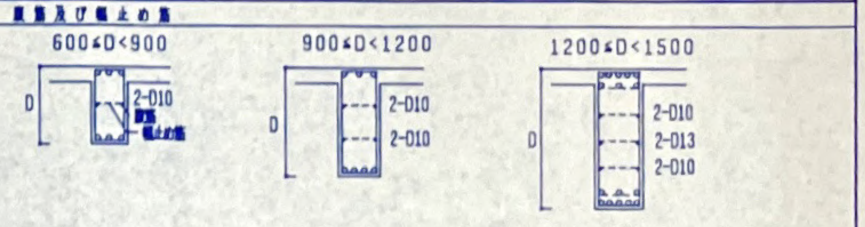


基礎符号	フーチング幅（m） l_1	フーチング幅（m） l_2	フーチング高さ（m） Df_1	フーチング高さ（m） Df_2	はかま幅（m） a_1	はかま幅（m） a_2	配筋 P_1＠ 上端筋	配筋 P_1＠ 下端筋	配筋 P_2＠ 上端筋	配筋 P_2＠ 下端筋

3. 基礎開口部の補強



腹筋及び幅止め筋



注）1）梁成（D）が1.5m以上の場合は、特記による。
2）幅止め筋及び受け用幅止め筋は、特記なき限りD10−1000＠程度とする。
3）腹筋継手を設ける場合の継手長さは、150㎜程度とする。
4）壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは特記による。但し特記なき場合はL_2 とする。定着長さ及び継手長さ＝（　　　）

訂正		確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築
工事設計図　構 1

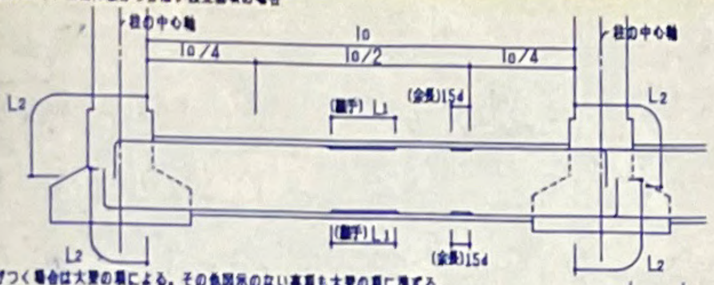
鉄筋コンクリート配筋仕様書　1

SUZUKI
株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所　一級建築士 市川昭二
福山市丸之内1丁目4番1号　TEL（0849）代22−1011　事務所登録 93(1)第1105号　図書作成 '98.11.12

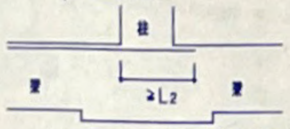
31

基礎梁の配筋要領

1．基礎（集中）梁に床版がつかない独立基礎の場合

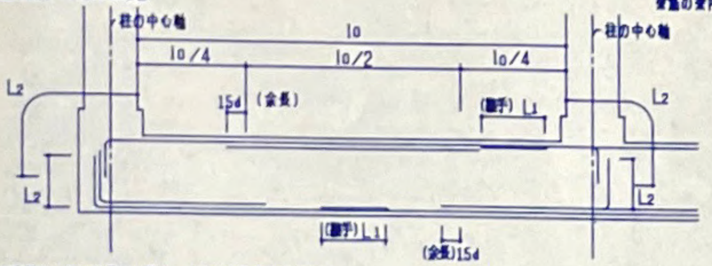


注）1）床版がつく場合は大梁の項による。その他図示のない事項も大梁の項に準ずる。
2）上端筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとする事が出来る。
3）梁筋で柱をまたいで引き通すことが出来ないものは、原則として柱内に定着する。
なお梁内に定着する場合は右図による。



梁筋の梁内への定着

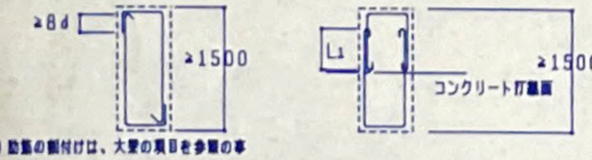
2．連続基礎及びべた基礎の場合



注）1）上端筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとする事が出来る。
2）梁筋で柱をまたいで引き通すことが出来ないものは、原則として柱内に定着する。なお梁内に定着する場合は右上図による。

3．肋筋、腹筋及び幅止め筋

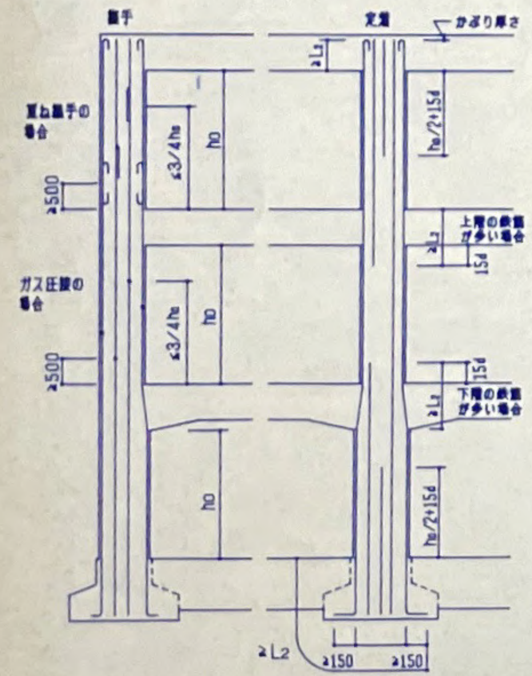
注）1）腹筋及び幅止め筋は、腹筋及び幅止め筋の項を参照のこと。
2）肋筋組立ての形及びフック位置は、大梁の肋筋の項による。但し梁成が1．5m以上の場合は下図による事ができる。



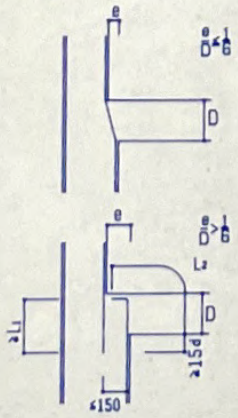
3）肋筋の割付けは、大梁の項目を参照の事

柱の配筋要領

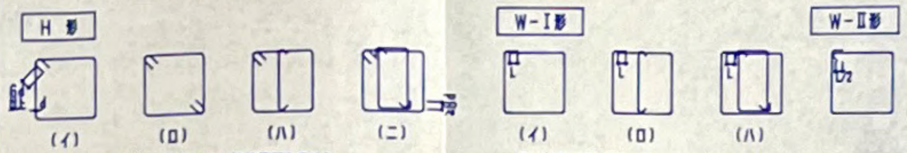
1．主筋の継手及び定着



1）継手及び圧接中心位置は、梁上端から500mm以上且つ3/4h0 以下とする。（h0 ＝柱の内法高さ）
2）継手長さは、L1 とする。
3）上階と下階の柱の寸法が異なる場合（段差が有る場合）



2，帯筋組立の形は下図とし、種別は特記による。但し特記がなければ下記による。
1）H形とする
2）H形の135°曲げフックが困難な場合は、W−I形とする
3）更にW−I形が困難な箇所は、監督員の承認を受けてW−II形とすることができる

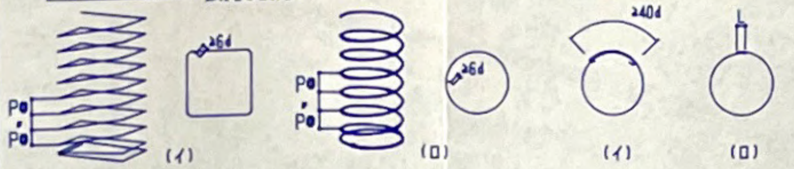


注）フックは交互に配置する（溶接箇所も同じ）

注）溶接は組立前に行う
両面フレア溶接の場合 L＝5d以上
片面フレア溶接の場合 L＝10d以上

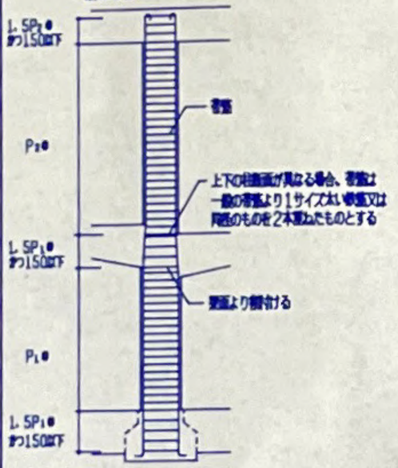
S 形（スパイラル筋） S形において、柱頭及び柱脚の端部は、1．5巻以上の添え巻きを行う。

丸 形

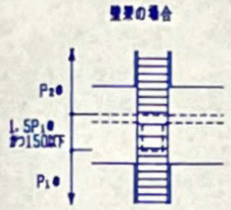


3，帯筋の割付け

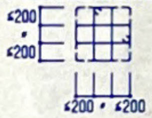
一般の場合



壁梁の場合

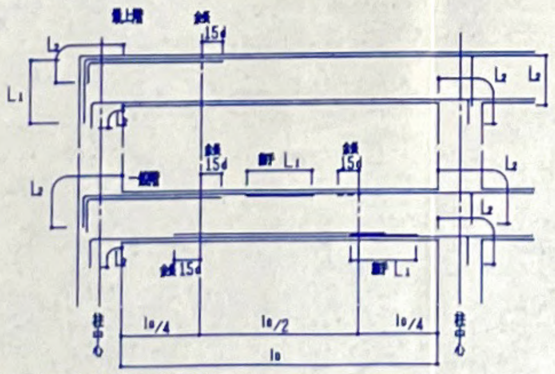


1．帯筋の径及びピッチは特記による。但し特記なき場合は下記による
柱の最大径>600の場合 D13−100＠
〃 ≦600 〃 D10−100＠
2．副帯筋の径及びピッチは特記による。但し特記なき場合は下記による
径−−−帯筋の径と同径
ピッチ−帯筋ピッチの5倍以下（但し梁との交叉部内は省略できる）
形状−−

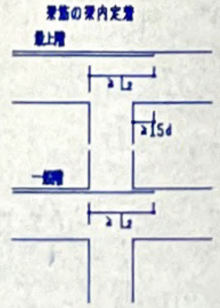


大梁の配筋要領

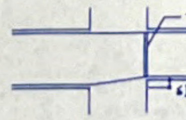
1．異径鉄筋でハンチのない場合の継手及び定着



梁筋の梁内定着

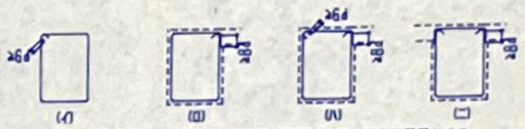


（注）1）重ね継手及び圧接位置は下記による
上端筋 ——中央部 l0 ／2以内、 下端筋 ——両端部 l0 ／4以内
2）梁筋で柱をまたいで引通すことができない場合は、柱内に定着する。その場合は柱の中心軸を越えてからたてにおろす
3）ハンチ付梁は特記による
4）段ちがい梁は監督員の承認を受けて下図によることができる



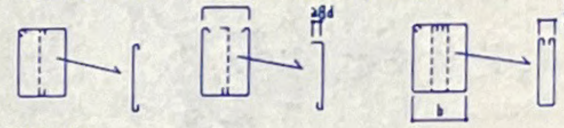
つり上げ筋は一般のあばら筋より1サイズ太い鉄筋，又は同径のものを2本重ねたものとする

2．肋筋の組立形状及びフックの位置
1）形は下図の（イ）とする。但しL形梁の場合は（ロ）又は（ハ）とすることができ、T形梁の場合は（ニ）とすることができる
2）フックの位置は（イ）場合は交互、（ロ）（ハ）の場合は床版のつく側とする（T形の場合は交互とする）
なお、（ハ）の場合は床版のつく側を90°折り曲げとする

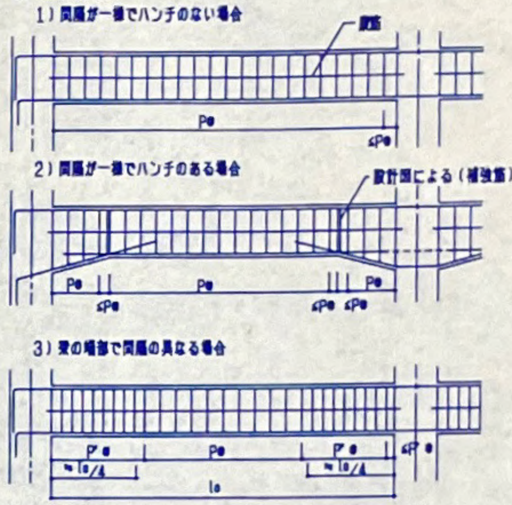


床版なし —（イ）
L形 ——（ロ）（ハ）
T形 ——（ロ）（ハ）（ニ）

3）副肋筋は下図による。但し鉄筋径及び間隔は肋筋と同径同間隔とする

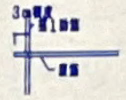


3．肋筋の割付け
1）間隔が一様でハンチのない場合



※肋筋は柱面より割付ける

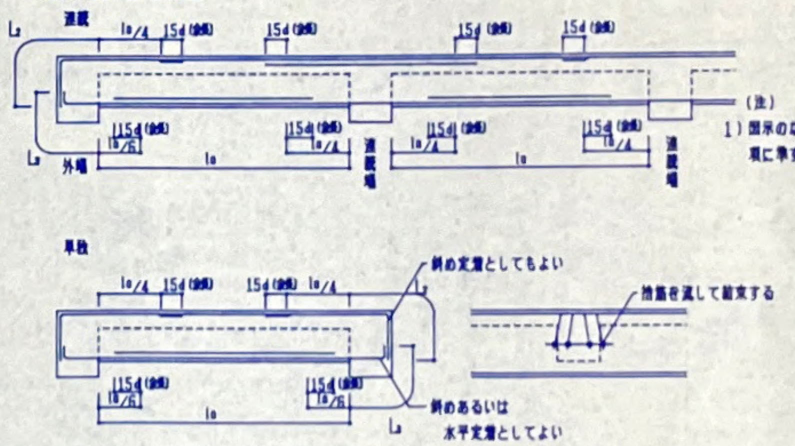
※腹筋の端部納まり



※腹筋を継ぐ場合は15cm程度の重ね継手とする

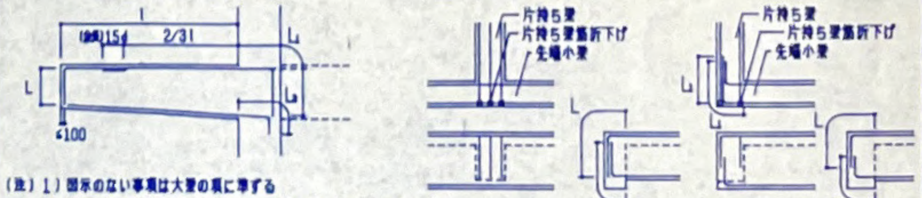
小梁の配筋要領

1．小梁筋の継手及び定着



（注）
1）図示のない事項は大梁の項に準ずる

2．片持ち梁
1）先端に小梁のない場合
2）先端に小梁が有る場合



（注）1）図示のない事項は大梁の項に準ずる
2）先端の折曲げ長さLは、梁成よりかぶり厚さを除いた長さとする
3）梁筋を引通さない場合は、取合い部材に定着する。但し柱に取合う場合は、全数引通せる場合でも上端筋は2本以上を柱に定着する

訂正	確認通知書平成 年 月 日第 号による変更（すべての工事に優先する）
0	
1	
2	
3	
4	
5	

竣工図

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

工事設計図 （構） 2

鉄筋コンクリート配筋仕様書 2

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士 市川昭二

32

H. 4. 3. 3.000

1. 壁配筋表

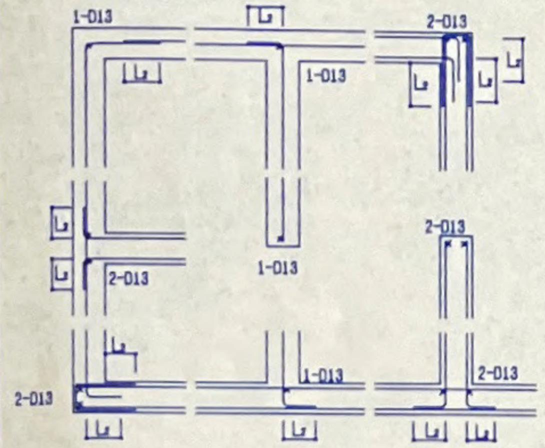
種別	壁厚	断面図	たて筋及びよこ筋	種別	壁厚	断面図	たて筋及びよこ筋
W10	100		D10-250@シングル				
W12	120		D10-200@シングル				
W15A	150		D10-150@シングル				
W15B	150		D10-100@シングル				
W18A	180		D10-200@ダブル				
W20A	200		D10-200@ダブル				

(注) ダブル配筋の幅止め筋は、たてよこ共D10-1000@程度とする

2. パラペット並びに外部に面する腰壁及び下り壁の配筋

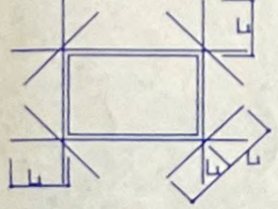
種別	コンクリート厚さ	標準配筋		特記事項	先端補強
パラペット		たて	D10-150@ダブル		4-D13
		よこ	D10-150@ダブル		
外部に面する腰壁、下り壁	150	たて	D10-150@シングル		2-D13
		よこ	D10-100@シングル		
	180	たて	D10-200@ダブル		4-D13
		よこ	D10-150@ダブル		

3. 交差部及び端部の配筋



(注) 継手長さ及び定着長さはL₂する、但し耐震壁及び土圧などを受ける壁として特記されたものは、継手長さをL₁定着長さをL₂とする。

4. 開口部の補強



特記なき場合は下表による　耐震壁を除く

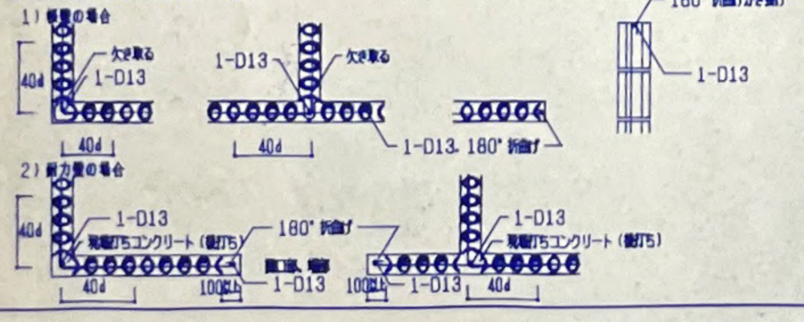
	壁の種別	補強筋 たて	よこ	ななめ
・	W12. W15	1-D13	1-D13	1-D13
・	W18. W20	2-D13	2-D13	2-D13
・				
・				
・				
・				
・				

(注) 開口部が柱、梁に接する部分及び最大径が300㎜以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

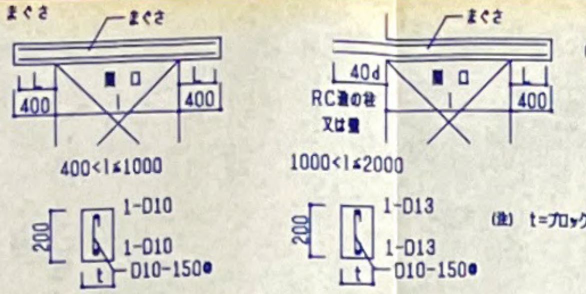
1. 交差部、端部（開口部）の配筋

1）帳壁の場合

2）耐力壁の場合



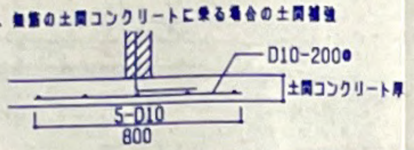
2. まぐさ



(注) lはかかり厚さを除いた長さ

(注) t=ブロック厚さ

3. 帳壁の土間コンクリートに乗る場合の土間補強



○ 帳壁は 壁式構造関係設計基準・同解説 のコンクリートブロック帳壁構造設計基準による
コーナー部は 1-D13

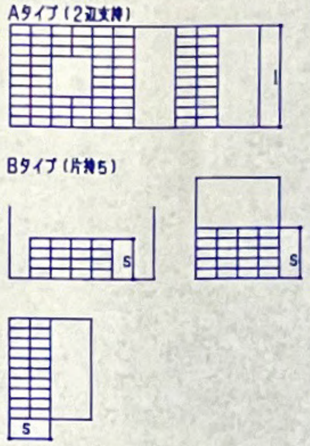
4. 標準配筋表

タイプ	種別	地上からの高さ (m)	壁厚 (㎜)	積み高さ（長さ）の限度及び主筋配筋 D10-800@	D10-400@	D13-400@
Ⓐ	間仕切壁	H≦31	100. 120	l≦2.5	―○―	―
			150. 190	l≦3.5	―	―
	外壁	H≦ 8	100. 120	l≦2.5	―	―
			150. 190	l≦3.5	―	―
		8<H≦15	150	l≦2.0	2.0<l≦3.5	―
			190	l≦2.5	2.5<l≦3.5	―
		15<H≦31	150	l≦2.5	1.5<l≦2.5	―
			190	l≦2.0	2.0<l≦3.0	―
B	間仕切壁	H≦31	100. 120	S≦1.5	―	―
			150. 190	S≦2.0	―	―
	外壁	H≦ 8	100. 120	S≦1.1	1.1<S≦1.5	―
			150. 190	S≦1.1	1.1<S≦2.0	―
		8<H≦15	150. 190	―	S≦1.1	1.1<S≦2.0
		15<H≦31	150	―	―	S≦1.5
			190	―	―	S≦1.9

(注) 1）配力筋はD10~~で主筋間隔と同じ~~とする @600
2）継手長さ及び定着長さ
一般部分 ―― 継手及び定着の長さ 25d
開口部周囲、隅角部の縦筋、耐力壁の配筋 ―― 継手及び定着長さ 40d

Aタイプ（2辺支持）

Bタイプ（片持ち）



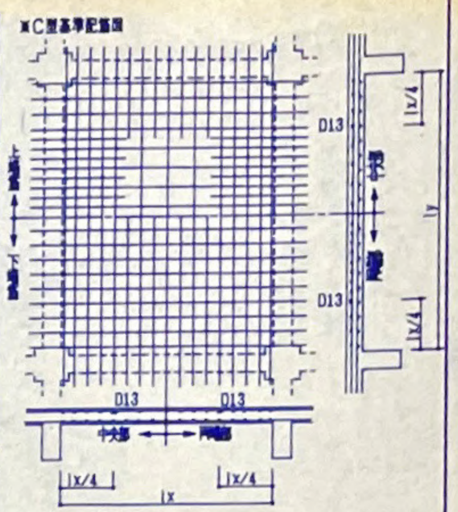
1. 標準配筋リスト

配筋番号		中央部 端部 A	中央部 中央 B	両端部 全域 A. C	配筋番号		中央部 端部 A	中央部 中央 B	両端部 全域 A. C
1	上端筋	D13-100@	D13-200@	D13-200@	13	上端筋	D10. D13-200@	←	←
	下端筋	D10. D13-100@	←	←		下端筋	D10. D13-200@	←	←
2	上端筋	D13-150@	D13-300@	D13-200@	14	上端筋	D10. D13-250@	←	←
	下端筋	D10. D13-150@	←	←		下端筋	D10. D13-250@	←	←
3	上端筋	D13-200@	D13-400@	D13-200@	15	上端筋	D10. D13-300@	←	←
	下端筋	D10. D13-200@	←	←		下端筋	D10. D13-300@	←	←
4	上端筋	D10. D13-100@	D13-200@	D10. D13-200@	⑯	上端筋	D 16 - 100 @	←	←
	下端筋	D10-100@	←	←		下端筋	D 16 - 100 @	←	←
5	上端筋	D10. D13-150@	D13-300@	D10. D13-200@	17	上端筋			
	下端筋	D10-150@	←	←		下端筋			
⑥	上端筋	D10. D13-200@	D13-400@	D10. D13-200@	18	上端筋			
	下端筋	D10-200@	←	←		下端筋			
⑦	上端筋	D10. D13-250@	D13-500@	D10. D13-250@	19	上端筋			
	下端筋	D10-250@	←	←		下端筋			
8	上端筋	D10. D13-300@	D13-600@	D10. D13-300@	20	上端筋			
	下端筋	D10-300@	←	←		下端筋			
9	上端筋	D10-150@	D10-300@	D10-200@	21	上端筋			
	下端筋	D10-150@	←	←		下端筋			
10	上端筋	D10-200@	←	←	22	上端筋			
	下端筋	D10-200@	←	←		下端筋			
11	上端筋	D10-250@	←	←	23	上端筋			
	下端筋	D10-250@	←	←		下端筋			
12	上端筋	D10-300@	←	←	24	上端筋			
	下端筋	D10-300@	←	←		下端筋			

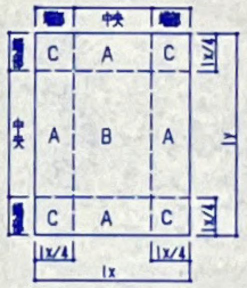
2. スラブ配筋表

スラブ符号	スラブの大きさ (m) 以下 lx	ly	階	スラブ厚 (㎜)	標準配筋リスト番号 短辺方向	長辺方向	配筋種類 C型	D型			隅補強 有	無
S1	2.5	5.6		130	6	7		○				
S2	2.2	5.4		130	6	7		○				
FS1	5.6	6.0		250	16	16		○				

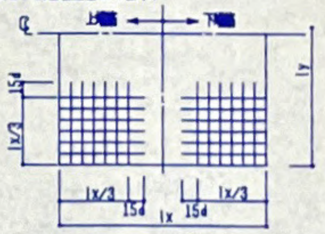
※C型基準配筋図



・D型基準配筋図 ― もち網配筋



スラブ隅補強配筋図（標準）



λ≦2の時　lx・ly>36㎡
λ>2の時　lx　>4.2m
注）$\lambda = \frac{ly}{lx}$

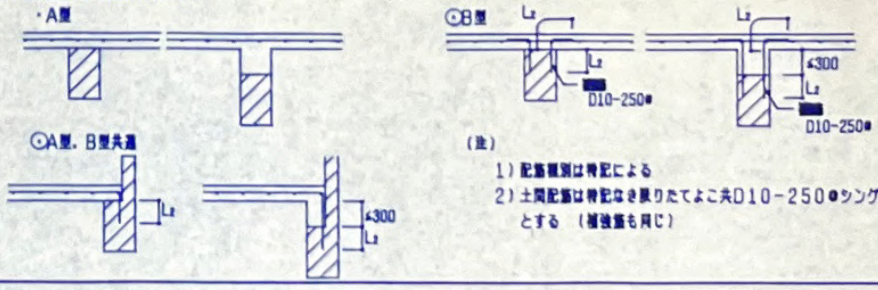
上記の場合はスラブ隅補強をする
鉄筋径及び間隔は、短辺中央部の端部上端鉄筋と同径同間隔とする

3. 土間配筋（土間コンクリート）

・A型

・B型

・A型、B型共通



(注)
1）配筋種類は特記による
2）土間配筋は特記なき限りたてよこ共D10-250@シングルとする（補強筋も同じ）

訂正	確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）
1	
2	
3	
4	
5	

竣工図

SUZUKI
株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士（第33474号）市川昭二
福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代22－1011 事務所登録 88(1)第1105号 図書作成 98.11.12

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築
工事設計図 構 3
鉄筋コンクリート配筋仕様書 3

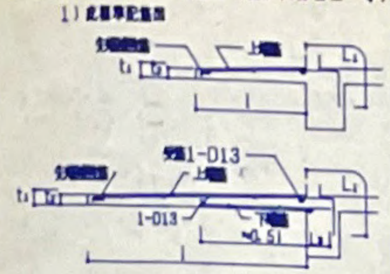
33

H.4.3.3,000

床版配筋要領のつづき

4．片持ち床版標準配筋図（庇，バルコニー等）

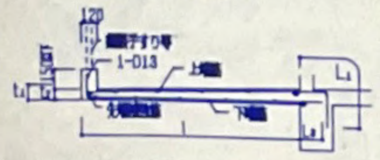
1）庇標準配筋図



適用欄	スパン		配筋 主筋	配筋 配力筋	スラブ厚(㎜) t₁	スラブ厚(㎜) t₂	先端補強筋 D13 ≦10m	先端補強筋 D13 >10m
・	l≦600	上端筋	D10-200@	D10-200@	120	100	1	3
・	600<l≦900	上端筋	D10-200@	D10-200@	120	100	2	3
・	900<l≦1200	上端筋	D10D13-200@	D10-200@	120	100	3	4
		下端筋	D10-200@	D10-200@				
・	1200<l≦1500	上端筋	D10D13-200@	D10-200@	150	100	3	4
		下端筋	D10-200@	D10-200@				

2）腰壁手すり付きバルコニー標準配筋図

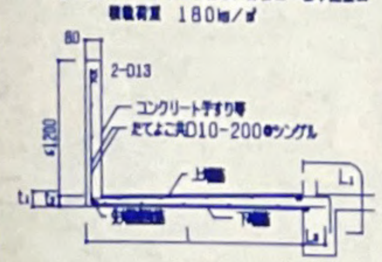
積載荷重 180㎏/㎡



適用欄	スパン		配筋 主筋	配筋 配力筋	スラブ厚(㎜) t₁	スラブ厚(㎜) t₂	先端補強筋 D13 ≦10m	先端補強筋 D13 >10m
・	l≦900	上端筋	D10-200@	D10-200@	120	100	3	3
		下端筋	D10-200@	D10-200@				
・	900<l≦1200	上端筋	D10D13-200@	D10-200@	150	120	3	4
		下端筋	D10-200@	D10-200@				
・	1200<l≦1500	上端筋	D10D13-150@	D10-200@	150	120	3	4
		下端筋	D10-150@	D10-200@				

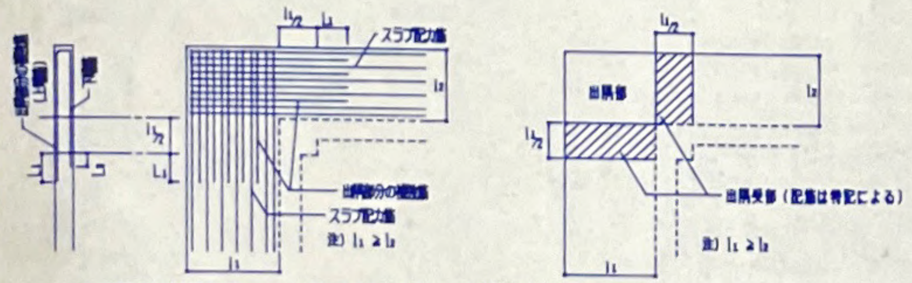
3）コンクリート手すり付きバルコニー標準配筋図

積載荷重 180㎏/㎡



適用欄	スパン		配筋 主筋	配筋 配力筋	スラブ厚(㎜) t₁	スラブ厚(㎜) t₂	先端補強筋 D13 ≦10m	先端補強筋 D13 >10m
・	l≦600	上端筋	D10-200@	D10-200@	120	100	2	3
		下端筋	D10-200@	D10-200@				
・	600<l≦900	上端筋	D10D13-200@	D10-200@	120	100	2	3
		下端筋	D10-200@	D10-200@				
・	900<l≦1200	上端筋	D10D13-150@	D10-200@	150	120	3	4
		下端筋	D10-150@	D10-200@				
・	1200<l≦1500	上端筋	D13-150@	D10-200@	150	120	3	4
		下端筋	D10-150@	D10-200@				

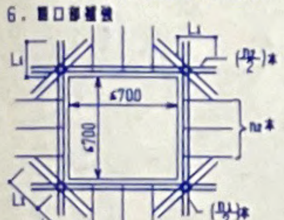
5．片持ち床版出隅部補強



1）出隅部分の補強筋は特記による。特記なき場合はD10-100@ダブルとする

2）出隅受け部の配筋は特記による

6．開口部補強

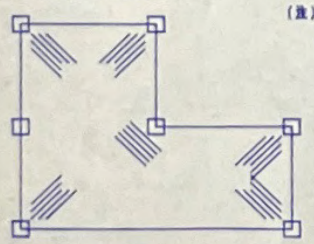


（注）

1）床版の開口部が700㎜以下の場合は、左図により開口によって切られる鉄筋と同量以上の鉄筋で周囲を補強し、隅角部は斜め方向に2-D10（l=2L₁）を上下筋の内側に配筋する

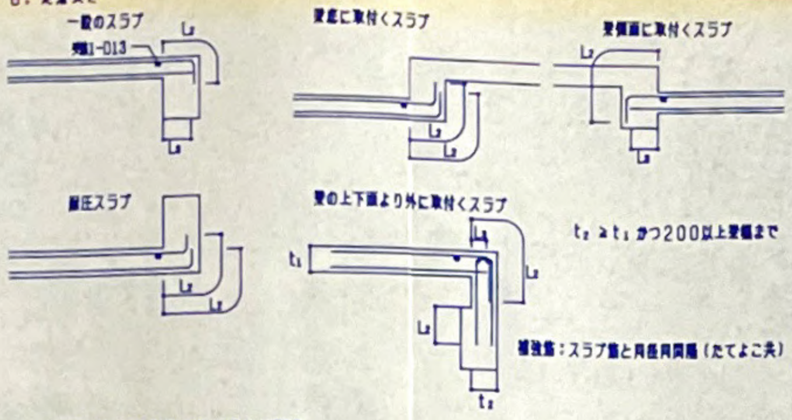
2）両方向共、鉄筋を緩やかに曲げることにより配筋できる場合は補強を要しない

7．屋根床版隅角部の補強



（注）下図の部に5-D10（l=1500）を上端筋の下側に配筋する。但し補強部分の上端筋の間隔が100以下の場合は、補強を要しない

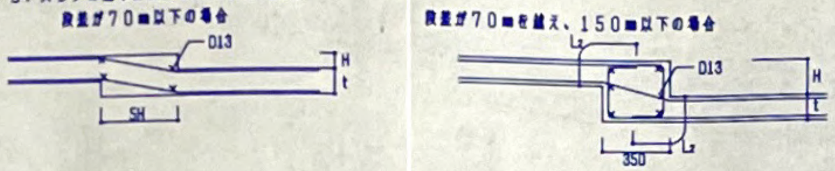
8．定着長さ



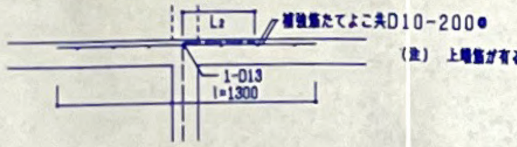
9．スラブの途中に段差が付く場合の配筋

段差が70㎜以下の場合

段差が70㎜を越え、150㎜以下の場合



10．壁付スラブの補強筋

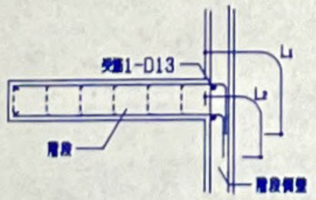


（注） 上端筋が有る場合は補強を要さない

階段配筋要領

1．片持ち式階段配筋表

場所・名称				
配筋図		(図)	(図)	
寸法	T	㎜	㎜	㎜
	R	㎜	㎜	㎜
	t	㎜	㎜	㎜
配筋	A	—	—	—
	B	—	—	—
	C	— @	— @	— @
	D	— @	———	— @



2．二辺固定式（斜版式）階段配筋表

場所・名称			
寸法	T	㎜	㎜
	R	㎜	㎜
	t	㎜	㎜
配筋	A	— @	— @
	B	— @	— @
	C	— @	— @
	D	— @	— @
	E	— @	— @

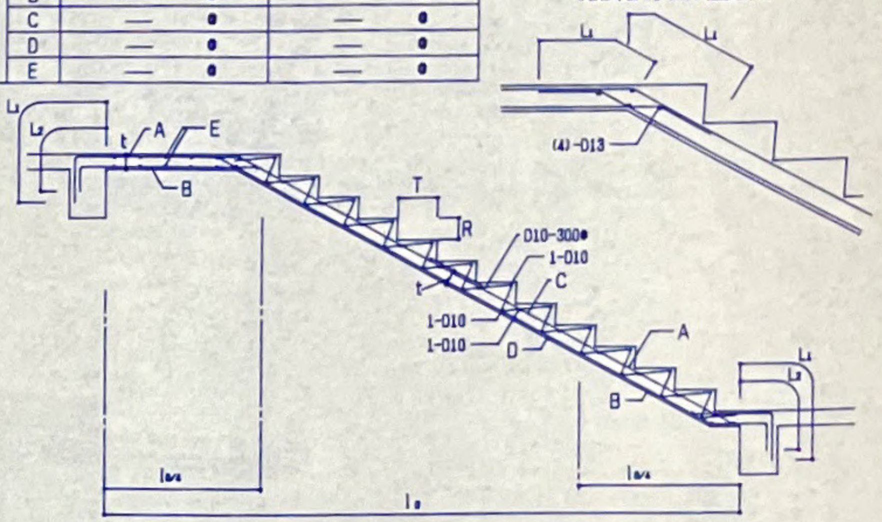
（注） A－端部上端筋

B－端部下端筋

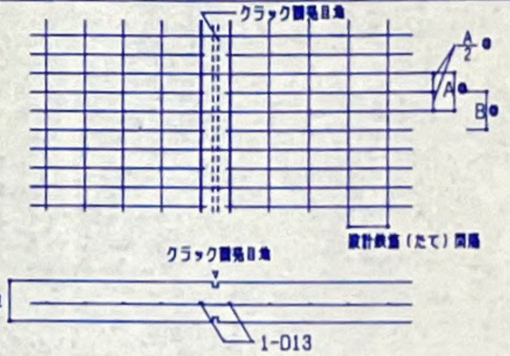
C－中央部上端筋

D－中央部下端筋

E－水平部分の配力筋（ダブル）但し＞200@の場合は千鳥（ダブル）配筋とする



クラック誘発目地の配筋要領



A — 設計鉄筋（よこ）間隔

B — クラック誘発の為の補強鉄筋（よこ）間隔

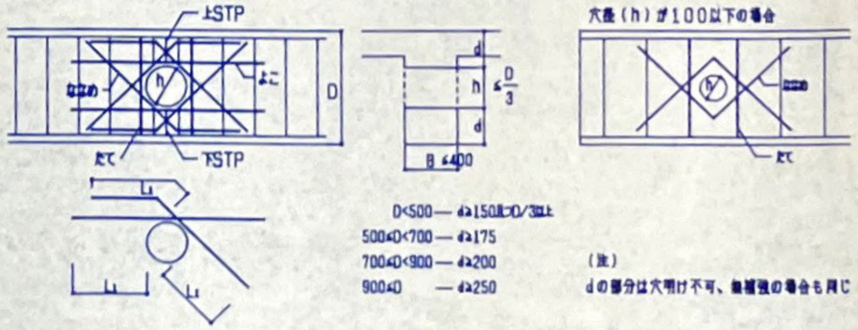
（注）

1）よこ筋の見え掛り間隔は、設計間隔の1/2とする

2）補強筋は誘発目地部分で切断する

3）補強筋は、誘発目地から誘発目地まで引き通す

梁貫通孔補強配筋要領



D<500 — d≧150かつD/3以上

500≦D<700 — d≧175

700≦D<900 — d≧200

900≦D — d≧250

（注）

dの部分は穴明け不可、無補強の場合も同じ

穴径(㎜)	たて	よこ	ななめ	上下 STP	備考
h≦100	2-2-D13	なし	2-2-D13	なし	多孔並列の場合は、よこ2-2-D13
100<h≦200	2-2-D13	2-2-D13	4-2-D13	3-2-D13	
200<h≦300	2-2-D16	2-2-D13	4-2-D16	4-2-D13	
300<h≦400	2-2-D19	2-2-D16	4-2-D19	5-2-D13	

（注）

1）穴の径が梁成の1/10以下の場合は、補強を要しない。但し穴径が150以上の場合は補強を要す

2）穴が並列する場合の穴の中心間隔は、穴の径の平均値の3倍以上とする。但し3倍未満の場合の補強は特記による

3）穴の中心位置は、梁の直交部材（柱、小梁）の面から梁成の1．5倍以上離す

4）穴の径は梁成の1/3以下とし、穴が円形でない場合はこれの外接円と等円面とみなす

訂正	確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業 産地形成促進施設 新築

工事設計図 構 4

鉄筋コンクリート配筋仕様書 4

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士（第33474号） 市川昭二

34

鉄骨工事特記仕様書

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、建設大臣官房官庁営繕部「建築工事共通仕様書」 平成5年版による

1節 材料

（項目及び特記事項は○印をつけたものを適用する。○印がない場合は※印を適用する。）

①	構造用鋼材	○ 一般構造用圧延鋼材（JIS G3101） ※ 2種（SS400） ・ 3種（SS490） ・ 溶接構造用圧延鋼材（JIS G3106） ・ 1種（SM400A, SM400B, SM400C） ・ 2種（SM490A, SM490B, SM490C） ・ 3種（SM490YA, SM490YB） ・ 溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材（JIS G3114） ・ 1種（SMA400AW, AP, SMA400BW, BP, SMA400CW, CP） ・ 2種（SMA490AW, AP, SMA490BW, BP, SMA490CW, CP） ・ 3種（SMA570W, SMA570P） ○ 一般構造用炭素鋼鋼管（JIS G3444） ※ STK400 ・ STK500 ○ 一般構造用角形鋼管（JIS G3466） ※ STKR400 ・ STKR490 ○ 一般構造用軽量形鋼（JIS G3350） ※ SSC400 ・ 一般構造用溶接軽量H形鋼（JIS G3353） ※ SWH400 ・ SWH400L ○ デッキプレート（JIS G3352） ・ エキスパンドメタル（JIS G3351）
②	ボルト・ナット座金類	・ JISの高力ボルト（JIS B1186 摩擦接合用高力六角ボルト・六角ナット・平座金のセット） ・ 1種B（F8T） ※ 2種B（F10T） ※ トルシア形高力ボルト（JSSⅡ09に適合し建設大臣の認定を受けたもの。） ※ 2種Bと同等品 ○ 六角ボルト（JIS B1180） 並形六角ボルト 種類、強度区分：4T、ねじの種類：メートル並目、ねじの等級：6G、仕上げ程度：中 ○ 六角ナット（JIS B1181） 並形六角ナット 種類、強度区分：4、ねじの種類：メートル並目、ねじの等級：6H、仕上げ程度：中 ○ ばね座金（JIS B1251） 2号（一般用） ・ 平座金（JIS B1256） みがき丸
③	ターンバックル	・ 建築用ターンバックル（JIS A5540） ※ セット品とする
④	溶接材料	※ 軟鋼用被覆アーク溶接棒（JIS Z3211） ○ JIS D4301（神鋼B14同等品） 板厚2mm以上25mm未満 ・ JIS D4313（神鋼RB26同等品） 板厚2mm未満 ・ JIS D4316（神鋼LB26同等品） 板厚25mm以上 ・ 高張力鋼用被覆アーク溶接棒（JIS Z3212） ※ 監督員の指示による ・ 鋼サブマージアーク溶接材料 ・ 炭酸ガスアーク溶接用ワイヤ
5	レール	・ 普通レール（・30A ・37A ・40N ・50PS ・50N ・60） ・ 軽レール（・6 ・9 ・12 ・15 ・22）
⑥	アンカーボルト	○ SS400（JIS G3101）
7	スタッド	・ 頭付きスタッド（JIS B1198）

2節 工作上の注意

①	メジャーの確認	○ 鉄骨製作用基準巻尺と工事現場用基準巻尺とを照合して、その誤差が工事に支障がない事を確認する。
②	切断	○ 鋼材の切断は自動ガス切断機を原則として使用する。但し材厚9mm以下の場合にはシャーリング切断でもよいが、切断面を機械により正確に仕上げること。 ○ 厚さが12mm程度以下の鋼板や山形鋼などの切断は、鋼板せん断機やアングルカッターを使用する事ができる。 ○ 切り口に不整を生じた場合は溶接にて肉盛りし、グラインダーにて仕上げること。
③	貫通孔	○ 鉄骨の貫通孔は設計図又は工作図に従い、工場においてドリル穴あけとする。但し監督員の承認を受けてガス等を用いて穴あけをすることができる ○ 鉄骨の貫通孔の大きさは、表7.3.1による。ただし、主筋の貫通孔は、最大の径に統一する。 ○ 設備工事等の配管等の貫通孔は、設計図又は工作図に従い加工する。
④	仮締めボルト	○ 現場継手の仮締めボルトの本数は監督員の指示による。継手するスプライスプレートは4本程度の仮締めボルト用い、電気溶接後の穴の不整は電気溶接にて肉盛りを行い、リーマにて孔ぐりをする。
5	柱のむくり	・ 柱のむくり寸法は、設計図又は監督員の指示による。
⑥	加工	○ 現寸検査後、加工を行う。
⑦	その他	○ 加工着手は加工に先立ち、鉄骨下請負業者リスト（業種、社名及び住所、経歴）を提出し、監督員の承認を受ける。

3節 ボルト

①	ボルト穴	○ ボルト穴の径は、ボルトの呼び径に表7.4.3の値を加えたものとする。
②	ボルト穴の不整	○ ボルト穴周辺の不整が4mm以上に及ぶ場合は、穴の不整について電気溶接で肉盛りを行いリーマにて穴ぐりをして、ガタを除くものとする。

4節 高力ボルト

① 高力ボルト穴

○ 高力ボルト穴の直径は、高力ボルトの呼び径に下表の値を加えたものとする。

高力ボルトの呼び径	ボルトの呼び径に加える大きさ（mm）
M12, M16	2.0mm
M20-M24	2.0mm

② トルシア形高力ボルトの首下長さ

JISの高力ボルトの場合は（　）内寸法とする。

呼び径（mm）	首下長さ（mm）
M12	締め付け長さ＋（25）以上
M16	〃 ＋25（30）以上
M20	〃 ＋30（35）以上
M22	〃 ＋35（40）以上
M24	〃 ＋40（45）以上

③ 摩擦面の処理

○ 締め付け摩擦面は、ミルスケールを平グラインダー掛け等により座金外径の2倍以上の範囲を除去した後、一様に錆を発生させたものとする。ただし、ショットブラスト法又はグリットブラスト法により摩擦面の表面粗度を50S以上確保でき、監督員の承認を受けた場合には錆の発生を要しない。なお、摩擦面には、鋼材のまくれ、ひずみ、平グラインダー掛けによるへこみ等があってはならない。

○ フィラーは、上記と同様に処理する。特にフィラーを溶接により部材に取り付ける場合は、錆の発生や摩擦面の状態を確認してから行う。

○ ボルトの頭部又は座金の接触面に、鋼材のまくれ、ひずみ等がある場合は、平グラインダー掛けにより取り除き平らに仕上げる。

④ 摩擦面に肌すきを生じる場合

○ 摩擦面に部材の公差等により1mmを超える肌すきは、フィラープレートを用いて補う。但し、肌すきが1mm以下の場合はこの限りではない。

⑤ 締め付け

○ 締め付けは原則として、トルクコントロール式インパクトレンチ又はトルクレンチによる。

○ インパクトレンチの調整は施工当日の午前及び午後の作業開始前に軸力計によって行う。

○ トルクコントロール式以外はテンションキャリブレーターにより監督員立会の下にトルク値を較正してから使用する。又、トルクレンチもテンションキャリブレーターでトルク値を適時検査する。

5節 溶接工作上の注意

① 溶接施工

○ 溶接工事は設計図書及び日本建築学会の「溶接工作基準・同解説」により実施する。

○ 溶接施工要領書を提出し監督員の承認を受ける。記載事項は、工程・溶接能力・溶接工名簿（資格及び資格証明書の写し）・材料・電圧・電流・加工方法及び開先の形状等とする。

② 準備及び工作

○ 開先加工の板厚9mm以上はフレームプレナーで正確に仕上げ、ガスバーナーの不整により溝状のついた場合は電気溶接で正しく肉盛りしてグラインダーで仕上げる。

○ すみ肉溶接のメタルタッチ部は機械切削にて正確に仕上げる。

③ 仮付け

○ 仮付けはショートビードを避ける。その最少長さは下記による。

板厚（mm）	溶接の最小長さ（mm）	
	手溶接・半自動溶接	自動溶接
T≦6	30以上	50以上
6<T	40以上	70以上

④ 余盛

○ 突合せ溶接で裏あて金を用いない場合は必ず裏はつり裏溶接をする。

○ 裏あて金は特記なき限り6mmとし、突合せ溶接の両端に25mm以上延長して溶接し、終了後に除去する。すみ肉溶接の場合も材片の隅角部で終る時は、隅角部を回って連続してアークを切ることなく回し溶接をするか、又はエンドタブを使用するのを原則とする。

○ 溶接線の会交部には必要に応じてスカラップを設ける。

○ 自動溶接機械を用いて、自動又は半自動的に溶接する場合は予め監督員の承認を受ける。

6節 塗装

① 工場塗装

※ 工場において加工又は組立を終了した部材は検査終了後発送に先立ち錆止め塗装を施す。但し特記なき限り下記の場合は塗装をしない。
- ○ コンクリートに密着又は埋め込まれる部分
- ○ 高力ボルト接合部の摩擦面
- ○ 密閉される閉鎖形断面の内面
- ○ 工事現場溶接をする部分
- ・ 組立により肌合せ（メタルタッチ）となる部分
- ○ ベースプレートの下面
- ・ 密着又は回転のため仕上げを施した部分
- ・ 耐火被覆材の接着する面

○ 降雨その他の理由で止むを得ず工場塗装を行わない場合、若しくは組立検査後に塗装を行う場合は、監督員の承認を受ける。

○ 鉄骨素地ごしらえの種別は特記なき限りC種（17.2.2表）とし、錆止めペイントは特記なき限りB種（17.3.1表）とする。

○ 錆止めペイントはJIS K5621鉛系品又はラスゴン系錆止めペイント（黒く）の2回塗りとする。

② 工事現場塗装

○ 工事塗装と同じ錆止め塗料で工事現場接合によるボルト頭の頭部・ナット・座金等と工事現場溶接を施した部分、工事現場において接合した材の損傷部分、若しくは塗り残し部分や運搬又は建方の際に生じた損傷部分の補修塗りを行うものとする。補修塗りの際は、工事現場で生じた錆類の損傷部分並びにはがれかかった部分などもていねいに除去し補修する。

7節 建方上の注意

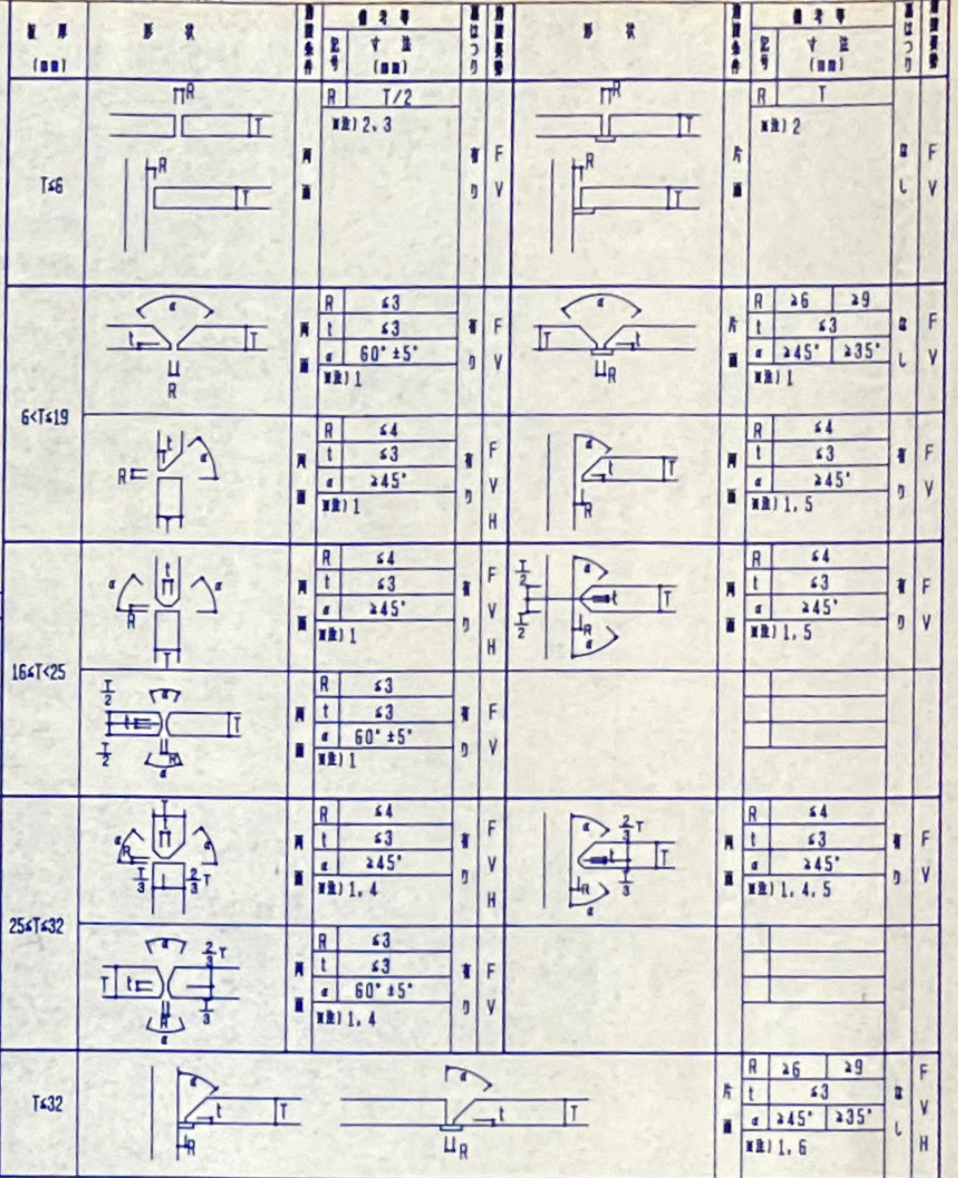
①	運搬	○ 道路の形状及び運搬能力より部材が大きくて運搬できない場合は、予め監督員の承認を受け適切な処置をする。
②	建方	○ 建方の順序・機械・仮設の方法については監督員の承認を受ける。
③	建て入り	○ 建て入りの誤差は4mm以内とする。
④	仮締め	○ 仮締めに使用した高力ボルトは、本締めに使用してはいけない。
⑤	アンカーボルトの保持及び埋込み	○ ボルトの保持はフレーム材を用いるなどして、ボルトの上下を固定できるように堅固に固定て、基礎型枠の配筋の前に設置する。（A種）

8節 検査等

①	施工図	○ 現寸検査に先立ち、施工図を作成し監督員の承認を受ける。
②	非破壊検査	○ 工事現場溶接箇所はそれに適応した非破壊検査を監督員立会いの下で行う。検査は日本建築学会の「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説」等による。検査箇所は監督員の指示による。

9節 突合せ溶接開先標準図

日本建築学会「建築工事標準」より



※注）1：初層の溶接寸法4mm以下　※注）2：溶接寸法4mm以下
※注）3：内側に補強する肉を付加する（T継手、かど継手）　※注）4：裏はつりをする深さT/3とする
※注）5：補強する肉溶接（T/4以上、最大10mm）を付加する（T継手：両側、かど継手：片側）
※注）6：裏あて金使用の場合（T継手）全側に補強する肉溶接（T/4以上、最大10mm）を付加する
板厚が32mmを超える場合は特記による。

溶接姿勢
F：下向き
V：立向き
H：横向き

10節 すみ肉溶接標準図

$T_1 \leqq T_2$	T_1	2.3	3.2	4.5	6	9	12	16	余盛り（L）はすべて（1+0.1S）mm以下
	S	2	3	4	5	8	10	13	
$T_1 > T_2$	T_2	2.3	3.2	4.5	6	9	12	16	
	S	4	6	8	10	15	20	26	Sは最大脚長

訂正	
△0	確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）
△1	
△2	
△3	
△4	
△5	

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築
工事設計図 構 5
鉄骨工事特記仕様書
SUZUKI 株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士 市川昭二
35
福山市丸之内1丁目4番1号 TEL（0849）代22-1011 事務所登録 881第1105号 図書作成 98.11.12

鉄骨固定柱脚特記仕様書

設計

1. 材質

(1) ベースプレート・アンカーボルト・座金・定着板

	ベースプレート	アンカーボルト	ナット	座金	定着板
規格	JIS G3101 一般構造用圧延鋼材	JIS G3101 一般構造用圧延鋼材	JIS B1181 六角ナット	JIS B1256 平座金	JIS G3101 一般構造用圧延鋼材
強度区分（硬さ区分）	SS400	SS400	5	14H	SS400
ねじの種類	—	メートル並目	メートル並目	—	—

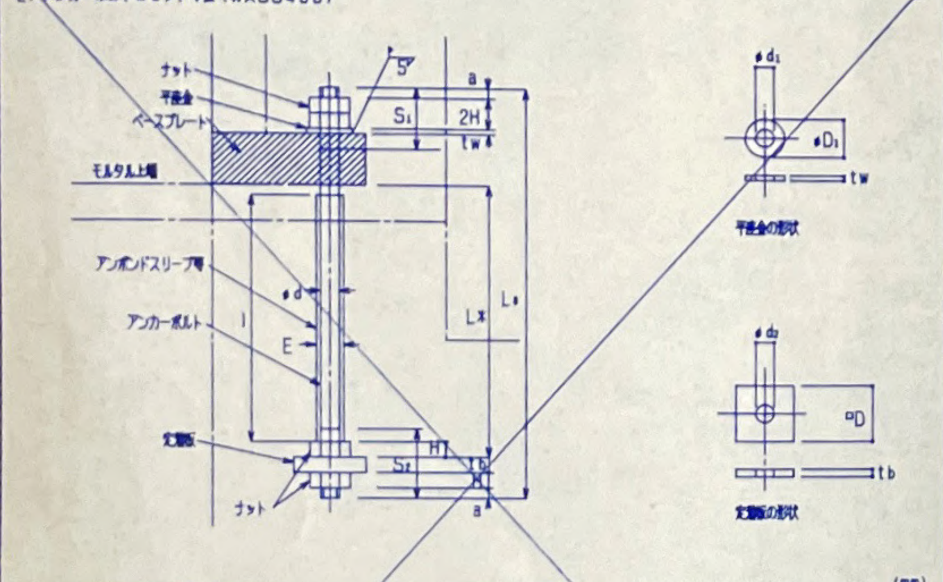
(2) ベースプレート下面のモルタル

後詰めモルタル	デンカタスコン・マスターフロー870グラウト・ノンシュリンクグラウト等 これらと同等以上の無収縮性モルタル
中心塗部分モルタル	○普通モルタル、又は無収縮性モルタル ○強度は基礎・基礎梁の強度以上

(3) 基礎・基礎梁

コンクリート	○日本建築学会「JASS5鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリート ○設計基準強度Fc=210kg/㎠以上
鉄筋	JIS G3112「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定められる熱間圧延異形棒鋼

2. アンカーボルトのセット寸法（材質SS400）

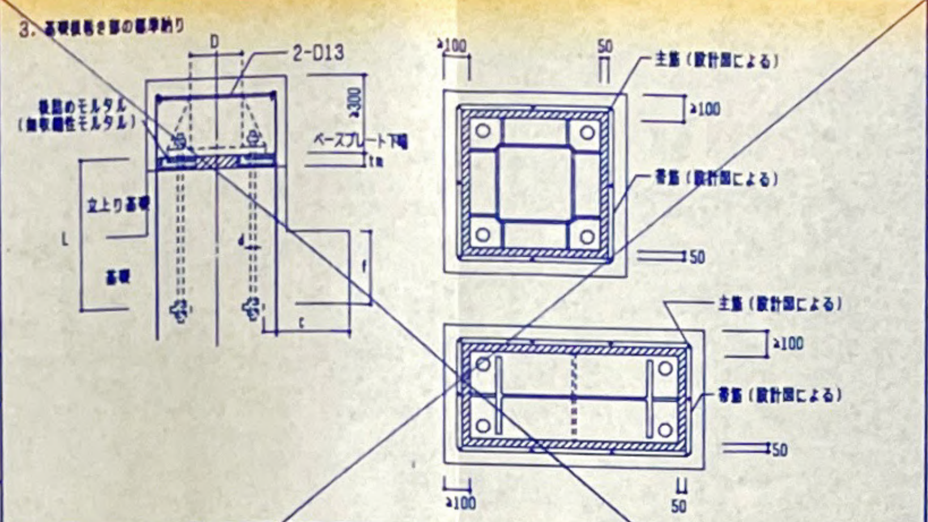


(mm)

ねじの呼び	軸径	ねじ ピッチ	ねじ 長さ		余長	定着長さ	全長	(アンボンドスリーブ) 長さ	(アンボンドスリーブ) 外径	ナット（一種） 高さ	ナット（一種） 二面幅	ナット（一種） 対角	平座金 厚み	平座金 内径	平座金 外径	定着板 厚み	定着板 内径	定着板 一辺長さ
	φd	P	S1	S2	a		L1	l	E	H	B	C	tw	φd1	φD1	tb	φd2	□D
M24	24	3	90	90	11	480	620	450	29	19	36	42	4.5	26	44	12	27	80
M30	30	3.5	110	110	13	600	780	565	35	24	46	53	6	31	56	16	33	90
M36	36	4	135	135	16	720	945	680	41	29	55	64	6	37	66	19	39	100
M42	42	4.5	155	155	18	840	1090	795	48	34	65	75	9	43	78	22	45	120
M48	48	5	175	175	22	960	1255	910	54	38	75	87	9	50	92	25	52	140
M56	56	5.5	205	205	24	1120	1465	1065	62	45	85	98	9	58	105	28	60	160
M64	64	6	230	230	28	1280	1655	1220	70	51	95	110	12	66	115	32	68	180
M72	72	6	260	260	30	1440	1850	1370	79	58	105	121	12	74	125	36	76	200

＊ l 寸法は、ベースプレートの厚みによって多少変動するが、本数値以上確保する。

3. 基礎梁端部の基準納り



各部名称	寸法規定
基礎または基礎梁への埋込み深さ（f）	f≥12d
基礎端または基礎梁端までの距離（c）	c≥12d
ベースプレート下面のモルタル厚さ（tm）	tm≥30㎜（設計図による）
ベースプレート周辺部のモルタル幅	50㎜
ベースプレート周辺から基礎立上り部までの最短距離	≥100㎜（設計図による）

工場加工

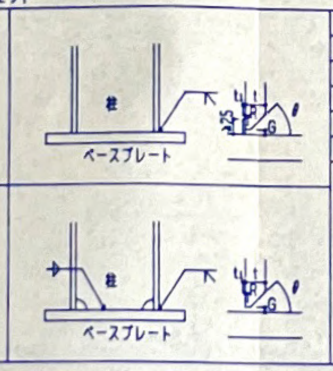
1. 溶接材料

軟鋼用被覆アーク溶接棒（JIS Z3211）	JIS D4301（神鋼B14同等品） 板厚2㎜以上25㎜未満 JIS D4316（神鋼LB26同等品） 板厚25㎜以上
炭酸ガスアーク溶接用鋼ワイヤ	軟鋼及び高張力鋼マグ溶接用ソリッドワイヤ

2. 柱とベースプレートのセット

BOX形柱

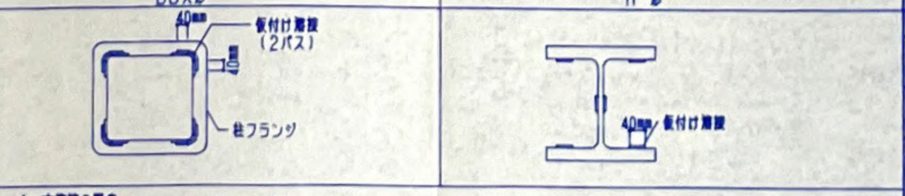
H形柱



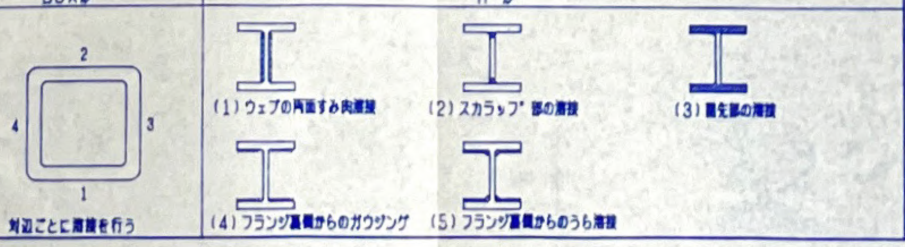
t	MC θ	MC G	MC t	GC, NGC θ	GC, NGC G	GC, NGC t
6≤t<12	45°	6	6	45°	6	9
12≤t<19	35°	9	9	35°	9	9
19≤t	35°	9	9	35°	9	9
溶接姿勢	F.V					

MC ：アーク手溶接
GC ：ガスシールドアーク半自動溶接
NGC：セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接

3. 仮付け溶接



4. 本溶接の順序



5. 溶接施工一般

予熱	鋼材の種類、板厚により必要に応じて適切な予熱を行う。

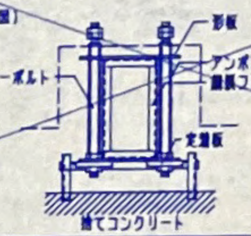
6. 検査

方法	溶接部の検査を行う場合は超音波探傷検査によってよい。探傷は柱フランジ側から行う。
不良溶接部の補正	（1）有害な欠陥のある溶接部は削除して再溶接する。 （2）溶接部にわれの入った場合には、われの両端から50mm以上はつり取り再溶接する。

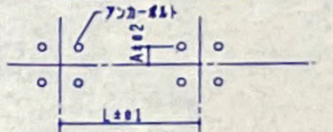
現場施工

1. アンカーボルトの設置

アンカーボルトのアンボンド処理	アンカーボルトはコンクリート埋め込み部（モルタル上端からナット上端まで）をアンボンドスリーブで被覆する等によりコンクリートとの付着のない工法とする。
アンカーボルトの設置	アンカーボルトの設置は鋼製フレーム用い自立できる形式として捨てコンクリートに固定する。（参考図） アンカーボルト設置部分の捨てコンクリートの厚さは、100㎜以上とする。



アンカーボルトの埋め込み精度の目標値	平面	高さ
	-1㎜≤e1≤+1㎜ -3㎜≤e2≤+3㎜	基準高さよりの誤差は±3㎜以下

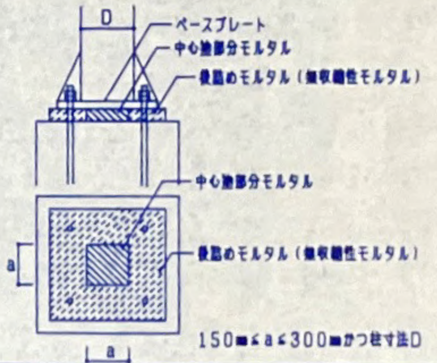


2. 基礎、基礎梁の配筋

3. コンクリートの打設

4. ベースプレート下面モルタルの施工

後詰め中心塗工法



150㎜≤a≤300㎜かつ柱寸法D

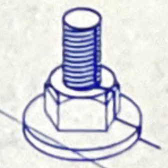
中心塗部分モルタルの養生	普通モルタル	4日以上
	無収縮性モルタル	2日以上
後詰めモルタルの養生	アンカーボルトの締め付けまで3日以上	

5. アンカーボルトの締め付け

アンカーボルト	φ24	φ30	φ36	φ42	φ48	φ56	φ64	φ72
予備締め	40~50㎝のレンチで40kg程度の力で締め付ける。（約20kgm）				70~80㎝のレンチで40kg程度の力で締め付ける。（約30kgm）			
本締め	予備締めの状態からナットを30°回転する。（許容量±10°）							

予備締めが終了した段階で白ペンキなどにてボルト・ナット・座金・ベースプレートにわたり線に示すようマーキングを施す。

上ナットは下ナットの本締めの後40~50㎝のレンチで軽く締めつける。



訂正 ⚠0	確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築
工事設計図 構 6
鉄骨~~固定~~柱脚特記仕様書
株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士 市川昭二
36

川建ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準

川建ＱＬデッキ合成スラブの設計・施工は、日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」、鋼材倶楽部「デッキプレート床構造設計・施工規準」、川建ＱＬデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設　　計

材料／デッキプレート

デッキプレート種類		表面処理
■QLデッキ	■QL99-50-12　□QL99-50-16 □QL99-75-12　□QL99-75-16	■裏面防錆処理 ■QLプライマー (P)　□(　　　) □亜鉛メッキ (G) □Z12　□Z27
□QLセルラー	□QC99-50-12　□QC99-50-16 □QC99-75-12　□QC99-75-16 □GKX-75-12　□GKX-75-16	亜鉛メッキ Z27固定
材質	JIS G 3352　□SDP1T　□SDP2　□SDP2G	

材料／コンクリート

種類	■普通コンクリート　□軽量コンクリート（□1種　□2種）
設計基準強度	■180　□210　□(　　)kg/cm²
厚さ（デッキ山上）	■60　□70　□80　□85　□90　□95　□100　□(　　)mm

材料／溶接金網・異形鉄筋

□溶接金網	JIS G 3551	■φ6-150×150	□φ6-100×100
□異形鉄筋	JIS G 3112, 3117	□D10-@200	□(　　　)

接　合

■焼抜きせん溶接	下記焼抜きせん溶接の項による
□ヒルティびょう	別途ヒルティびょうの仕様による
□頭付きスタッド	JIS B 1198　□φ13　□φ16　□φ19　□φ22
□その他	

耐　火

	1時間	2時間
連続支持	□(通)F1001	□(通)F2001
単純支持	□(通)F1002	□(通)F2002
その他	□(通)F1111（吹付けロックウール⑦15mm） □(　　　)	□(通)F2111（吹付けロックウール⑦20mm） □(　　　)

■指定なし

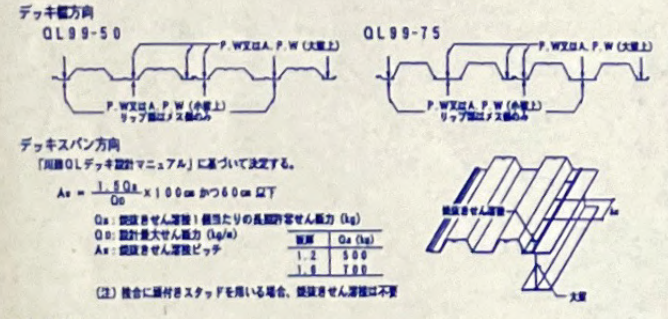
特　記

支保工有無 ■無　□有	その他：

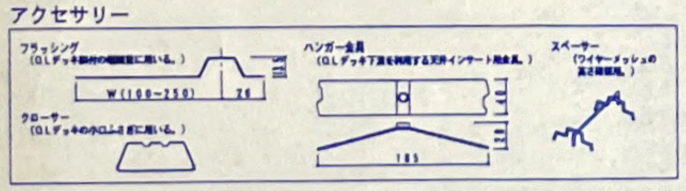
上欄内の採用項目に■を記して下さい。

焼抜きせん溶接

デッキ幅方向



アクセサリー

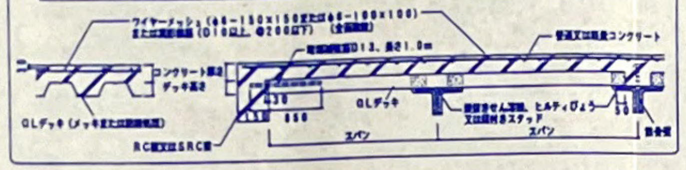


耐火仕様

【連続支持合成スラブ】

支持梁：鉄骨梁 及び 大梁：鉄筋コンクリート梁又は鉄骨鉄筋コンクリート梁、小梁：鉄骨梁
コンクリート：設計基準強度180kgf/cm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート（1種・2種）

耐火時間	コンクリート種類	デッキのサイズ	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-@200)	許容積載荷重
床，1時間耐火 (通)F1001	普通コンクリート	QL99-75	3.6m 以下	90mm 以上	φ6-100x100	450kgf/m²以下 注3)
		QL99-75 / QL99-50	3.0m 以下	80mm 以上	φ6-150x150	550kgf/m²以下
	軽量コンクリート	QL99-75 / QL99-50	3.0m 以下	70mm 以上	φ6-150x150	400kgf/m²以下
床，2時間耐火 (通)F2001	普通コンクリート	QL99-75	3.6m 以下	95mm 以上	D10-@200	550kgf/m²以下 注3)
			3.4m 以下	90mm 以上	φ6-100x100	550kgf/m²以下
			3.2m 以下	90mm 以上	φ6-100x100	650kgf/m²以下
			3.0m 以下	90mm 以上	φ6-150x150	360kgf/m²以下
		QL99-50	2.7m 以下	95mm 以上	φ6-100x100	
	軽量コンクリート	QL99-75	3.6m 以下	90mm 以上	D10-@200	550kgf/m²以下 注3)
			3.4m 以下	85mm 以上	φ6-100x100	550kgf/m²以下
			3.2m 以下	85mm 以上	φ6-100x100	650kgf/m²以下
			3.0m 以下	85mm 以上	φ6-150x150	360kgf/m²以下
		QL99-50	2.7m 以下			



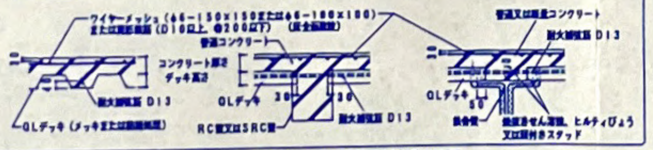
【単純支持合成スラブ】

支持梁：鉄骨梁
コンクリート：設計基準強度180kgf/cm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート（1種・2種）
耐火補強筋：D13（デッキプレート各溝@300）

耐火時間	コンクリート種類	デッキのサイズ	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-@200)	許容積載荷重
床，1時間耐火 (通)F1002	普通コンクリート	QL99-75	3.4m 以下	80mm 以上	φ6-150x150	550kgf/m²以下
		QL99-50	2.7m 以下			
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m 以下			
		QL99-50	2.7m 以下			
床，2時間耐火 (通)F2002	普通コンクリート	QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	φ6-100x100	550kgf/m²以下
		QL99-50	2.7m 以下			
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m 以下	85mm 以上	φ6-100x100	
		QL99-50	2.7m 以下	85mm 以上	φ6-150x150	

支持梁：鉄筋コンクリート梁又は鉄骨鉄筋コンクリート梁の場合
コンクリート：設計基準強度180kgf/cm²以上の普通コンクリート
耐火補強筋：D13（デッキプレート各溝@300）

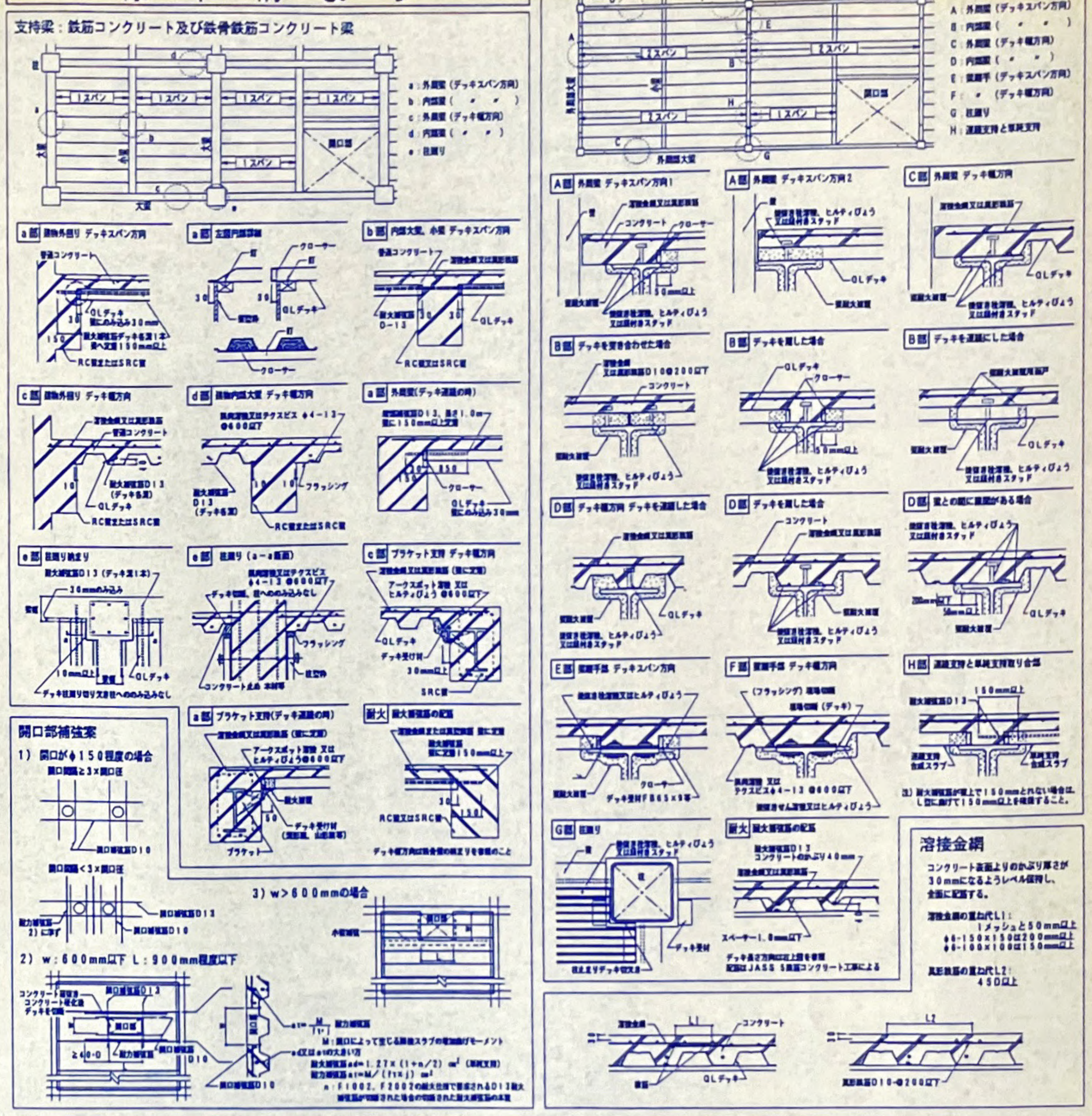
耐火時間	コンクリート種類	デッキのサイズ	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-@200)	許容積載荷重
床，1時間耐火 (通)F1002	普通コンクリート	QL99-75	3.4m 以下	80mm 以上	φ6-150x150	550kgf/m²以下
		QL99-50	2.7m 以下			
床，2時間耐火 (通)F2002	普通コンクリート	QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	φ6-100x100	550kgf/m²以下
		QL99-50	2.7m 以下	95mm 以上		



注1）スパンとは鉄骨梁の場合梁の中心間距離、鉄筋コンクリートの場合は梁内法寸法をいいます。
注2）許容積載荷重とは、床にかかる全荷重から固定荷重（デッキプレートとコンクリートとの自重）を差し引いたものを示しますが、設計上、天井等の自重が軽微な場合は、積載荷重とみなすことができます。
注3）スパンが3.4mを超える場合は、合成スラブと梁とは頭付きスタッド（軸径16mm以上、ピッチ300mm以下）で接合する。

付帯条件 ㋑デッキプレートは2スパン以上にわたって連続的に小ばり等によって、ほぼ等間隔に支持されるものとする。
㋺鉄骨梁の場合、梁との接合は焼抜きせん溶接、ヒルティびょう、または頭付きスタッドを用いる。
㋩梁の耐火被覆　梁に1又は2時間の耐火性能が要求される場合は、それらに応じ耐火被覆を施す。

標　準　納　ま　り



施　工

施工順序	敷込み
墨出し ↓ 敷込み仮止め溶接 ↓ デッキと梁との接合 1）頭付きスタッド 2）ヒルティびょう 3）焼抜きせん溶接 ↓ 溶接金網敷込み ↓ コンクリート打設 ↓ 検査 耐火フロア表示マークの貼付	1）墨出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止め溶接した後、順次適当な枚数（5~10枚）ごとに仮止め溶接する。 2）デッキプレートの溝部が各大梁上に乗るように敷込む。（50mm以上） 3）デッキプレートの長さ方向の梁上のかかり幅は、50mm 以上に敷込む。

デッキと梁との接合

1）頭付きスタッド　仕様及び打設位置は別途設計図による。デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。
2）ヒルティびょう　別途ヒルティびょうの施工要領による。
3）焼抜きせん溶接　下記による。なお、「検査」の項に留意のこと。

焼抜きせん溶接（P.W）—［アーク手溶接］—

（1）溶接棒種類：低水素系溶接棒　JIS D 5016、D 4316
（2）溶接棒径　：φ4mm
（3）標準溶接条件：右表

梁フランジ板厚 (mm)	4.5~9	9以上
溶接電流 (A)	250	300
アークタイム (秒)	約7	約9

（4）運棒方法：以下のⅠ~Ⅳの順に行う。

	工程	運棒方法	時間(秒) 300A	時間(秒) 250A
Ⅰ	アークストライク	棒をデッキに垂直にしてアークを発生させる。	4秒程	3秒程
Ⅱ	デッキ穿孔	棒を3mm程度引き上げ直径約20mmの円を描きながらデッキを穿孔く。		
Ⅲ	押し込み・運棒	棒を梁上まで押し込み回転しながら円中央へと運棒する。	5秒程	4秒程
Ⅳ	収　尻	棒を回転させながら肉を盛えてそっと棒を引き上げる。	1秒程	1秒程

自動焼抜きせん溶接（A.P.W）—［CO2アークスポット溶接］—

（1）一次電源の必要容量：仮設電力の場合　18KVA以上　3相　200V
　　　　　　　　　　　　発電機の場合　35KVA以上　3相　200V
（2）ワイヤの種類と径　：YGW 11、12　φ1.2mm
（3）標準溶接条件：下表

デッキ板厚 (m)	梁フランジ板厚 (m)	電流(A)	電圧(V)	アークタイム (秒)
1.2	6~9未満	300~320	33~35	3.0~4.0×1回打ち
	9以上	300~320	33~35	3.0~4.0×2回打ち
1.6	6~9未満	300~320	34~38	3.5~4.5×1回打ち
	9以上	300~320	34~38	4.0~4.5×2回打ち

注1. デッキプレート　板厚1.2、1.6mm　表面条件：Z12、Z27、裏面塗装
2. 梁フランジ　表面条件：黒皮、一般錆止塗装
3. CO2ガス流量：20ℓ/分以上

検　査

【焼抜きせん溶接（P.W）及び自動焼抜きせん溶接（A.P.W）】
□事前検査
アーク手溶接：設定電流値を溶接棒の消費長さでチェックする。アーク長を約3mmに保持し、約15秒溶かして下記の標準消費長さをチェックする。

溶接棒径 (mm)	設定電流値 (A)	15秒間の溶接棒消費長さ(mm)
[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]

CO2アークスポット溶接：試し溶接を行って溶接径を確認する。
□溶接後の外観検査
（1）溶接箇所の確認　（2）標準余盛り径　25mm
（3）焼き切れ、余盛り不足の有無
□不良部の補修
P.W　の場合：スラグ除去後デッキプレートを密着させて再溶接する。
A.P.Wの場合：重ねて溶接して補修する。
【その他】
(1)デッキ継手の嵌合状況　(2)溶接金網の敷込み状況
(3)開口部の補強状況　(4)耐火フロアの表示マークの貼付（表示マークは同梱書類(封)へ記載すること）

	0	確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）
訂	1	
	2	
	3	
正	4	
	5	

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築
工事設計図　構 7
QL　特記仕様書
SUZUKI
株式会社 鈴木工務店　一級建築士事務所　一級建築士(第33474号) 市川昭二
37
福山市丸之内1丁目4番1号　TEL（0849）代22-1011　事務所登録 93(1)第1105号　図書作成 '98.11.12
H.9.7.3,000

フルブレースの耐力表　材質：Bar. FB. SS41 (F=2.4t/cm²)　H·T·B—F10T

短期許容耐力の算定

①主材の短期許容耐力

$N_イ = A_b \cdot F$

$A_b = \frac{\pi}{4} \cdot d_1^2$

A_b：主材の軸部断面積
d_1：主材軸径(最小)

②保有耐力

$N_ロ = 1.1 N_イ$

③H·T·Bの許容耐力(支圧接合)

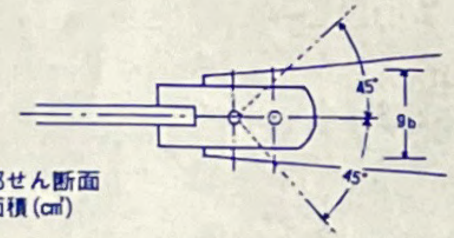
$N_ハ = n \cdot (0.75 A_f) \cdot \frac{F}{\sqrt{3}}$

n ＝ボルト本数
$0.75A_f$：危険側を考慮したねじ部せん断面にかかる場合の有効断面積(cm²)

④ガセットプレートの許容耐力

$N = (g_b - R) \cdot g_t \cdot F$

g_b：ガセットプレートの有効巾
R ：ボルト穴径
g_t：ガセットプレートの板厚



二次設計（ブレース端部および接合部の破断耐力の検定）

必要終局耐力

$P_{un} = 1.2 \cdot A_b \cdot F$

$P_{un} \leqq \min(P_1 \cdots\cdots P)$ が必要

①ブレース軸部で破断する場合

$P_1 = A_b \cdot 4.1$

②羽子板の有効断面で破断する場合

$P_2 = (2e_2 - R) \cdot t \cdot 4.1 = (B - R) \cdot t \cdot 4.1$

e_2：羽子板のへりあき

$B = 2e_2$

③はしあき部分で破断する場合

● ブレース羽子板の場合

$イP_3 = n \cdot e_1 \cdot t \cdot 4.1$

● ガセットプレートの場合

$ロP_3 = n \cdot e_1 \cdot g_t \cdot 4.1$

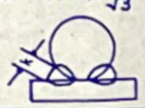
e_1：はしあき
t ：ブレース羽子板の板厚

④羽子板溶接部で破断する場合

● M12〜M22の場合

$P_4 = \Sigma 0.7 \cdot S \cdot \ell e \cdot \tau_a = 0.49k \cdot (2W - 1.4k) \cdot \frac{4.1}{\sqrt{3}}$

サイズS=0.7k

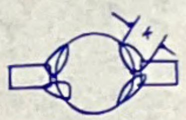


● M24〜M33の場合

$P_4 = \Sigma 0.35t \cdot \ell e \cdot \tau_a = 1.4t \cdot (W - 2S) \cdot \frac{4.1}{\sqrt{3}} = 3.31t \cdot (W - k)$

k ：溶接ビード巾(cm)

W：溶接長さ



⑤H·T·Bで破断する場合

$P_5 = 0.75n \cdot (0.75A_f) \cdot 10 = 5.625n \cdot A_f$

⑥ガセットプレートの破断による場合

$P_6 = (g_b - R) \cdot g_t \cdot 4.1$

⑦ガセットプレート溶接部で破断する場合

● すみ肉溶接の場合

$P_7 = 0.7 \cdot S \cdot \ell_e \cdot \frac{0.9 \times 4.1}{\sqrt{3}}$

$\ell_e \geqq \frac{P_1}{0.7 \cdot S \cdot 3.69 \cdot \frac{1}{\sqrt{3}}} = \frac{P_1}{1.49S}$

S：すみ肉溶接のサイズ
∴すみ肉溶接の有効長さは10S以上でかつ40mm以上とする

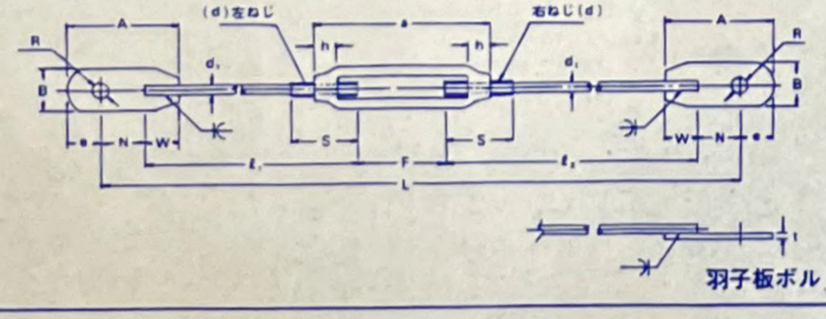
使用部材	該当棟	サイズ (ねじの呼び)	主材 全断面積 A_b (cm²)	主材 短期許容耐力 $N_イ$ (tf)	主材 保有耐力 $N_ロ$ (tf)	H·T·B 本数—径	H·T·B 許容耐力 $N_ハ$ (tf)	G·P 厚さ×必要巾 (mm)	G·P 許容耐力 N(tf)
「建築用ターンバックル筋かい設計施工指針」に基づいたフルブレース		M10	0.611	1.46	1.61	1-M12	4.41	6×60	6.77
		M12	0.889	2.14	2.35	1-M12	4.41	6×60	6.77
	●	M14	1.22	2.93	3.22	1-M16	7.83	6×70	7.63
		M16	1.64	3.94	4.33	1-M16	7.83	6×75	8.35
		M18	2.04	4.89	5.38	1-M20	12.2	9×85	13.7
	●	M20	2.58	6.18	6.80	1-M20	12.2	9×85	13.7
		M22	3.18	7.62	8.38	1-M22	14.8	9×85	13.3
		M24	3.72	8.94	9.83	2-M20	24.4	12×100	22.6
		M27	4.82	11.6	12.8	2-M20	24.4	12×100	22.6
		M30	5.91	14.2	15.6	2-M22	29.6	12×110	24.9
		M33	7.27	17.5	19.2	2-M22	29.6	12×110	24.9

サイズ (ねじの呼び)	二次設計 必要終局耐力 Pun(t)	① ブレース軸部 P_1 (tf)	② 羽子板の有効断面積 P_2 (tf)	③イ 羽子板はしあき $イP_3$ (tf)	③ロ ガセットプレートはしあき $ロP_3$ (tf)	④ 羽子板溶接部 P_4 (tf)	④ k (mm)	⑤ 接合ボルト P_5 (tf)	⑥ ガセットプレート有効断面積 P_6 (tf)	⑦ ガセットプレート溶接部(TYPE 1) P_7 (tf)	⑦ (mm)	ガセットプレートの最小必要溶接長ℓ(cm) TYPE 1	TYPE 2
M10	1.75	2.50	4.61	5.53	7.38	3.65	(5)	6.36	11.6	5.9	(6)	4.5	5.5
M12	2.57	3.65	4.61	6.45	8.61	4.98	(6)	6.36	11.6	5.9	(6)	4.5	5.5
M14	3.52	5.00	8.12	9.84	9.84	6.37	(6)	11.3	13.0	5.9	(6)	4.5	5.5
M16	4.73	6.73	8.12	11.0	11.1	8.13	(7)	11.3	14.3	9.1	(6)	6.0	7.5
M18	5.87	8.35	16.0	18.4	18.5	10.0	(8)	17.6	23.4	10.5	(8)	6.0	7.5
M20	7.42	10.6	16.0	18.4	18.5	12.8	(8)	17.6	23.4	11.7	(8)	6.5	7.7
M22	9.14	13.1	19.0	20.2	20.3	16.4	(9)	21.3	22.7	14.1	(8)	7.5	8.7
M24	10.7	15.3	19.7	36.9	49.2	22.3	(10)	35.3	38.6	19.4	(10)	8.5	10.5
M27	13.9	19.8	25.2	36.9	49.2	23.5	(11)	35.3	38.6	25.3	(10)	10.5	12.5
M30	17.0	24.3	32.7	54.1	54.1	32.1	(14)	42.7	42.6	31.3	(10)	12.5	14.5
M33	21.0	29.8	37.6	54.1	54.1	37.7	(15)	42.7	42.6	37.3	(10)	14.5	16.5

3．形状寸法一覧表

(単位mm)

ねじの呼び D	ボルト長 ℓ_1	軸径(最小) d_1	ねじ長さ S	中あき F	羽子板厚 t	羽子板幅 B	羽子板長さ A	N	溶接長さ W	穴径 R	はしあき e	TB全長 a	TB胴長 h
M10	350 400 450 500 を標準とする	8.82	75	70	4.5	38	105	40	35	13	30	150	14
M12		10.64	100	100	4.5	38	125	50	40	13	35	200	17
M14		12.46	115	115	6	50	145	55	50	17	40	230	20
M16		14.46	125	120	6	50	160	60	55	17	45	250	23
M18		16.11	140	140	9	65	180	70	60	21.5	50	280	25
M20		18.11	150	150	9	65	195	70	75	21.5	50	300	28
M22		20.11	165	165	9	75	215	75	85	23.5	55	330	31

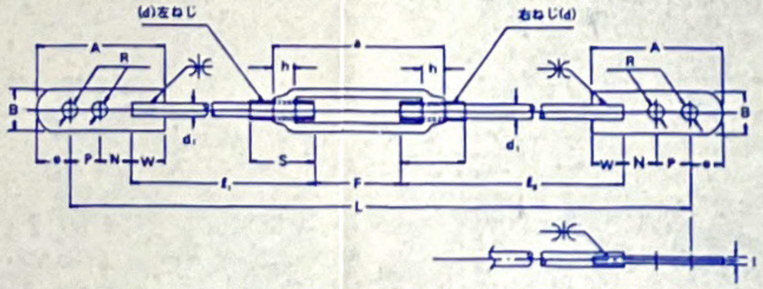


羽子板ボルトのねじ部の製作は転造法とする。

形状寸法一覧表

(単位mm)

ねじの呼び D	ボルト長 ℓ_1	軸径(最小) d_1	ねじ長さ S	中あき F	羽子板厚 t	羽子板幅 B	羽子板長さ A	N	溶接長さ W	穴径 R	はしあきピッチ e·P	TB全長 a	TB胴長 h
M24	350 400 450 500 を標準とする	21.77	175	170	9	75	255	70	85	21.5	50	350	34
M27		24.77	200	200	9	90	265	75	90	21.5	50	400	38
M30		27.42	200	200	12	90	290	85	95	23.5	55	400	42
M33		30.42	225	220	12	100	310	90	110	23.5	55	450	46



注) 取り付けボルトはJIS B-1186摩擦用接合高力ボルト2種(F10T)を一面せん断(支圧)接合で強度計算しております。必ずF10Tを御使用下さい。

溶接規格

(単位mm)

ねじの呼び	ビード幅K	ねじの呼び	ビード幅K
M10	5	M18	8
M12	6	M20	8
M14	6	M22	9
M16	7		

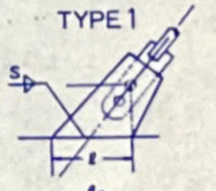
(単位mm)

ねじの呼び	ビード幅K
M24	10
M27	11
M30	14
M33	15

ガセットプレートの種類

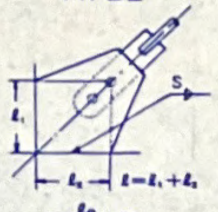
ℓe：有効溶接長さ

TYPE 1

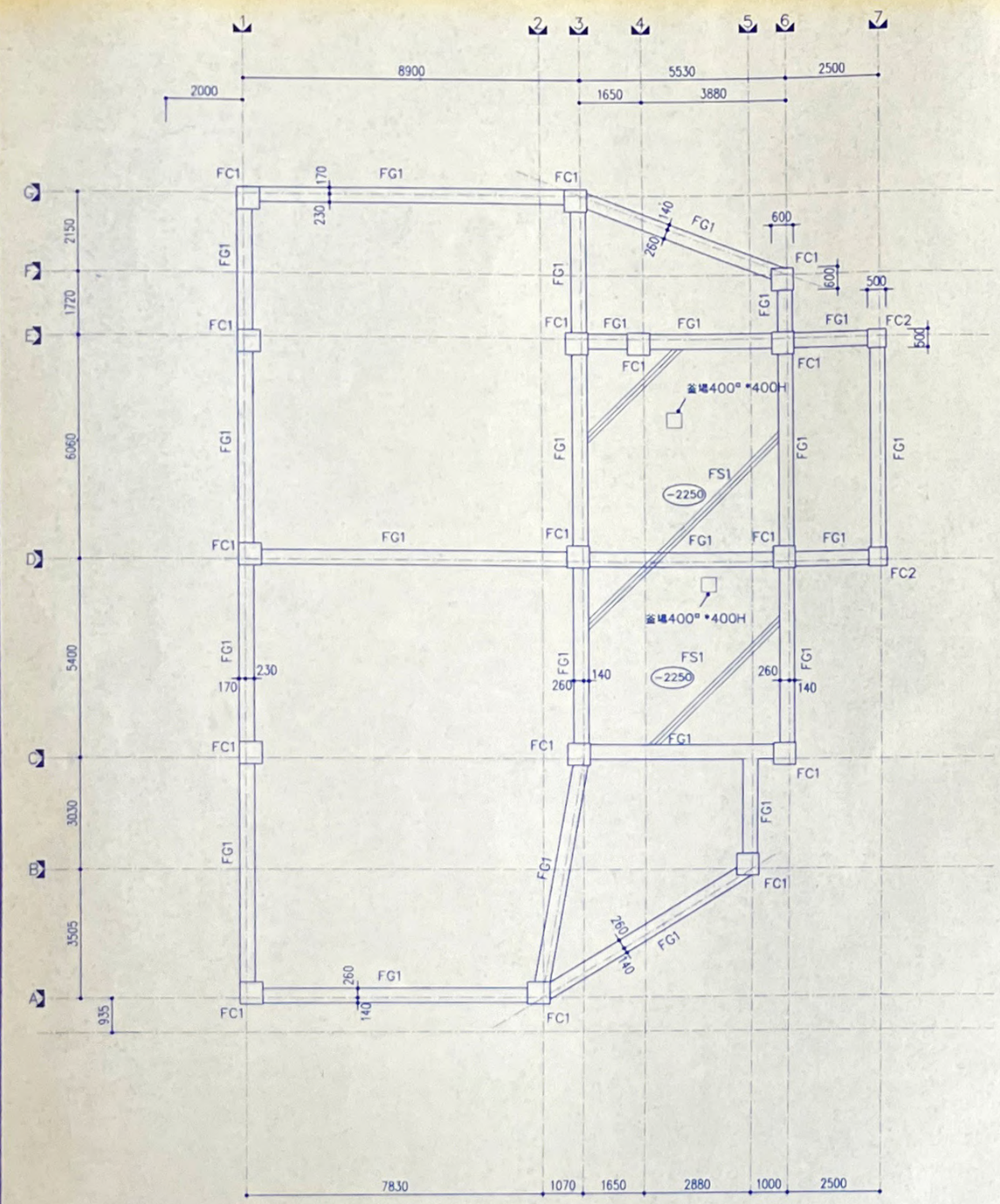


$\ell \geqq \frac{\ell e}{2} + 2S$

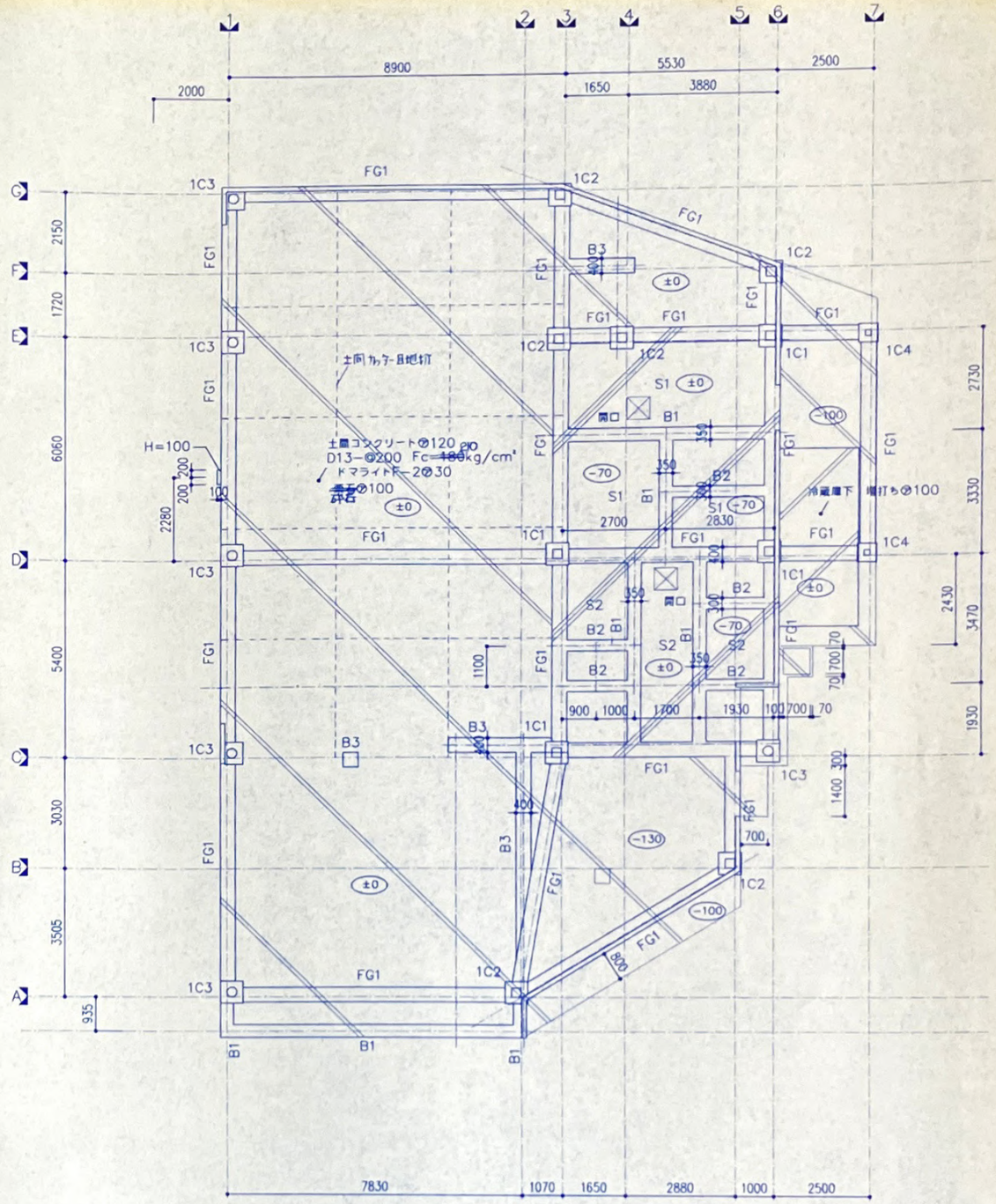
TYPE 2



$\ell \geqq \frac{\ell e}{2} + 4S$



基礎伏図(下部) 1/100



基礎伏図 1/100

訂正	確認通知書平成 年 月 日第 号による変更（すべての工事に優先する）	竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

工事設計図 構 9

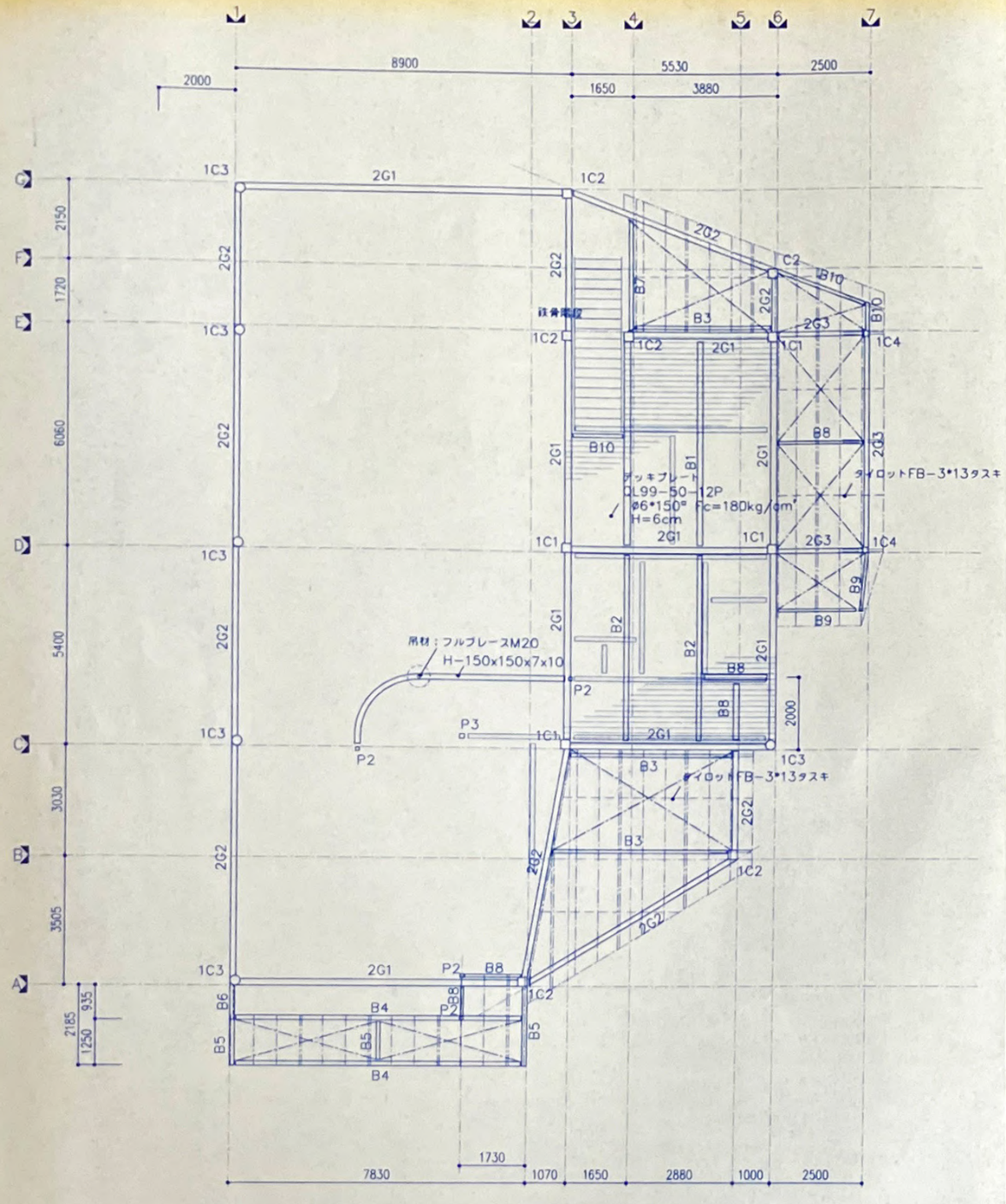
基礎伏図 1/100

39

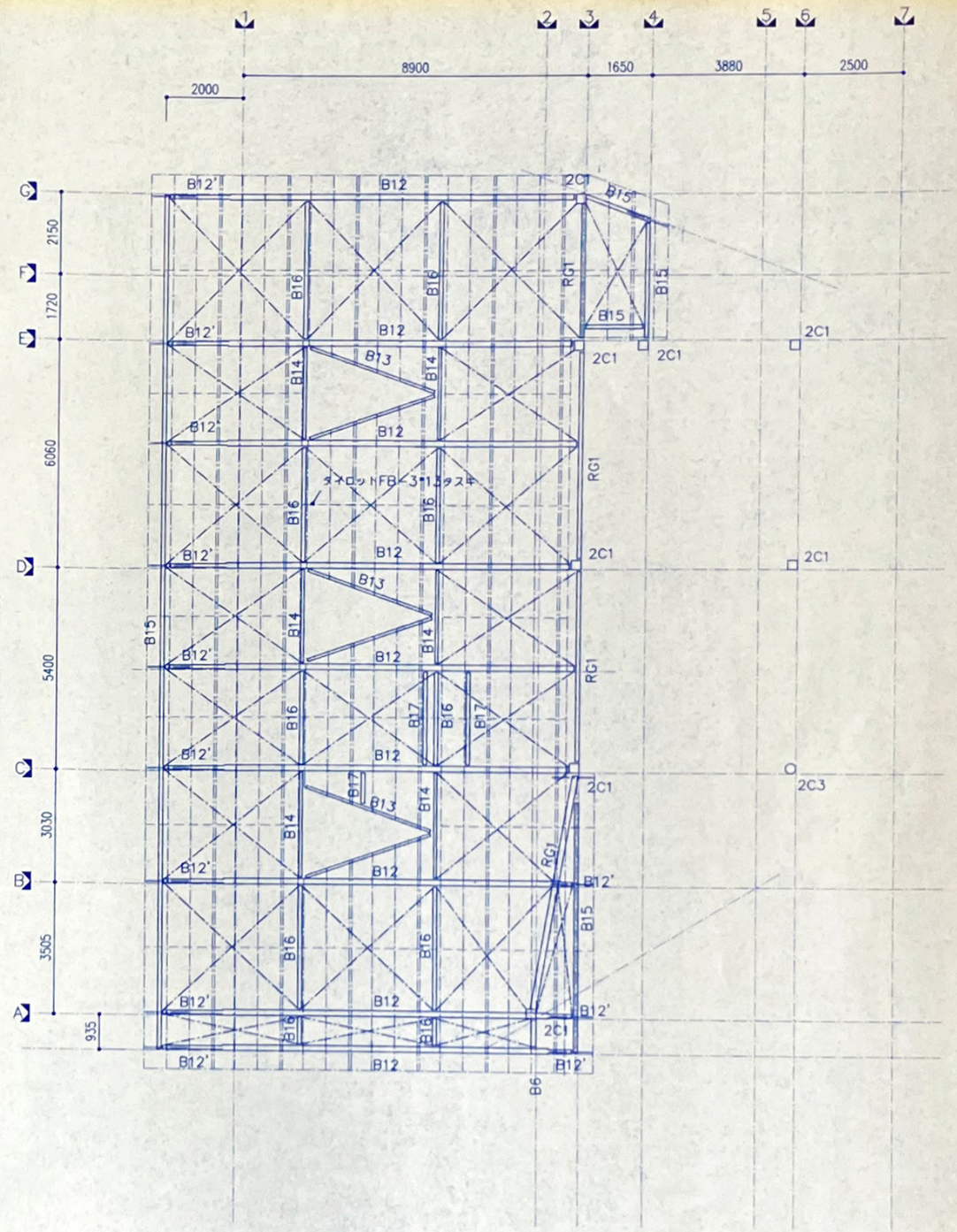
SUZUKI

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 市川昭二

福山市丸之内1丁目14番1号 TEL (0849) 代 22-1011 事務所登録 93 (1) 第1105号 図書作成 98.11.04 '98.11.10



2G梁伏図　1/100



RG梁伏図　1/100

訂正	
1	確認通知書平成10年12月11日第[illegible]号による変更（すべての工事に優先する）
2	RG梁伏図で、A通りにB12を追加し、B12割を変更
3	
4	
5	
6	

※ ▭ EG2を示す。

竣工図

変更後

SUZUKI

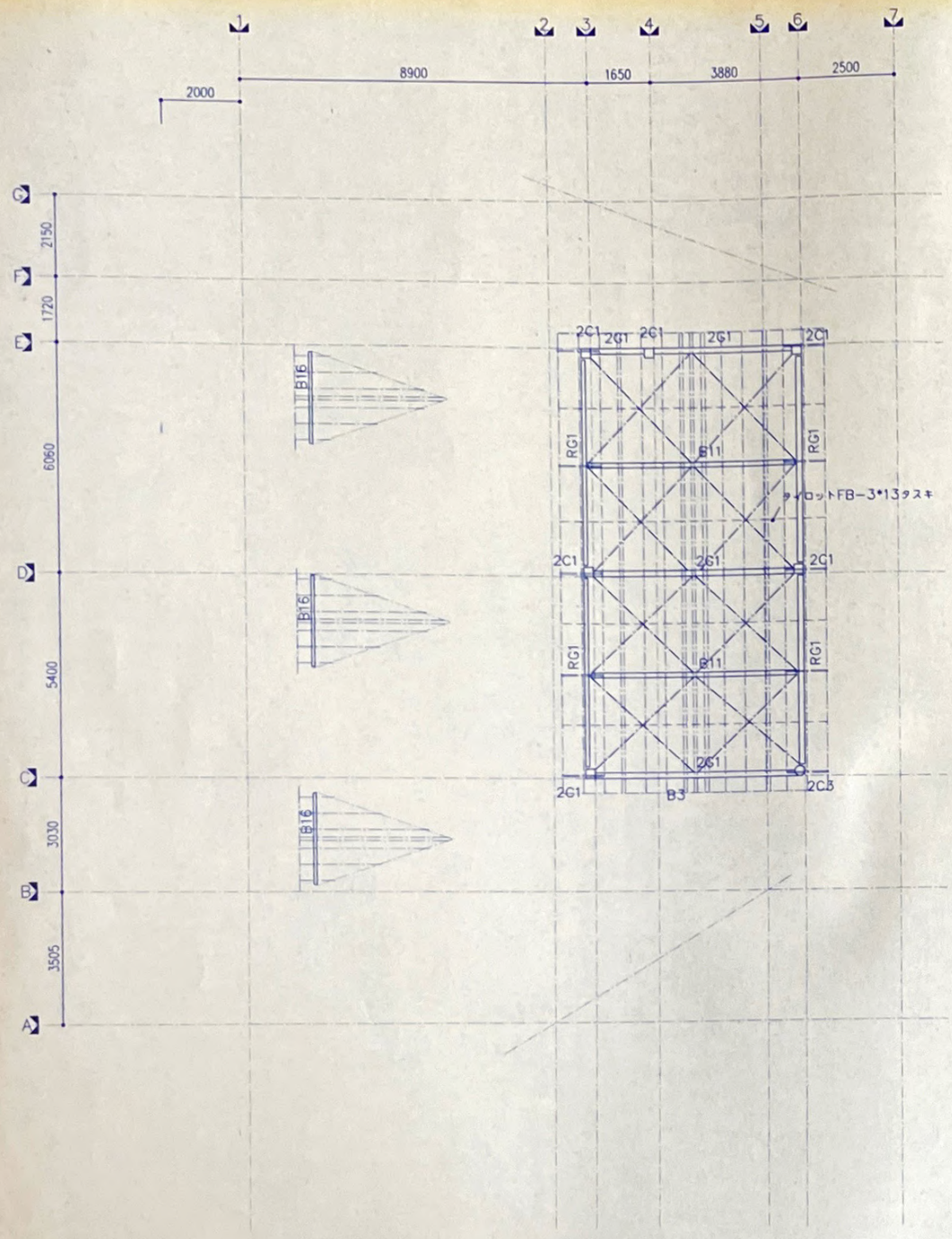
平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

工事設計図	構 10
梁伏図1	1/100

40

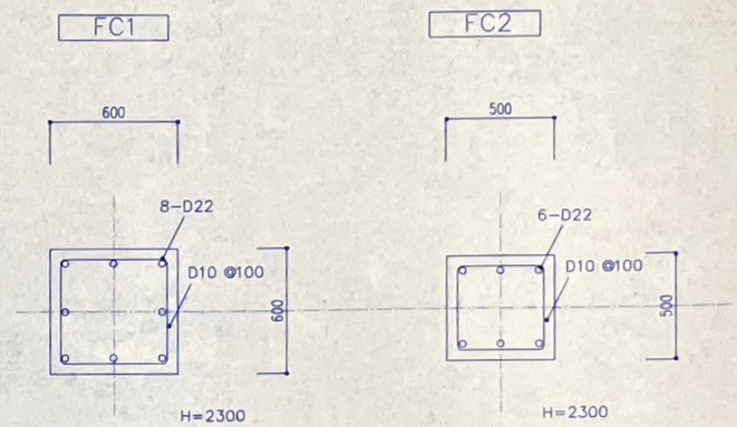
株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所　一級建築士（第334748）市川昭二

福山市丸之内1丁目1番1号　TEL (0849) 代 22-1011　事務所登録 第(1)第1105号　図書作成 98.12.08



RG梁伏図　1/100

柱脚配筋図　1/20



訂正	5	
	4	
	3	
	2	トップライトの位置を変更
	1	確認通知書平成10年12月14日第[illegible]号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

変更後

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

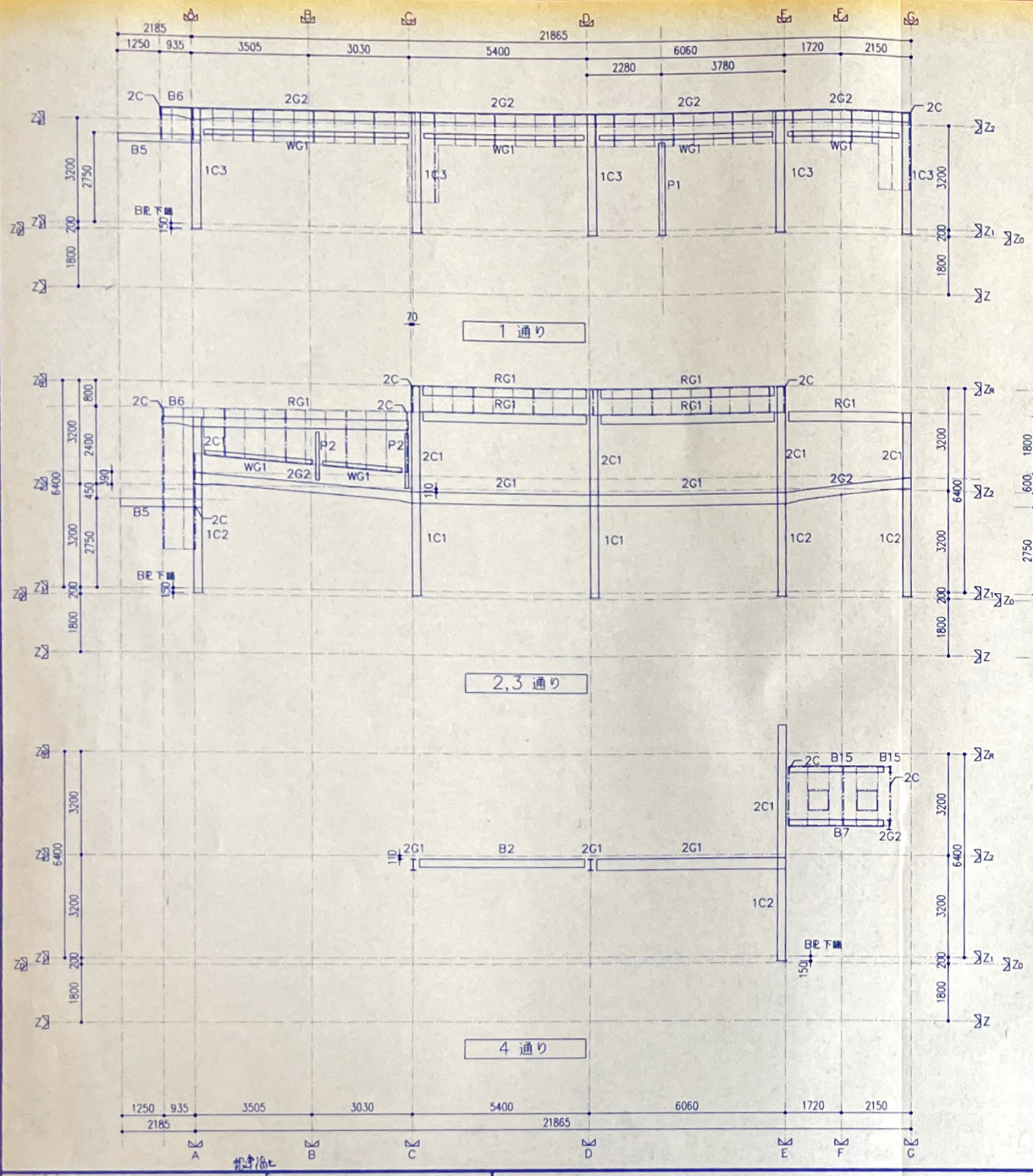
工事設計図　構 11

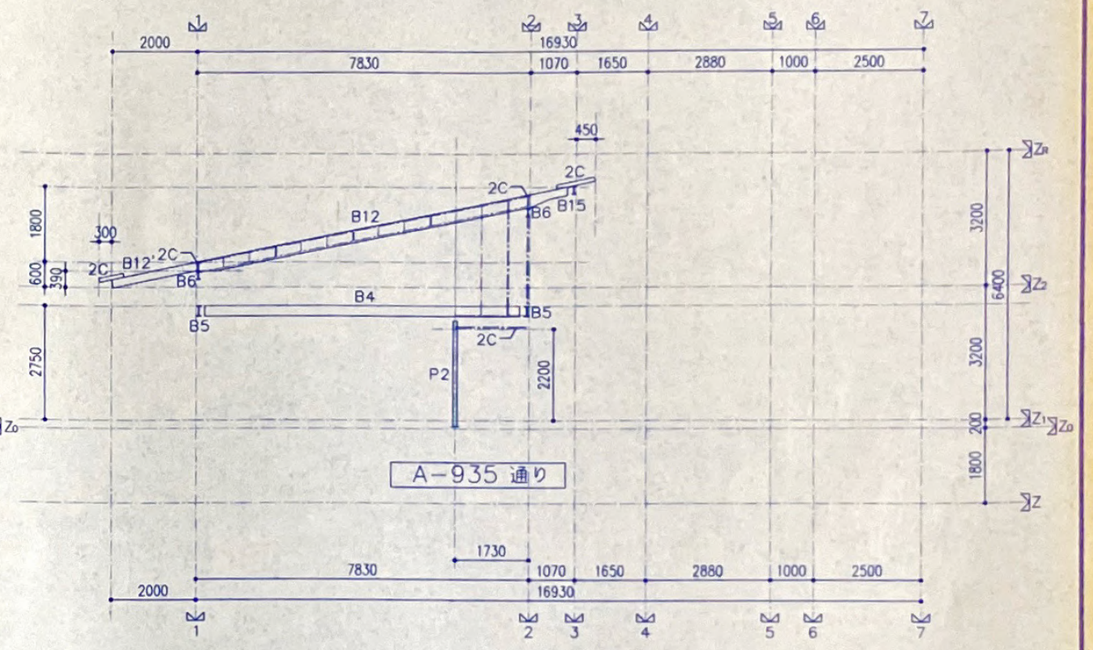
梁伏図2　1/100

41

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所　一級建築士（第334744）市川昭二

福山市高之内1丁目4番1号　TEL (0849) 代 22-1011　事務所登録 93.(1) 第1105号　図書作成 98.12.08





訂正

確認通知書平成10年12月14日第000446号による変更（すべての工事に優先する）
2、3通りで、～C通りまでのB6,RG1をさげる変更

竣工図

変更後

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

工事設計図　構 12

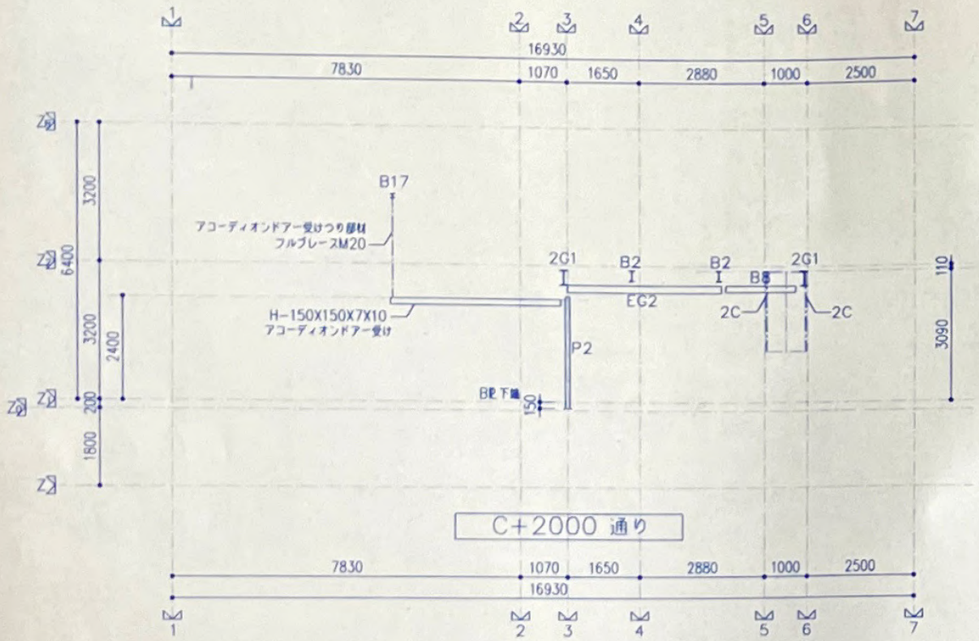
軸組図1

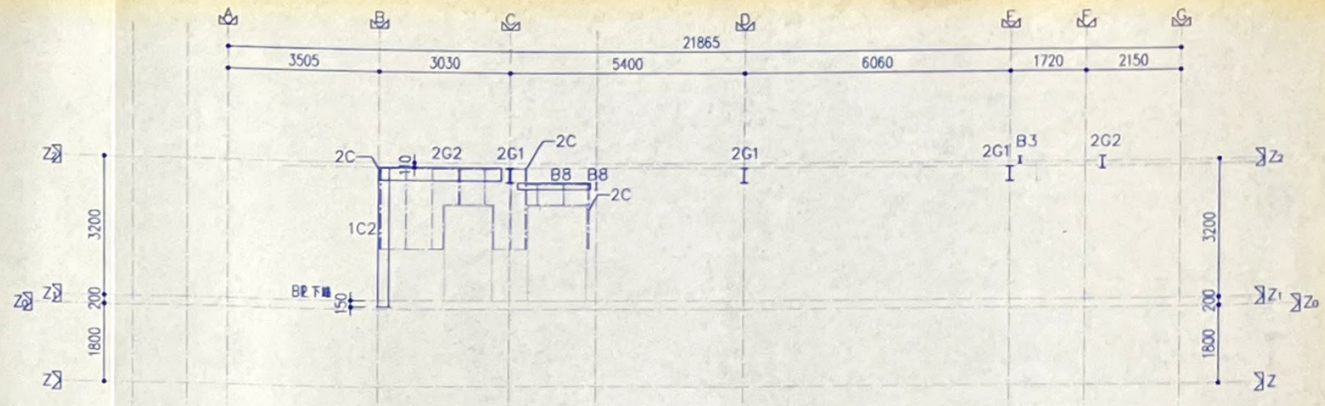
1/100

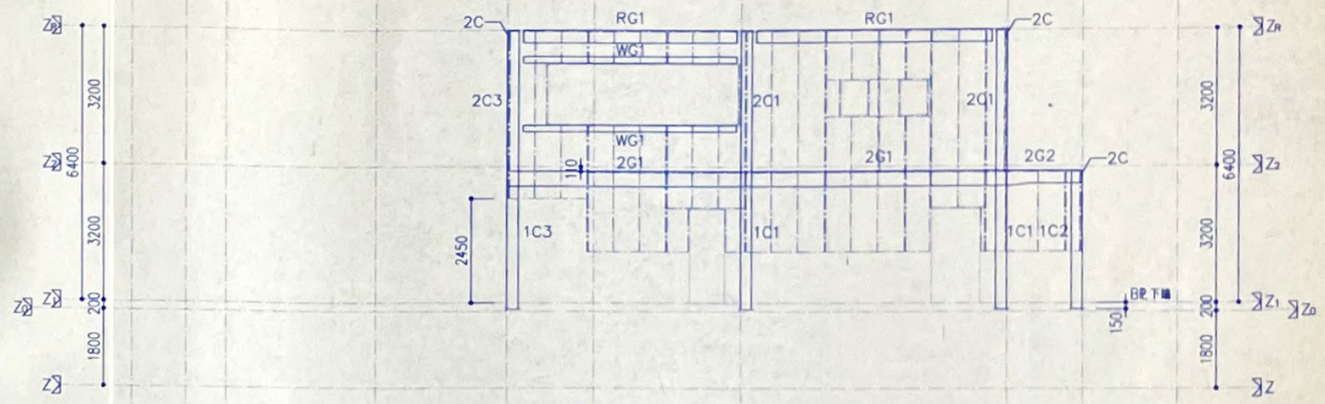
42

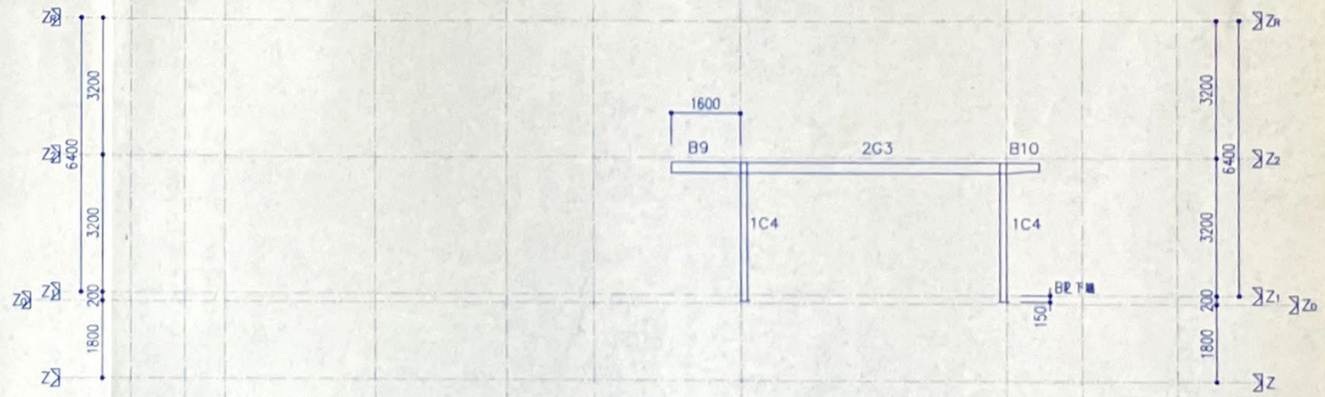
株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 市川昭三

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) (C 22-101) 事務所登録 93 (1) 第1105号 図面作成 98.12.08









訂正 確認通知書平成 年 月 日第 号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

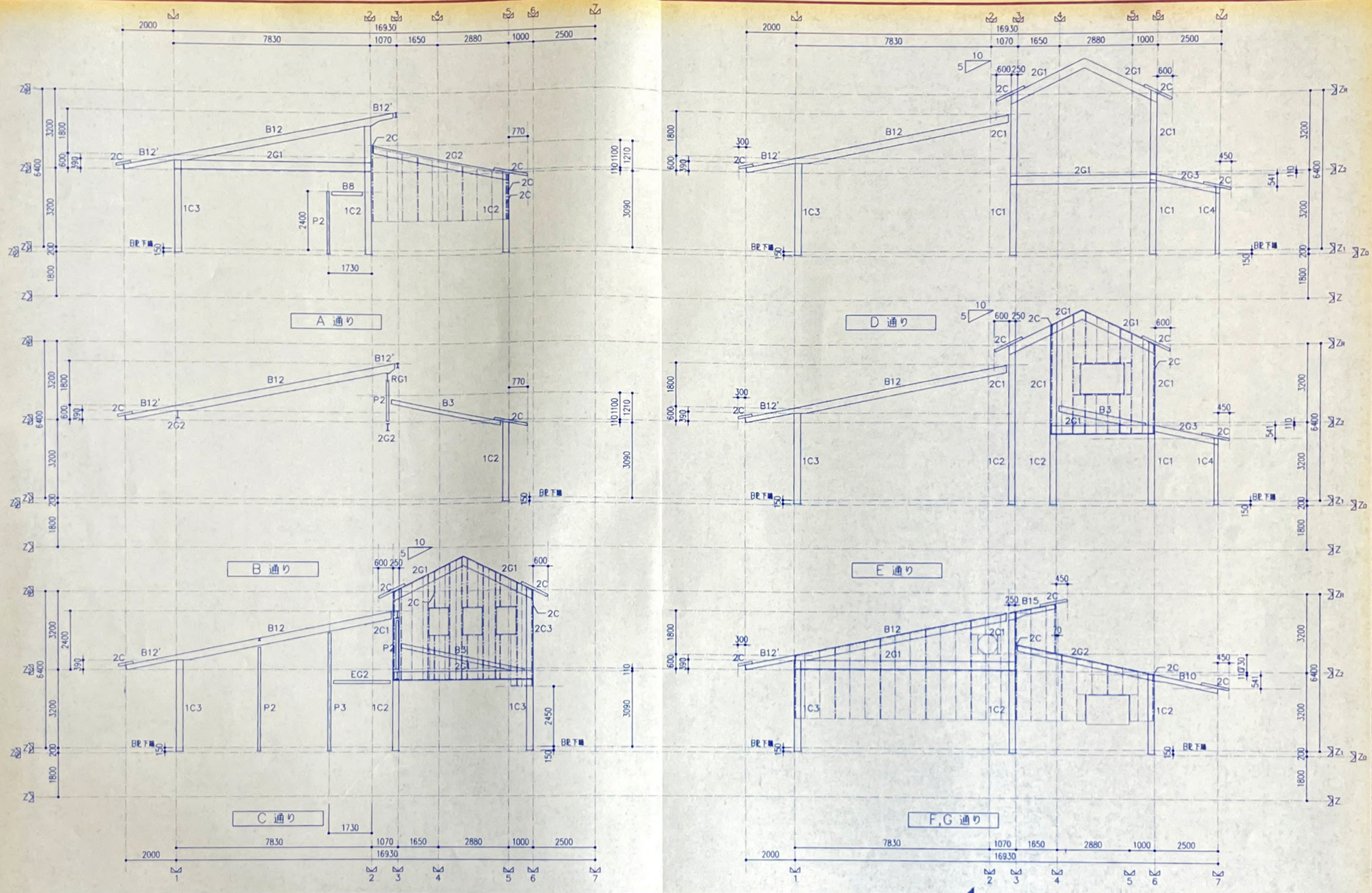
平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

工事設計図 構 13

軸組図2 1/100

株式会社鈴木工務店 一級建築士事務所 市川昭二

福山市入之内丁目番号 TEL (0849) 代 22-1011 事務所登録 (1) 第1105号 図書作成 98.10.22



訂正	
1	確認通知書平成 (0年12月14日第[illegible]号による変更 (すべての工事に優先する)
2	A～D通りにB12,B12'記入
3	
4	
5	

注） 設備工事にかかる必要な開口補強を設けること。

竣工図

変更後

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

工事設計図　構 14

軸組図3　1/100

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所　一級建築士（第334744）市川昭二

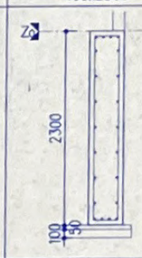
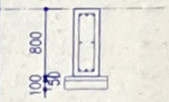
44

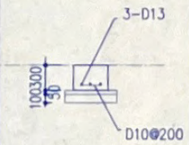
福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代 22-1011 事務所登録 知(1)第1105号 図書作成 98.12.08

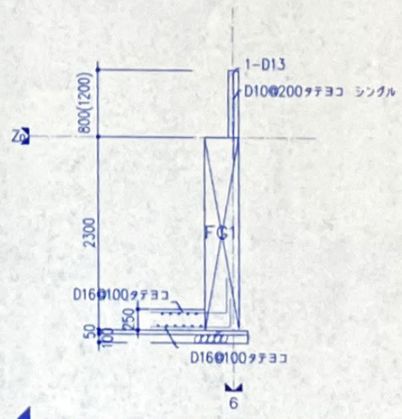
鉄骨リスト

1C1	1C2,2C1	1C3,2C3	1C4	P1	P2	2G2,RG1	2G1	2G3、B6
□-250X250X9	□-250X250X6	○-267.4X6.6	□-150X150X6	○-190.7X5.3	□-100X100X2.3	H-298X149X5.5X8	H-350X175X7X11	H-248X124X5X8
BR-16X430X430 A.B-4-M16 L=40d RR-6	BR-16X430X430 A.B-4-M16 L=40d RR-6	BR-16X430X430 A.B-4-M16 L=40d RR-6	BR-16X310X310 A.B-4-M16 L=40d RR-6	BR-16X280X280 A.B-4-M16 L=40d RR-6	GR-4.5 L=40d HTB-2-M16	GR-12 HTB-4-M20 CR-3.2	GR-12 HTB-4-M20 CR-4.5	GR-12 HTB-4-M20
B1,12	**B2**	**B3**	**B4,5,11**	**B7,10,15**	**B8,9,13,14**	**B16**	**B17**	
H-298X149X5.5X8	H-~~250X125X6X9~~ 298X149X5.5X8	H-175X90X5X8	H-248X124X5X8	H-200X100X5.5X8	H-150X75X5X7	□-100X100X2.3	H-100X100X6X8	
GR-6 HTB-3-M20	GR-6 HTB-3-~~M16~~ M20	GR-6 HTB-2-M16	GR-6 HTB-3-M16	GR-6 HTB-2-M16	GR-6 HTB-2-M16	GR-6 HTB-2-M20	GR-6 HTB-2-M16	
WG1	**EG2,P3**	**母屋**	**胴縁（2階妻面）**	**胴縁**	**屋根ブレース**	**アコーディオンドアー受けつり部材**		
□-150X150X4.5	□-125X125X4.5	C-100X50X20X2.3	C-100X50X20X2.3	C-100X50X20X1.6	フルブレース M14	フルブレース M20		
GR-6 HTB-2-M16	GR-4.5 HTB-2-M16	@607以下 GR-4.5 RR-4.5	@455以下 GR-4.5 RR-4.5	@607以下 GR-4.5 RR-4.5	GR-6 HTB-1-M16	GR-6.5 HTB-1-M20		
床板	**階段**							
QL-99-50-12P	側板R 12X250							
QL-99-50-12P コンクリート FC=180 コンクリート 山上@60 スパン 2.00m以下 ひび割れ防止筋 6φ@150	4320/16=270 270 / 188 / 250 / 50 / 30 / R4.5曲げ加工 / 2D-13φ6@100 HTB-2-M16 GR-6							

基礎梁リスト

符号	FG1			B1		
断面	400x2300			350x800		
配筋図						
	端部	中央	端部	端部	中央	端部
上端筋	4-D22	4	4	3-D22	3	3
下端筋	4-D22	4	4	3-D22	5	3
肋筋	2-D13@250			2-D10@200		
腹筋	14-D13			2-D10		

符号	B2			B3		
断面	300x600			400x300		
配筋図						
	端部	中央	端部	端部	中央	端部
上端筋	2-D22	2	2			
下端筋	2-D22	2	2			
肋筋	2-D10@200					
腹筋	2-D10					



訂正 確認通知書平成 年 月 日第 号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

工事設計図 構 15

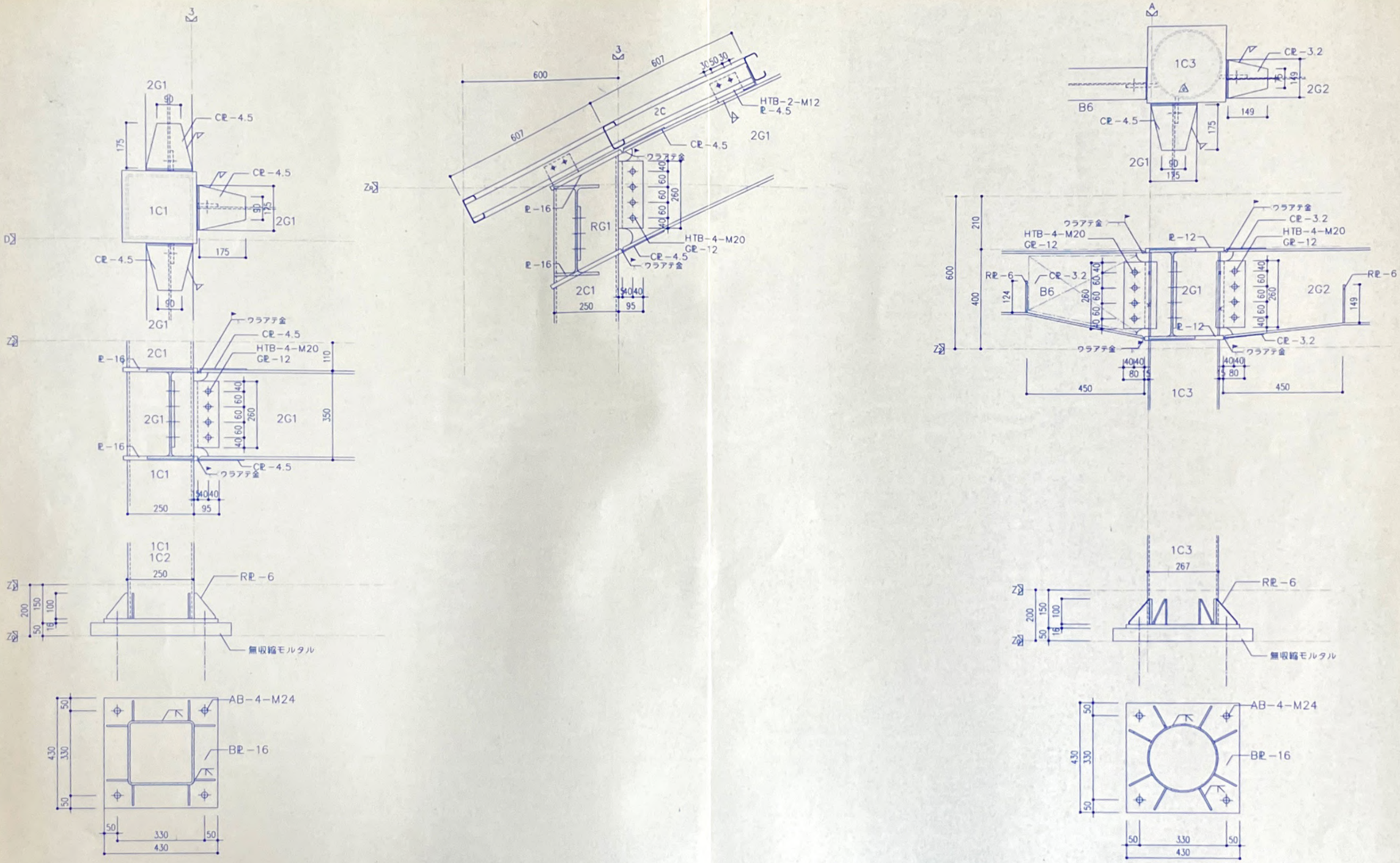
鉄骨リスト 基礎梁リスト 1/20,1/50

SUZUKI

鈴木工務店 一級建築士事務所 市川昭

45

98.11.04



訂正	確認通知書平成10年12月14日第[illegible]号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善地域
産地形成促進施設　新築

工事設計図　構 16

鉄骨詳細図1　1/10

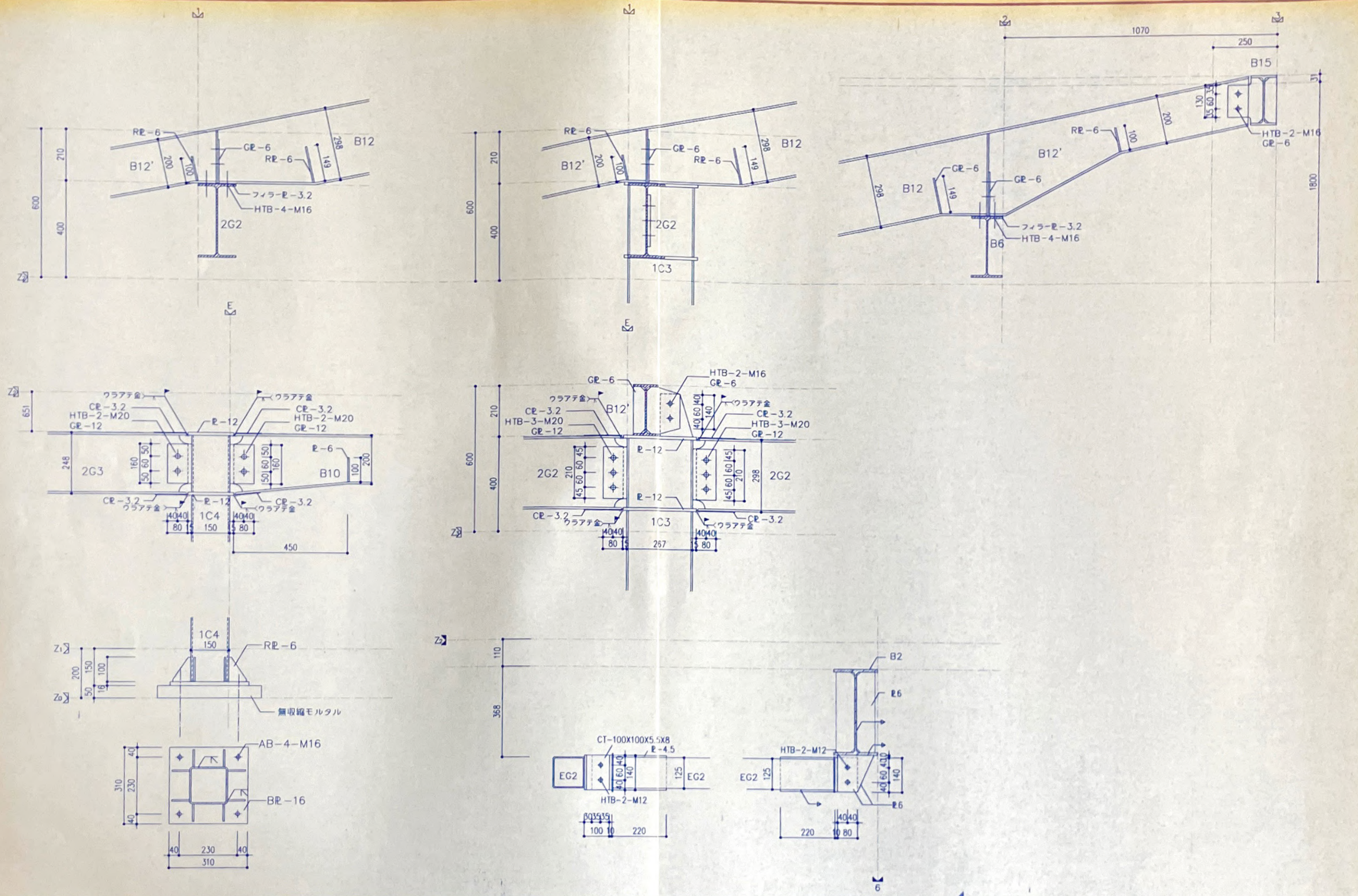
株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 市川昭二

46

SUZUKI 鈴木グループ

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代22-1011 事務所登録 93 (1) 第1105号

図表作成 98.10.22



訂正 確認通知書平成 年 月 日第 号による変更（すべての工事に優先する）

設工図

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善地域
産地形成促進施設 新築

工事設計図 構 17

鉄骨詳細図2 1/10

鈴木工務店 一級建築士事務所 市川昭二

47

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代 22-1011 事務所登録 第 (1) 第1165号 図書作成 98.10.22

1. 工事名称	平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業産地形成促進施設 新築工事
2. 工事場所	神石郡油木町大字油木 と 1983-2
3. 建物概要	・RC ・SRC ⊙ S ・
	地下 階／地上 2階／塔屋 階／延面積 987.51 m^2
4. 主な用途	~~・共同住宅~~・飲食店舗（消防法 第 ~~16~~ 3 項（~~イ~~ ロ））、4:項
5. 一般事項	
1) 適用基準等	本工事は設計図・特記仕様書によると共に、電気設備の技術基準、内線規定、消防法、建築基準法及び、その他関係法令・規則・条例に基づき、完全に施行するものとする。本設計図に記載なき一般事項は、建設大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備共通仕様書」及「標準図」（最新版）に準じるものとする。
2) 官公庁その他の手続	本工事に必要な官公庁への手続きは、請負業者にて代行し、これに要する費用は、請負業者の負担とする。
3) 工法の決定	施行者は、係員の承認なく、施行方法、使用材料及び使用機器を変更してはならない。変更を行う場合は、速やかに変更図面を提出し、係員の承認を得た後に施行すること。
4) 提出書類	下記の ⊙ 印の書類を係員に提出すること。
	工事書類 ⊙ 工程表 ⊙ メーカーリスト ⊙ 承認図 ⊙ 施行図
	完成書類 ⊙ 官公庁等への諸手続きの写し ⊙ 検査試験成績表
	⊙ 取扱説明書 ⊙ 工事記録写真 ⊙ 竣工図
5) 検査	工事完成後、通商産業局、その他官公庁の各種検査に合格すると共に、係員の検査に合格すること。
6) 特記事項	1) 配線器具プレート（・樹脂 ⊙ 新金属 ・ステンレス ・ ）
	2) 工事項目は、番号の入っている設備項目を適用する。
	3) 仕様、工事内容及び工事区分は、・印を付したものを適用する。
	4) 機器の取付高さは、特に指示のない場合、標準取付高さによること。
	5) 配管仕様、特に指示のない場合下記による。
	露出配管 —・CP ・PE ⊙ VE ・HI
	埋込配管 —・CP ⊙ VE ・PF ⊙ CD
	地中配管 —・PE ・FEP ・VE ・HI
	6) 本工事の受電引込に伴う負担金は、工事業者持ちとする。
	7) 施工の優先順位は、下記によること。
	1) 現場説明事項 2) 平面図 3) 特記仕様書
	8) メーカー参考品名がある場合は、同等品以上とする

6. 工事項目	仕様、工事内容及び工事区分	
● 引込設備	電圧種別	・高圧 φ W V Hz
		⊙ 低圧 3φ3W 210 V 60 Hz
		⊙ 低圧 1φ3W 105 V 60 Hz
	引込方法	⊙ 架空 ・地中 ・構内地中
○ 受変電設備	形式	・閉鎖型 ・簡易閉鎖型 ・開放組立型
	施設場所	・屋内（ 階）・屋外（・地上・屋上）
	施設容量	主遮断機（・VCB・ACB・GCB・LBS ・ ）7.2KV A KA
		変圧器（動力用 KVA 電灯用 KVA）
		（その他 用 KVA）
		進相コンデンサ KVA
○ 発電機設備	用途	・常用 ・非常用 ・兼用 ・コージェネ
	形式	・パッケージ型 ・据置型 ・屋内型 ・屋外型
	発電機	定格出力 φ W KVA HZ、力率 %
		運転（・1時間 ・連続 ・常用）
		種類（・ディーゼル ・タービン）
	エンジン	定格出力 PS rpm
		出力電圧 φ W V HZ、
		冷却方式（・水冷 ・空冷）
		燃料（・重油 ・軽油 ・ガス）
		燃料タンク ℓ（・搭載型 ・別置型）
		始動時間 秒以内 始動方式（・空気 ・蓄電池）
		始動盤（・搭載型 ・別置型）
	特殊仕様	

6. 工事項目	仕様、工事内容及び工事区分	
○ 蓄電池設備	用途	・非常用 ・一般 ・兼用
	収容形式	・閉鎖型 ・開放架台
	蓄電池形式	鉛（・HS ・HS-E ・CS）
		アルカリ（・AMH ・AHH）
		セル V AH HR
	整流器	入力 φ W V 全自動充電方式
	特殊仕様	自動電圧調整器 A
○ 監視盤設備	形式	・自立型 ・デスク型
	監視対象	・受変電 ・衛生動力 ・空調動力 ・温湿度
		・発電機
	計装配線	・含む ・含まず
● 幹線設備	施工範囲	低圧配電盤二次側端子接続より分電盤・制御盤等の一次側接続まで。 盤類（⊙ 含む ・含まず）
	電圧	動力 ⊙ 3φ3W200V（⊙ AC ・GAC）
		動力 ・3φ3W V（・AC ・GAC）
		電灯 ・3φ4W200V（・AC ・GAC）
		電灯 ⊙ 1φ3W200/100V（⊙ AC ・GAC）
		直流 ・2W100V
	配線種別	一般電灯動力（・電線管 ⊙ ケーブル ・バスダクト）
		非常電灯動力（・耐熱電線 ・耐火ケーブル ）
		直流（・耐熱電線 ・耐火ケーブル ）
● 動力設備	施工範囲	制御盤を（・含む ⊙ 含まず）二次側端子接続より、各動力負荷一次側接続まで。
		インターロック配線（・含む ・含まず）
		自動制御配線（・含む ・含まず）
		警報盤（・含む ・含まず）
		警報配線（・含む ・含まず）
● 電灯コンセント設備	施工範囲	分電盤を（・含む ⊙ 含まず）二次側端子接続より、配線器具等の取付まで。
	配線器具	・適用型 ⊙ 大角適用型
		・チャイム（・含む ・含まず）
● 照明器具設備	施工範囲	照明器具の供給取付工事
	器具仕様	非常照明器具（⊙ 専用 ・兼用 ・組込）
		非常照明用予備電源（⊙ 内蔵 ・別置）
		誘導灯用非常電源（⊙ 内蔵 ・別置）
● 電話配管設備	引込方法	⊙ 架空 ・地中 ・構内地中
	建物内配管	⊙ 配管 ・ケーブルラック ・フロアダクト
	構内配線	・含む ⊙ 含まず
○ 電話設備	交換機	・含む ・含まず
		・電子交換機 局線 ／ 回線
		・ボタン電話器 型
● 放送設備	用途	・非常用 ⊙ 一般用 ・兼用
	増幅器形式	・ロッカー型 ⊙ 卓上型 ・デスク型 ・壁掛型
		出力 60W、出力回路 5回路
	遠隔操作器	・有 ⊙ 無（・非常用 ・一般用）
	付属機器	

6. 工事項目	仕様、工事内容及び工事区分	
● テレビ・ラジオ共聴設備	アンテナ	・有 ⊙ 無
		・VHF ・UHF ・BS ・FM ・AM ・CATV
	増幅器	・有 ⊙ 無
	規格	⊙ 一般 ・BL
	アンテナマスト	・自立型 ・側壁型
○ 電気時計設備	親時計	水晶発振式（・壁掛型 ・据置型）出力 回路
	子時計	・壁掛型 ・半埋込型 ・埋込型 ・吊下げ型
○ インターホン設備	用途	・ドアホン ・所内連絡 ・ナースコール ・住宅用
		・集合住宅用 ・セキュリティ
	通話方法	・同時通話 ・交互通話
	形式	・親子式 ・相互式 ・
○ 設備		
○ 設備		
○ 設備		
● 自動火災報知設備	受信機	⊙ 単独 ・複合 P型2級（・自立型 ⊙ 壁掛型）
		（自火報） 5回線 （防排煙） 回線
	総合盤	・消火栓組込 ・単独
	消火ポンプ起動	・発信機連動 ・別置押釦
○ 防排煙制御設備	制御盤	・単独（ 回線）・火災報知受信機組込
	制御対象	・防火戸 ・ダンパー ・防煙垂壁 ・排煙口 ・シャッタ
○ 避雷設備	方式	・突針 ・棟上導体 ・
	接地極	・銅板 カ所 ・建物接地
	突針支持管	・鋼管 ・真鍮管 ・アルミ管（・自立型 ・側壁型）
	端子箱	・塩ビ ・青銅 ・ステン

7. 工事区分 （該当欄に○印で記します。）

項目	電気	建築	衛生	空調	別途	備考
電力会社に納入する負担金						建築主負担
NTTに納入する負担金						建築主負担
テレビ受信のビル影障害調査及び補償費						建築主負担
受電後、引渡し迄の電気基本料金及び使用料金		○				
コンクリート基礎（・キュービクル ・発電機 ・変圧器 ・盤類 ・外灯 ）						
シンダーコンクリート打設工事						
ピット工事（蓋金物、蓋共）						
天井に取付ける機器の穴明け	○					
天井に取付ける機器の穴明け後の補強工事及び取付枠		○				
電気配線用点検口の設置工事		○				
空調機・ボイラ等の制御機器及び自動制御配線			○	○		
換気扇の供給取付工事				○		
電極棒及び保持器						
電話機とその取付工事及び入線工事					○	
空調機の室内機・室外機間の渡り配線				○		

8. メーカーリスト

電線ケーブル	JIS規格品
バスダクト	JIS規格品
電線管	・松下 ・東芝 ・因幡 ・日本パイプ
電線管付属品	・松下 ・東芝 ・因幡 ・日亜
配線器具	・松下 ・東芝 ・神保 ・明工
照明器具	・東芝 ・松下 ・三菱
キュービクル	・内外 ・日東 ・松下 ・テンパール
高低圧配電盤	・内外 ・日東 ・松下 ・テンパール
制御盤監視盤	・内外 ・日東 ・松下 ・テンパール
分電盤端子盤	・内外 ・日東 ・松下 ・テンパール
高圧機器	・東芝 ・日立 ・三菱 ・高岳
変圧器	・東芝 ・日立 ・三菱 ・ダイヘン
進相器	・東芝 ・日立 ・三菱 ・ダイヘン
発電機	・東芝 ・日立 ・三菱 ・デンヨー
エンジン	・クボタ ・三菱 ・ヤンマー
直流電源装置	・日本電池 ・古河 ・湯浅
電話交換機	・松下 ・岩崎 ・日立 ・富士通 ・大興
放送機器	・TOA ・東芝 ・松下 ・ビクター
テレビ共聴	・日本アンテナ ・DX ・マスプロ ・八木
電気時計	・松下 ・セイコー ・Tic
インターホン	・松下 ・アイホン ・ケアコム ・東芝
ナースコール	・松下 ・アイホン ・ケアコム ・東芝
自火報防排煙	・松下 ・ニッタン ・ノーミ ・ホーチキ
避雷計	・大阪 ・大岩 ・日本

訂正 0 確認通知書平成 年 月 日第 号による変更（すべての工事に優先する）
1
2
3
4
5

竣工図

変更図面
放送、TV設備追加工事

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業 産地形成促進施設 新築

工事設計図 (E) 1

特記仕様書

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士（第33474号） 市川昭二

（市川）（南原）（原田）

48

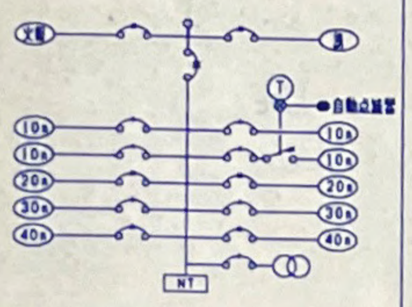
98.11.13

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代 22-1011 事務所登録 93(1) 第1105号 図書作成

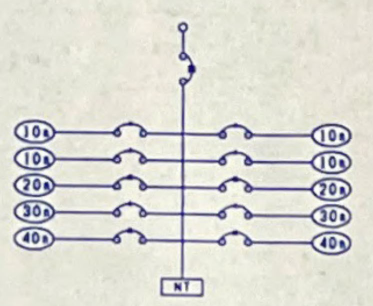
分電盤仕様

標準結線図

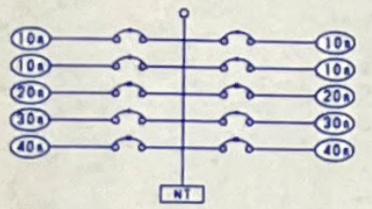
A



B



C



負荷容量の算定

負荷名称				負荷容量VA	備考
蛍光灯	直管形ランプ	低力率		Wo×2	
		高力率	20W以下	Wo×1.5	
			40W×1	60	
			110W×1	130	
	コンパクト型 (FDL)(PPL)	—	6W~13W	Wo×2.0	
			18W~28W	Wo×2.0	
			36W	44.5	
			55W	52.5	
	環形ランプ	低力率	32W及び30W	Wo×2.0	
			40W	80	

負荷名称			負荷容量VA	備考
HID灯	低力率	100V	Wo×2.5	
		200V	Wo×2.0	
	高力率		Wo×1.5	
白熱灯			Wo×1.0	
コンセント	15A（1口用、2口用）		100	
	20A		1000	
	換気扇用		100	

注記

1. 結線図中、特記なき機器仕様は下記による。
   - -MCB3P
   - -MCB2P50AF20AT
   - -MCB1P50AF20AT
   - -ELB2P50AF20AT
   - ▲ -リモコンリレー-1P20A(o)
   - -リモコンリレー-2P20A(o)
   - -リモコントランスAC100V/24V
   - -MgS2P30A
   - Ⓣ -24H[illegible]
   - UV -不足電圧[illegible]
   - NT -ニュートラル端子
   - -[illegible]
   - -[illegible]（パルス[illegible]）
2. 負荷容量欄において（Wo）はランプワット数をあらわす。
3. 回路番号種別は下記による。
   - (火報) -AC 100V [illegible] (誘) -AC 100V [illegible]

備考

分電盤リスト（NO. 1）

LM-1（自立）: (L1) 1φ3W ELB 3P 150/150 28.4 KVA

LM-2: (L2) 1φ3W ELB 3P 75/75A 8.1KVA

回路記号	電圧(V)	分岐(AF/AT)	負荷名称	負荷容量(VA)	リモコンリレー1P	リモコン	リモコントランス	マグネットスイッチ	(4L) T/U	タイマー	備考
火	100	30/20	自火報	150							
誘	100	30/20	誘導灯	214							
RT	100	30/20	伝送装置	100			1				CPU
H	200	30/20	クッキングヒーター	1200							
非	100	30/20	非常灯	220							
L1	200	30/20	照明	3000	1				1		
L2	200	30/20	照明	3000	1						
L3	200	30/20	照明	1500	1						
L4	100	30/20	屋外灯	198	1				1		
L5	100	30/20	照明	972	1						
L6	100	30/20	照明	702	2						
L7	100	30/20	照明	620	2				1		
L8	100	30/20	照明	900							ELB回路
L9	100	30/20	照明	976	1						
L10	100	30/20	照明	234	2						
L11	100	30/20	照明	740							
L12	100	30/20	照明	1250							
L13	100	30/20	看板灯	400	1						ELB回路
RT	100	30/20	リモコントランス				1				
C1	100	30/20	受口	400							
C2	100	30/20	受口	600							
C3	100	30/20	受口	300	1				1		
C4	100	30/20	受口	200	1						
C5	100	30/20	屋外受口	500	1						ELB回路
C6	100	30/20	屋外受口	500	1						ELB回路
C7	100	30/20	レジ	600	1						
C8	100	30/20	自販機	1000							ELB回路
C9	100	30/20	自販機	1000							ELB回路
C10	100	30/20	自販機	1000							ELB回路
C11	100	30/20	屋外受口	500	1						ELB回路
C12	100	30/20	厨房受口	700							ELB回路
C13	100	30/20	厨房受口	600							ELB回路
C14	100	30/20	厨房受口	430							ELB回路
C15	100	30/20	厨房受口	600							ELB回路
C16	100	30/20	厨房受口	720							ELB回路
C17	100	30/20	受口	400							
C18	100	30/20	自動ドア他	700							
C19	100	30/20	ワイシュレット	1000							
C20	100	30/20	ワイシュレット	1000							
C21	100	30/20	ワイシュレット	1000							
C22	100	30/20	ワイシュレット	1000							
C23	100	30/20	受口	300							
C24	100	30/20	凍結ヒーター	1100							ELB回路
C25	100	30/20	ミニキッチン	1500							ELB回路
C26	100	30/20	受口	300							
C27	100	30/20	受口	500							
C28	100	30/20	ワイシュレット	1100							

盤名称 幹線番号 盤形状	回路記号	電圧(V)	分岐(AF/AT)	負荷名称	負荷容量(VA)	リモコンリレー1P	リモコンリレー2P	リモコントランス	マグネットスイッチ	(4L) T/U	タイマー	備考
	C29	100	30/20	TVブースター	250							
	C30	200	30/20	空調室内機	800							
	C31	100	30/20	花冷蔵庫	1000							ELB回路
	C32	100	30/20	アイランドショーケース	1000							
	C33	100	30/20	アイランドショーケース	1000							
	C34	100	30/20	ヨビ								
	35	100	30/30	L—1	2500							ELB回路
	36	100	30/30	L—1	2500							ELB回路
	37	100	30/30	L—2	2500							ELB回路
	38	100	30/30	L—2	2500							ELB回路
	39	100	30/30	L—3	2500							ELB回路
	40	100	30/20	ヨビ								
	41	100	30/20	ヨビ								
	42	100	30/20	ヨビ								
		100	30/20	ヨビ								
		100	30/20	ヨビ								
L—1	(35)	100	30/20	自販機								
	(35)	100	30/20	自販機								
	(35)	100	30/20	自販機								
	(36)	100	30/20	自販機								
	(36)	100	30/20	自販機								
	(36)	100	30/20	自販機								
L—2	(37)	100	30/20	自販機								
	(37)	100	30/20	自販機								
	(38)	100	30/20	自販機								
L—3	(39)	100	30/20	自販機								
	(39)	100	30/20	自販機								

本工事に使用するリモコンは多重伝送リモコン（フル2線）とする。

訂・正	記号	内容
	0	確認通知書平成　年　月　日第　　号による変更（すべての工事に優先する）
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	

竣工図

変更図面
供給電源2回線
自販機用受口増設工事

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業 産地形成促進施設　新築

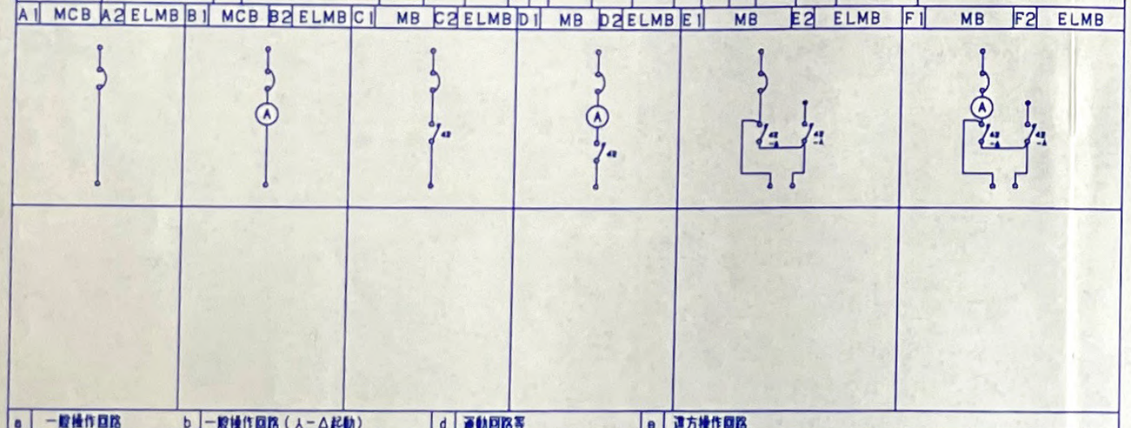
工事設計図　(E) 2

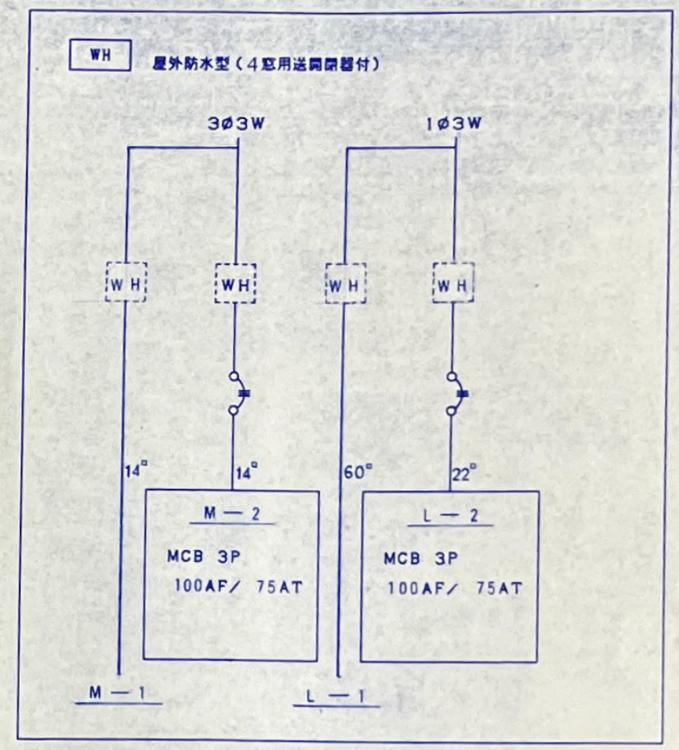
電灯盤結線図

株式会社 鈴木工務店　一級建築士事務所　市川昭二

49

盤名称	仕様	動力番号	機器名称	容量 (kw)	相・電圧 (V)	設置場所	起動方式 LS	Y-Δ	操作方式	機器記号	インターロック	操作	表示	警報		発電機回路	配線サイズ
LM-1																	
	M1 ELB 3P60A		プレハブ冷蔵庫	1.5	3-200	屋外				A1							2°
			GHP空調室外機	1.68	3-200	屋外				A1							2°
			予備		3-200												
			予備		3-200												
LM-2																	
	M2 ELB 3P75A		食器洗浄機	11.9	3-200	厨房				A1							8°
			厨房空調室外機	2.3	3-200	屋外				A1							5.5°
			予備		3-200												
			予備		3-200												
			(注) 各分岐回路は所定の低圧遮断器取付けのこと。														
	END																





訂正		
	0	確認通知書平成 年 月 日第 号による変更(すべての工事に優先する)
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	

竣工図

変更図面
供給電源2回線工事

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

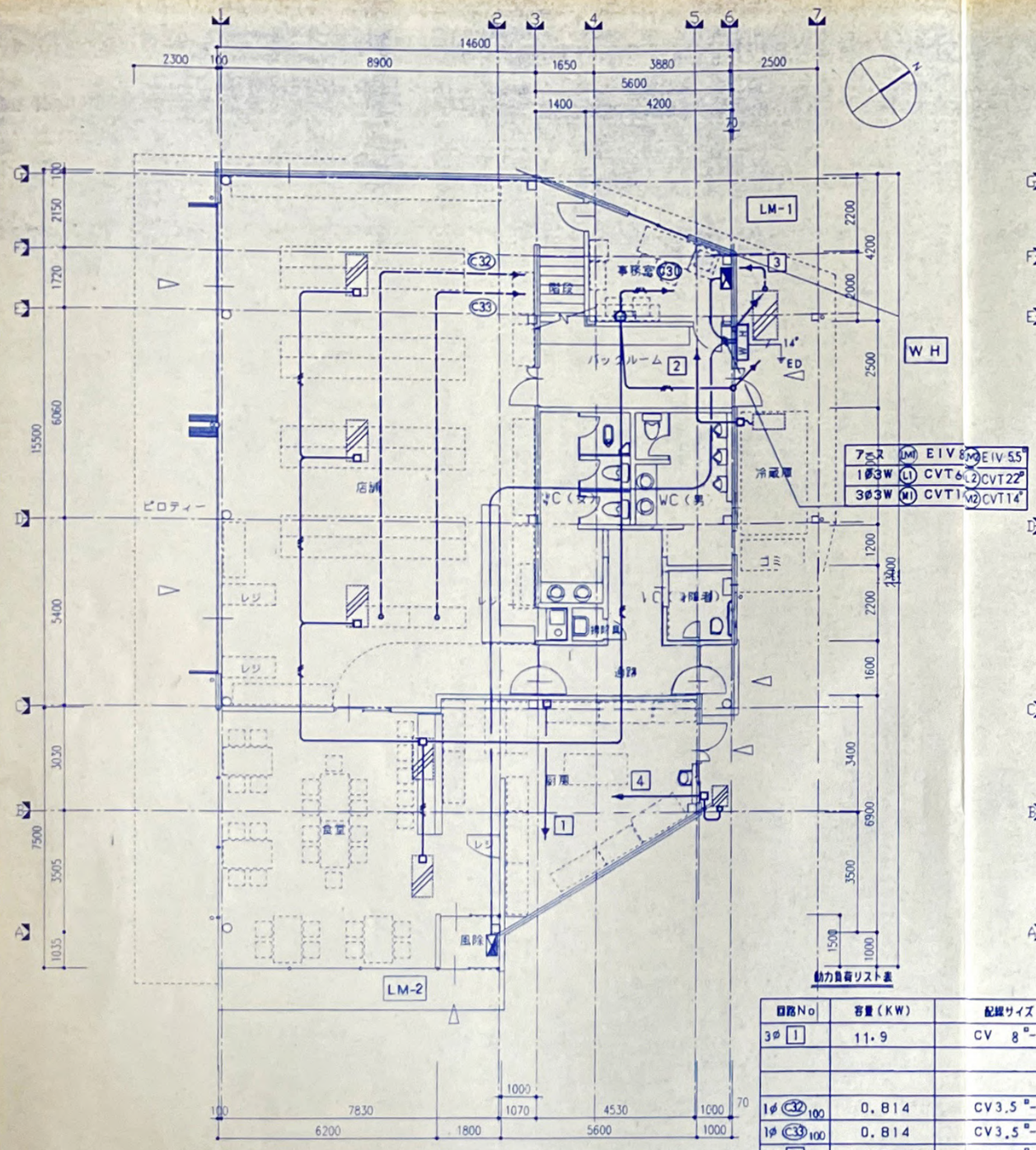
工事設計図 (E) 3

分電盤結線図

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 市川昭二

50

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代22-1011 事務所登録 93(1)第1105号 図書作成 '98.11.12

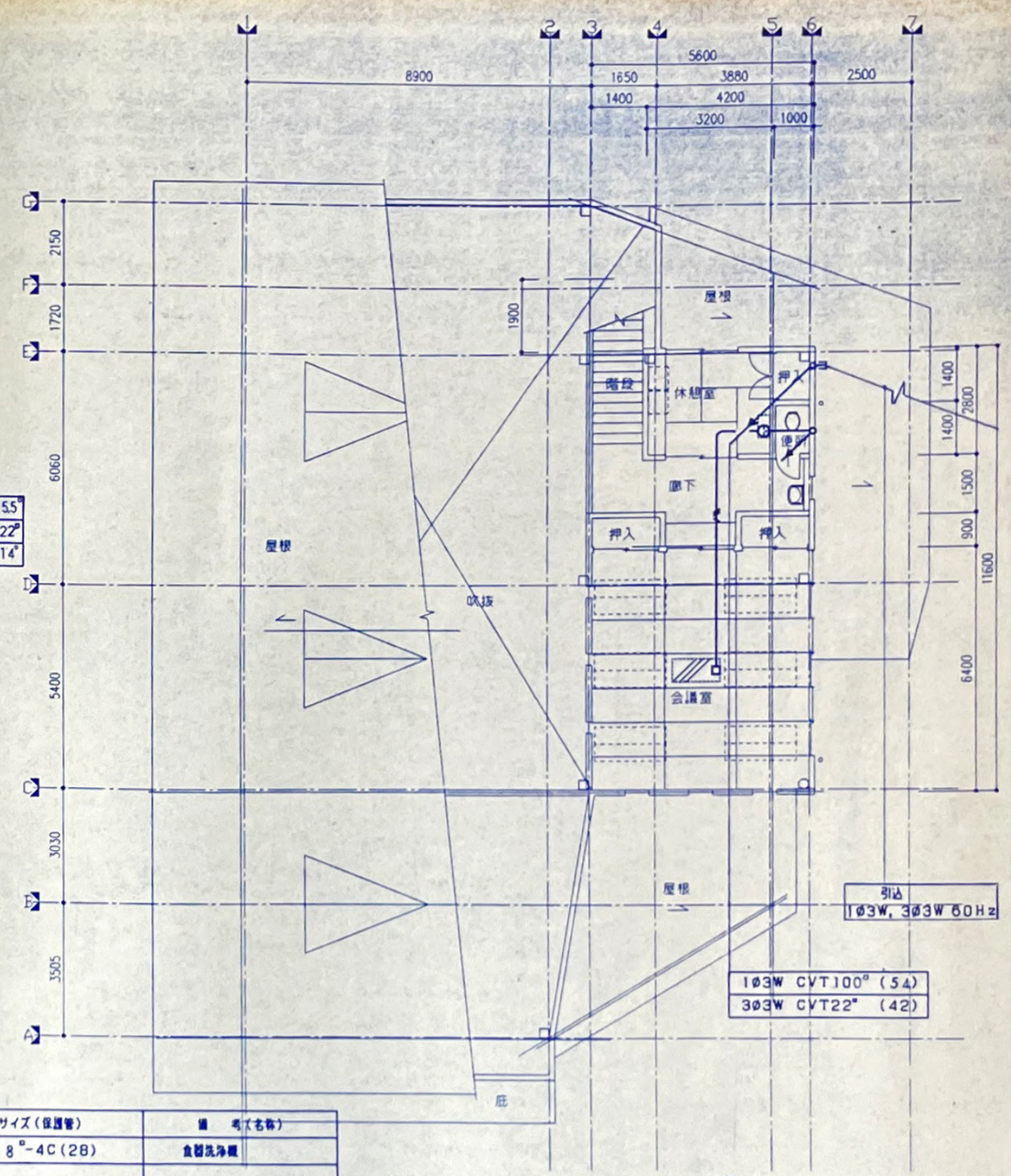


1階平面図　1/100

動力負荷リスト表

回路No	容量（KW）	配線サイズ（保護管）	備考（名称）
3φ 1	11.9	CV 8°-4C(28)	食器洗浄機
1φ 32 100	0.814	CV3.5°-3C(22)	アイランドショーケース
1φ 33 100	0.814	CV3.5°-3C(22)	アイランドショーケース
3φ 2	1.5	CV3.5°-4C(22)	プレハブ冷蔵庫
3φ 3	1.68	CV 2°-4C(22)	GHP空調室外機
3φ 4	2.3	CV5.5°-4C(22)	厨房空調室外機

（但、天井内は転がし配線）



2階平面図　1/100

（注記）

1）指示なき配線は下記による。

VVF2.0-3C　(22)

但、天井内は転がし配線とする。

訂正

0	確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）
1	
2	
3	
4	
5	

竣工図

変更図面
供給電源2回線工事

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

工事設計図　Ⓔ 4

幹線・動力設備図　1:100

株式会社 鈴木工務店　一級建築士事務所　市川昭二

市川　南原　原田

51

福山市丸之内1丁目4番1号　TEL (0849) 代22-1011　事務所登録 93(1)第1105号　図書作成 '98.11.12

電池内蔵型

A	A11B	FL10W-1
	A21B	FL20W-1

電池内蔵型

B	B13B	J13W-1

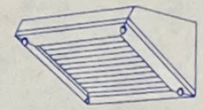
電池内蔵型

C	C30B	J30W-1

電池内蔵型

D	D27B	FML27W-1

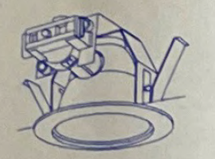
E	E60	IL60W-1



G	G18	FML18W-1

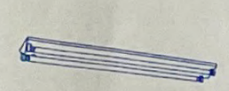
H	H62	FPL32W+30W
	H100	IL100W-1

J	J27	FDL27W-1

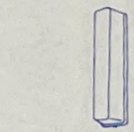


K	K60	IL60W-1

L	L42	FLR40W-2

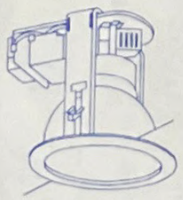


M	M42	FLR40W-2

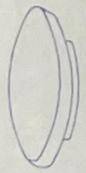


防水型

N	N21W	FL20W-1



P	P13	FDL13W-1
	P18	FDL18W-1
	P27	FDL27W-1



Q	Q25	IL25W-1

R	R40	IL40W-1

S	S42	FLR40W-2

T	T62	FCL30W+32W

防湿ステンレス製

U	U42	FLR40W-2

200V

V	V250	HICA250W-1

照明器具　注記

注1. 蛍光ランプ安定器仕様（該当欄に　●印）

・ランプ

●	一般型
○	省電力型

・安定器　（電圧・始動方式・力率）

FL40W以上（100V/200V）	
○	グロー（高力率）
●	ラピット（高力率）
○	省電力グロー
○	省電力 ラピット
○	

FL20　30W（100V）	
●	グロー高力率
○	グロー低力率
○	

FL15W以下（100V）	
●	グロー低力率

誘導灯（100V）	
●	グロー低力率

注2. 非常照明　：防災性能評定委員会認定品を使用の事。
　　誘導灯　　：誘導灯認定委員会合格品を使用の事。

注3. 特記なき仕上げは鋼板メラミン焼付塗装とする事。

注4. 記号符号は、次による。

Ⓑ	電池内蔵型
C	チェーン吊
D	非常用電球組込型
P	パイプ吊
S	誘導灯（片面）
T	誘導灯（両面）
Ⓦ	防水型

訂正	0 確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）
	1
	2
	3
	4
	5

竣工図

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

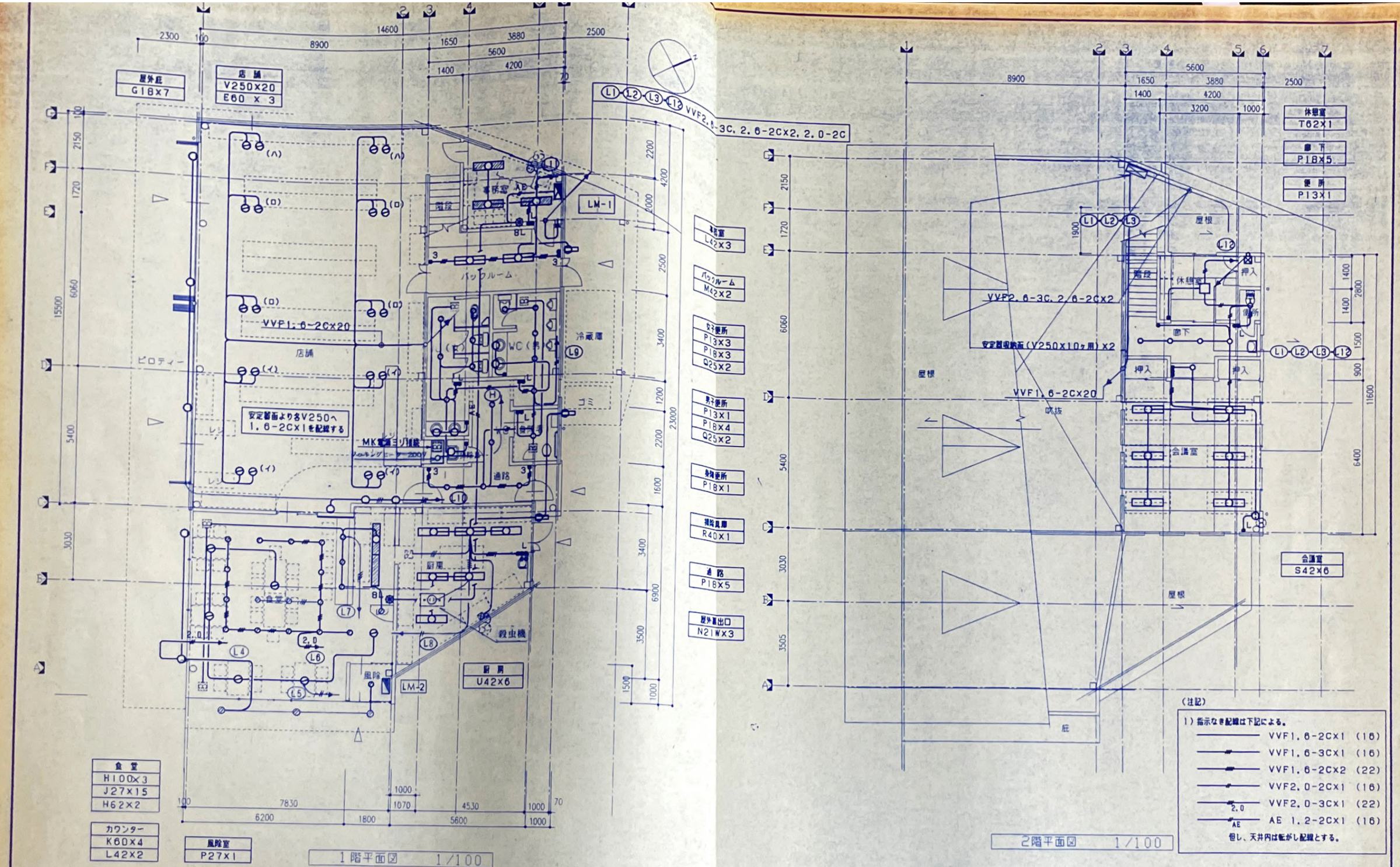
工事設計図　Ⓔ 5

照明器具外観図

52

株式会社鈴木工務店　一級建築士事務所　市川昭二

福山市丸之内1丁目4番1号　TEL (0849) 代22-1011　事務所登録 93(1)第1105号　図書作成 '98.11.12



訂正 確認通知書平成 年 月 日第 号による変更(すべての工事に優先する)

竣工図

変更図面
殺虫器追加工事

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

工事設計図 (E) 6

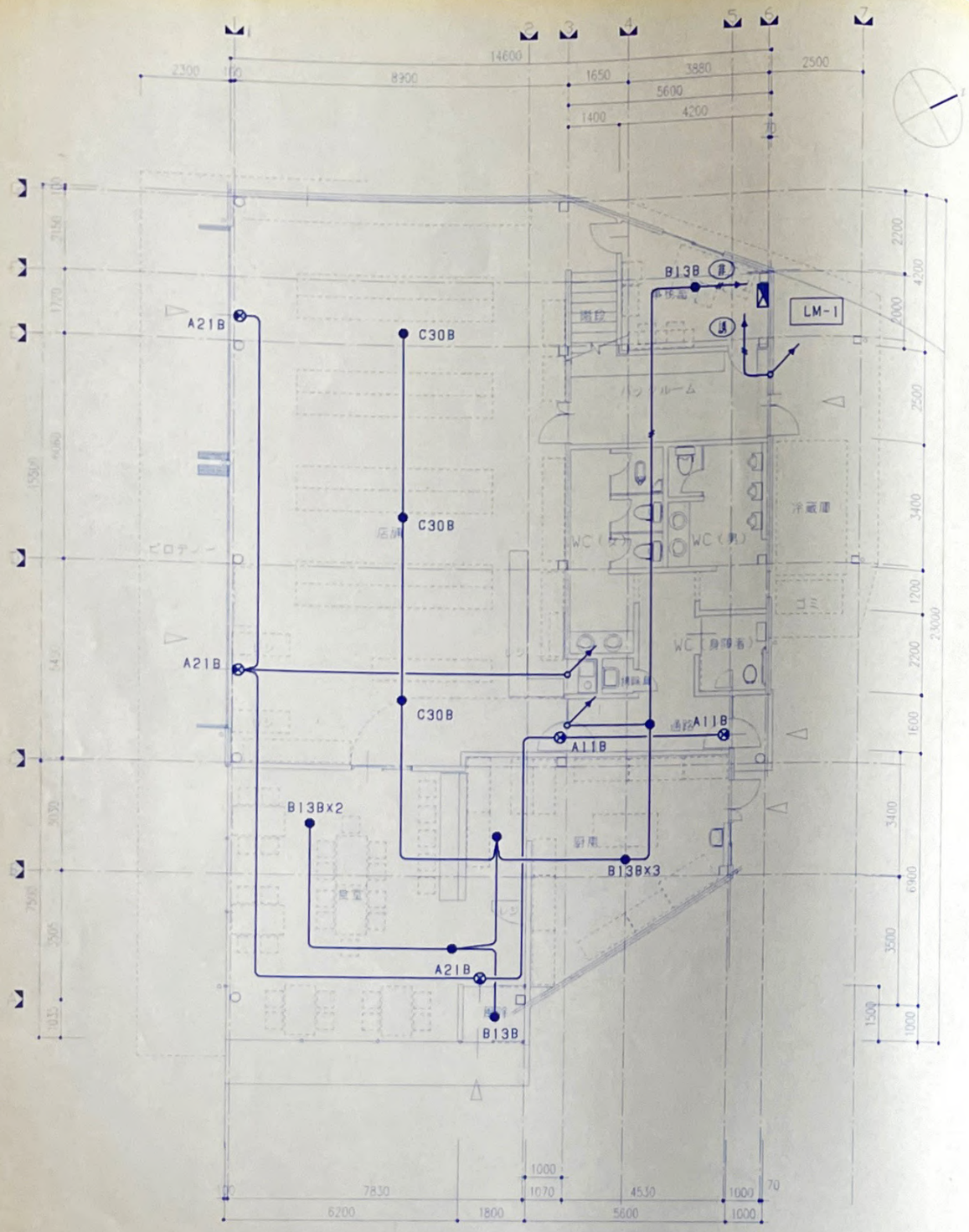
電灯設備図

1:100

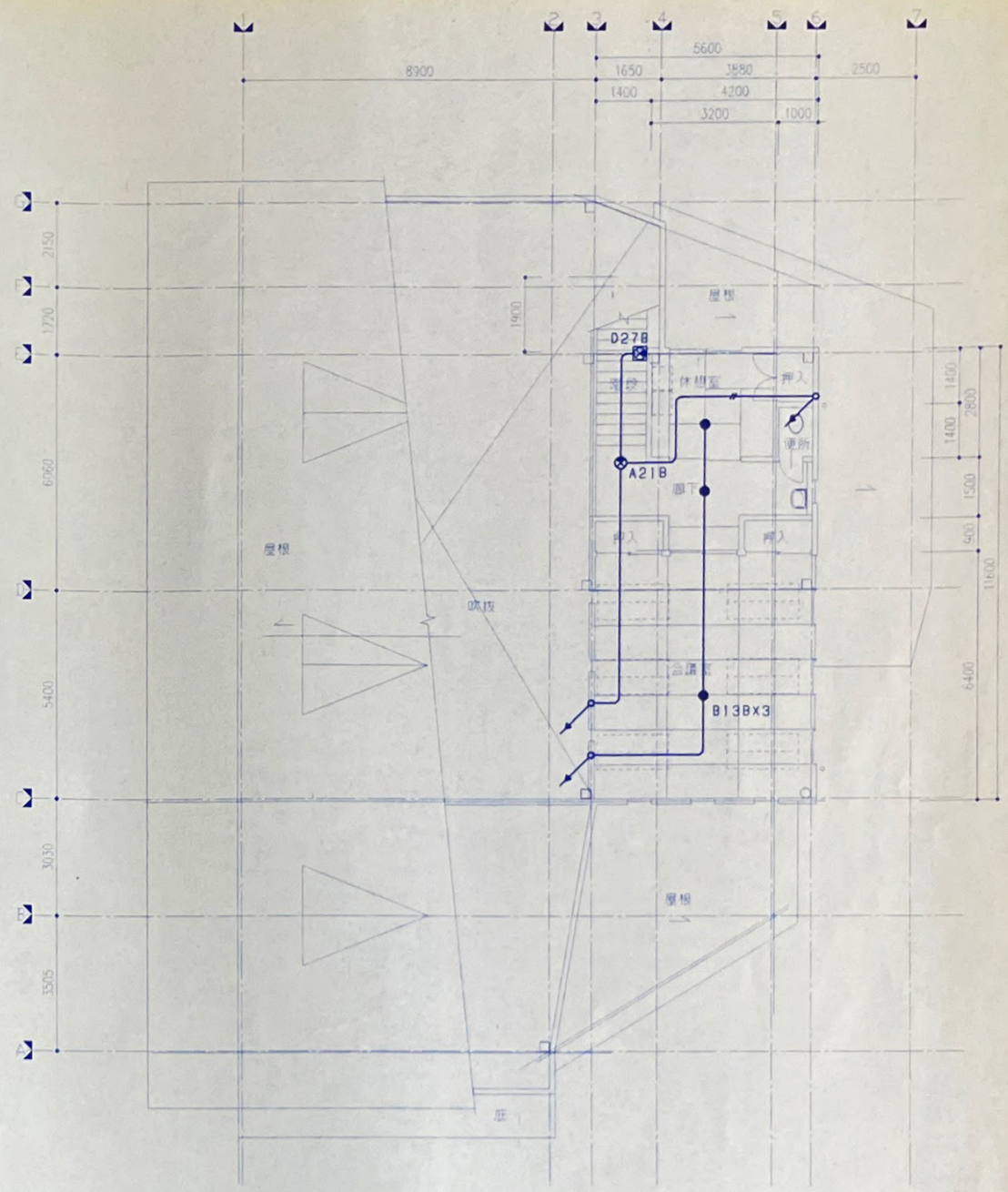
株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 市川昭二

53

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代22-1011 事務所登録 93(1)第1105号 図書作成 98.11.12



1階平面図　1/100



2階平面図　1/100

(注記)

指示なき配線は下記による

——— VVF1.6-2C(16)

—〃— VVF2.0-2C(16)

但し、天井内は転がし配線とする

訂正	0	確認通知書平成　年　月　日第　号による変更(すべての工事に優先する)
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	

竣工図

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

工事設計図　Ⓔ 7

誘導灯・非常灯設備図

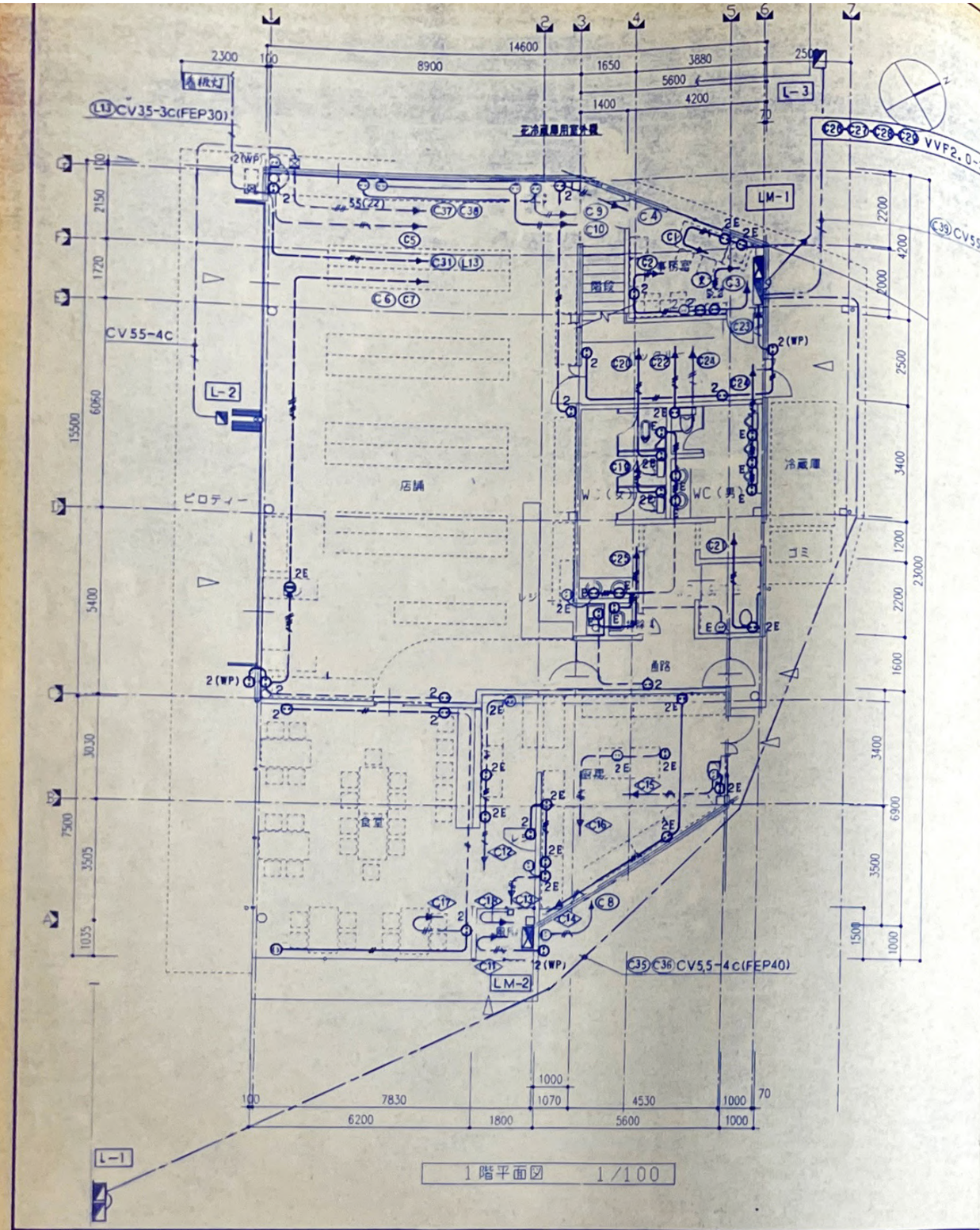
1:100

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士(第33474号) 市川昭二

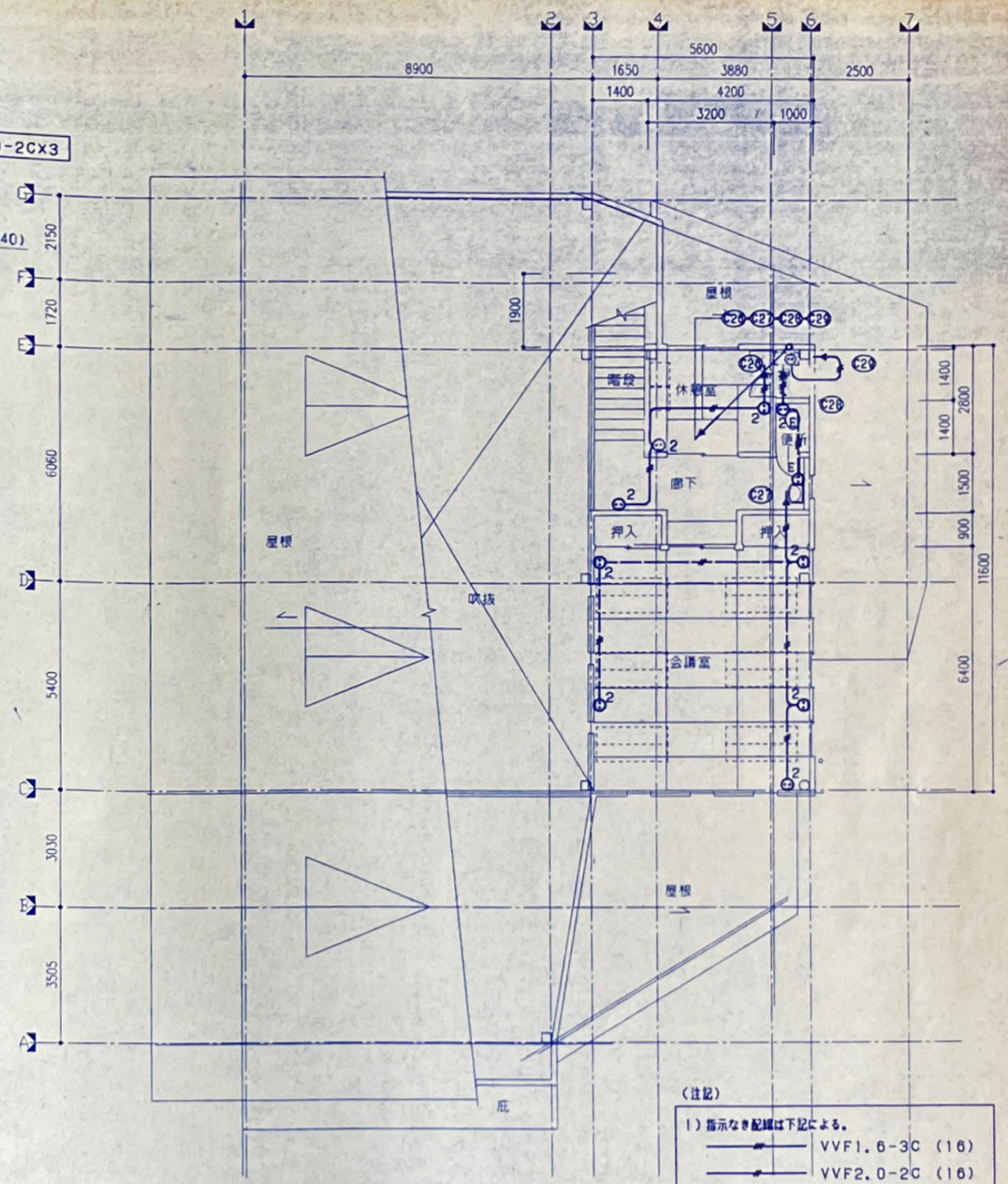
代川 南 原田

54

瀬山市丸2丁目1番1号 TEL (0849) 代22-1011 事務所登録 93(1)第1105号 図書作成 98.11.12



1階平面図 1/100



(注記)

1) 指示なき配線は下記による。

- VVF1.6-3C (16)
- VVF2.0-2C (16)
- VVF2.0-3C (22)

但し、天井内は転がし配線とする。

2階平面図 1/100

訂正	0	確認通知書平成 年 月 日第 号による変更(すべての工事に優先する)
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	

竣工図

変更図面
自販機用受口増設工事
(L1～L3)

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

工事設計図 (E) 8

コンセント設備図 1:100

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 市川昭二

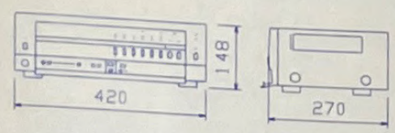
市川 南原 (原田)

55

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代22-1011 事務所登録 93(1)第1105号 図面作成 '98.11.1

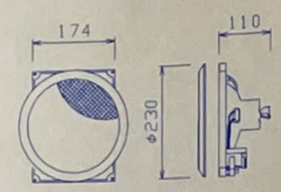
放送設備機器姿図

AMP　PAアンプ　TA2060相当品
ダイナミックマイクロホン



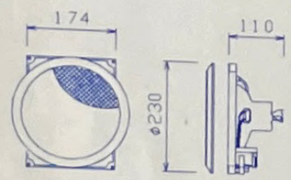
電源	AC100V 50/60Hz
定格出力	60W
入力	ページングマイク、リモートX1、入力1、2（マイク、ライン優先切換）
出力	5局＋一斉（通常、緊急）
機能	電話ページング、非常遮断

天井埋込スピーカー



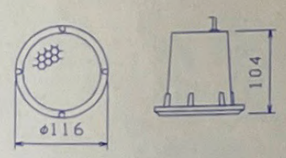
定格	3W
入力インピーダンス	3.3KΩ、10KΩ
周波数特性	100Hz～15KHz（偏差20dB）
出力音圧レベル	92dB（1m、1Wにて）
使用スピーカー	16cmコーンスピーカー
パネル	布ジャージ

天井埋込スピーカー（ATT付）



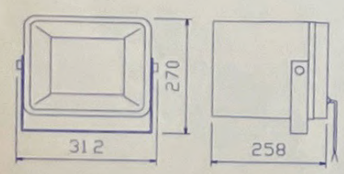
定格	3W
入力インピーダンス	3.3KΩ、10KΩ
周波数特性	100Hz～15KHz（偏差20dB）
出力音圧レベル	92dB（1m、1Wにて）
使用スピーカー	16cmコーンスピーカー
パネル	布ジャージ

WP　天井埋込スピーカー（防滴型）



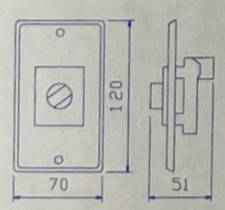
定格	3W
入力インピーダンス	3.3KΩ、8KΩ
周波数特性	180Hz～20KHz
出力音圧レベル	88dB（1m、1Wにて）
使用スピーカー	8cmダイナミック型
パネル	パンチングネット

7W　フイドホーンスピーカー
15W　フイドホーンスピーカー



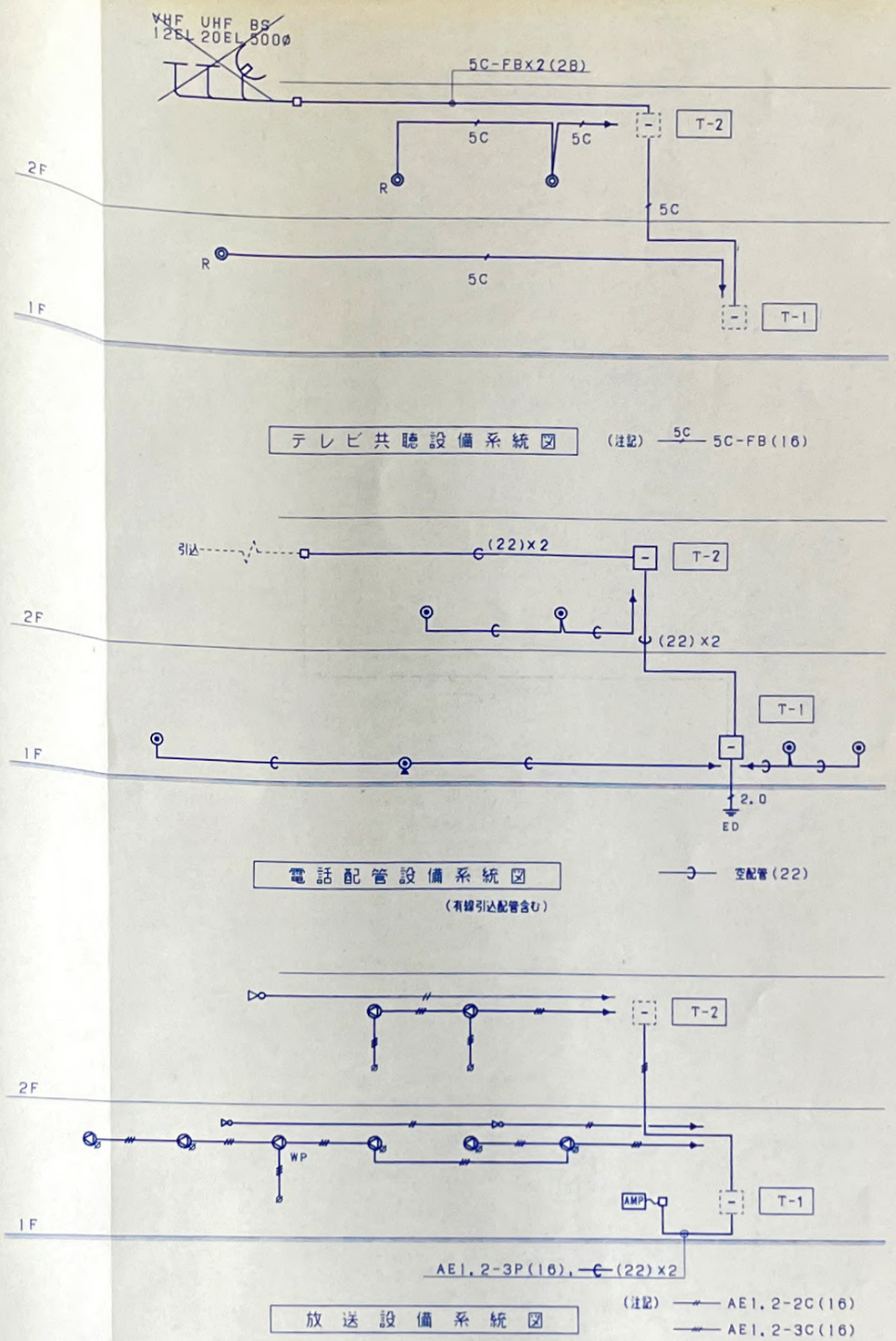
定格入力	7W	15W
スピーカ等級	L級	
出力音圧レベル	101dB（1W、1m）	
周波数特性	150Hz～15kHz	
付属	ホーン：樹脂	

音量調整器



入力容量	1～3W
音量切換	4段切換
プレート	ステンレス

（注）品番は、参考品番とする。



訂正	確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

変更図面
放送、TV設備追加工事

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

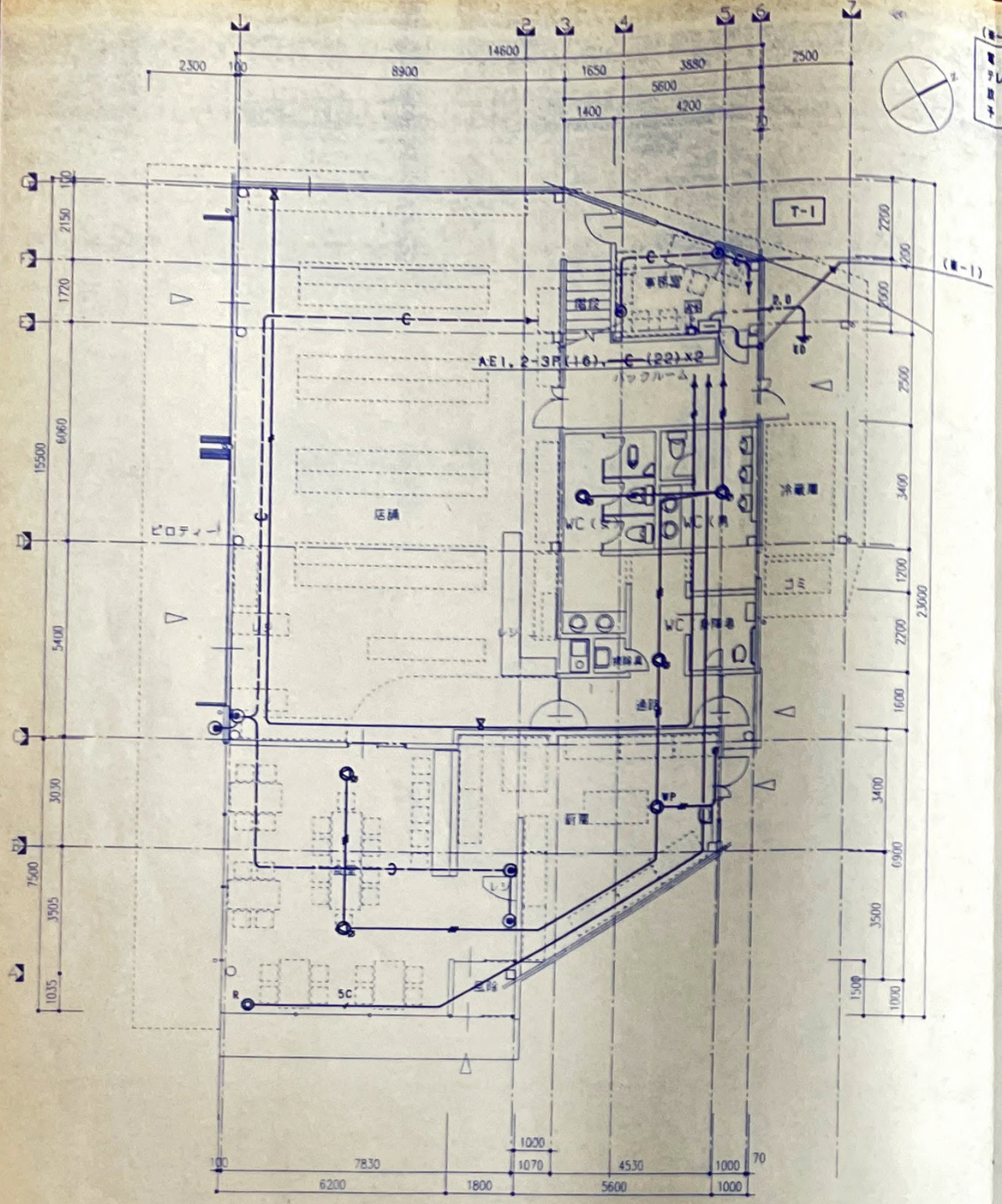
工事設計図　Ⓔ 9

放送設備機器姿図・弱電設備系統図

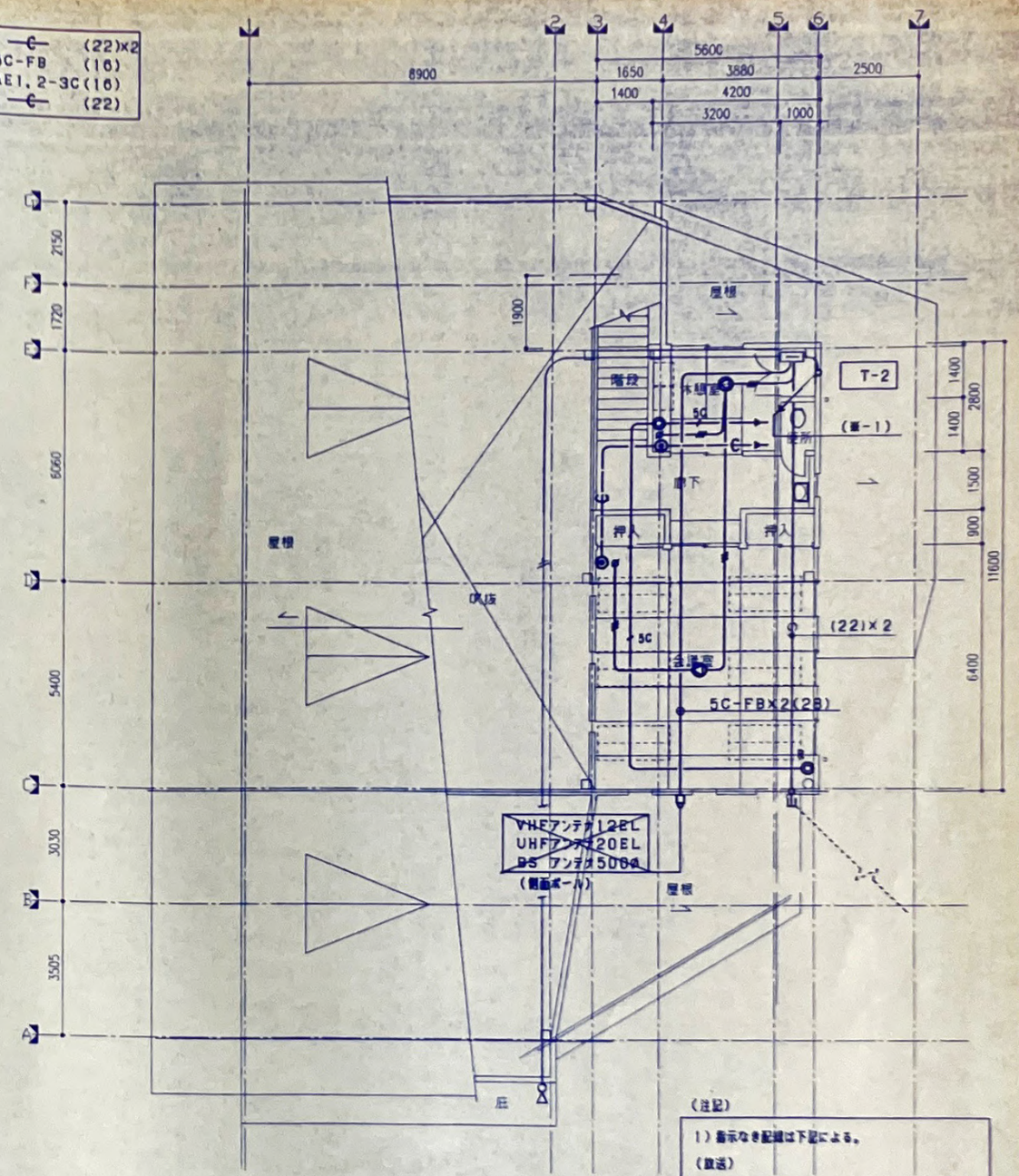
株式会社鈴木工務店　一級建築士事務所　市川昭二

56

福山市丸之内1丁目4番1号　TEL (0849) 代22-1011　事務所登録 93(1)第1105号　図面作成 '98.11.12



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

(注記)

1) 指示なき配線は下記による。

(放送)

—•— AE1.2-2C(16)

—•— AE1.2-3C(16)

(テレビ)

—5C— 5C-FB×1 (16)

(電話)

—C— 空配管 (22)

訂正	0	確認通知書平成 年 月 日第 号による変更(すべての工事に優先する)
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	

竣工図

変更図面

放送、TV設備追加工事

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

工事設計図 (E) 10

弱電設備図

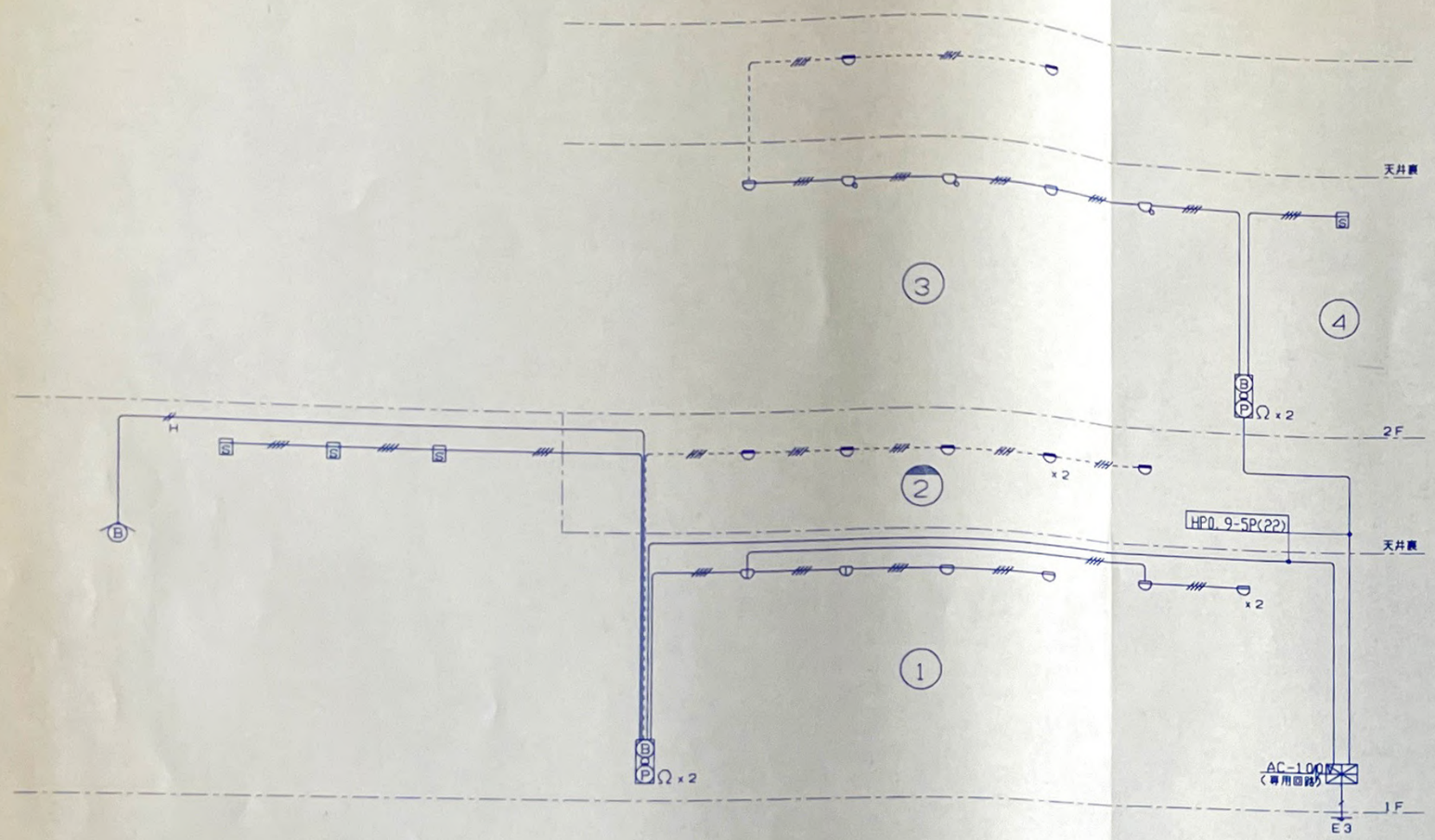
1:100

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 市川昭二

市川 (原田)

57

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) (R 22-1011 事務所登録 93(1)第1105号 図面作成 98.11.1



系統図

凡例

記号	名称	記事
	P型2級受信機（壁掛型）	5回線 AC-100V 予備電源 DC-12V 0.6AH 蓄積式・自動断線検出機能付
Ⓟ	P型2級発信機	屋内型 24V, 0.2A
◐	表示灯	AC/DC 24V, 21mA, LED球
Ⓑ	音響装置	電子ブザー DC-24V, 8mA ø140 mm
Ⓑ	音響装置	電子ブザー DC-24V, 8mA ø140 mm防水型
	差動式スポット型熱感知器	2種
	差動式スポット型熱感知器	2種 天井裏用
	定温式スポット型熱感知器	1種 防水型 70 °C
	定温式スポット型熱感知器	特種 60 °C
	定温式スポット型熱感知器	特種 防水型 60 °C
Ⓢ	光電式スポット型煙感知器	2種
	総合盤	Ⓟ ◐ Ⓑ 収容, (壁型 埋込型)
Ω	終端抵抗	10Kオーム
	配管配線	
	配管配線	立上げ, 引下げ
	警戒区域境界線	
NO	警戒区域番号	自火報 1 ～ 4

< 特記 >

図中 記入なき配管配線は、下記による。尚 二重天井内は、ケーブル転がし配線とする。

- AE0.9-4C(16)
- AE0.9-2C(16)
- H HP0.9-2C(16)

訂正		
0	確認通知書平成 年 月 日第 号による変更（すべての工事に優先する）	
1		
2		
3		
4		
5		

竣工図

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

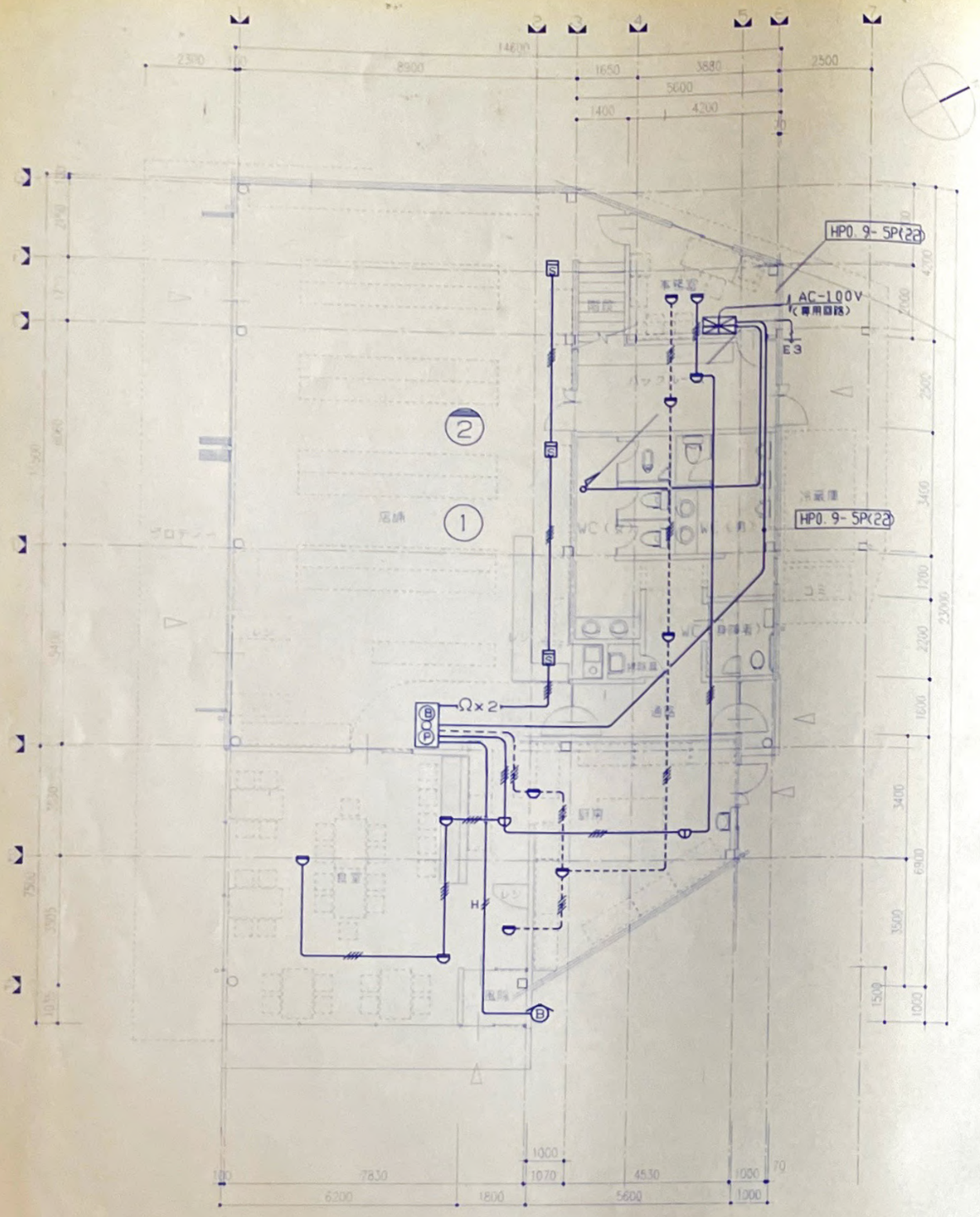
工事設計図 Ⓔ 11

自動火災報知設備系統図・凡例

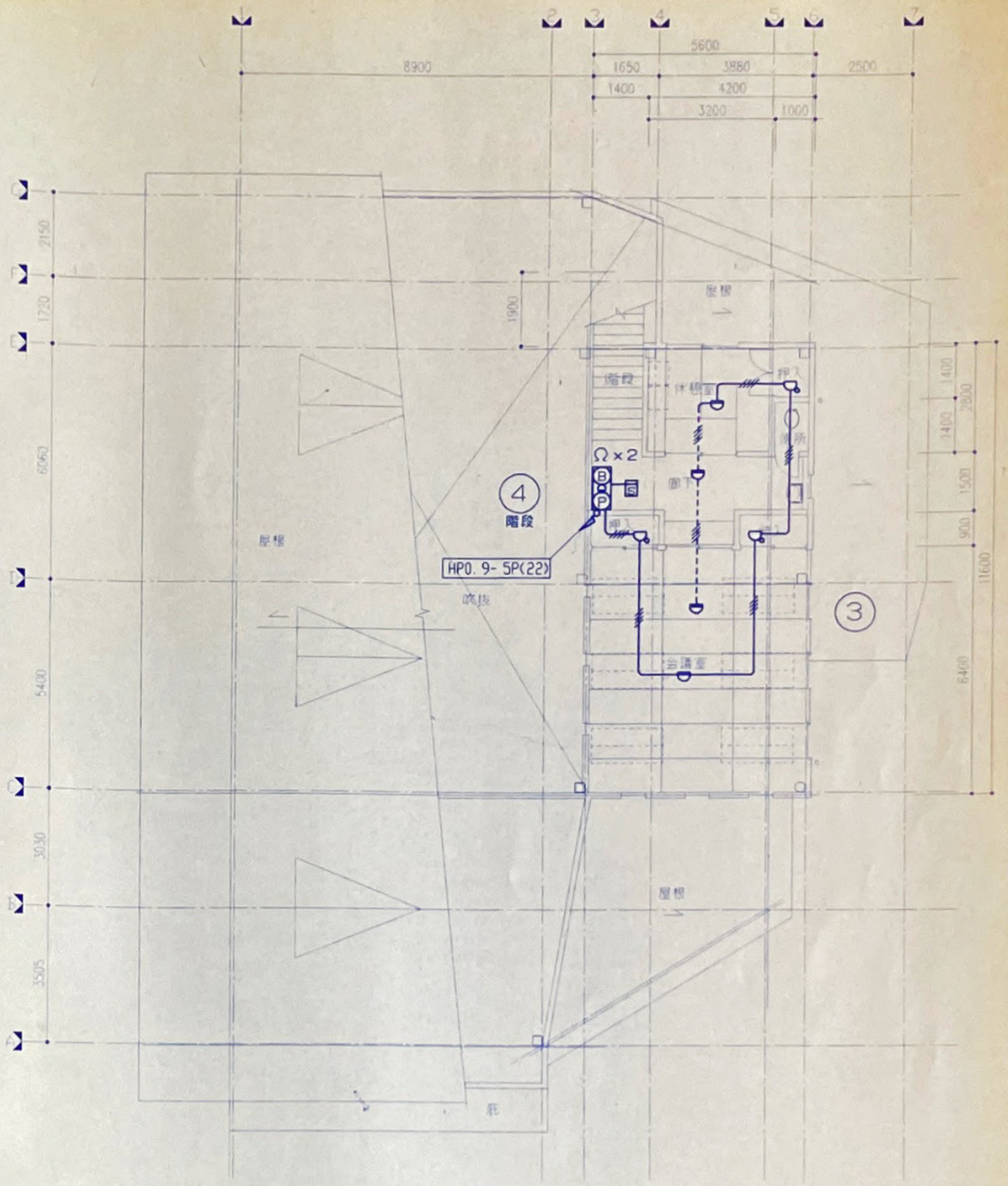
株式会社鈴木工務店 一級建築士事務所 市川昭二 市川 南原 原田

58

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) (代) 22-1011 事務所登録 93(1)第1105号 図書作成 '98.11.12



1階平面図　1/100



2階平面図　1/100

訂正	0 確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）	
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業 産地形成促進施設　新築	工事設計図	Ⓔ 12	
自動火災報知設備図	1:100	59	
株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士(第32474号) 市川昭二	市川	園	原田

SUZUKI

福山市A2丁目4番1号 TEL (0849) 代22-1011 事務所登録 93(1)第1105号 図書作成 98.11.12

機械設備工事仕様書

1. 工事概要

1. 工事名称　平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業産地形成促進施設新築工事
2. 工事場所　神石郡油木町大字油木乙1983-2
3. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積（㎡）	消防法施工令別表第一の区分	備考
店舗，飲食店	鉄骨造	2	387.51	3項ロ，4項	

4. 工事種目　（ ⊙ 印のついたものが該当する）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別				屋外
⊙ 空気調和設備	○				
⊙ 換気設備	○				
・ 排煙設備					
・ 自動制御設備					
⊙ 衛生器具設備	○				
⊙ 給水設備	○				
⊙ 排水設備	○				
⊙ 給湯設備	○				
・ 消火設備					
⊙ ガス設備	○				
・ 特殊ガス設備					
・ 厨房器具設備					
⊖ し尿浄化槽設備	⊖				
・ ろ過設備					
・ 昇降設備					
・ 焼却炉設備					
・					

5. 設備概要　（ ⊙ 印のついたものが該当する）

空調設備	[illegible]	⊙ [illegible]・[illegible] ⊙ パッケージ[illegible]・ファンコイル[illegible]（　）
空調設備	[illegible]	・[illegible]ボイラー・[illegible]ボイラー・[illegible]（・[illegible]・[illegible]） ・チリングユニット・直焚吸収冷温水機・小型吸収冷温水機ユニット ⊙ 空気熱源ヒートポンプユニット・パッケージ形空気調和機 ・
換気設備		・機械換気（・有り・無し）⊙ 局所換気
排煙設備		・[illegible]（・[illegible]・[illegible]）[illegible]（・[illegible]・[illegible]）
[illegible]		・[illegible]（・[illegible]・[illegible]・ドラフト[illegible]・[illegible]）
衛生設備	給水源	⊙ 上水道・井水
衛生設備	給水方式	⊙ 水道直結方式・高架水槽方式・加圧送水方式
衛生設備	排水方式	⊙ [illegible]・ポンプ[illegible]（・[illegible]・[illegible]・[illegible]）
衛生設備	放流先 / 汚水	・直放流下水管・し尿浄化槽（・単独・合併）
衛生設備	放流先 / 雑排水	⊙ 直放流下水管・側溝・別途桝・合併浄化槽
衛生設備	給湯設備	⊙ [illegible] ⊙ [illegible]・[illegible]・[illegible]
衛生設備	消火設備	・[illegible]・[illegible]・[illegible]・スプリンクラー・[illegible] ・二酸化炭素消火・泡消火・連結散水装置・フード等用簡易自動消火装置 ・
衛生設備	ガス設備	・[illegible]（　kcal/Nm3）⊙ [illegible]
衛生設備	[illegible]	・有り（・[illegible]・[illegible]・[illegible]）・無し

1. 工事仕様

1. 共通仕様

[illegible]

[illegible]

電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2. 特記仕様

1）区分は、●を、項目は、番号に○印のついたものを適用する。

2）特記事項のうち選択する事項は ⊙ のついたものを適用する。但し、⊙ 印のない場合は ｘ 印を適用する。⊙ 印 ○ 印の場合は両方を適用する。

区分		項目	特記事項
	①	機材	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定する所要の品質・性能を有するもの又は、これらと同等以上のものとし、[illegible] 性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出するものとする。
●	2	監督員事務所	ｘ 設けない ・ 設ける（・1級・2級・3級・4級・5級）　ｘ 棟
一般共通事項	③	工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用は請負者の負担とする。 官公庁への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。
	④	工事用仮設物	構内に作ることが ⊙ 出来る・出来ない
	⑤	土工事	イ）埋戻し土は　ｘ 根切り土の中の良質土（ヒューム管以外の管の周囲は山砂の類） ・ 山砂の類 ロ）残土処分　ｘ 構外に搬出し適切に処理 ⊙ 構内敷きならし ・ 構内の指示ある場所に堆積
	6	発生材の処理及び産業廃棄物の処理	引渡しを要するもの　ｘ 無し・有り（・機器類・配管類・　） 特別管理産業廃棄物　ｘ 無し・有り（　） 再生資源の利用を図ると指定されたもの　ｘ 無し・有り [illegible]
	⑦	工事（完成）写真	工事中の写真は建設省写真撮影要領による。工事に関する写真の提出は下記による。

項目	種類		部数
着工前	カラー	サービス版	1部
工事中	カラー又はモノクロ、	サービス版	1部
出来形	カラー	サービス版	2部
完成	カラー	サービス版	3部

区分		項目	特記事項
	⑧	提出書類	本工事に必要な書類は下記によるほか監督員の指示による。

項目	様式その他	部数
工程表	工事請負契約書第　4条関係	2部
監督日誌	工事請負契約書第10条関係	1部
材料検査簿	〃	1部
選任届	工事請負契約書第11条関係	1部
工事内訳書	工事請負契約書第　4条関係	2部
下請負届出書	工事請負契約書第　8条関係	1部
資材リスト	監督員の指示による	2部
		2部

区分		項目	特記事項
	⑨	測定表	下記項目の測定を行い監督員に提出する。 ｘ 温度・湿度 ⊙ 風量 ⊙ 騒音・
	⑩	竣工図等	当該建物の施設する竣工図の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
	⑪	工事実績情報登録	工事の着手及び完了時に登録書の写しを監督員に提出する。・要・不要
	⑫	総合調整	下記項目の総合調整を行い測定表を監督員に提出する。（ 1 部）（測定箇所等は監督員の指示による。） ⊙ 風量調整・水量調整 ⊙ 室内外空気の温湿度の測定 ⊙ 騒音の測定 ・ 振動の測定・室内の気流及び塵埃の測定 ⊙ 浄化槽の放流水水質
	⑬	説明板等	⊙ 説明書（監督員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の取扱要領を記載した説明書等を作成する。） ⊙ 説明板（監督員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の系統図、取扱要領を記載した説明板を作成する。）
	⑭	主任技術者等の資格	⊙ 資格の区分Ⅰ・資格の区分Ⅱ・適用しない
	⑮	[illegible]	⊙ 配管施工（建築配管作業）・熱絶縁施工・冷凍空気調和機器施工・建築板金技能士
	⑯	図形表示	機器類は、図示する形状及び配管等の取りだし位置により、特定製造者の特定の製品を指示、限定しない。
	17	電気容量及び機器表示	イ）電動機出力燃料消費量等は、原則として表示された値以下とする。 ロ）機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。
	⑱	負担金	⊙ [illegible]（[illegible]）（・[illegible] ⊙ [illegible]）　円 ・ ガス引込負担金　（・本工事・別途）　円 ・ 下水道等接続負担金　（・本工事・別途）　円 ・ 　（・本工事・別途）　円
	⑲	[illegible]	特記なき電線は、600Vビニール絶縁電線とする。 合成樹脂製可撓管を使用する場合は、PF1重管とする。 ケーブルの接続は湿気の無い盤内端子盤しとし、湿気の有る槽内でのケーブル接続は基本として行わない。
	20	機器附属の制御盤	共通仕様書によるほか下記による。 ・ 運転ブロック図に適合するものとする。 ・ ボイラー及び冷温水機等の附属盤の始動スイッチ二次側に、積算運転計用の電源端子を設ける。 接点及び端子は、共通仕様書を　ｘ 適用する・機器表特記による インバーター用の制御及び操作盤 共通仕様書を・適用・機器表特記による・適用しない
	㉑	塗装	塗装業者は　ｘ 監督員の承諾する業者・日本塗装工業会会員
	㉒	保温	イ）屋内熱源機器室内の配管の保温材で、ポリスチレンフォーム保温材とあるものは同じ施工種別のロックウールまたはグラスウール保温材を使用する。 ロ）屋内露出（・機械室・書庫・倉庫）の配管ダクトの保温は、屋内露出（一般居室、廊下）に読みかえる。 ハ）冷媒管の保温外装は屋内露出 ⊙ 綿布・保温化粧ケース 屋外露出 ⊙ ステンレス鋼板・保温化粧ケース ケース材質は・塩化ビニール樹脂製・アルミ合金製・鋼板製・ステンレス鋼板製 ニ）共同溝の保温種別・＿＿＿・＿＿＿・＿＿＿ [illegible]（[illegible]（25mm）[illegible] [illegible] 1000[illegible]（25mm）[illegible] ヘ）厨房用排気ダクトの断熱（隠蔽部）・h（イ）vi ⊙ 行わない
	23	防振継手	ｘ 合成ゴム製（球形）・ポリテトラフルオロエチレン製・ベローズ形（ステンレス）
	24	伸縮継手	ｘ ベローズ形・スリーブ形
	㉕	埋設表示	共通仕様書によるほか図示の箇所に設ける。標柱部分は　ｘ 鉄製・コンクリート製 屋外配管の埋戻し時は埋設表示テープを布設する。
	㉖	はつり工事	既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
	㉗	補修など	工事の施工に伴い既成部分を汚損または損傷した場合は、既成にならい補修する。
	㉘	支持金物・固定金具	イ）ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製（SUS304）とし屋外の配管、ダクトに使用する支持金物類はステンレス製（SUS304）または、溶融亜鉛めっき仕上げとする。 溶融亜鉛めっきは（ ｘ 2種35・2種50） ロ）ピット内に使用する支持金物類はステンレス製（SUS304）とする。
	29	配管の建物導入部	（・給水・ガス・油）配管の変位吸収は標準図 施工4とし設置場所は図示による。
	30	貫補管の接続	標準図施工3による。設置場所は図示による。
	㉛	管端防食継手	コア内蔵型を使用する。
	32	配管附属品	共通仕様書第2編第2章第2節による。
	33	ポンプの電動機	渦巻きポンプの機器表に特記無き電動機の極数は、4極以上とする。
	㉞	他工事との取合い	イ）鉄筋コンクリート部の貫通箇所及び開口部の補強、その他壁、天井のボード切込み箇所の下地の補強は　・本工事 ｘ 別途工事 ロ）壁、天井のボード切込み　・本工事・別途工事 ハ）コンクリート壁、床及び梁等における設備機器、ダクト、配管等の箱入れ及び貫通スリーブは　ｘ 本工事・別途工事 ニ）機器類のコンクリート基礎　屋上設置のもの　・本工事・別途工事 屋内設置のもの　ｘ 本工事・別途工事 屋外設置のもの　・本工事・別途工事 ホ）アンカーボルト　ｘ 本工事・別途工事 ヘ）オイルサービスタンク防油堤　ｘ 本工事・別途工事 ト）外壁取付ガラリ　・本工事 ｘ 別途工事 チ）機器附属の制御盤及び操作盤以降の配線は　ｘ 本工事・別途工事 リ）別途盤類への渡り配線の接続は　・本工事 ｘ 別途工事 ヌ）パッケージ空調機の連絡配管、配線（アース線共）　ｘ 本工事・別途工事 ル）温水器、湯沸器、その他器具のアース線（連絡配線）　ｘ 本工事・別途工事 オ）自動制御の電線管は　・本工事 ｘ 別途工事 ワ）自動制御の電線の配線は　・本工事 ｘ 別途工事 カ）自動制御盤と自動制御機器との配線の接続は　・本工事 ｘ 別途工事 ヨ）機器と附属の操作スイッチの渡りの配管は　・本工事 ｘ 別途工事 タ）機器と附属の操作スイッチの渡りの配線は　ｘ 本工事・別途工事 レ）屋外雨水管　・本工事 ｘ 別途工事
	㉟	耐震措置	[illegible]による 建物の種別・特定の施設 ⊙ 一般の施設 重要機器（・防災機器・火気を使用する機器 ⊙ タンク類・ ・・・・）
	36	溶接配管の検査	・ガス配管・ガス配管以外（　） 非破壊検査の適用　ｘ 無し ・ 有り（・放射線透過検査・浸透探傷検査又は磁粉探傷検査） 抜取り率・共通仕様書による・
	37	鋼管類の防食処置	排水用塩ビライニング鋼管の土中埋設部は防食処理を行う。
	38	天井付上区分	（　）書きの室名は天井無しを示し、その他は天井有りを示す。
	39	砂の取扱い	当該工事に使用する砂については、原則として海砂（細骨材含む）を使用しないこと。 ただし、特にこの取扱により難い場合は、別途、監督員と協議すること。
	㊵	その他	⊙ 水栓は節水コマ付きを採用する。 ・ 水栓ハンドルは操力レバー式を採用する。 ・ ・ ・

[illegible]	年　月　日第	号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築　工事設計図

特記仕様書1

Ⓚ 1　60

SUZUKI
株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所
一級建築士（第33474号）[illegible]
[illegible]丸之内1丁目4番1号　TEL (0849) 代 22-1011　事務所登録 93(1)第1105号　図書作成 '98.11.12

機械設備工事仕様書

注 1) 区分は、●を、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項のうち選択する事項は ⊙ の付いたものを適用する。但し、⊙ 印のない場合は ※印を適用する。
⊙印、⊙ 印のない場合は両方を適用する。

衛生設備

区分	項目	特記事項
○	① 大便器・小便器	陶器製止水栓の取付けは ・取付ける ⊙ 取付けない ・自動洗浄の小便器は除く
	2. 小便器用洗浄管	洗浄装置は ： 節水型フラッシュ弁 ⊙ 节水機能フラッシュ弁 ・ 普通タイプ
		： 埋込み形 ・ 露出形
	3. 小便器用洗浄水節水装置	： 個別感知方式 ・ 集合感知方式 ・ タイムスイッチ方式
		電源供給方式 ⊙ AC100V ・ 乾電池
		工事範囲は、電気一次側配管配線を除きすべて本工事とする。
	4. 自動水栓	電源供給方式 ・ AC100V ・ 乾電池
	⑤ 手洗器・洗面器	図示陶器品番（JIS記号等）の末尾記号Sは、水石鹸入れ付を示す。
	⑥ 水石けん入れ	： 陶器付形 ・ 壁付形
	⑦ 化粧棚	： 露出形 ・ 埋込形
	8. 和風大便器の耐火処理	標準図（施工61）の ： ① ・ ②
○ 給水設備	① 量水器	イ）親メーター ： 借用 ・ 買取り
		ロ）子メーター ： 買取り ・ 借用
	② 量水器桝	イ）親メーター用 ： 水道事業者の指定品 ・ 標準図（機材62）
		ロ）子メーター用 ： 標準図（機材62） ・ 水道事業者の指定品
	③ 配管材料	イ）一般配管用 ⊙ 塩ビライニング鋼管（SGP-VB）（SGP-FVB）（K-VB）
		・ ポリ粉体鋼管（SGP-PA）（SGP-FPA）（K-PA）
		ロ）土中配管用 ⊙ 塩ビライニング鋼管（SGP-VD）（SGP-FVD）（K-VD）
		・ ポリ粉体鋼管（SGP-PD）（SGP-FPD）（K-PD）
		ハ）屋外土中用 ・ 塩ビライニング鋼管（SGP-VD）（SGP-FVD）（K-VD）
		・ ポリ粉体鋼管（SGP-PD）（SGP-FPD）（K-PD）
		⊙ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニール管（HIVP）
		ニ）ビニル管の接合方法 ： 接着接合 ・ ゴム輪接合
		ホ）ゴム輪接合の場合、直管以外の継手部には離脱防止金具付とする。
		ヘ）特記なき給水管の最小口径は20Aとする。
	④ 弁類	イ）公営水道に直結する配管に使用するものは、JIS 10kとする。
		ロ）高置タンク以降の配管に使用するものは JIS 5kとする。但し、特記部分は JIS 10kとする。
		ハ）給水引込み部の ⊙ 止水栓 ・ 弁桝 は水道事業者の指定品とする。
	5. 保温	鋼板製、ステンレス製タンクの保温 ・ 施工する ・ 施工しない
	6. 室水位調整弁	・ 共通仕様書による（附属品を含む） ・ 水道事業者指定品
	⑦ 水栓柱	： 合成樹脂製 ・ 人造石とぎ出し製
	⑧ 水栓	イ）屋外の水栓は ・ キー式ハンドル ⊙ 一般水栓
		ロ）台所流し用の水栓は混合式とする。
	9. FRP製タンクのマンホール	屋外に設置するFRP製水槽のマンホールは、二重蓋（断熱形）とする。
○ 排水設備	① 配管材料	イ）屋内汚水管 ・ メカニカル形排水鋳鉄管 ・ 鉛管
		・ 排水用塩ビライニング鋼管 ⊙ 硬質塩化ビニル管（VP）
		・ コーティング鋼管（ ・ タールエポキシ ・ 塩化ビニル）
		ロ）屋内雑排水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 鉛管
		・ 排水用塩ビライニング鋼管 ⊙ 硬質塩化ビニル管（VP）
		： 厨房流し等の床上露出部分は硬質塩化ビニルビニル管（VP）でもよい。
		ハ）通気管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ⊙ 硬質塩化ビニル管（VP）
		・ 排水用塩ビライニング鋼管
		ニ）屋外排水管 ・ コンクリート管（外圧1種B形）
		⊙ 硬質塩化ビニル管（VP）
		・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP）
	② 満水試験	⊙ 行わなくてもよい ・ 図示の系統のみ行う
	③ グリース阻集器	○ 工場製作品（ ⊙ SUS製 ・ 鋳鉄製 ・ FRP製 ） ・ 現場施工品
		・ 耐火措置 ・ 施工61（a）を施工する ・ 施工しない
○ 給湯設備	① 配管材料	： 保温付き被覆銅管 ・ 銅管 ・ 耐熱性ライニング鋼管
		・ ステンレス鋼管（ 75A以下の継手は ・ 溶接接合 ・ 拡管接合 ・ フランジ接合）
	② 弁類	： JIS5kとする。但し、水道直結部分及び特記部分はJIS10kとする。
	3. 湯沸器	湯沸器には排気ファン連動装置を設けるものとし、別途電気工事との接続は 開放式湯沸器にあっては本体に附属する水圧スイッチで行うものとする。 また、ガスコンロを使用する場合には「ガスコンロを使用する場合は、手動スイッチにより換気扇を運転すること」と記載した注意板を設ける。
○ 消火設備	1. 消火栓弁の耐圧	： JIS10k ・ JIS 5k
	2. 配管材料	イ）一般配管用 ： 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・
		ロ）土中配管用（土間を含む） ： 外面被覆鋼管 ・
	3. 保温	イ）補水タンクの保温 ： 施工しない ・ 施工する
		ロ）呼水タンクの保温 ： 施工しない ・ 施工する
		ハ）消火配管の保温は次による。
		・ 屋内消火栓 ： 施工しない ・ 施工する
		・ スプリンクラー ： 施工しない ・ 施工する
		・ 連結送水 ： 施工しない ・ 施工する
		・ 連結散水 ： 施工しない ・ 施工する
	4. 消火栓箱 ホース格納箱	： 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製
	5. 消火ポンプ起動方式	： 手動 ・ 自動、手動切替式
○ ガス設備	① 配管材料	イ）一般配管用 ： 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・
		ロ）土中配管（土間を含む） ： 合成樹脂被覆鋼管 ・
	2. 液化石油ガス容器	・ 10Kg ⊙ 20Kg ・ 50Kg ・ ： 借用 ・ 買取
	③ ガスメーター	イ）親メーターは ⊙ ガス事業者より借用 ・ 買取り
		ロ）子メーターは ： 買取り ・ ガス事業者より借用
	④ 容器廻りの配管	自動切替式で施工方法は標準図（施工67）の ⊙ 施工要領（a） ・ 施工要領（b）
	⑤ 容器転倒防止	施工方法は標準図（施工68）の ⊙ 施工要領（a） ・ 施工要領（b）
	⑥ ガス漏れ警報器	： 不要 ・ 要（取付位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要）
		警報器から制御盤、遮断弁までの配線等は ・ 別途電気工事 ・ 本工事
	⑦ 埋設管安全装置	⊙ 流量検知式 ・ 圧力検知式 ・ ガス漏れ警報式
	8. その他	都市ガスはガス供給事業者の供給規定による。
○ し尿浄化槽設備	1. 処理種別及び方式	・ 単独処理（ ・ 分離接触ばっ気方式 ・ 分離ばっ気方式 ）
		・ 小規模合併処理（ ・ 嫌気ろ床接触ばっ気方式 脱窒ろ床接触ばっ気方式）
		・ 合併処理（ ・ 接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式 ・ 回転板接触方式 ・ ）
	2. 形式	： ユニット形 ・ 現場施工形
	3. 処理能力	処理対象人員 ____人 処理水量 ____m3/d 流入BOD濃度 ____mg/l
	4. 放流水水質	BOD ・ 90 ・ 60 ・ 30 ・ 20 ・ 10 mg/リットル以下
	5. 設置方法等	： 地下式 ・ 半地下式 ・ 地上式
	6. 槽の材質	： FRP製（槽上部にコンクリート打設又は補強入り鉄板蓋取付） ・ RC造
	7. 槽内の支持金物固定金物	ステンレス製（SUS304）又は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。（B，N共）
	8. 排水方式	： 自然流下 ・ ポンプアップ排水（有効貯水量____m3以上）
	9. コンクリート工事	： 本工事 ・ 別途工事
	10. 槽上部の積載荷重	・ 400kgf/m2 ・ 600kgf/m2 ・ 1000kgf/m2
	11. コンクリート強度	・ 呼び強度＝21N/mm2 ・ 製造者の標準調合による。
	12. 基礎杭	： 不要 ・ 要（ ・ 別途工事 ・ 本工事 ）
	13. 送風機室	： 不要 ・ 要（ ・ 別途工事 ・ 本工事 ）
	14. 土留工事	： 不要 ・ 要（ ・ 別途工事 ・ 本工事 ）
	15. 防護さく	： 不要 ・ 要（ ・ 別途工事 ・ 本工事 ）
		材質又は形状 ・ アルミニュウム製 ・ 鋼製 ・ ネットフェンス
		さくの高さ____m
	16. マンホール蓋	・ 安全荷重（ ・ 1，531kgf ・ 511kgf ）
		・ FRP（耐荷重） ・ 製造者規格品
	17. 消毒薬	3ヶ月分相当を納入する。
	18. 電源	____kw
	19. 流入管底	GL－____
	20. 埋戻し土	： 山砂の類 ・ 根切土の中の良質土
	21. その他	性能保証施工とする。
		竣工後6ヶ月間流入、放流のSS、BOD、PH、透し度、大腸菌群数等を報告する。

空気調和設備

区分	項目	特記事項
○ 空気調和・暖房	① 設計用温湿度条件	（下表による）

	外気条件 温度（DB）	外気条件 湿度（RH）	室内（調整目標値） 一般系統 温度（DB）	一般系統 湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）
夏期	℃	％	26.0℃	50％	℃	％
冬期	℃	％	22.0℃	40％	℃	％

区分	項目	特記事項
	② 冷水・温水・冷温水管	： 配管用炭素鋼々管（白管） ・
	③ ドレン管	： 配管用炭素鋼々管（白管） ⊙ 硬質塩化ビニル管（VP） ・
	4. 冷却水管	・ 配管用炭素鋼々管（白管） ・ 塩ビライニング鋼管 ・ ポリ粉体鋼管
	5. 膨張・空気抜・補給水管	配管用炭素鋼々管（白管） ・
	6. 蒸気給気管	： 配管用炭素鋼々管（黒管） ・
	7. 蒸気還水管	： 圧力配管用炭素鋼々管（STPG370 黒 sch40）
○ 換気設備	8. 油・油用通気管	： 配管用炭素鋼々管（黒管） ・
	⑨ 冷媒管	： 断熱材被覆銅管（製造者標準品） ・ 銅管 ・
	10. 弁類	JIS5Kとする。ただし、特記部分はJIS10Kとする。
	11. ファンコイルユニット	： 流量調節弁
		・ 定流量弁（・ダイヤフラム式流量可変式・カートリッジオリフィス形）を取り付ける。
	12. 天井吊り形FCU及び全熱交換形換気扇	イ）カセット形の風量分配ダクトは、自己消火性のポリスチレンフォームでもよい。
		ロ）遠方操作スイッチのフラッシュプレートは金属製（ ステンレス・新金属も含む）とする。
		ハ）遠方操作スイッチの渡り配管 ⊙ 別途工事 ・ 本工事
		ニ）遠方操作スイッチの渡り配線 ⊙ 別途工事 ・ 本工事
	13. 放熱器	イ）放熱器弁及びレターンコック又はトラップを取付ける。
		ロ）蒸気用放熱器を ・ 取付ける ・ 取付けない
	14. 吹出口・吸込口	・ アルミニウム製（塗装を ： 行う ・ 行わない ） ・ 鋼板製
		吸込口GVFSは防火シャッター付吸込口を示す。
	⑮ ダクト	ロ）矩形ダクトは ⊙ アングルフランジ工法
		・ コーナーボルト工法（ ・ 共板工法 ・ スライドオンフランジ工法）
		（ 長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする）
		ハ）防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。
		ニ）厨房用ダクトの板厚

矩形ダクトの場合

ダクトの長辺	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
450以下	0.5以上	0.6以上
450を超え1200以下	0.5以上	0.6以上
1200を超え1800以下	0.8以上	1.0以上
1800を超えるもの	0.8以上	1.2以上

円形ダクトの場合

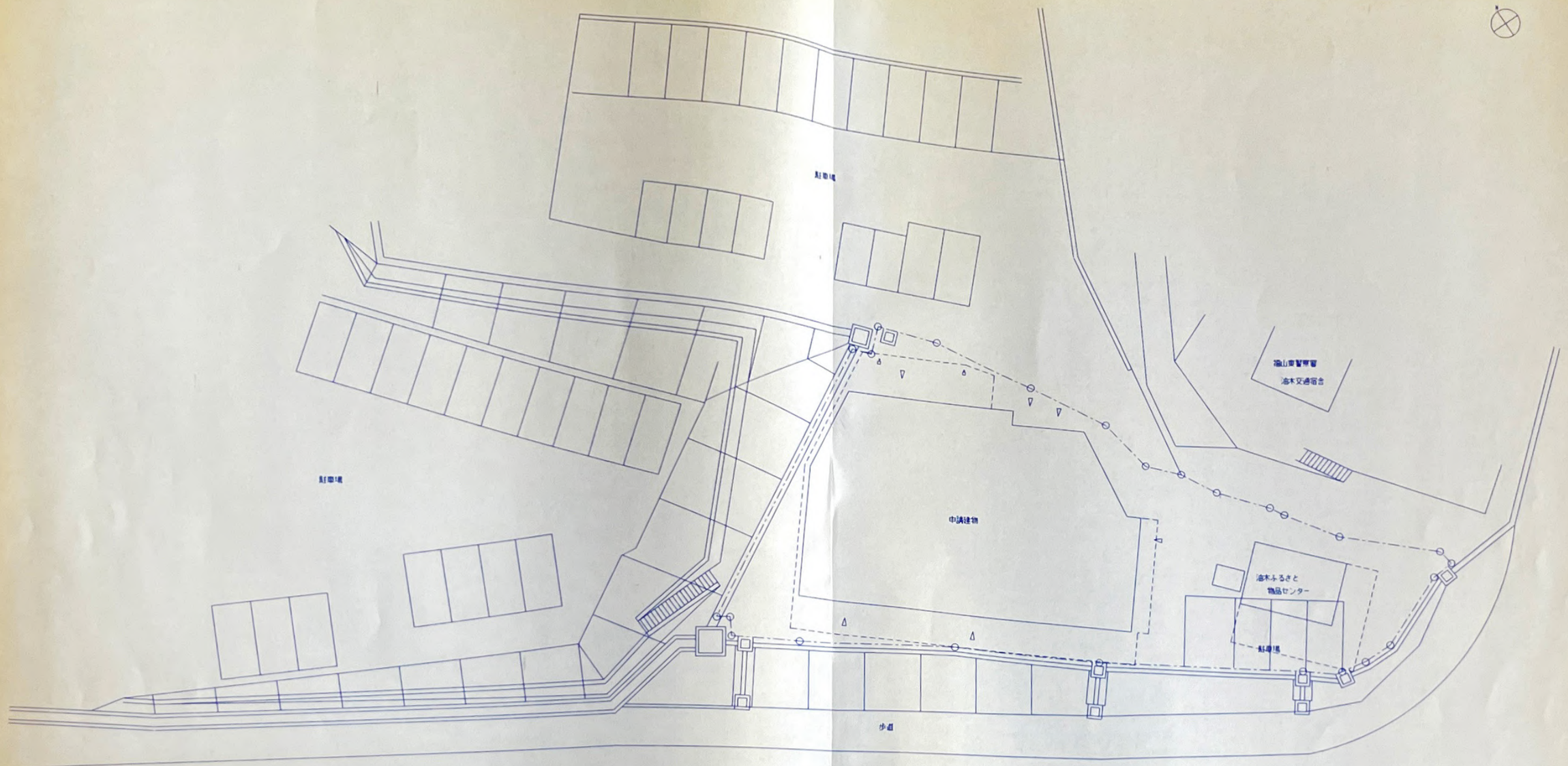
円形ダクトの寸法	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
300以下	0.5以上	0.6以上
300を超え750以下	0.5以上	0.6以上
750を超え1000以下	0.6以上	0.8以上
1000を超え1250以下	0.8以上	1.0以上

区分	項目	特記事項
	16. 防煙防火ダンパー	イ）防煙、防火ダンパーは塗装色により区分する。
		ロ）防煙ダンパーは ： 電気式 ・ 空気式
		復帰機構は ： 遠隔式 ・ 手元式
		ハ）電気式防煙ダンパーの動作用電圧はDC24V，0.6A以下とする。
	17. 風量測定口	イ）取り付け位置は図示による。
		ロ）材質はアルミニウム製でもよい。
	18. チャンバー等	イ）線状吹出口には、接続チャンバー（ 長さ＋100×300×300H ）を設ける。
		ロ）シーリングディフューザーの接続は（施工 41）による。
		施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。
		ハ）外壁に面するガラリにチャンバー等を設ける場合には原則として排水を考慮する。
	19. 消音内貼り	イ）吹出口接続チャンバー及び図示したダクト並びにチャンバー類とする。
		ロ）内貼りチャンバー類の寸法は、外法寸法とする。
		ハ）吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンバーには点検口を設ける。
		点検口の大きさは、原則として400×600とする。
	20. 瞬間流量計及び流量測定口	イ）形式はピトー管（コック付）とする。 ・ 電磁式
		ロ）下記の箇所、若しくは図示により取付ける。
		・ 冷凍機類の冷水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング
		・ 冷凍機類の冷却水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング
		・ ボイラー又は熱交換器の温水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング
		・ 冷温水ヘッダーの各送り管 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング
		・ ユニット形空気調和機の冷温水入口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング
	21. 変風量・変風量ユニット	・ メカニカル形 ・ 風速センサー形
	22. 温度計	標準図によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。
		・ ユニット形空気調和機廻りの還気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト
		・
		・
		機器附属以外の温度計は ： 工業用バイメタル式温度計 ・ ガード付きし形温度計
	23. 圧力計	標準図によるほか図示した箇所に取付ける。
	24. 冷温水管等の空気抜き	イ）空気溜りを生ずると思われる箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置（ ： 手動 ・ 自動 ）を設け排水口まで配管する。
		ロ）自動空気抜き弁装置は、施工30（g）による。
	25. 煙道	イ）厚さ ： 3.2mm ・ 4.5mm
		ロ）煤煙温度計 ・ 取付ける ・ 取付けない ・ 取付座を取付ける
		ハ）煤煙量測定口（80φ×2）を ： 取付ける ・ 取付けない
	26. 防振吊り及び支持金物	共通仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り、及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。
	27. オイルサービスタンク	イ）油面制御装置の機能は下記による。
		・ 給油ポンプの起動、停止 ・ 返油ポンプの起動停止 ・ 満油警報
		・ 減油警報 ・ 遠方警報接点（ ・ 満油 ・ 減油）
		ロ）油面計はゲージ式（側圧式）とする。
		ハ）返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上部フロートは、過満用接点とする。
	28. 油用流量計	： 設ける（図示した箇所に取付ける） ・ 設けない
	29. 地下オイルタンク	イ）据付け方法は標準図 ・ 施工24（タンク室有） ・ 施工25（タンク室無）
		ロ）タンクの保護被覆は ： エポキシ樹脂 ・ モルタル ・ アスファルト
		ハ）遠隔油量指示装置（電気式で［ ・ 室内 ・ 室外］より油量監視用）を取付ける。
		ニ）基礎杭は ： 不要 ・ 要（但し杭は ： 別途工事 ・ 本工事）
		ホ）土留め工事は ： 不要 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事）
	30. フィルター予備品	空気調和機類等又はフィルターチャンバーの装着枚数の100％を予備品（枠付）として納め又ファンコイルユニットは総台数の約50％に当たるフィルターを予備品（枠付）として納める。但し自動巻取り形及び グリースフィルターの場合は100％とする。
	㉛ 防振基礎	送風機の防振基礎 防振材（ ⊙ ゴム ・ 金属バネ ）
	32. 冷凍機の安全弁等の ガス放出管	法令及び施設基準の規定に基づき設置する。
	33. 蒸気ボイラー安全弁 排出管	屋外に放出するよう設ける。
	34. 冷媒ガス	・ R-____（ ） ・ R-____（ ）
	35. 直焚吸収冷温水機	形式 ・ 煙管式 ・ 水管式
○ 排煙設備	1. 一般事項	空調、暖房、換気の当該事項を適用する。
	2. 風道材料	： 低圧1ダクト ・ 高圧2ダクト
		： 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製
	3. 排煙口	イ）形状 ・ 可動羽根 ・ 可動パネル
		ロ）開放装置は ・ 手動 ・ 手動及び遠隔操作の可能なもの
○ 自動制御設備	1. 中央監視制御装置	・ 有り（構成機能は図示による） ・ 無し
	2. 電源設備	・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事 ） ・ 不要
	3. 温度調節器等	取付高さは ： 1300mm
	4. 計装工事の配線	屋外、屋内露出の配線は、図示に特記がない限り金属管配管とする。

	変更内容
△	機器通知書平成 年 月 日第 号による変更（すべての工事に優先する）
△	
△	

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築
工事設計図 Ⓚ 2
特記仕様書2 1/100 61
SUZUKI 株式会社 鈴木工務店一級建築士事務所 一級建築士（第33474号） 市川暉二
福山市丸之内1丁目4番1号 TEL （0849） 代 22-1011 事務所登録 93（1）第1105号 図面作成 '98.11.12



確認通知書平成　年　月　日第　号による変更（すべての工事に優先する）

竣工図

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

工事設計図

K 3

配地図

62

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士（第324T4号） 市川昭二
福山市丸之内1丁目4番1号　TEL（0849）代 22-1011　事務所登録　92（1）第1100号　図書作成

'98.11.12

器具表

名称	参考品番	男子便所	女子便所	身障者便所	厨房	屋外	2F	その他	数量
和風大便器	C137AVH S570B TS116W（吸気弁 V-LL共）		1						1
洋風大便器	C780BH S790B TS116W（吸気弁 V-LL共）	1	2				1		4
身障者用便器	C48AS TEF61RSX TES22BFTR TCF781 YH120M			1					1
手すり	T112CL1			1					1
〃	T112CH1			1					1
〃	T112CU1	1							1
小便器	U307H T60PF	3							3
洗面器	L230S T205 TS126AR						1	1	2
〃	L230S T407RX TS116AR				1				1
身障者用洗面器	L103CF TLF30UDQX			1					1
はめ込み手洗器	L548 TLF30UDX（カウンター建築工事） TS126BR	2	2						4
手洗器	L5B T407RX TS126AR				1				1
化粧鏡	YMK12A1						1	1	2
傾斜鏡	LM531			1					1
掃除流し	SK22A T23AE20（ノータッチコマ）						1		1
自在水栓	T136S13				2				2
ベビーシート	YKA20		1						1
ガーデンパン	750形					1			1
湯水混合栓	T133BS-13（ノータッチコマ）				2				2
自在水栓	T131LS-13（ノータッチコマ）				1				1
〃	T130AR-13（ノータッチコマ）				2				2
万能ホーム水栓	T200CS-13（ノータッチコマ）					2			2
散水栓	T28KH-13（ノータッチコマ）BOX共					1			1
床排水目皿	DBV 40					1			1
床排水金物	KT5A 50	1	1	1					5
床上掃除口	CVA 100	1	2						3
〃	CVA 65	1							1
〃	CVAT 40							2	2
〃	CVAT 65				2			2	4
〃	CVAT 50						1		1
ドルゴ通気	65							1	1
グリストラップ	三槽式 SUS製					1			1
瞬間ガス湯沸器	32号 屋内壁掛け型 給湯用止水栓 FJ かとう管コック かとう管 給排気トップ				1				1
単口ガスコック	13×9.5（ヒューズ付）				2				2
化粧鏡	TS119ASR3				1				1
不凍水栓柱	D-A 13mm 1m					2			2

管種凡例

記号	名称	材質	備考
—·—	給水管	内外面塩ビライニング鋼管	SGP-VD コンクリート、土中埋設配管
		内面塩ビライニング鋼管	SGP-VB 上記以外
—I—	給湯管	断熱被覆銅管	
—汚—	汚水管	硬質塩化ビニール管	VP
—排—	排水管	硬質塩化ビニール管	〃
——	通気管	硬質塩化ビニール管	〃
—G—	ガス管	配管用炭素鋼鋼管（白）	SGP 露出配管
		外面被覆鋼管	PLP、PLS 上記以外
—R—	冷媒管	断熱被覆銅管	
—D—	ドレン管	硬質塩化ビニール管	VP

桝リスト

記号	名称	形状	深さ	備考
A	小口径桝	100-200 90L	350	レジコン蓋
B	〃	100-200 90Y	360	〃
C	〃	100-200 90L	420	〃
D	〃	100-200 WLS	450	〃
E	〃	100-200 90Y	460	〃
F	〃	100-200 90S	520	〃
G	〃	150-200 DR	580	防護ハット+中蓋
H	〃	150-200 90L	1000	〃

訂正 確認通知書平成 年 月 日第 号による変更(すべての工事に優先する)

竣工図

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設 新築

工事設計図 K 4

給排水衛生設備
器具表、管種凡例、桝リスト

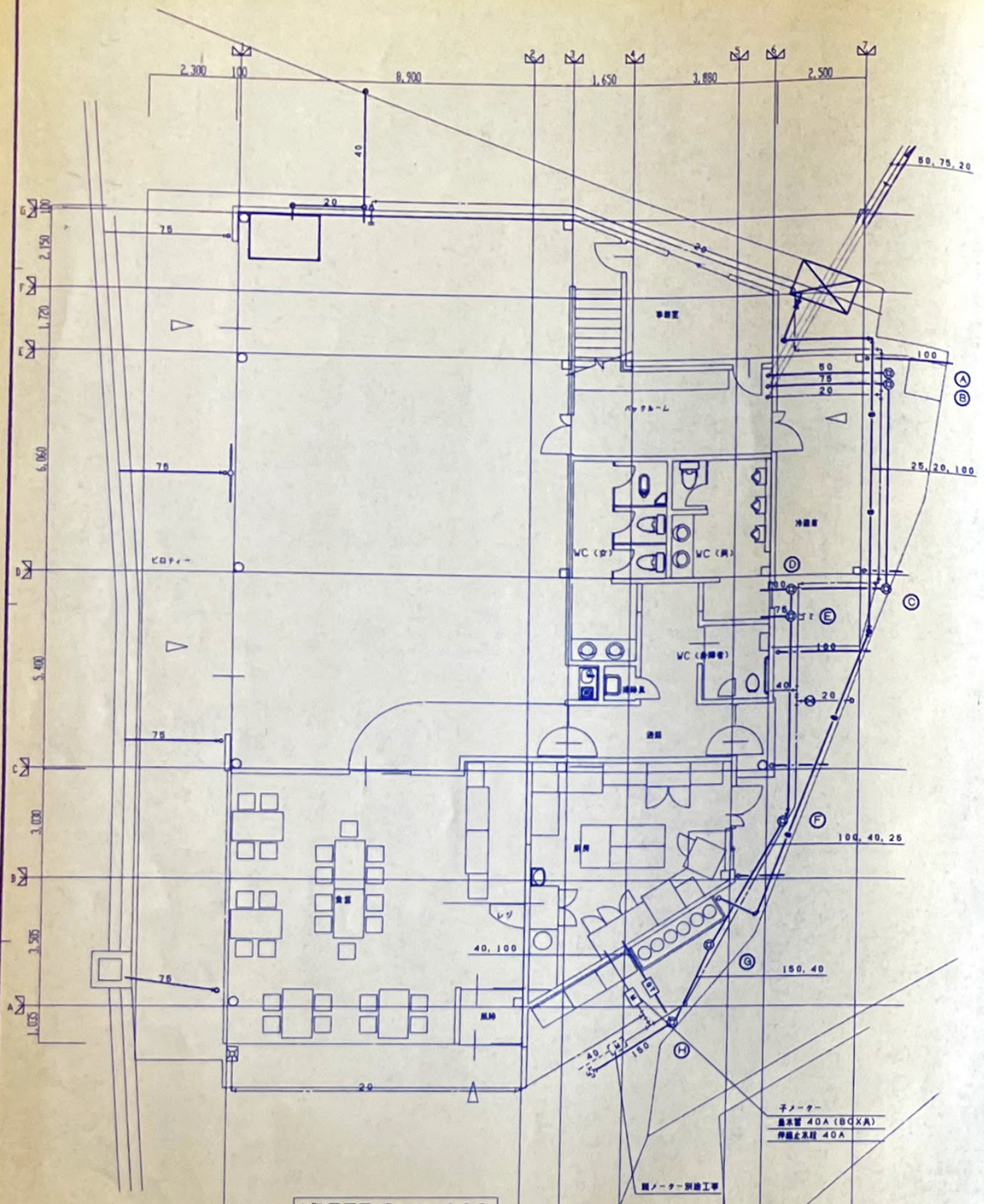
1/100

株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 市川昭三

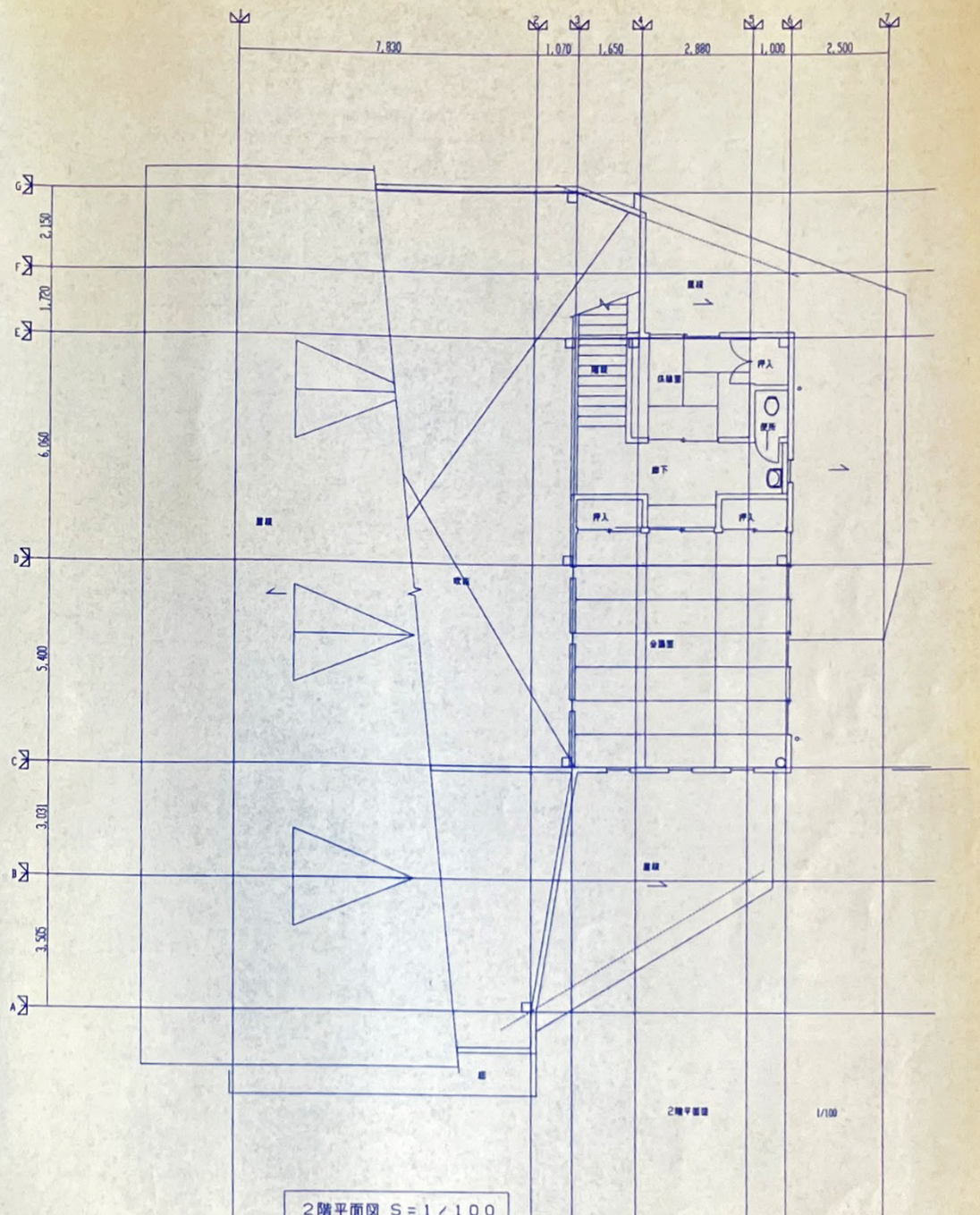
63

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代22-1011 事務所登録 93(1)第1105号 図書作成

H. 9. 7. 3,000



1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100

訂正	0	確認通知書平成　年　月　日第　号による変更(すべての工事に優先する)
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	

竣工図

SUZUKI

平成10年度経営基盤確立醸造構造改善事業
産地形成促進施設　新築

給排水衛生設備
平面図

工事設計図　K 5

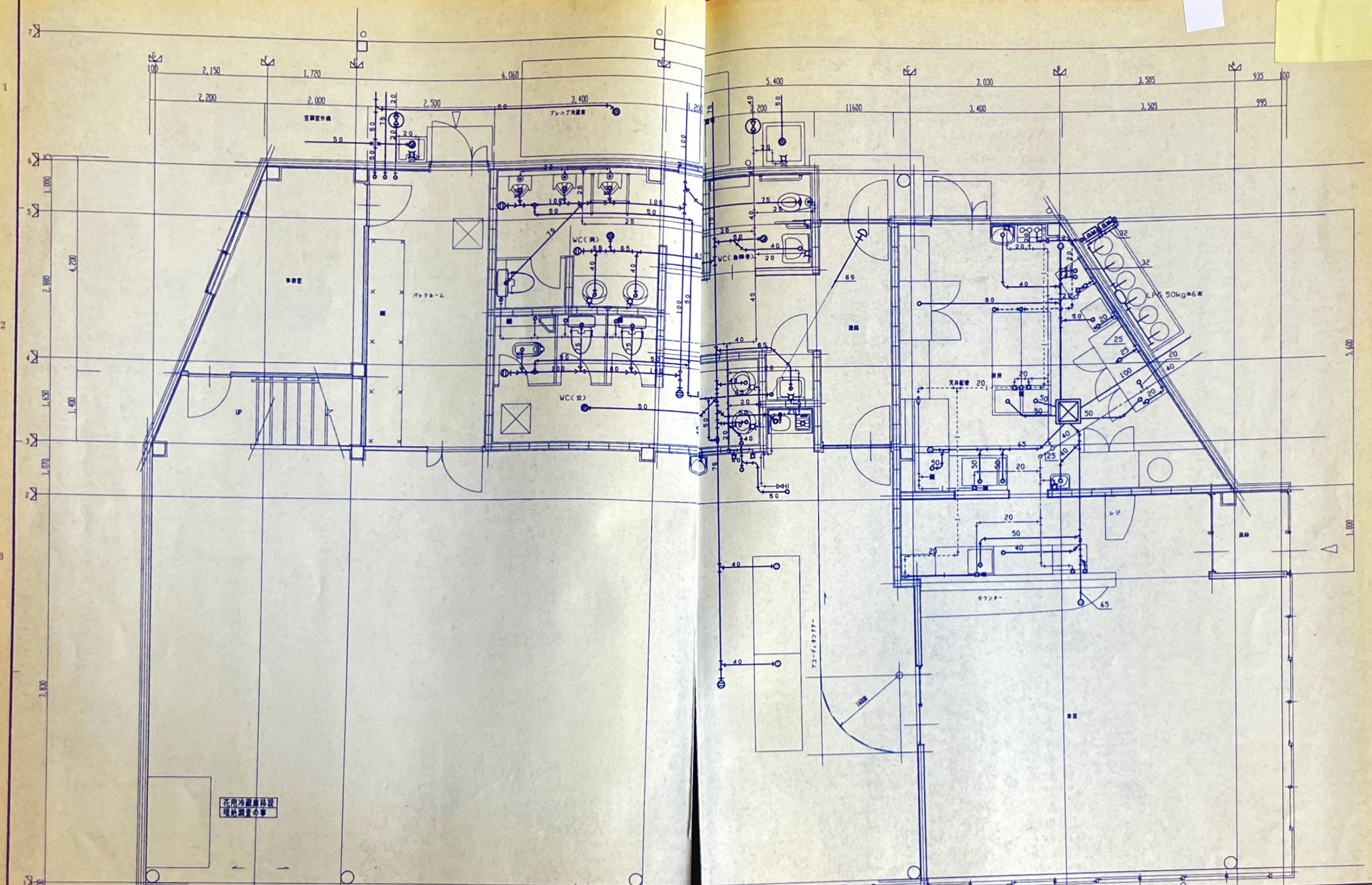
1/100

株式会社 鈴木工務店　一級建築士事務所　一級建築士(第33474号) 市川昭二

福山市丸之内1丁目4番1号　TEL (0849) 代22−1011　事務所登録 93(1)第1105号　図書作成

64

H. 9. 7. 3.000



訂正		確認通知書平成　年　月　日第　号による変更(すべての工事に優先する)
	0	
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	

・ソフトクリーム用給排水追加
・厨房洗面器L230S追加
・店舗ミニキッチン横流し台給排水追加

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

給排水衛生設備
1階平面詳細図

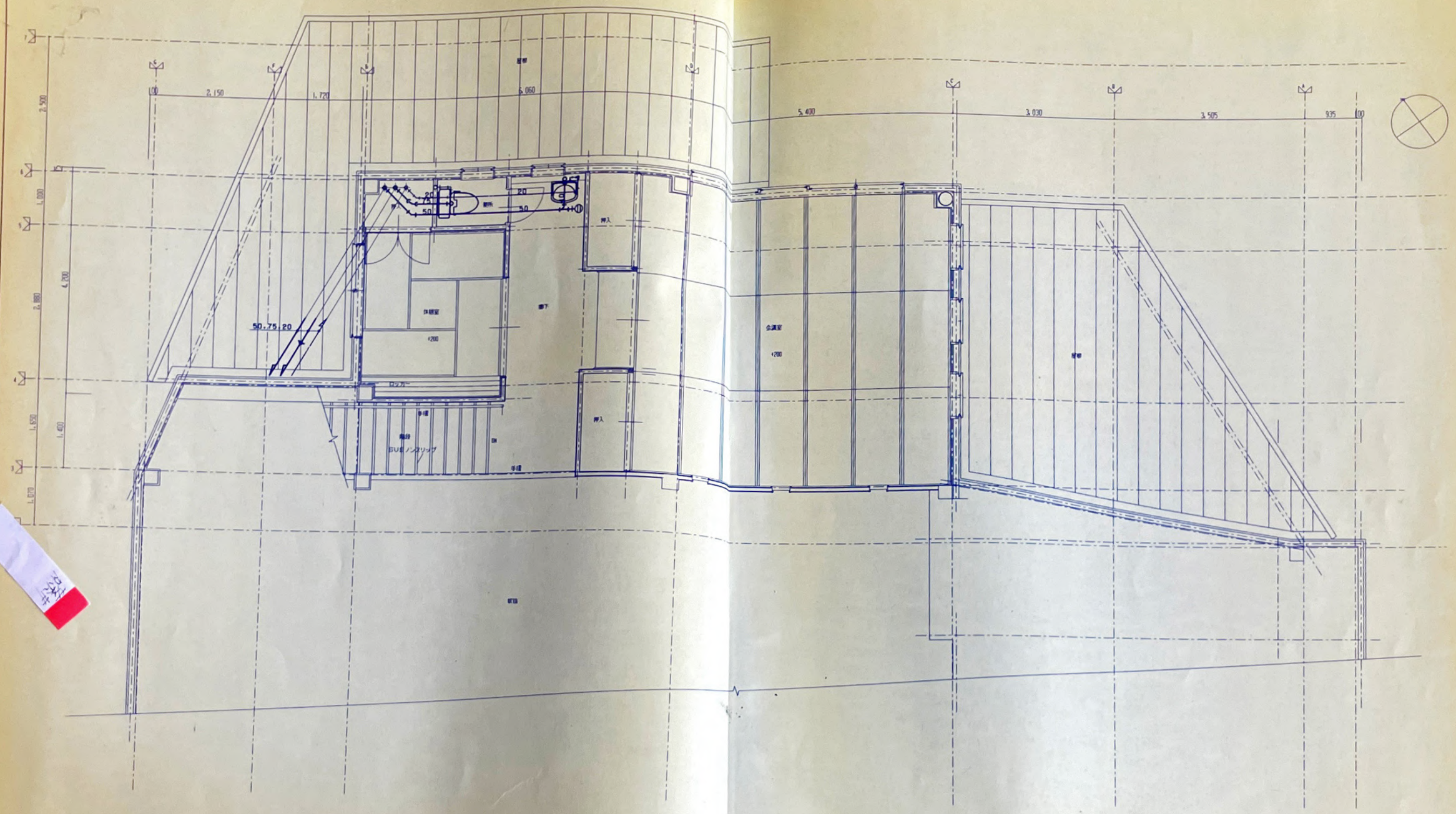
工事設計図　K 6

1/50

65

株式会社 鈴木工務店　一級建築士事務所　市川昭二　一級建築士(第33474号)
福山市丸之内1丁目4番1号　TEL (0849) 代22～101)　事務所登録 93(1)第1105号　図書作成

H. 9. 7. 3,000



竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業 産地形成促進施設　新築	工事設計図
給排水衛生設備 2階平面詳細図	1/100
株式会社 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士(第33474号) 岡川暁二	岡川 暁二

K 7

66

SUZUKI 快適クリエーション

福山市丸之内1丁目4番1号　TEL (0849) 代 22-1011　事務所登録 93 (1) 第1105号　図書作成 '98.11.12

空調機器表

記号	GHP-1	AC-1	AC-2	AC-3	AC-4	AC-5	ACP-1
名称	ガスヒートポンプエアコン	ガスヒートポンプエアコン	ガスヒートポンプエアコン	ガスヒートポンプエアコン	ガスヒートポンプエアコン	ガスヒートポンプエアコン	空冷ヒートポンプパッケージエアコン
形式	室外機	天井カセット形	天井カセット形	天吊り形	天吊り形	壁掛け形	厨房用 天吊り形
冷房能力 (KW)	45.0	11.2	9.0	7.1	5.6	2.8	8.0
暖房能力 (KW)	53.0	13.2	10.6	8.5	6.7	3.4	9.0
電源	3Φ-200	1Φ-200	1Φ-200	1Φ-200	1Φ-200	1Φ-200	3Φ-200
電気容量							
屋内ファン (W)		80	80	25	40	30	60
屋外ファン (W)	450×2						70
圧縮機 (KW)							2.24
ガス消費量 (m3N/h)	LPG 1.83						
台数	1	2	2	1	1	2	1
コンクリート基礎	コンクリート基礎300H						コンクリート基礎300H
参考品番	GHCJ450HM3	GHTJ112HMD	GHTJ90HMD	GTEJ71HMD	GHEJ56HMD	GHKJ28HMD	FDESJ80HA2
備考							

換気機器表

記号	FE-1	FE-2	FE-3	FE-4	FE-5	FE-6	FE-7
名称	有圧換気扇	中間ファン	天井換気扇	天井換気扇	天井換気扇	壁付き換気扇	壁付き換気扇
風量 (m³/h)	4290	978	505	390	85	423	325
電源	1Φ-100	1Φ-100	1Φ-100	1Φ-100	1Φ-100	1Φ-100	1Φ-100
電気容量 (W)	204	100	64	44	14	14.5	17
台数	1	1	2	2	2	1	1
付属品	SUS製ウエザーカバー	SUS製ベンドキャップ	SUS製ベンドキャップ	SUS製ベンドキャップ	SUS製ベンドキャップ	SUS製ウエザーカバー	SUS製ウエザーカバー
	SUS製シャッター	強弱スイッチ					
	SUS製防虫網						
参考品番	FY-40GSX3	FY-20NCF2	FY-32BK5H	FY-32S5	FY-17C1	FY-20PEP	FY-15PF2

換気計算, グリル フードリスト

記号	名称	形式, 寸法	ガス消費量による算定	面風速による算定	決定風量	数量	備考
1	排気フード	SUS製 I型	V=30×12.9×8.167	V=4.29×0.25×3600	3861		グリスフィルター Pコック
		1050×1300+1550×1050×500H	V=3160	V=3861		1	
2	排気フード	SUS製 I型		V=0.978×0.25×3600	880		VD Pコック
		1200×900×600H		V=880		1	

特記事項

冷媒配管はメーカー標準品とする。
天井及びのドレン管は防露の事。
リモコンの位置は別途打ち合わせとし、配管配線は本工事とする。
屋外冷媒配管はSUSラッキング仕上げとする。
一次側電源は電気工事とする。
図示記号FDはファイヤーダンパーを示す。
メーカー参考品番は同等品以上とする。

訂正 確認通知書平成 年 月 日第 号による変更(すべての工事に優先する)

竣工図

SUZUKI 鈴木工務店 一級建築士事務所 一級建築士(第33474号) 市川昭二

平成10年度緑営基盤確立整備構造改善事業 産地形成促進施設 新築

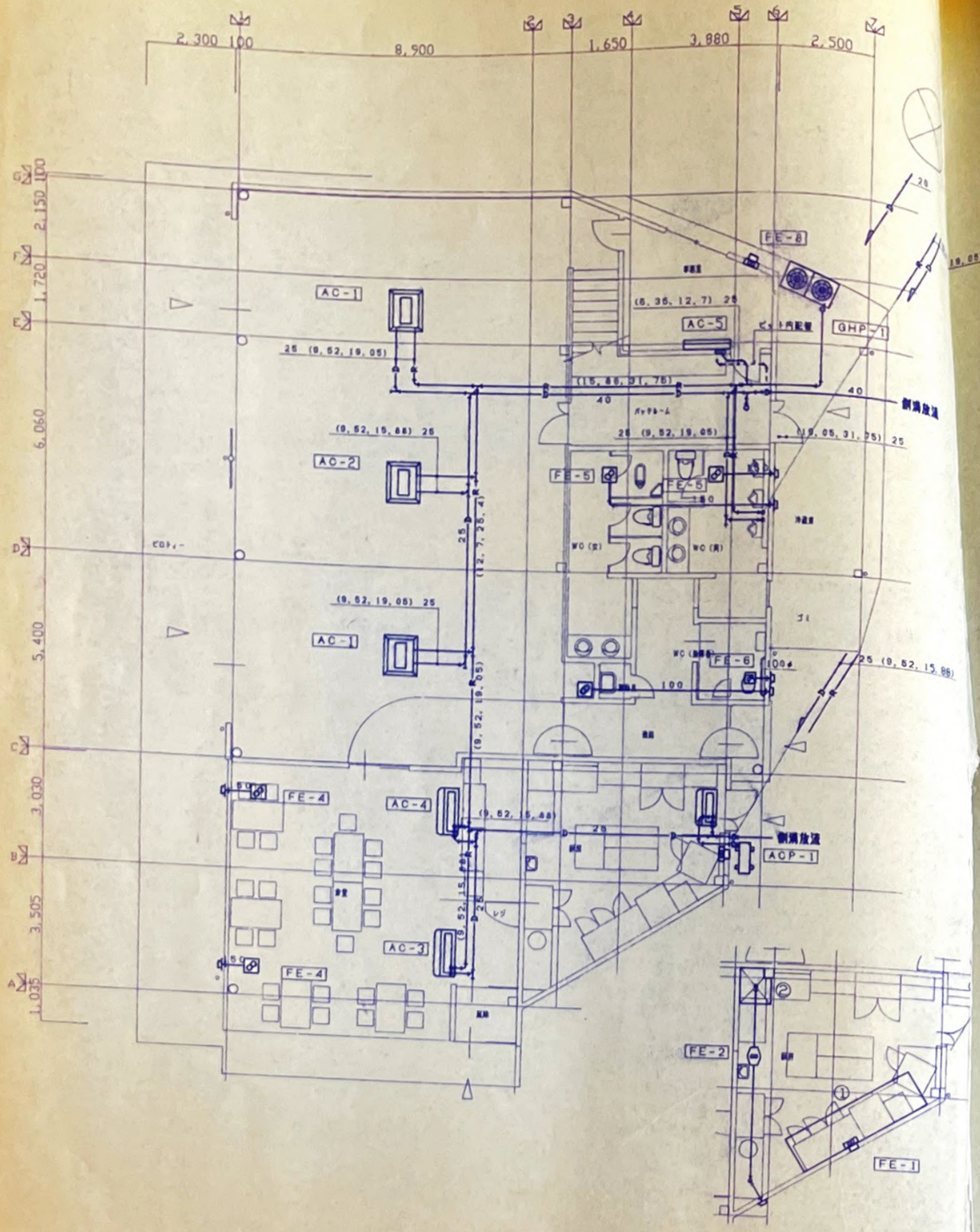
工事設計図 K 8

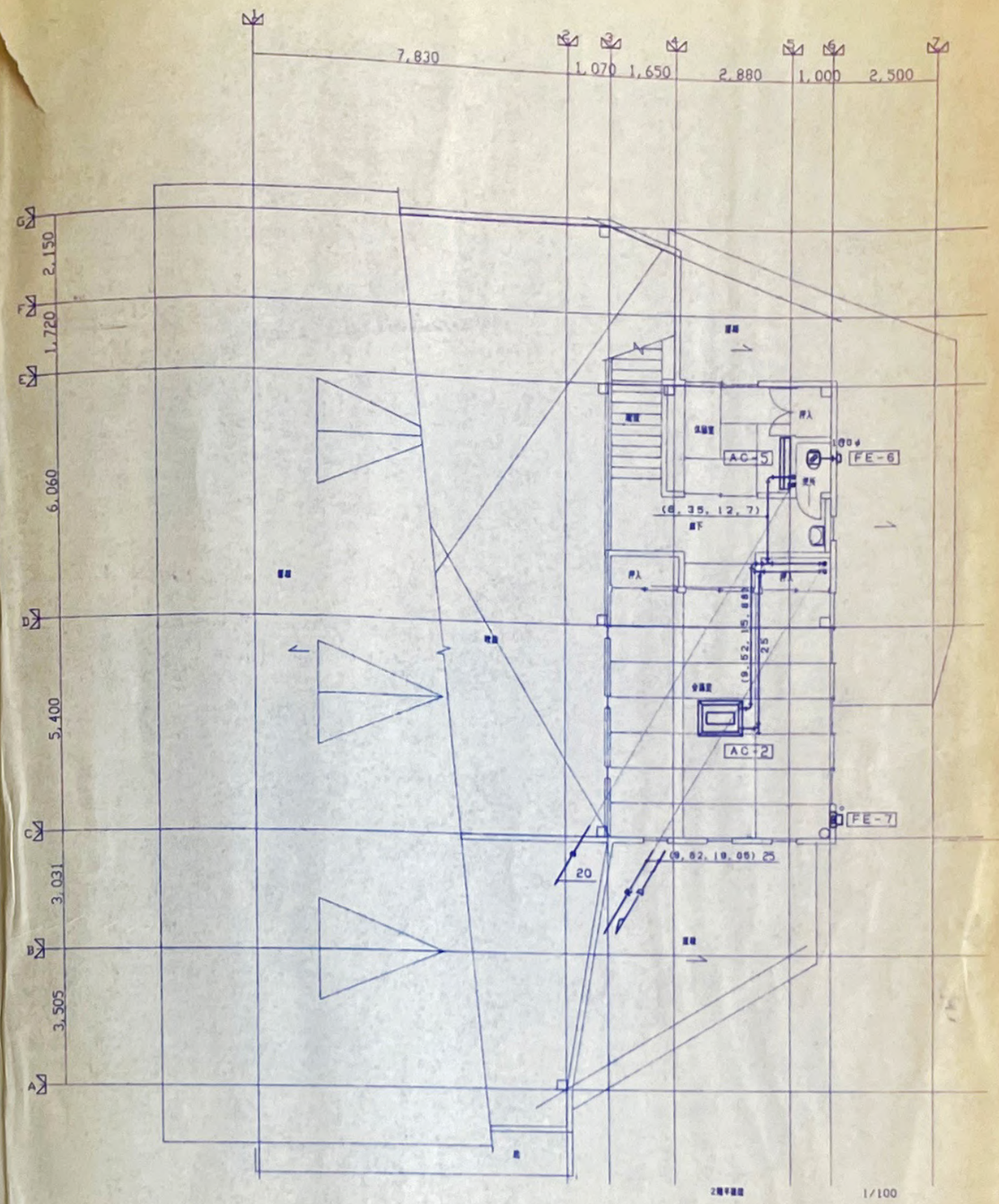
機器表 1/100

67

福山市丸之内1丁目4番1号 TEL (0849) 代22-1011 事務所登録 93(1)第1105号 図書作成

H. 9. 7. 3,000





訂正

確認通知書平成　年　月　日第　号による変更(すべての工事に優先する)

H. 9. 7. 3,000

竣工図

平成10年度経営基盤確立農業構造改善事業
産地形成促進施設　新築

工事設計図　K 9

平面図　1/100

SUZUKI

株式会社 鈴木工務店　一級建築士事務所　一級建築士(第35374号) 市川昭三

福山市丸之内1丁目4番1号　TEL (0849) (22)−1011　事務所登録 931)第1105号　図書作成

68